SONY

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載DVDレコーダー　RDZ-D97A/D77A/D87

SONY®

2-681-998-02(1)

接続と準備

テレビ

ビデオ

録画

録画予約

再生

編集

ダビング

ミュージック

フォト

設定

その他

デジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハードディスク搭載 DVD レコーダー

取扱説明書

RDZ-D97A / D77A / D87

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。10ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

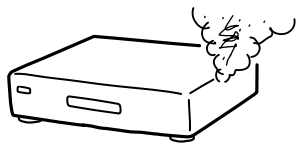
定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

禁止

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

トレイの前に物を置かない
ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

本体の前に物を置かないでください。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く
ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する
電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない
本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは
素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

指示

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指示

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない
リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

指示

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

目次

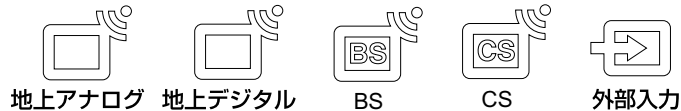
安全のために …… 2
本書の読みかた …… 8
必ずお読みください …… 8
使用上のご注意 …… 10
ディスクに関するご注意 …… 11

接続と準備

接続と準備の流れ …… 12
[準備1]付属品を確認する …… 12
[準備2]テレビアンテナを接続する …… 13
壁のアンテナ端子の種類と受信できる放送について …… 13
本体の端子の働きと接続先について …… 14
地上デジタル放送と地上アナログ放送両方を受信するための接続 …… 15
地上デジタル放送のみ受信するための接続 …… 16
BS・110度CSデジタル放送を受信するための接続 …… 17
BS・110度CS/VHF/UHFが一つの端子にまとまっている場合の接続 …… 18
CATV経由で受信する場合の接続 …… 19
[準備3]映像・音声コードを接続する …… 22
デジタル放送の画質について …… 22
映像コードの種類と画質について …… 23
HDMIケーブルで接続する …… 24
D映像コードで接続する …… 24
コンポーネント映像コードで接続する …… 25
S映像コードで接続する …… 26
映像コードで接続する …… 26
[準備4]他機器を接続する …… 27
ビデオデッキを接続する …… 27
外部チューナーなどを接続する …… 28
AVアンプを接続する …… 29
ビデオカメラやゲーム機を接続する …… 31
DV端子やUSB端子(RDZ-D97A/D77Aのみ)を使って他機器を接続する …… 31
[準備5]デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を入れる …… 32
[準備6]電源コードを接続する …… 33
電源を入れる …… 33
[準備7]リモコンを準備する …… 34
本機のリモコンで他機器を操作する …… 34
DVDモードのときにアンプやテレビの音量を調整できるようにするには …… 34
本機のリモコンで操作したい他機器を登録する …… 34
自動的に機器モードがDVDモードに戻らないようにする …… 36
複数のソニー製のDVD機器を使う …… 36
[準備8]かんたん初期設定をする …… 37
地上アナログ番組表データを受信するための準備をする …… 45
各放送局に視聴を申し込む …… 49
録画した番組(タイトル)をテレビやパソコンなどで再生するための設定をする(RDZ-D97A/D77Aのみ) …… 50
携帯電話録画予約のための設定をする …… 50

電話回線/ネットワークに接続する ・・・ 51
電話回線のみ接続する ・・・ 52
電話回線とネットワークを接続する ・・・ 53

テレビ機能を使う

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS　外部入力

テレビ番組を見る ・・・ 58
映像や音声を切り換える ・・・ 58
字幕を切り換える ・・・ 58
有料番組や視聴年齢制限つき番組を見る ・・・ 59
デジタル放送のラジオ/データ放送を楽しむ ・・・ 60
ラジオ放送や独立データ放送を見る ・・・ 60
連動データ放送を見る ・・・ 60
番組表を使う ・・・ 60
番組表(EPG)とは ・・・ 60
デジタル放送の番組表を表示する ・・・ 60
地上アナログ放送の番組表(Gガイド)を表示する ・・・ 63
番組検索を使う ・・・ 65
よく利用する語句を登録する ・・・ 67
「テレビ機能を使う」に関するご注意・制約事項 ・・・ 67

ビデオ機能を使う

ビデオ

ハイビジョン「スゴ録」では、録画した個々の番組や映像を「タイトル」と呼びます。

テレビ番組を録画する ・・・ 69
録画の画質・映像サイズを設定する ・・・ 71
デジタル放送とアナログ放送の2つの番組を同時録画する(デジタル・アナログ2番組同時録画) ・・・ 72
二ヶ国語放送(二重音声放送)を録画する ・・・ 73
ビデオなど外部機器の映像を録画する ・・・ 74
テレビ番組を自動で録画する(x-おまかせ・まる録) ・・・ 75
自動録画のための条件(プリセットキーワード)を設定する ・・・ 75
自動録画用条件を新たに作成する(おまかせ条件をユーザー設定にする) ・・・ 76
本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする ・・・ 77
設定した条件で録画される番組の候補を確認する ・・・ 77
自動で録画される番組を確認する ・・・ 79
録画予約する ・・・ 79
番組表で録画予約する ・・・ 79
番組表から予約を変更する・取り消す ・・・ 81
日時を指定して予約する ・・・ 81
録画した番組(タイトル)の次回の予約をする(次回予約) ・・・ 82
携帯電話で録画予約する(携帯電話録画予約) ・・・ 82
予約を確認する・変更する・取り消す(予約リスト) ・・・ 83
スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応) ・・・ 84
放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画) ・・・ 84
前回録画した番組(タイトル)を消去して録画する(更新録画) ・・・ 85
予約の優先順位を変更する ・・・ 85
ディスク情報画面を使う ・・・ 86
ディスクの名前を入力する ・・・ 87

次のページにつづく⇨

録画した番組(タイトル)やDVDを再生する ・・・・ 88
見どころシーンを中心に自動で再生する(ダイジェスト再生) ・・・・ 89
ダイジェスト再生で映像を見る ・・・・ 89
ダイジェスト再生の設定を変更する ・・・・ 89
再生中のいろいろな操作 ・・・・ 91
録画中の番組を最初から見る(追いかけ再生) ・・・・ 92
録画しながら他のタイトルを見る(同時録画再生) ・・・・ 92
すばやく見たい場面にとばす(シーンサーチ) ・・・・ 93
チャプター番号やタイトル番号で頭出しする ・・・・ 93
手動でチャプターマークを入れる/消去する ・・・・ 93
再生中のタイトルの画質や音質を調節する ・・・・ 94
録画した映像(タイトル)を整理する ・・・・ 95
映像(タイトル)をグループごとに分類する(オートグルーピング機能) ・・・・ 95
タイトルを好きな順番に並べ替える ・・・・ 97
録画した番組(タイトル)を編集する ・・・・ 97
録画した番組(タイトル)の一部を消去する[A-B消去] ・・・・ 98
複数の録画した番組(タイトル)を消去する[タイトル選択消去] ・・・・ 98
録画した番組(タイトル)を2つに分ける[タイトル分割] ・・・・ 99
複数の録画した番組(タイトル)を1つにする[タイトル結合] ・・・・ 99
お好みの場面を集めたタイトルリストを作成する[プレイリスト作成] ・・・・ 99
チャプターを選択して消去する[チャプター選択消去](簡単カット編集) ・・・・ 100
録画した番組(タイトル)を誤って消さないようにする[プロテクト] ・・・・ 101
録画した番組(タイトル)を消去する ・・・・ 101
チャプターマークを付ける[チャプターマーク設定] ・・・・ 102
チャプターマークが自動的に付くよう設定するには(おまかせチャプター) ・・・・ 102
チャプターマークを消去するには ・・・・ 102
録画した番組(タイトル)の情報を変更する ・・・・ 102
録画した番組(タイトル)の名前を変更する[名前変更] ・・・・ 102
サムネイル画像を変更する[サムネイル設定] ・・・・ 103
マークを変更する[マーク設定] ・・・・ 103
ハードディスクやDVDの映像(タイトル)をダビングする[タイトルダビング] ・・・・ 103
タイトルダビング画面の見かた ・・・・ 104
ダビングモードについて ・・・・ 105
“PSP”に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」(おでかけ転送)(RDZ-D97A/D77Aのみ) ・・・・ 107
見どころシーンを中心に選んで転送する(ダイジェスト転送) ・・・・ 108
“PSP”転送用動画ファイルについて ・・・・ 108
“PSP”に転送できる映像の種類について ・・・・ 108
テープをディスクにまるごとダビングする(おまかせHDV/DVダビング) ・・・・ 109
ディスクをコピーする(まるごとディスクコピー) ・・・・ 111
録画した番組(タイトル)をテレビやパソコンなどで再生する(DLNA対応ホームサーバー機能)(RDZ-D97A/D77Aのみ) ・・・・ 112
本機の映像を他機器で再生する ・・・・ 112
ディスクを他機器で再生できるようにする(ファイナライズ) ・・・・ 113
ファイナライズを解除する ・・・・ 113
ディスク内のすべてのタイトルを消去する ・・・・ 114
ディスクを初期化する ・・・・ 114
「ビデオ機能を使う」に関するご注意・制約事項 ・・・・ 114

ミュージック機能を使う

ミュージック

音楽を再生する …… 123
「ミュージック機能を使う」に関するご注意・制約事項 …… 123

フォト機能を使う

フォト

写真を再生する …… 125
写真を本機に取り込む …… 126
　フォルダごと取り込む …… 126
　写真を選択して取り込む …… 126
　本機に保存されている写真をハードディスクにコピーする …… 126
　本機に保存されている写真をDVDにコピーする …… 127
アルバムの写真を使ってフォト作品を作成する（x-Pict Story HD） …… 127
　x-Pict Story HD作品を再生する …… 128
　x-Pict Story HD作品をビデオの映像にする …… 128
　アルバムや写真、x-Pict Story HD作品を消去する …… 128
「フォト機能を使う」に関するご注意・制約事項 …… 129

本機の設定を変更する

設定

設定画面の出しかた …… 131

その他

文字入力のしかた …… 153
故障かな？と思ったら …… 156
自己診断機能について …… 161
ハイビジョン「スゴ録」点検シート …… 162
ハードディスク修理に関するお願いについて …… 164
ソフトウェアアップデートについて …… 165
保証書とアフターサービス …… 165
主な仕様 …… 166
用語解説 …… 176
言語コード一覧 …… 178
テレビ画面での画像の見えかた一覧 …… 179
本機で利用できるディスク一覧 …… 180
録画モード一覧 …… 181
各部の名前 …… 182
索引 …… 185

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、RDZ-D97A、RDZ-D77A、RDZ-D87の3機種について説明しています。機種ごとの違いは文章内に記載しています。
- 本書で使われているイラストは、RDZ-D97Aのものです。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本機の操作に関するご注意・制約事項は各章の最後にまとめて記載されています。
- 「●」の項目はお買い上げ時の設定です。
- 本書中の［　］内の項目は画面上に表示される項目です。

この取扱説明書での放送の表記について

地上アナログ 地上アナログ放送

従来のNHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

地上デジタル 地上デジタル放送

2003年12月、関東・近畿・中京の3大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始されたNHKや民放各局のデジタルテレビ放送です。

BS BSデジタル放送

2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。

CS 110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。取扱説明書では、「110度CS」と省略している場合もあります。

必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。結露（露つき）の原因となります（10ページ）。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと（表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと）を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

電源を「切」にしているときのご注意

- 本機は番組表データなどを取得するため、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。
- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けます。
  – 番組表の番組データ取得中
  – [スタンバイモード]が[高速起動]に設定されているとき
  – 本機のDLNA対応ホームサーバー機能や、携帯電話録画予約機能を利用しているとき
  – 本機に挿入した他機B-CASカードが契約切れになっているとき
  – ソフトウェアアップデートを行っているとき
- [本体設定]の[スタンバイモード]の設定(143ページ)が[標準]のときに電源を「切」にすると、ネットワーク経由で本機の映像を他機器で見たり、携帯電話録画予約ができません。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD+RとDVD-R以外のディスクやハードディスクでかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。

個人情報の記録について

- 本製品内のハードディスク、メモリーには、各種機能の設定時に、IPアドレスなど、また、ご使用にあたってお知らせ(メール)、番組購入履歴等が記録されます。
- 本製品内のハードディスク、メモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。消去の方法については「個人情報を消去する」(152ページ)をご覧ください。
- MACアドレスは、携帯電話録画予約機能の初回登録時にサービス事業者が委託しているサーバーに送信されます。
- 本製品内のメモリーには、携帯電話録画予約機能の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機種名」が記録されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器等の記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のDVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなDVDを再生することはできません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107(代)
FAX　03-5570-2560

コピー防止信号について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組にコピー防止信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面やDVDのメニューなどの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

DVDレコーダーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、変な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ､ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

DVDやCDを入れたまま本機を動かさないでください。DVDやCDを傷めることがあります。

配線/接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときに、ご使用になると故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音の エチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

DVDやCDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  －円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  －紙やシールの貼られたディスク
  －セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

ディスクに関するご注意

- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは本機で編集できません。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定することはできません。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください（114ページ）。ただし、それまで録画した内容は消去されます。
  またDVD-R（VRモード）は再度初期化することはできません。
- 高速記録対応DVDでも録画にかかる時間は短くなりません。
- 著作物を録画する場合においては、パッケージに「ビデオ用」または「For Video」と記載されているDVDの使用をおすすめします。
- デジタル放送の番組をDVDで残すには、"CPRM対応"と明記されたDVD-RW、DVD-Rをお買い求めください。
- 他のDVD機器で録画したDVD-RW（ビデオモード）やDVD+R、DVD-Rには録画できません。
- 他のDVD機器で録画したDVD+RWには録画できないことがあります。録画できる場合でも、本機でDVDメニューが書き換えられることがあります。
- 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがあります。
- 本機で読み込みができないパソコンで記録したデータは消去されることがあります。
- JPEGファイルを記録するには、未フォーマットのDVD-RやDVD+R、またはDVD-RW、DVD+RWを使って記録してください。
- JPEGファイルは直径12cmディスクのみ録画･再生可能です。直径8cmディスクは再生のみ可能です。
- 記録済みのDVD+RW/DVD+RまたはDVD-RW/DVD-R、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW（VRモード）以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- 他機器で録画したディスクは、DVD情報画面で正しく表示されない場合があります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

接続と準備

接続と準備の流れ

準備1 付属品を確認する（12ページ）

準備2 テレビアンテナを接続する（13ページ）

準備3 映像・音声コードを接続する（22ページ）

準備4 他機器を接続する（27ページ）

準備5 デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる（32ページ）

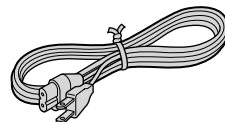
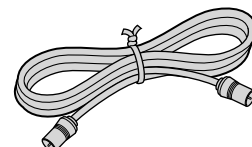
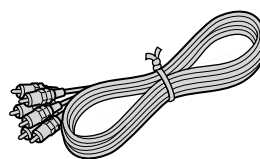
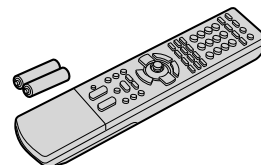
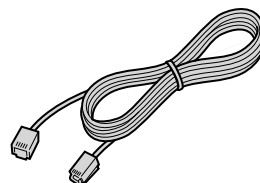
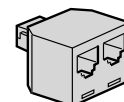
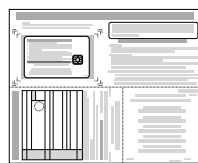
準備6 電源コードを接続する（33ページ）

※　ハードディスク保護のため、電源コードの接続は必ず最後におこなってください。

準備7 リモコンを準備する（34ページ）

準備8 かんたん初期設定をする（37ページ）

［準備1］付属品を確認する

箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。

電源コード（1本）

アンテナケーブル（1本）

映像/音声コード（1本）

リモコン（1個）と
単3形（R6）乾電池（2個）

テレホンコード（1本）

モジュラーテレホン
コードカプラー（1個）

B-CASカード使用許諾契約約款（1部）
・B-CASカード（1）
・B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）

取扱説明書（本書）
かんたん操作ガイド
番組表準備ガイド
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
（各1部）

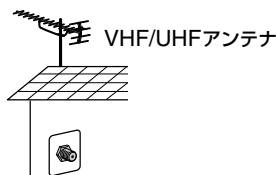
「接続ガイド」ホームページ

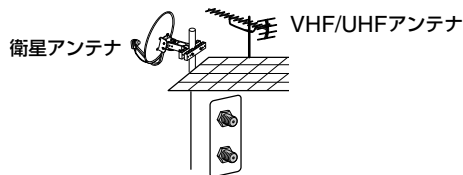
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.co.jp/DVDConnect/

[準備2]テレビアンテナを接続する

壁のアンテナ端子の種類と受信できる放送について

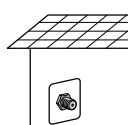
アンテナ端子の形状により接続方法が異なります。次の中から、お使いのアンテナ端子の形状に合った接続方法をご覧ください。該当する接続がないときは、お買い上げ店などにご相談ください。

VHF/UHF混合または単独のアンテナ端子（15ページ）

地上デジタルや地上アナログ放送の受信が可能です。

VHF/UHF混合または単独のアンテナ線と衛星アンテナ端子（15、17ページ）

地上デジタルや地上アナログ放送、BS･110度CSデジタル放送の受信が可能です。すでにBSアナログで衛星アンテナをお使いのときは、そのままBSデジタルを受信できます。ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。

110度CSデジタル放送を受信したいときは

110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナや分配器、ブースターを使用して接続を行ってください。詳しくはお買い上げ店などにお問い合わせください。

BS•110度CS/VHF/UHF混合のアンテナ端子（18ページ）

壁のアンテナ端子ひとつで地上波放送、BS･110度CSデジタル放送の受信が可能です。マンションなどの共同受信システムのときは、地上波放送、BS･110度CSデジタル放送を分波して接続してください。詳しくはお買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

⚠警告

BS/110度CS IF入力端子には専用のケーブルをつないでください

サテライト（BS･110度CS）用同軸ケーブル以外のケーブルをBS/110度CS-IF入力端子に絶対につながないでください。BS/110度CS-IF入力端子からはBS･110度CSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

推奨ケーブル

- **室内用**　EAC-DS15SS/DS30SS/DS50SSなど

ちょっと一言

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本体の端子の働きと接続先について

本体後面

BS/110度CS-IF入出力端子

■入力
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を本機で視聴・録画するときに使います(17、18ページ)。
■出力
本機に入力したBS・110度CSアンテナをテレビなどに出力するときに使います(17、18ページ)。

地上デジタル入出力端子

■入力
地上デジタル放送を本機で視聴・録画するときに使います(15、18ページ)。
■出力
本機に入力した地上デジタル放送をテレビなどに出力するときに使います(15、18ページ)。

映像出力端子

■コンポーネント映像出力端子
コンポーネント映像入力端子のあるテレビに接続します(25ページ)。

■D映像出力端子
D映像入力端子のあるテレビに接続します(24ページ)。

電話回線端子

データ放送で、放送局から送られてくる双方向サービスを利用したり、ペイ・パー・ビューを購入するときに使います(52ページ)。

VHF/UHF入出力端子

■入力
地上アナログ放送を視聴・録画するときに使います(15、18ページ)。
■出力
本機に入力した地上アナログ放送をテレビなどに出力するときに使います(15、18ページ)。

HDMI出力端子

HDMI入力端子のあるテレビ、またはAVアンプに接続します(24ページ)。デジタルで劣化の少ない高精細な映像を楽しむことができます。

LAN 10/100端子

イーサネットケーブルを接続します(53ページ)。インターネットを使って放送局からの双方向サービスを利用したり、携帯電話録画予約機能やネットワーク経由で映像をやり取りすることができます。

デジタル音声出力端子

デジタル音声入力端子のあるAVアンプやオーディオデコーダーなどの機器と接続します(29ページ)。
■光デジタル端子

■同軸ケーブル端子

入力1/入力3端子

CATVや外部チューナー、ビデオデッキなどの機器と接続します(20、27、28ページ)。
■S映像入力端子

■映像・音声入力端子

出力1/出力2端子

おもにテレビと接続します(25、26ページ)。
■S1映像出力端子

■映像・音声出力端子

電源入力

電源コードを接続します(33ページ)。

本体前面

LINE 2 IN

ビデオカメラやゲーム機などを接続します(31ページ)。
■S映像入力端子

■映像・音声入力端子

HDV1080i/DV IN

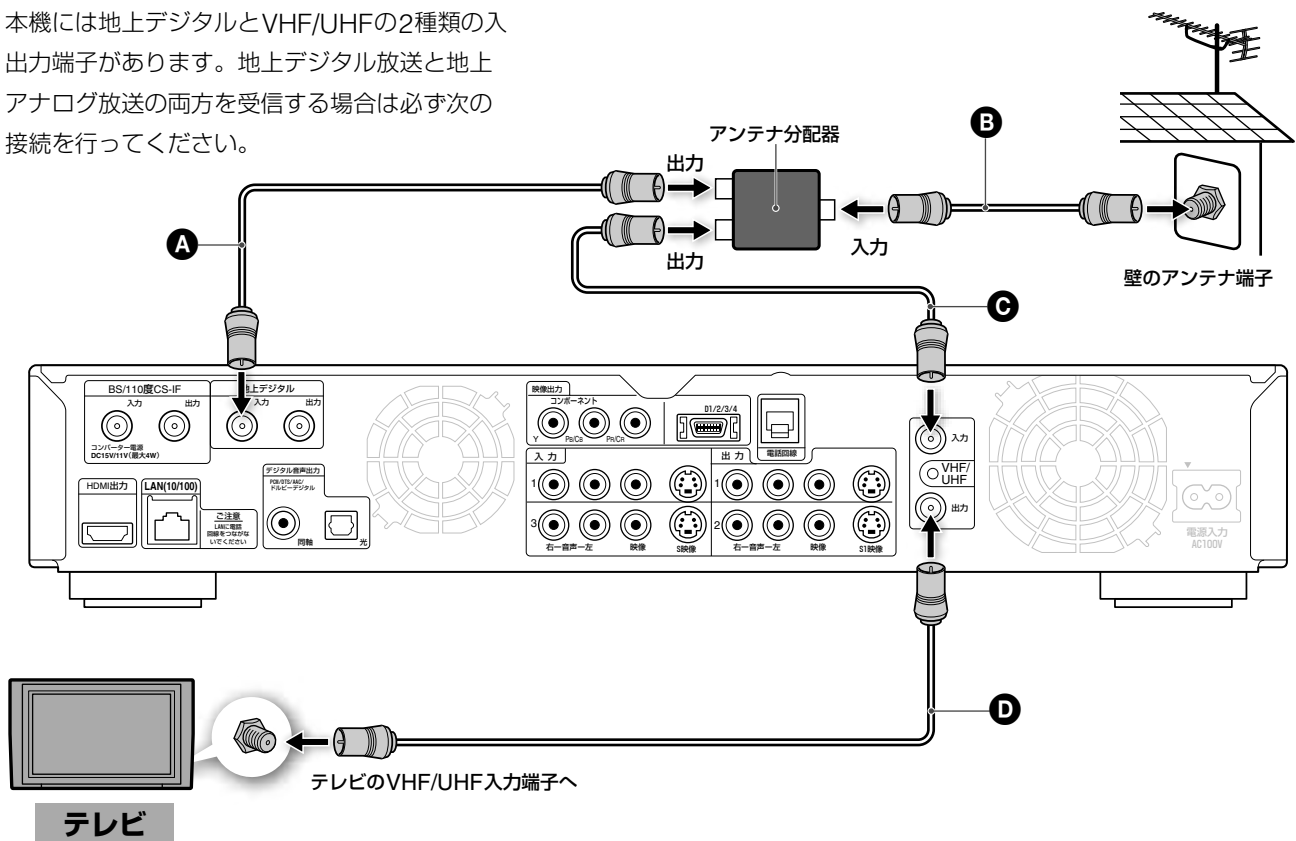
HDV1080i出力端子やDV出力端子のあるデジタルビデオカメラなどを接続します(31ページ)。デジタルビデオカメラなどの映像を、本機を使ってDVDなどにダビングするときに使います(109ページ)。

USB端子
(RDZ-D97A/D77Aのみ)

"PSP"やデジタルスチルカメラなどを接続します(31ページ)。デジタルスチルカメラなどの写真を本機に取り込むときに使います(126ページ)。

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

地上デジタル放送と地上アナログ放送両方を受信するための接続

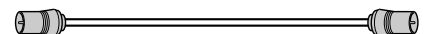
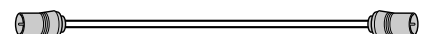
本機には地上デジタルとVHF/UHFの2種類の入出力端子があります。地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信する場合は必ず次の接続を行ってください。

接続手順

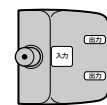
1. アンテナケーブルⒶでアンテナ分配器と本機の地上デジタル入力端子をつなぐ
2. アンテナケーブルⒷでアンテナ分配器と壁のアンテナ端子をつなぐ
3. アンテナケーブルⒸでアンテナ分配器と本機のVHF/UHF入力端子をつなぐ
4. アンテナケーブルⒹで本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ

接続に使用するケーブル類

付属品

アンテナケーブルⒹ 1本

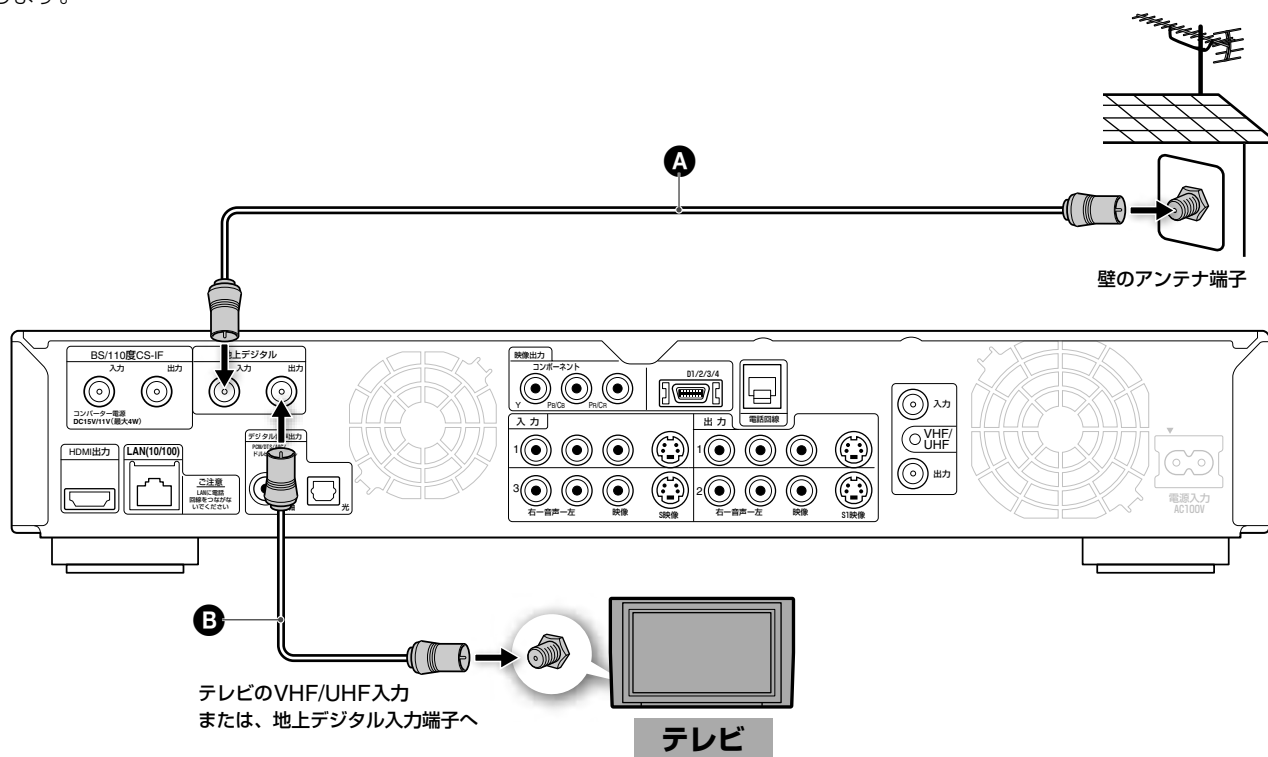
別売品

アンテナケーブルⒶⒷⒸ 3本

アンテナ分配器 1個
(EAC-DSD12など)

分配器とは
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルがより小さくなります。

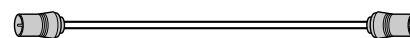
ちょっと一言

お使いのテレビにVHF/UHF端子と地上デジタル端子が両方あるときは
本機の地上デジタル出力端子とテレビの地上デジタル入力端子をアンテナケーブルで接続し、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をアンテナケーブルで接続してください。

地上デジタル放送のみ受信するための接続

地上デジタル放送のみを受信するための接続をします。

接続手順

1 アンテナケーブルⒶで本機の地上デジタル入力端子と壁のアンテナ端子をつなぐ

2 アンテナケーブルⒷで本機の地上デジタル出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ

接続に使用するケーブル類

付属品

アンテナケーブルⒷ 1本

別売品

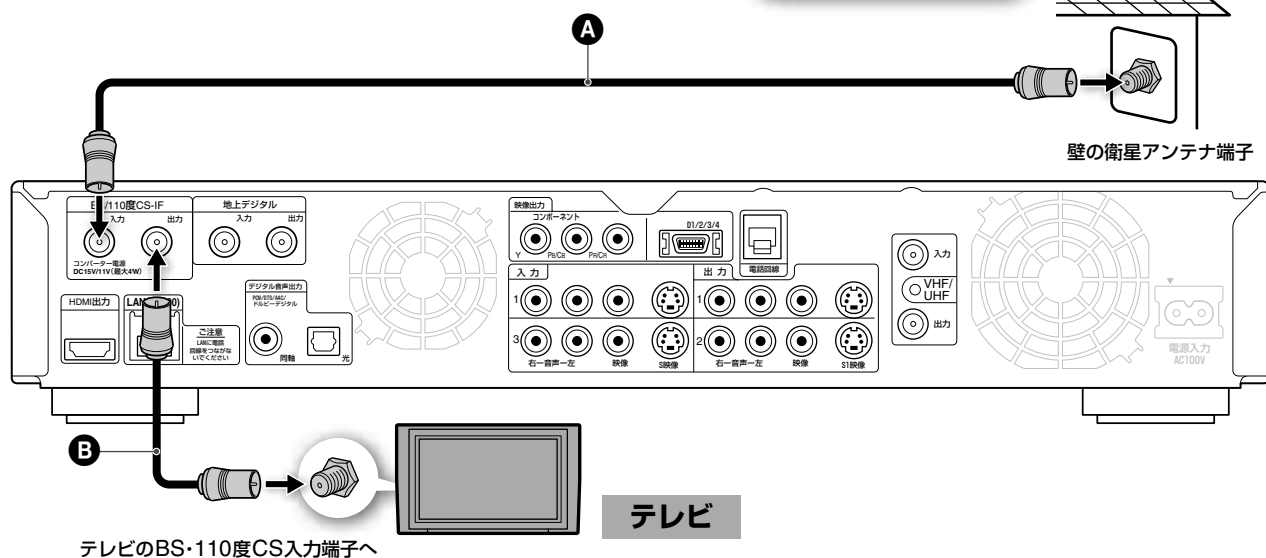
アンテナケーブルⒶ 1本

ちょっと一言

お使いのテレビにVHF/UHF端子と地上デジタル端子が両方あるときは
本機の地上デジタル出力端子とテレビの地上デジタル入力端子をアンテナケーブルで接続してください。

BS・110度CSデジタル放送を受信するための接続

ご注意はP21へ

BS・110度CSデジタル放送を受信するための接続をします。

接続手順

1 サテライト用同軸ケーブル(室内用)Ⓐで本機のBS/110度CS-IF入力端子と壁の衛星アンテナ端子をつなぐ

2 サテライト用同軸ケーブル(室内用)Ⓑで本機のBS/110度CS-IF出力端子とテレビのBS・110度CS入力端子をつなぐ

接続に使用するケーブル類

別売品

サテライト用同軸ケーブル(室内用)
ⒶⒷ 2本

ちょっと一言

テレビなどでBSアンテナに電源を供給しているときは、［かんたん初期設定］で［BS/CSアンテナ電源］を［自動］に設定してください(38ページ)。

BS･110度CS/VHF/UHFが一つの端子にまとまっている場合の接続

ご注意はP21へ

BS･110度CSデジタル放送と地上波を分波して接続します。

サテライト/UV混合分波器

110度CSデジタル放送に対応した分波器を使用して接続を行ってください。

BS/110度CS

UV

BS/110度CS/UV混合

アンテナ分配器

出力

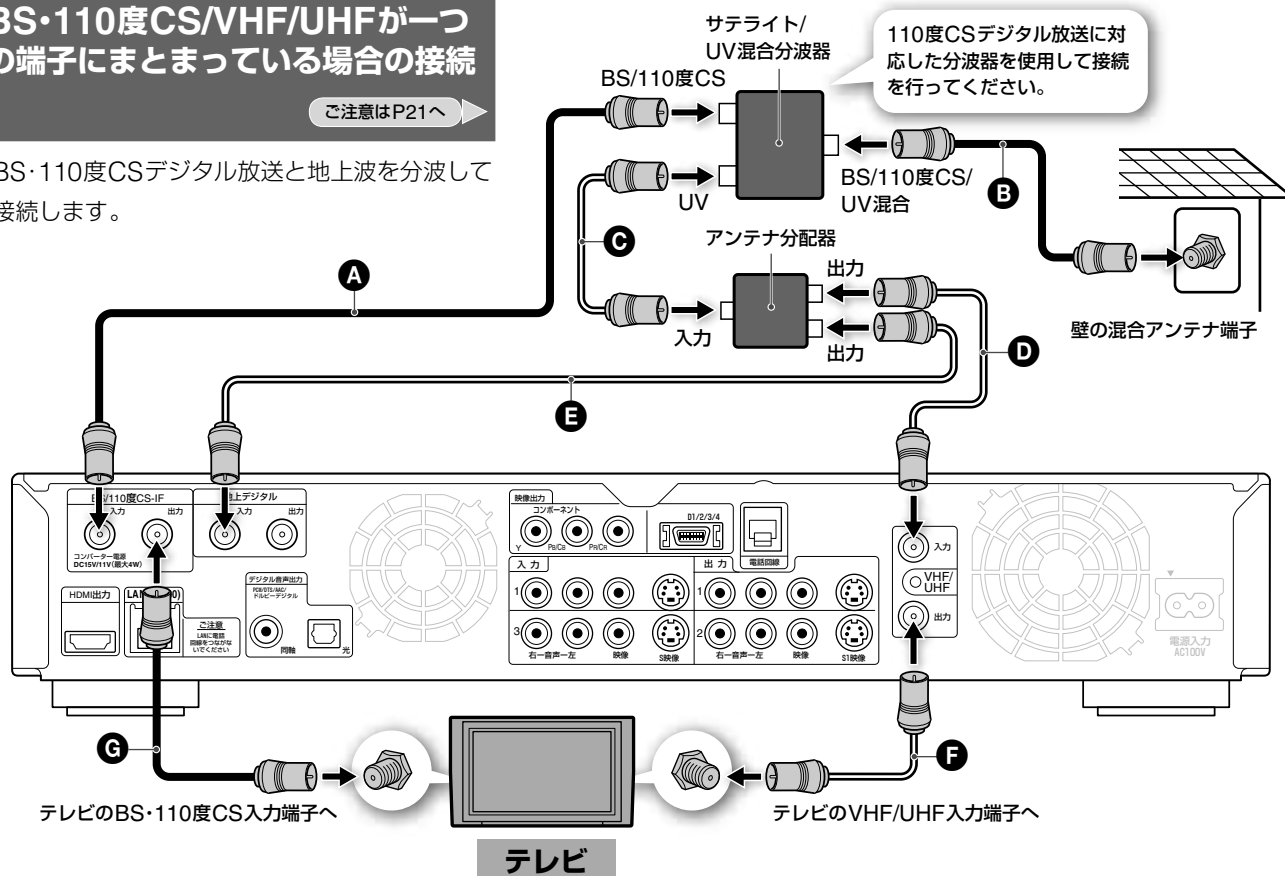
入力

出力

壁の混合アンテナ端子

テレビのBS･110度CS入力端子へ

テレビのVHF/UHF入力端子へ

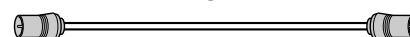
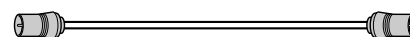
テレビ

接続手順

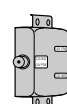
1. サテライト用同軸ケーブル(室内用)Ⓐで本機のBS/110度CS-IF入力端子とサテライト/UV混合分波器をつなぐ
2. サテライト用同軸ケーブル(室内用)Ⓑでサテライト/UV混合分波器と壁の混合アンテナ端子をつなぐ
3. アンテナケーブルⒸでサテライト/UV混合分波器とアンテナ分配器をつなぐ
4. アンテナケーブルⒹでアンテナ分配器と本機のVHF/UHF入力端子をつなぐ
5. アンテナケーブルⒺでアンテナ分配器と本機の地上デジタル入力端子をつなぐ
6. アンテナケーブルⒻで本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ
7. サテライト用同軸ケーブル(室内用)Ⓖで本機のBS/110度CS-IF出力端子とテレビのBS･110度CS入力端子をつなぐ

接続に使用するケーブル類

付属品

アンテナケーブルⒻ 1本

別売品

アンテナケーブルⒸⒹⒺ 3本

サテライト用同軸ケーブル(室内用)ⒶⒷⒼ 3本

サテライト/UV混合分波器 1個(EAC-DSSM2など)

分波器とは
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

アンテナ分配器 1個(EAC-DSD12など)

分配器とは
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルがより小さくなります。

ちょっと一言

お使いのテレビにVHF/UHF端子と地上デジタル端子が両方あるときは
本機の地上デジタル出力端子とテレビの地上デジタル入力端子をアンテナケーブルで接続し、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をアンテナケーブルで接続してください。

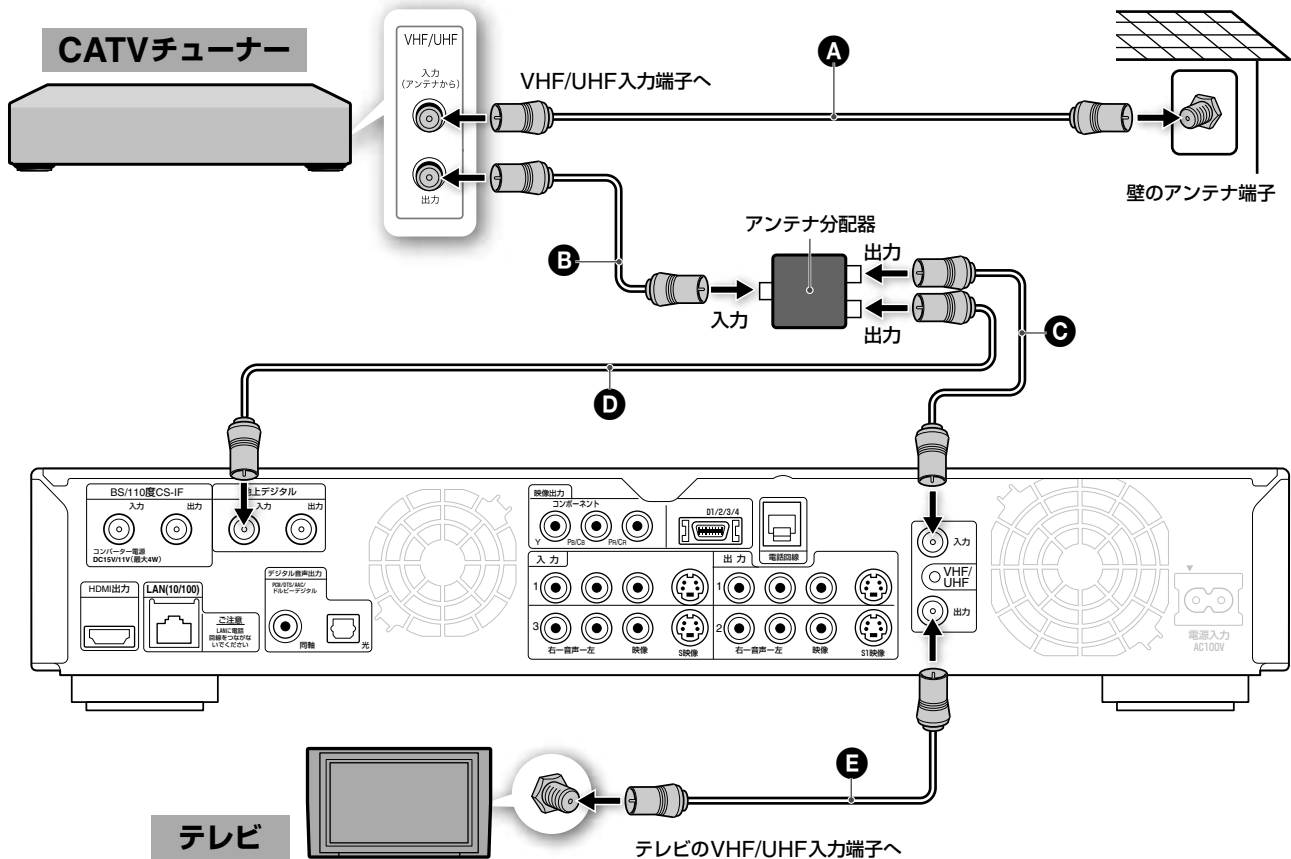
CATV経由で受信する場合の接続

ご注意はP21へ

パススルー方式とは

ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信するものです。パススルー方式には周波数を変換するものとそのままのものがあります。

ご契約のCATV局がパススルー方式の場合

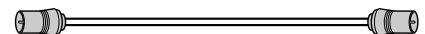
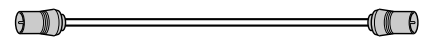
衛星アンテナの接続については、17ページをご覧ください。

接続手順

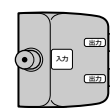
1. アンテナケーブルⒶでCATVチューナーのVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をつなぐ
2. アンテナケーブルⒷでCATVチューナーのVHF/UHF出力端子とアンテナ分配器をつなぐ
3. アンテナケーブルⒸでアンテナ分配器と本機のVHF/UHF入力端子をつなぐ
4. アンテナケーブルⒹでアンテナ分配器と本機の地上デジタル入力端子をつなぐ
5. アンテナケーブルⒺで本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ

接続に使用するケーブル類

付属品

アンテナケーブルⒺ 1本

別売品

アンテナケーブルⒶⒷⒸⒹ 4本

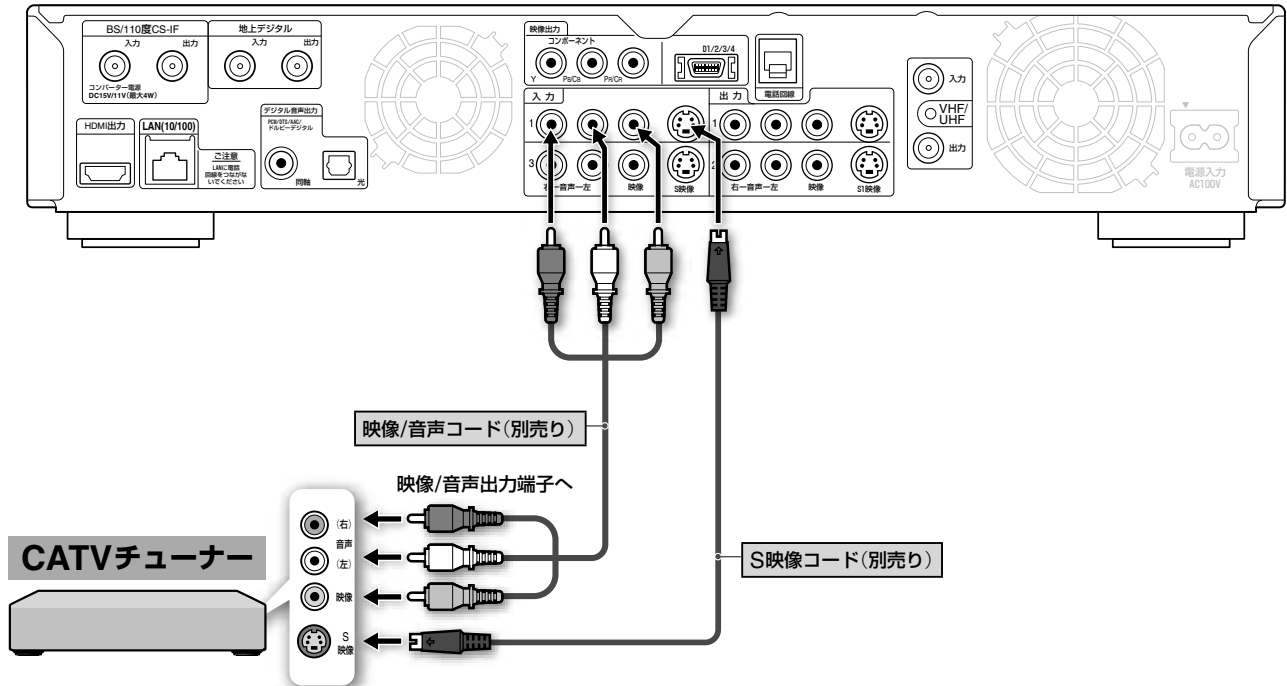
アンテナ分配器　1個
（EAC-DSD12など）

分配器とは
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルがより小さくなります。

ちょっと一言

お使いのテレビにVHF/UHF端子と地上デジタル端子が両方あるときは
本機の地上デジタル出力端子とテレビの地上デジタル入力端子をアンテナケーブルで接続し、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をアンテナケーブルで接続してください。

ご契約のCATV局がパススルー方式でない場合（トランスモジュレーション方式）

ご契約のCATV局がパススルー方式でない場合には、CATVチューナーやセットトップボックスなどの映像/音声出力端子と本機の映像/音声入力端子をつなぎます。

トランスモジュレーション方式とは
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式です。

S映像コードを使うときは
映像コード（黄）をはずしてください。
また、S映像コードを使うときは次の手順に従って、本機の設定を変更してください。

1. （ホーム）を押し、←→で を選ぶ。
2. ↑↓で［映像設定］を選び、（決定）を押す。
3. ［映像入力1］または［映像入力3］から接続している端子を選び、［S映像］にする。

CATVの映像を録画するには
CATVチューナーで、録画したいチャンネルを選びます。
本機前面のINPUT SELECTを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」、「LINE2」または「LINE3」を表示します。

ご注意

- パススルー方式で接続しない場合、本機は525i（480i）の標準テレビ放送信号で映像を録画します。ハイビジョン信号は録画できません。
- 本機はMUSEデコーダーと接続できません。
- CATV局の提供するサービス、接続状況によっては動作しないことがあります。詳しくはご契約されているCATV局にお問い合わせください。
- 本機のi.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合、本機のi.LINK端子と接続してもデジタル放送を録画することはできません。

ちょっと一言
前面入力端子につないだ場合は、S映像入力を自動的に判別するため、左記の設定は不要です。

きれいな画像をお楽しみいただくために

次のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

すでにBSアナログをご覧いただいているときは

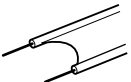
お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。
ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続（18ページ）を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。
- お住まいの地域や電波の状態によっては、地上デジタル放送を受信できない場合があります。
- 共同受信システムで地上デジタル放送が受信できない場合、マンション管理会社に確認してください。

BS・110度CSデジタル放送を受信するための接続についてのご注意

- ［かんたん初期設定］で［BS/CSアンテナ電源］を［自動］に設定し（38ページ）、テレビのコンバーター用電源も「入」にしてください。
- 110度CSデジタルを受信するには
  110度CSデジタル放送に衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および、共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。
  詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

BS・110度CS/VHF/UHFが一つの端子にまとまっている場合の接続についてのご注意

- ［かんたん初期設定］で［BS/CSアンテナ電源］を［切］に設定し（38ページ）、テレビのコンバーター用電源も「切」にしてください。
- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。必ず分波器を使用してください。
- 110度CSデジタル放送に共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタル放送は受信できます。
  詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

地上デジタル放送をCATV経由で受信する場合のご注意

本機は、CATV会社が地上デジタル放送を再送信するときの同一周波数パススルーおよび周波数変換パススルー全ての周波数に対応しています。
ご契約のCATV局がパススルー方式の場合は、本機の地上デジタルチューナーを利用して、ハードディスクにハイビジョン画質での録画ができます。（分波器が必要となる場合があります。）
詳しくはご契約のCATV局にお問い合わせください。

ご注意

- 画像の乱れを防ぐため、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- 画像の乱れを防ぐため、アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルに比べて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。

次のページにつづく⇨

- 次のようなときはBS･110度CSデジタル放送を受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - －お住まいの地域またはBS･110度CSデジタル放送を送信する放送衛星会社（49ページ）のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - －BS･110度CSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  - －強風などでアンテナの向きが変わったとき（BS･110度CSアンテナの向きを調整してください（133ページ）。）
- 本書記載の別売りアクセサリーは、2006年3月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- BS･110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、市販のサテライトブースターを本機と壁のVHF/UHF/BS/110度CS-IF端子の間につないでください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS･110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

［準備3］映像・音声コードを接続する

デジタル放送の画質について

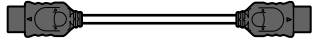
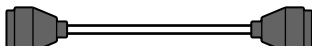
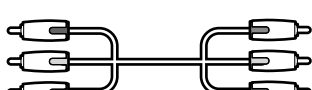
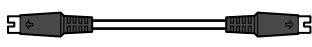
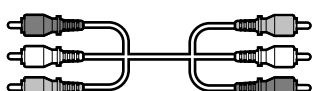
デジタル放送には、高画質のデジタルハイビジョン放送 HD と、標準テレビ放送 SD の2種類があります。それぞれの放送に2つずつ、下の表のように全部で4種類の画像方式があります。

デジタルハイビジョン放送 HD

画像方式	
1125i（1080i）	750p（720p）
総走査線数1125本（有効走査線数1080本）の奇数ラインと偶数ラインを約1/60秒ごとに交互に流す画像方式（飛び越し走査：インターレース方式）です。	総走査線数750本（有効走査線数720本）を順番どおりに描く画像方式（順次走査：プログレッシブ方式）です。画面や文字のチラつきが少ないため、静止画放送に適しています。

標準テレビ放送 SD

画像方式	
525p（480p）	525i（480i）
総走査線数525本（有効走査線数480本）を順番どおりに描く画像方式（順次走査：プログレッシブ方式）です。画面や文字のチラつきが少なくなります。	総走査線数525本（有効走査線数480本）の奇数ラインと偶数ラインを約1/60秒ごとに交互に流す画像方式（飛び越し走査：インターレース方式）です。

プログレッシブとインターレースについて

プログレッシブは画面全体を一回の走査で表示し、インターレースは画面全体を2回の走査に分けて表示します。そのためプログレッシブは、インターレースと比較すると画面のチラつきが小さくなります。

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

インターレース（飛び越し走査）、プログレッシブ（順次走査）の詳しい説明は、用語解説（176ページ）をご覧ください。

映像コードの種類と画質について

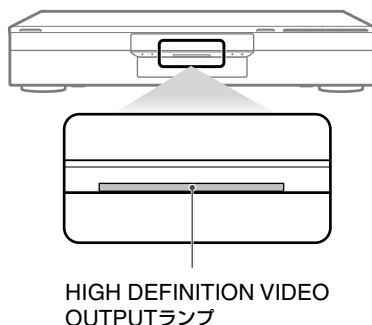
本機には数種類の接続端子が用意されています。お手持ちのテレビの接続端子に合わせて、本機とテレビを接続してください。デジタルハイビジョン機器をお持ちであればHDMI端子、D端子、コンポーネント端子に接続してください。

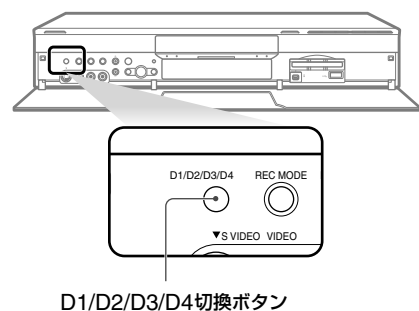
画質と接続に使う映像コード	表示できる放送の種類	接続方法
高画質 HDMIケーブル（別売り）	HD SD	HDMIケーブルで接続する（24ページ）
D映像コード（別売り）	HD SD	D映像コードで接続する（24ページ）
コンポーネント映像コード（別売り）	HD SD	コンポーネント映像コードで接続する（25ページ）
S映像コード（別売り）	SD	S映像コードで接続する（26ページ）
標準 映像/音声コード（付属）の映像コード（黄）	SD	映像コードで接続する（26ページ）

HIGH DEFINITION VIDEO OUTPUTランプについて

HIGH DEFINITION VIDEO OUTPUTランプは、本機が、D映像出力端子や、HDMI端子やコンポーネント映像出力端子で、1125i（1080i）、750p（720p）の映像信号を出力している場合に点灯します。

DVDビデオを再生時は、D映像出力端子や、コンポーネント映像出力端子では1125i（1080i）、750p（720p）の映像信号は出力しないため点灯しません。

HIGH DEFINITION VIDEO OUTPUTランプ

D1/D2/D3/D4切換ボタンについて

本機前面には、出力する映像信号の種類を切り換えるD1/D2/D3/D4切換ボタンがあります。本機とテレビを接続するケーブルや、お使いのテレビの種類によって出力する映像が異なります。D1/D2/D3/D4切換ボタンを使って、出力する映像の種類を切り換えてください。

D1/D2/D3/D4切換ボタン

HDMIケーブルで接続する HD SD

HDMIケーブル(別売り)1本で映像と音声を出力できます。デジタルで劣化の少ない高精細映像と音声が楽しめます。

1 HDMIケーブルを接続する。

2 **本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンで出力映像の設定を切り換える。**

デジタルハイビジョンテレビにつないだ場合、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押してD3を表示させてください。それ以外のテレビにつないだ場合、D2に切り換えてから、[映像設定]の[出力映像解像度設定]で[HDMI解像度優先]を選んでください(140ページ)。

ちょっと一言

- DVI機器を接続しても映像が出ないときは、本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンでD2に切り換えてから[映像設定]の[出力映像解像度設定]で[HDMI解像度優先]を選んでください。
- 市販のHDMI-DVIアダプターを取り付ければ、DVI端子のあるテレビなどに接続できます。DVI端子には音声信号が出力されないため、音声コードの接続が別途必要です。
- HDCP*に準拠していないDVI機器には接続できません。

* HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection):デジタル画像信号の暗号化方式で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

本機は、HDMI規格のバージョン1.1仕様に準拠しています。

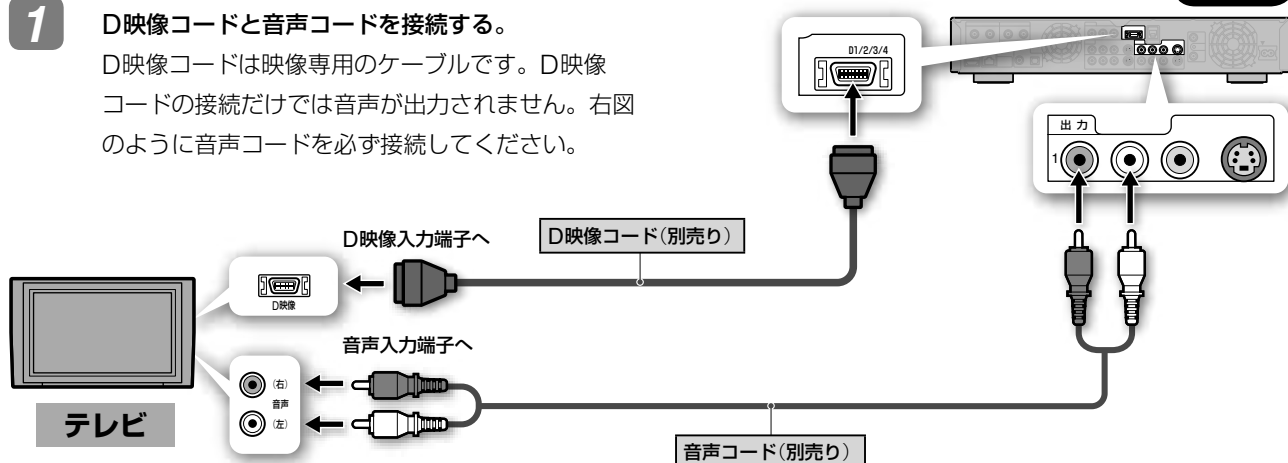
HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

D映像コードで接続する HD SD

D映像コード(別売り)1本でコンポーネント映像を出力でき、映像本来の色を忠実に再現します。

1 **D映像コードと音声コードを接続する。**

D映像コードは映像専用のケーブルです。D映像コードの接続だけでは音声が出力されません。右図のように音声コードを必ず接続してください。

本機後面
D1/2/3/4
出力
D映像入力端子へ
D映像コード(別売り)
D映像
音声入力端子へ
(右) 音声 (左)
テレビ
音声コード(別売り)

2 **本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンで出力映像の設定を切り換える。**

本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押すと、D端子からの出力信号は入力信号に応じて次のようになります。テレビに映像が映らない場合はD1を選んでください。

D1: 525i(480i)
D2: 525p(480p)/525i(480i)
D3: 1125i(1080i)/525p(480p)/525i(480i)
D4: 1125i(1080i)/750p(720p)/525p(480p)/525i(480i)

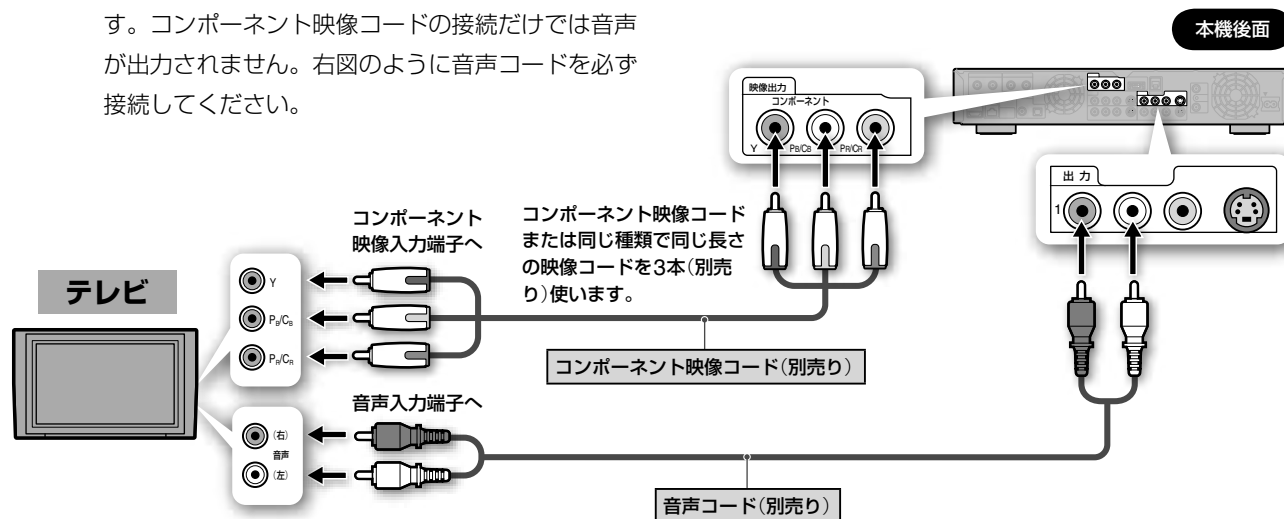
ご注意

- 本機をプログレッシブ(525p)方式に対応するテレビなどにつないでプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。詳しくは22、176ページをご覧ください。
- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力(Y/P_B/P_R)には対応していません。

コンポーネント映像コードで接続する HD SD

輝度(Y)、色差(P_B/C_B、P_R/C_R)信号がそれぞれ独立して出力されるので、映像本来の色を忠実に再現します。

1 **コンポーネント映像コードと音声コードを接続する。**

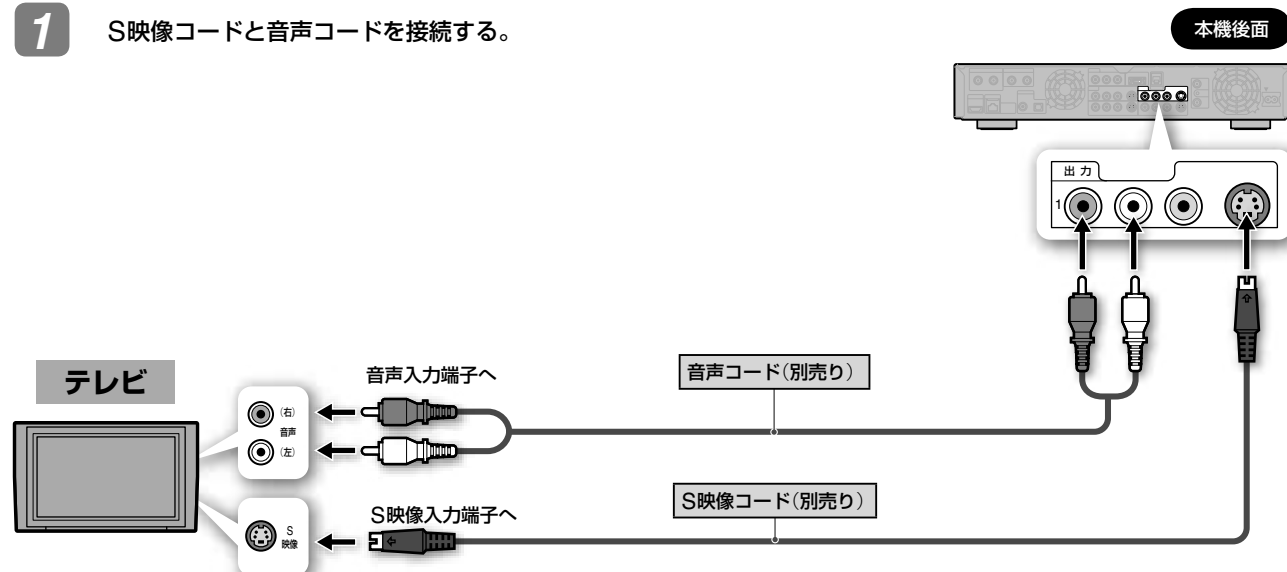
コンポーネント映像コードは映像専用のケーブルです。コンポーネント映像コードの接続だけでは音声が出力されません。右図のように音声コードを必ず接続してください。

2 **本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンで出力映像の設定を切り換える。**

本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押すと、コンポーネント端子からの出力信号は入力信号に応じて次のようになります。テレビに映像が映らない場合はD1を選んでください。

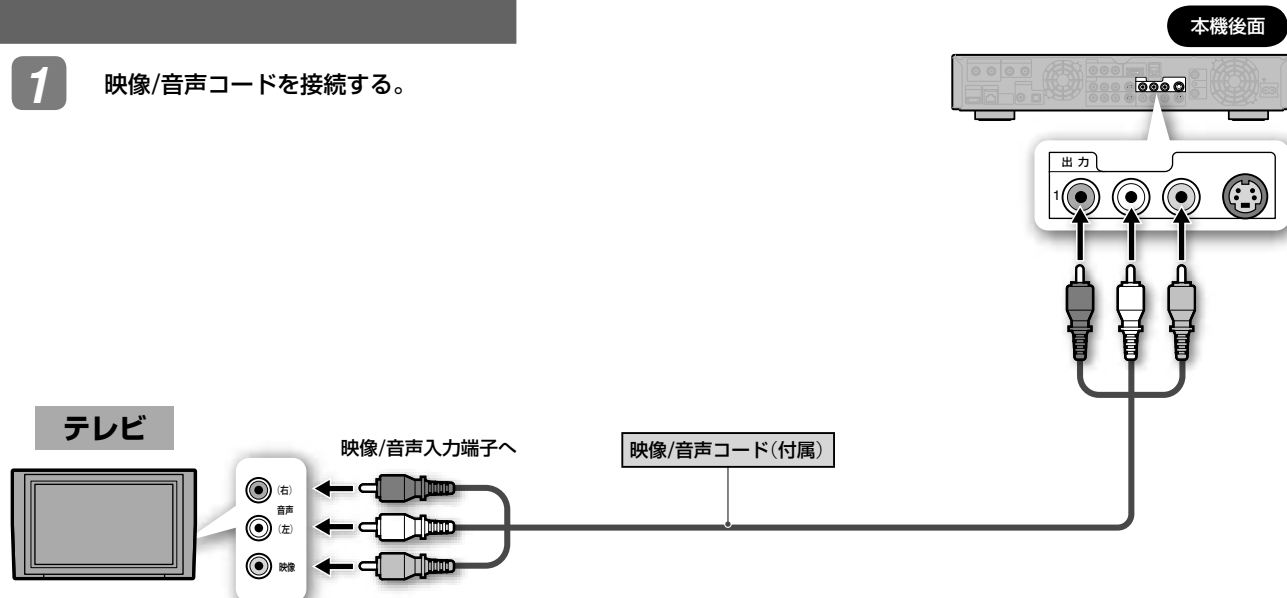
D1: 525i(480i)
D2: 525p(480p)/525i(480i)
D3: 1125i(1080i)/525p(480p)/525i(480i)
D4: 1125i(1080i)/750p(720p)/525p(480p)/525i(480i)

S映像コードで接続する SD

標準的な映像が楽しめます。S映像コード(別売り)を使うと、付属の映像コード(黄)よりきれいな映像が楽しめます。出力信号は525i(480i)固定となります。

1 S映像コードと音声コードを接続する。

映像コードで接続する SD

標準的な映像が楽しめます。

1 映像/音声コードを接続する。

ちょっと一言

モノラル音声テレビと接続するときは、別売りのステレオ·モノラル変換コードを使います。

［準備4］他機器を接続する

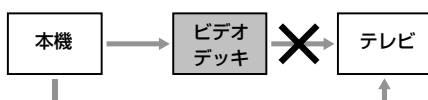
ビデオや外部チューナー、AVアンプ、ビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、ゲーム機など様々な外部機器を映像/音声端子につなげます。

ビデオデッキを接続する

ビデオ
VHF/UHF
入力（アンテナから）
出力
VHF/UHF 入力端子へ
アンテナケーブル（別売り）
アンテナ分配器（別売りEAC-DSD13など）
アンテナケーブル（別売り）
壁のアンテナ端子
アンテナケーブル（別売り）
アンテナケーブル（別売り）
出力2
出力1
地上デジタル 入力 出力
本機後面
入力
VHF/UHF
出力
入力
出力
映像/音声コード（別売り）
映像/音声コード（付属）
アンテナケーブル（付属）
入力1
VHF/UHF 入力端子へ
市販ビデオなどコピー防止信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオをテレビに直接つなぎます。
入力2
テレビ

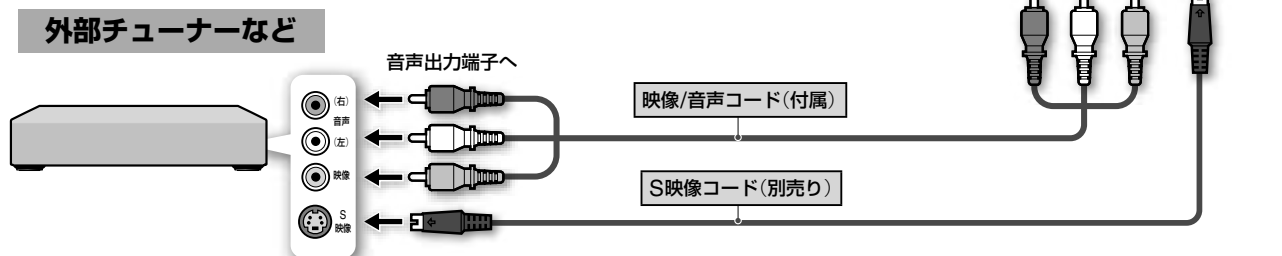
ビデオデッキの映像を録画するには
ビデオデッキで、録画したいチャンネルを選びます。本機前面のINPUT SELECTを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」、「LINE2」または「LINE3」を表示します。

ご注意

- 他の機器（ビデオなど）を接続する場合は、アンテナ分配器（別売り）をお使いください。
- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- HDMIケーブルやD映像コード、コンポーネント映像コード、S映像コードで本機とテレビを接続することもできます。本機とテレビの接続方法については、24、26ページをご覧ください。

外部チューナーなどを接続する

外部チューナーなどを本機の映像/音声入力端子につなぎます。

本機後面

入力

外部チューナーなど

音声出力端子へ

(右) 音声 (左) 映像 S映像

映像/音声コード(付属)

S映像コード(別売り)

S映像コードを使うときは

映像コード(黄)をはずしてください。

また、S映像コードを使うときは次の手順に従って、本機の設定を変更してください。

1. (ホーム)を押し、←→で を選ぶ。
2. ↑↓で[映像設定]を選び、(決定)を押す。
3. [映像入力1]または[映像入力3]から接続している端子を選び、[S映像]にする。

外部チューナーを接続する

本機でデジタルCS放送を録画できます。デジタルCS放送の受信には、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。外部チューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機は録画防止機能(コピーガード)に対応しています。
外部チューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては画像が乱れることがあります。この場合、外部チューナーを直接テレビにつないでください。

外部チューナーの映像を録画するには
外部チューナーで、録画したいチャンネルを選びます。本機前面のINPUT SELECTを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」、「LINE2」または「LINE3」を表示します。

ご注意

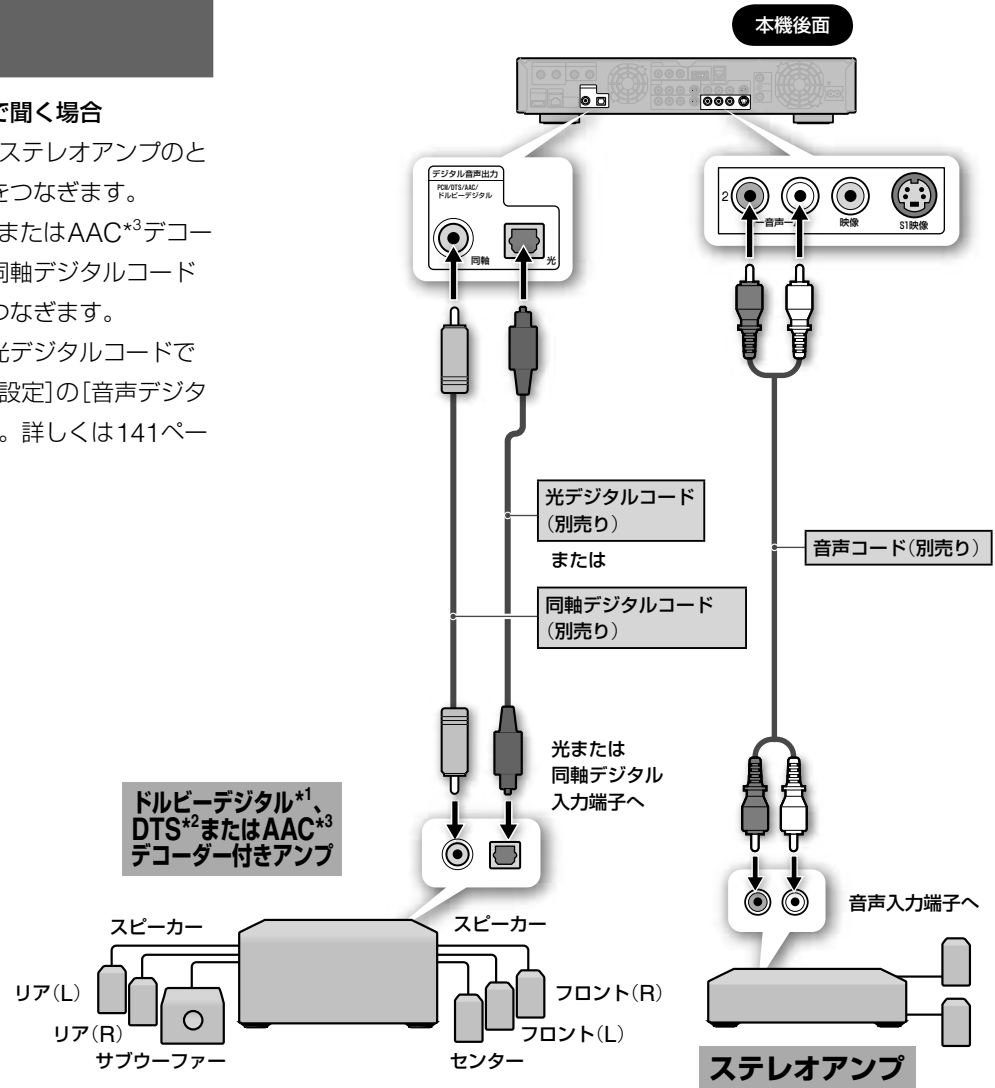
本機に外部チューナーを接続する場合、アナログ接続のみです。ご利用の外部チューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合、本機のi.LINK端子と接続してもデジタル放送を録画することはできません。

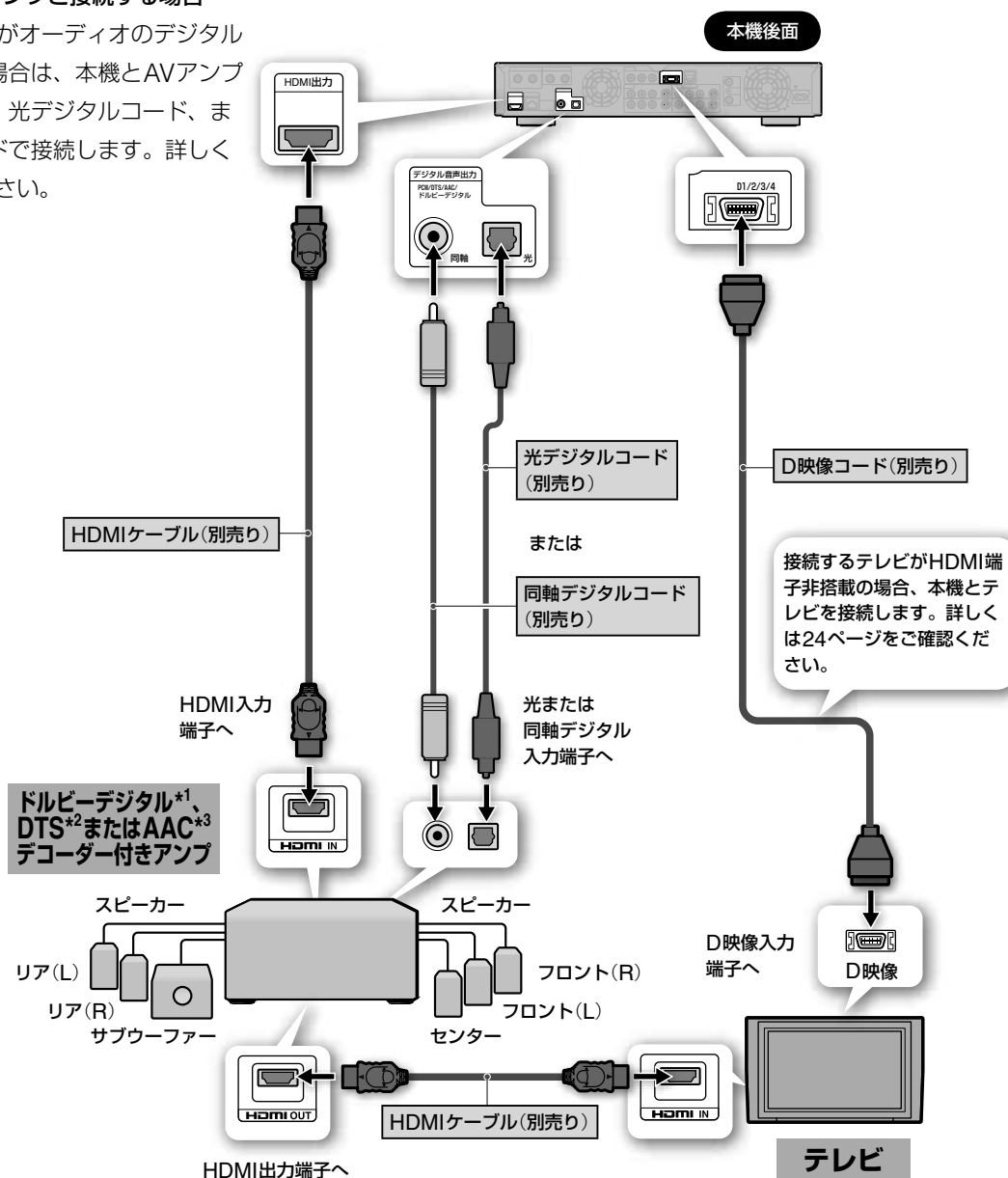
ちょっと一言

前面入力端子につないだ場合は、S映像入力を自動的に判別するため、上記の設定は不要です。

AVアンプを接続する

音声をアンプのスピーカーで聞く場合

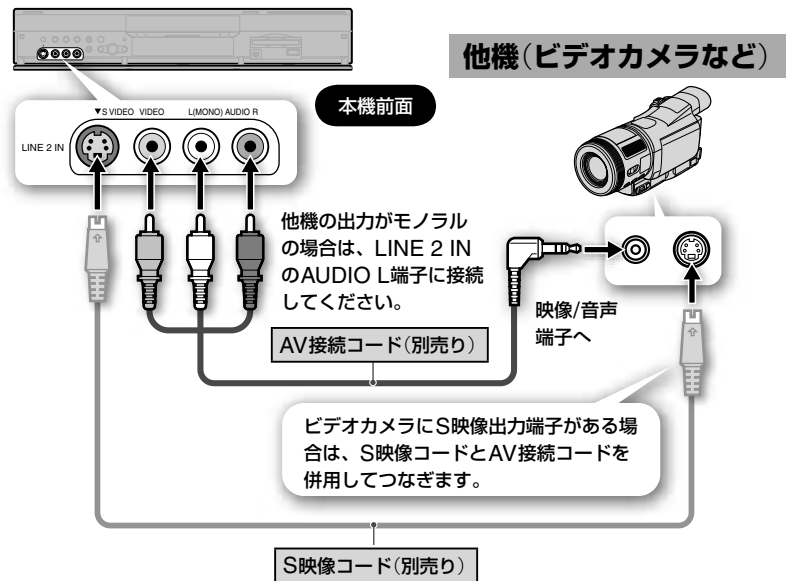
音声入力端子がL、Rのみのステレオアンプのときは、ステレオ音声コードをつなぎます。
ドルビーデジタル*[1]、DTS*[2]またはAAC*[3]デコーダー付きアンプのときは、同軸デジタルコードまたは光デジタルコードをつなぎます。
同軸デジタルコードまたは光デジタルコードで接続した場合、本機の[音声設定]の[音声デジタル出力]を変更してください。詳しくは141ページをご覧ください。

HDMIケーブルでAVアンプと接続する場合

AVアンプのHDMI端子がオーディオのデジタル入力に対応していない場合は、本機とAVアンプを同軸デジタルコード、光デジタルコード、またはステレオ音声コードで接続します。詳しくは29ページをご覧ください。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

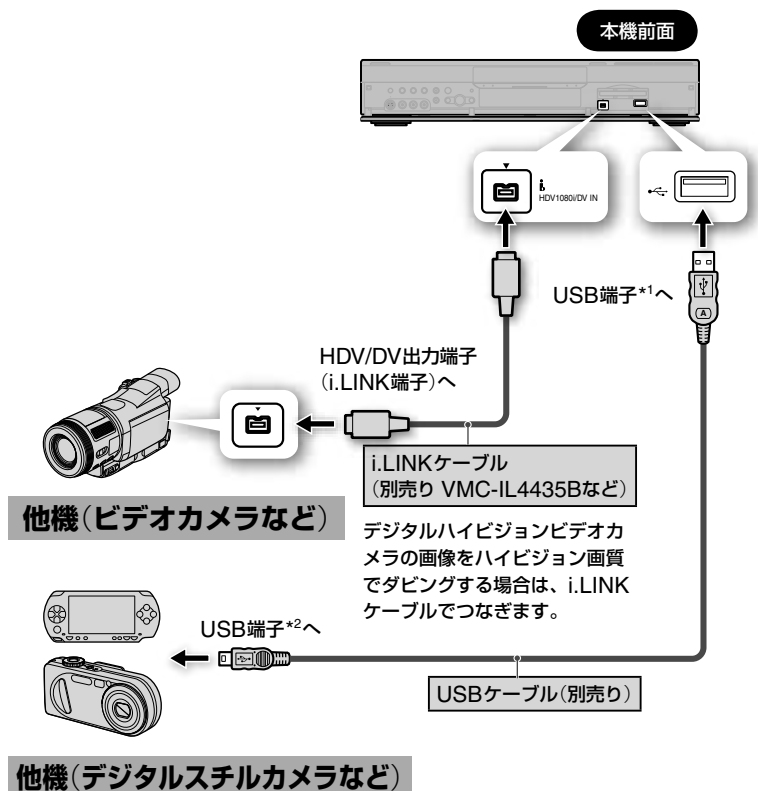
*2 DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

*3 AAC (Advanced Audio Coding)は、Moving Picture Experts Group (MPEG)において規格化された音声圧縮方式で、BS･110度CSデジタル放送や地上デジタル放送で使用されています。

ビデオカメラやゲーム機を接続する

ビデオカメラやゲーム機は本機前面のLINE2 IN端子につなぐと便利です。
HDV1080i/DV IN端子を使ったビデオカメラの接続は「DV端子やUSB端子（RDZ-D97A/D77Aのみ）を使って他機器を接続する」（下記）をご覧ください。
（本機の出力端子を他機の入力端子につないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子につながないでください。ブーンという音が出ることがあります。）

DV端子やUSB端子（RDZ-D97A/D77Aのみ）を使って他機器を接続する

HDVやDV出力端子（i.LINK端子）のあるデジタルビデオカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラなどの機器をお使いの場合は、本機前面のHDV1080i/DV IN端子につなぎます。
USB出力端子のあるデジタルスチルカメラや"PSP"などをお使いの場合は、本機前面のUSB端子につなぎます（RDZ-D97A/D77Aのみ）。
（本機の出力端子を他機の入力端子につないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子につながないでください。ブーンという音が出ることがあります。）

デジタルハイビジョンビデオカメラの場合は、撮影したハイビジョン映像をハードディスクにそのままの画質でダビングできます。

*1 端子タイプA
*2 端子タイプミニB（PSP）またはB、独自規格（デジタルスチルカメラ）

ご注意

- 本機のHDV1080i/DV IN端子は入力専用です。
- 本機のHDV1080i/DV IN端子はデジタルビデオカメラやデジタルハイビジョンカメラに、USB端子はデジタルスチルカメラや"PSP"などに接続してください。
- 本体表示窓でHDD表示とUSB表示の間にダビング転送表示が点滅しているときは、USBケーブルを抜かないでください。
- 使用方法や接続時のご注意は、接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 本機とUSB接続してお使いいただける機器の最新情報については、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdrecorder/support/compati/

［準備5］デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる

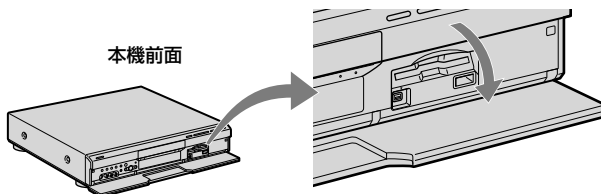
デジタル放送用ICカード（B-CAS（ビーキャス）*カード）は、お客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

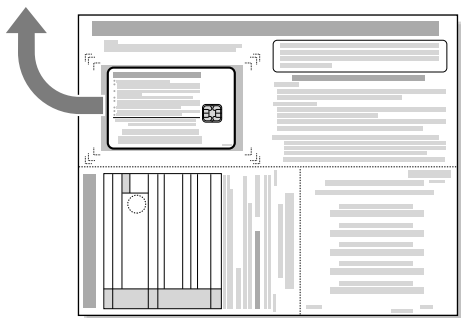
2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組やPPV番組（59ページ）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 本機前面のふたを開ける。

2 同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

3 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと書かれた面を本機上面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

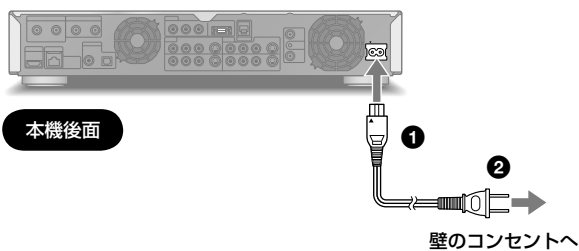
4 本機前面のふたを閉める。

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函することをおすすめします。

ご注意

B-CASカードを取り出すときは、電源を切ってから取り出してください。

［準備6］電源コードを接続する

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。下図の❶、❷の順につなぎます。
電源コードをつなぐと、本機が動作します。動作中に振動や衝撃を与えると、ハードディスクが故障することがあります。必ず❶の接続を行い、設置が完了してから❷の接続を行ってください。

電源コードをつないだらそのまましばらくお待ちください。
電源コードを接続すると、本機の電源が自動的に入ったあと、電源が切れます。
時計が表示窓に点灯したら電源を入れてください。
表示窓が点灯しても本機を操作できるまで、しばらく時間がかかることがあります。

電源を入れる

電源を入れると、本体の表示窓は次のように表示されます。
それ以外については183ページをご覧ください。

電源ボタンを押して電源を「入」にすると

WELCOME

起動中

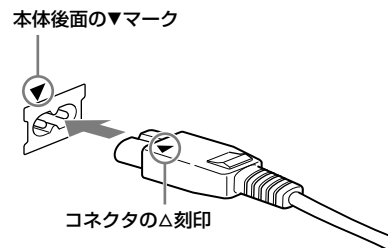
PLEASE WAIT

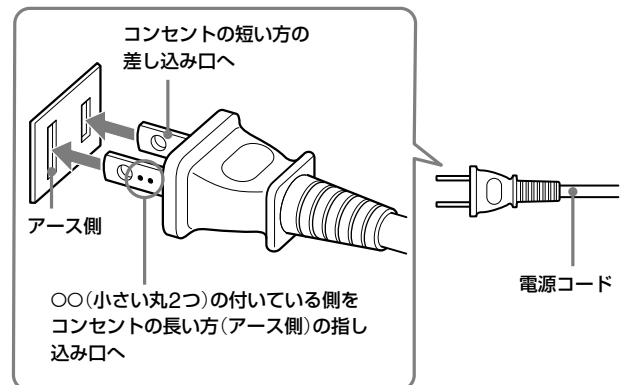
「PLEASE WAIT」は本機が起動するまで表示されます。
表示が消えるまで、お待ちください。

電源コードの極性について（RDZ-D97A/D77Aのみ）

各機器の電源コードの極性を次のように合わせて接続することで、より良い音質で音楽を楽しめます。

AC IN端子への接続

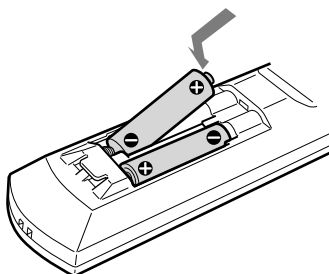
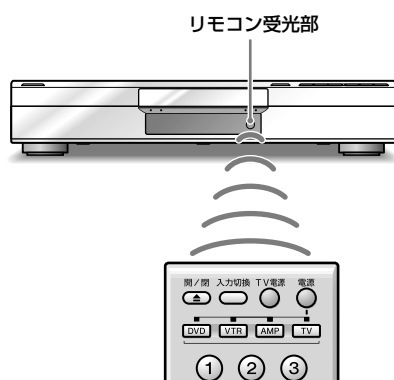
電源コードのコネクタに∆マークの刻印があります。この刻印が本体後面のAC IN端子に印刷された▼マークと合う向きで電源コードを接続してください。

コンセントへの接続

電源コードの一方にOOが付いています。OOが付いている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。

ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものがありますが、その場合はどちらの向きに差し込んでも問題はありません。

ちょっと一言

本機の電源を「入」にしたときに未読メール（151ページ）がある場合は、本機がお知らせします。

[準備7] リモコンを準備する

リモコンに単3形(R6)乾電池(付属)を2個入れます。⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせます。

リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部 ■ に向けて操作します。

ご注意

- リモコンを使うときは、リモコン受光部 ■ に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- 本機を操作する場合は、必ず DVD を押し、「DVD」に切り換えてください。「DVD」以外の操作機器切換用ボタンが点灯していると本機の操作はできません。

本機のリモコンで他機器を操作する

リモコンの機器モードを切り換えることで、一時的にテレビやビデオ、アンプの操作ができるようになります。

1 **VTR (VTR)、AMP (AMP)、TV (TV)を押して、操作したい他機器の機器モードに切り換える。**
選んだ操作機器切換用ボタンのランプが30秒間点灯します。
ランプ点灯中は、本機のリモコンで他機器の操作ができます。30秒経過すると、自動的に機器モードがDVDモードに戻ります。

DVDモードのときにアンプやテレビの音量を調整できるようにするには

アンプやテレビのメーカー番号を本機のリモコンに登録すると、DVDモードのときでも音量の +/− でアンプやテレビの音量を調整することができます。

1 **DVD (DVD)を押しながら、画面表示 (画面表示)を押す。**

2 **操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したい機器のメーカー番号(3桁)を押す。**
「870」を入力するときは、リモコンの ⑧、⑦、⑩ を順番に押してください。

テレビの音量を調整したいときは
「850」を入力してください。TVモードに登録されているメーカーのテレビの音量を調整することができます。

アンプの音量を調整したいときは
次の表より音量を調整したいアンプのメーカー番号を入力してください。

登録できるアンプのメーカー番号

メーカー	メーカー番号
ソニー	851　852　853　854
オンキョー	861　862　863
デノン	864　865　866
サンスイ	867
ケンウッド	868　869
ヤマハ	870　871　872
松下	873　874
パイオニア	875

上記のアンプのメーカー番号は AMP (AMP)に登録できません。

3 **決定 (決定)を押す。**

本機のリモコンで操作したい他機器を登録する

本機では、操作機器切換用ボタンに対して各メーカーの機器を登録することができます。
操作機器切換用ボタンによって登録できる機器が異なります。

1 **VTR (VTR)、AMP (AMP)または TV (TV)を押しながら、画面表示 (画面表示)を押す。**

2 **操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したい機器のメーカー番号(3桁)を押す。**
「901」を入力するときは、リモコンの ⑨、⑩、① を順番に押してください。

3 **決定 (決定)を押す。**
登録できたときは、操作機器切換用ボタンが2回点滅します。
登録に失敗したときは、操作機器切換用ボタンが5回素早く点滅します。

TV (TV)で登録できるメーカー番号

メーカー	メーカー番号
ソニー	901*　912
アイワ	917
松下	902　913
東芝	903
日立	904
三菱	905
ビクター	906
サンヨー	907　915
シャープ	908　916
NEC	909
パイオニア	910
富士通ゼネラル	911
フナイ	914
三星電子(SAMSUNG)	918　919

* お買い上げ時の設定

ちょっと一言

- ソニー製、アイワ製テレビをお使いの場合は、①～⑫ の数字ボタンでチャンネルを切り換えられる機種があります。
- メーカー番号901のソニー製をお使いの場合、本機に付属のリモコンの数字ボタンでテレビのチャンネルを切り換えることができます。メーカー番号901のソニー製テレビには、R マークが付いています。
- 電源 (電源)、チャンネル +/− (チャンネル+/–)、音量 +/− (音量+/–)、入力切換 (入力切換)は、ソニー製以外のテレビでも使用できます。

メーカー登録番号を901で登録すると

“XMB”(クロスメディアバー)搭載のソニー製テレビを操作することができます。2006年3月現在、次の“XMB”(クロスメディアバー)搭載のソニー製テレビに対応しています。

＜プラズマテレビ＞
KDE-P50HVX, KDE-P42HVX, KDE-P37HVX
＜液晶テレビ＞
KDL-46X1000、KDL-40X1000、KDL-L40HVX, KDL-L32HVX, KDL-L26HVX
＜QUALIA＞
KDX-46Q005, KDX-40Q005, KDS-70Q006

ご注意

- メーカー番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。
- 10秒以内に次の操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。
- ソニー以外のメーカーの複合機器を登録するときは、電源スイッチを押す前に操作機器切換用ボタンを押さないと電源が入らないものもあります。

VTR (VTR)と AMP (AMP)に登録できるビデオ機器

VTR (VTR)と AMP (AMP)に、次のメーカー番号のビデオ機器を登録することができます。

メーカー	メーカー番号
ソニー	001　002　003*1　004　005　006　201*2
アイワ	037　038　039　040　049
松下	010*2　011*2　012*2　013　014
東芝	015*2　016*2　017　018
日立	019　020　021　022*2
三菱	023*2　024*2　025　026
ビクター	027*2　028*2　029*2　030*2　031　032
サンヨー	033*2　034　035　036
シャープ	041*2　042　043
NEC	045　046　047　048
フナイ	044*2

*1 お買い上げ時の設定
*2 DVD一体型ビデオ

VTR (VTR)と AMP (AMP)に登録できるソニー製のその他の機器

VTR (VTR)と AMP (AMP)に、次のメーカー番号のソニー製のその他の機器を登録することができます。

機種	メーカー番号
ハードディスクレコーダー	301　302　303　304　308
ブルーレイディスクレコーダー	501　502　503
ホームシアターシステム	601　602　603　604
AVアンプ	651*　652　653
デジタルCS放送チューナー	701
PSX	801　802　803

* お買い上げ時の設定

ご注意

- アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードで登録してください。
- 本機のリモコンでは、機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できない機器があります。そのような場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器にない場合は、そのボタンは働きません。

次のページにつづく⇨

自動的に機器モードがDVDモードに戻らないようにする

お買い上げ時の設定では、操作機器切換用ボタンを押すと、30秒後に自動的にDVDモードに戻ります。
次の設定を行うと、操作機器切換用ボタンで選択した機器の設定に固定することができます。

1 **(TV電源)を押しながら、音量の –、チャンネルの – の順番で3つを同時に押す。**
4つの操作機器切換用ボタンが全て点灯します。
手を離してランプが消灯すれば設定は完了です。
もう一度上記手順を行えば30秒後に自動的にDVDモードに戻るようになります。

リモコンの設定をお買い上げ時の設定に戻す

1 **リモコンのふたを開け (時間表示)押しながら、 (TV電源)、 (決定)の順番で3つを同時に押す。**
4つの操作機器切換用ボタンが全て点灯します。
手を離してランプが消灯すれば設定は完了です。

複数のソニー製のDVD機器を使う

リモコンがお手持ちの他のDVD機器を操作してしまう場合、本体とリモコンのリモコンモードを他のDVD機器と違うリモコンモードに設定します。
本体とリモコンのリモコンモードは、お買い上げ時には「DVD3」に設定されています。

1 **(ホーム)を押す。**
2 **←→で を選ぶ。**
3 **↑↓で[本体設定]を選び、 (決定)を押す。**
4 **↑↓で[リモコンモード]を選び、 (決定)を押す。**
5 **リモコンモード(DVD1/DVD2/DVD3)を選び、 (決定)を押す。**
6 **リモコンの扉を開け、リモコンモードスイッチを、手順5で設定した本体のリモコンモードに切り換える。**

本機とリモコンのリモコンモードの設定が異なるときは

本機とリモコンのリモコンモードの設定が異なっている状態でリモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に現在本機で設定されているリモコンモードが次のように表示されます。

DVD3

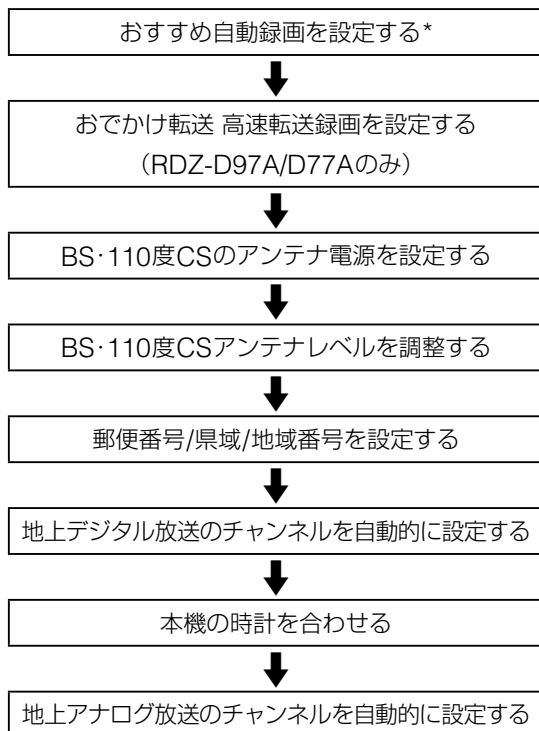
ご注意

「DVD1」にするとソニー製のDVDプレーヤーを操作できますが、付属のリモコンに「DVDポータブル」および「ビデオ/DVDコンボ」と表記のあるDVDプレーヤーは、本機のリモコンでは操作できません。

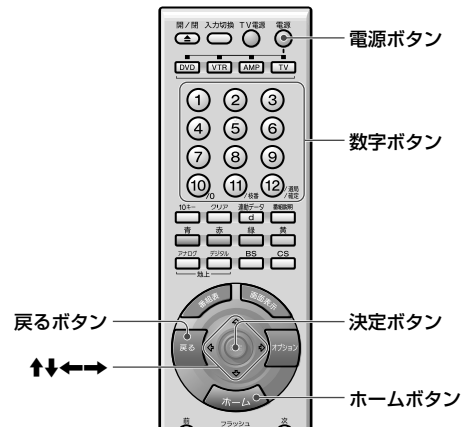
本体のリモコンモードを変更していない場合は、リモコンのリモコンモードはお買い上げ時のDVD3にしてください。DVD1、DVD2に変更すると、本機の操作ができなくなります。

［準備8］かんたん初期設定をする

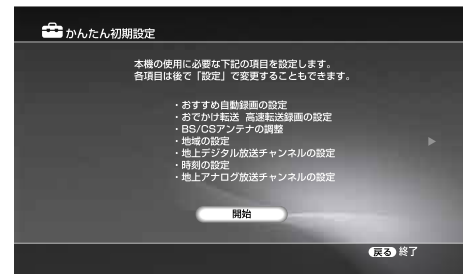
お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れると、かんたん初期設定が表示されます。
かんたん初期設定で、本機を使うための基本的な設定をします。本機を使う前に必ずかんたん初期設定を行なってください。
引越しなどによりお住まいの地域がかわったときなども、かんたん初期設定を行ってください。

かんたん初期設定は次の流れで行います。

* 「おすすめ自動録画を設定する」は、お買い上げ後はじめて電源を入れたときのみ表示されます。

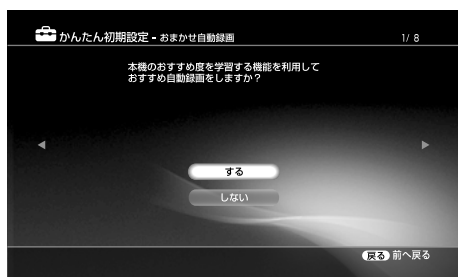
ちょっと一言

- かんたん初期設定を正常に終了しないと、電源を入れるたびに、かんたん初期設定画面が表示されます。
- かんたん初期設定を途中で終えなければならない場合は、（ホーム）か（戻る）を押すと、それまでの設定内容を保存して途中終了できます。
- かんたん初期設定を正常に行うと、次に電源を入れたときにはかんたん初期設定画面が表示されません。再度設定しなおすときは、（ホーム）を押して の「かんたん初期設定」を選んでください。
- 設定を使うと設定項目を個別に設定することもできます。
- 画面上に◀、▶が表示されているときは、←→で、前の画面／次の画面に移動できます。

1 **テレビの電源を入れ、本機の画像が映るようにテレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **（電源）を押す。**
かんたん初期設定画面が表示されます。
表示されないときは、（ホーム）を押して の［かんたん初期設定］を選びます。

3 **（決定）を押す。**
かんたん初期設定が始まります。
お買い上げ後、はじめて（電源）を押した後のRDZ-D97Aの画面

かんたん初期設定画面が表示されないときは、手順**1**に戻り、テレビの入力が正しい入力になっているか確認してください。

次のページにつづく⇨

4 **↑↓で項目を選び、(決定)(決定)を押す。**

▶項目一覧

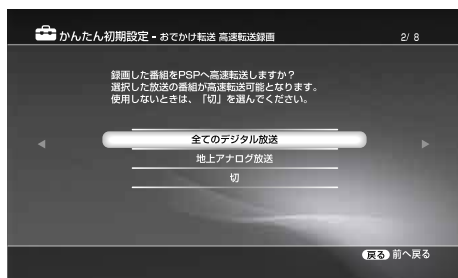
●する

お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組(77ページ)を自動録画します。有料番組以外のすべてのチャンネルを対象に、デジタル放送はDRモード、アナログ放送はSPモードで自動録画します。

しない

本機がおすすめする番組を自動録画しません。

- RDZ-D97A/D77Aのとき
  項目を選び (決定)(決定)を押すと、「おでかけ転送 高速転送録画」(107ページ)の設定画面が表示されます(手順5)。
- RDZ-D87のとき
  項目を選び (決定)(決定)を押すと、BS･110度アンテナ電源の設定画面が表示されます(手順6)。

5 **↑↓で項目を選び、(決定)(決定)を押す。**

▶項目一覧

●全てのデジタル放送

すべてのデジタル放送の番組録画中に、おでかけ転送用の映像(“PSP”転送用動画ファイル)を同時作成します。

地上アナログ放送

地上アナログ放送の番組録画中に、おでかけ転送用の映像(“PSP”転送用動画ファイル)を同時作成します。

切

番組の録画中に、おでかけ転送用の映像(“PSP”転送用動画ファイル)を同時作成しません。

ご注意

[全てのデジタル放送]または[地上アナログ放送]を選んでいても、“PSP”転送用動画ファイルが同時作成されない場合があります。

項目を選び (決定)(決定)を押すと、BS･110度アンテナ電源を設定する画面が表示されます。

6 **↑↓で項目を選び、(決定)(決定)を押す。**

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

▶項目一覧

●自動

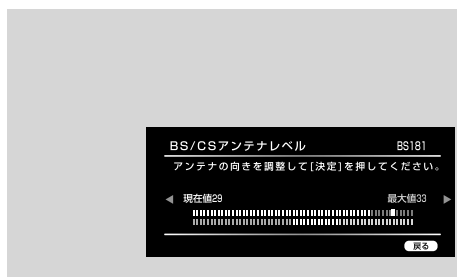
本機の電源を入れたときに、本機がBS･110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。テレビ側で電源供給している場合もこちらを選びます。

切

マンションなどの共同受信システムのときに選びます。BS･110度CSアンテナ用のコンバーター電源を供給しません。

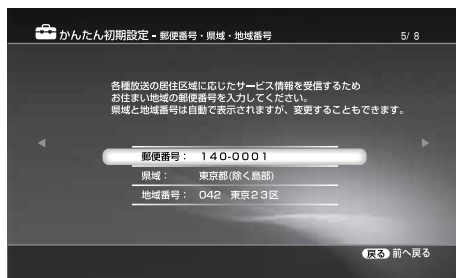
項目を選び (決定)(決定)を押すと、BS/110度CSアンテナレベルの画面が表示されます。

7 **アンテナレベルを確認し、(決定)(決定)を押す。**

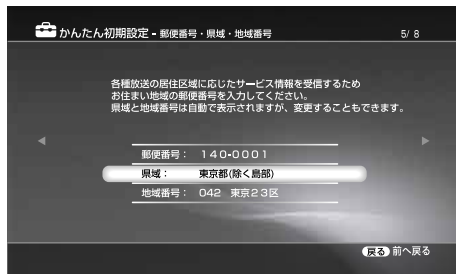
アンテナレベルが低いときは、BS･110度CSデジタル放送の画像がテレビに映った状態で、[最大値]の数字がより大きくなるように衛星アンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

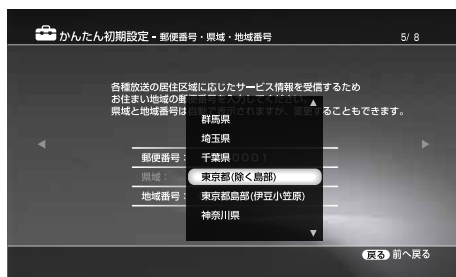
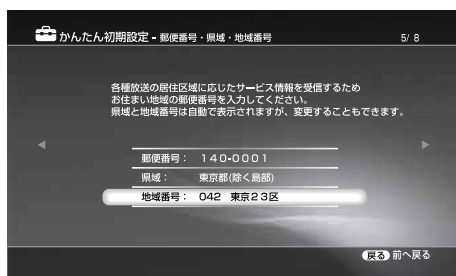
「BS/CSアンテナレベル」は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値を表します。

(決定)(決定)を押すと、郵便番号や県域、地域番号を設定する画面が表示されます。

8　**↑↓で郵便番号の欄を選び、決定（決定）を押す。**

9　**↑↓または ①～⑩ で郵便番号を入力し、決定（決定）を押す。**

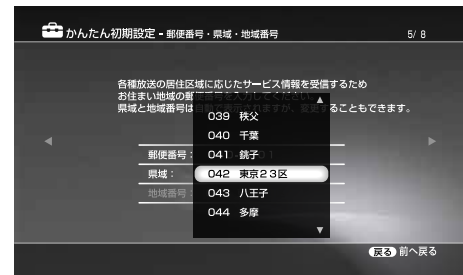
←→で桁を移動します。

10　**↑↓で県域の欄を選び、決定（決定）を押す。**

11　**↑↓でお住まいの県域を選び、決定（決定）を押す。**

お住まいの地域に近い県域を自動的に選択しますが、正しい県域が選ばれているか念のため確認してください。

12　**↑↓で地域番号の欄を選び、決定（決定）を押す。**

13　**↑↓でお住まいの地域を選び、決定（決定）を押す。**

同じ放送局でも地域によってチャンネルが異なります。その地域で番組や地上波の番組表を受信できるチャンネルを設定するために地域番号を入力します。

お住まいの地域に近い地域を自動的に選択しますが、正しい地域が選ばれているか念のため確認してください。

地域の選択で迷ったときは、「Gガイド地域番号·放送局表」（41ページ）をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。

ご注意

地域番号を変えると、番組表を使った録画予約が正しく行なえなくなります。

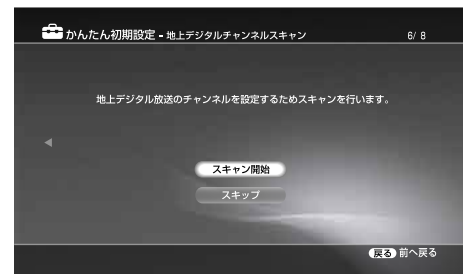
14　**地域番号を設定したら、→を押す。**

チャンネルスキャンの開始画面が表示されます。

15　**↑↓で［スキャン開始］を選び、決定（決定）を押す。**

決定（決定）を押すと、チャンネルスキャンが始まります。

終了すると、設定されたチャンネル番号と放送局の一覧が表示されます。

次のページにつづく⇨

16 チャンネルの設定内容を確認したら、決定（決定）を押す。

↑↓でスクロールして設定内容をすべて確認してください。

17 表示されている時刻を確認して、決定（決定）を押す。

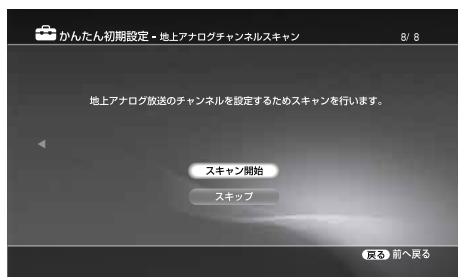
決定（決定）を押すと、地上アナログ放送の自動チャンネル設定画面が表示されます。

自動的に時刻を設定できなかったときは

時刻を設定する画面が表示されます。↑↓←→で現在の時刻を入力します。

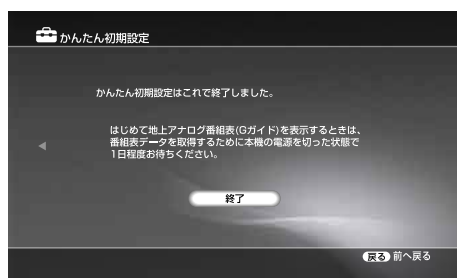
ご注意

時刻設定が間違っていると、録画予約を行っても、設定した日時で録画されなかったり、番組表データが取得できません。

18 ↑↓で［スキャン開始］を選び、決定（決定）を押す。

決定（決定）を押すと、チャンネルスキャンが始まります。

終了すると、設定されたチャンネル番号と放送局の一覧が表示されます。

→を押すと、かんたん初期設定の終了画面が表示されます。

19 決定（決定）を押す。

かんたん初期設定が終了します。

1つ前の手順に戻るには

設定中に、戻る（戻る）を押します。

地上アナログ放送をCATVで受信しているときは

かんたん初期設定終了後に、本機で受信できるCATVのチャンネルを追加してください（132ページ）。
CATVチューナーを使用しないで本機を直接CATVのアンテナ端子とつないでいる場合は、Gガイド地域番号（41ページ）をご契約のCATV局にお問い合わせください。

ご注意

かんたん初期設定をした後、1日たっても時計の自動補正（ジャストクロック）が働かないときは、［ジャストクロック］の設定が［切］になっていることがあります。「時計を自動補正する」（146ページ）をご覧になり、［ジャストクロック］の設定を［入］に変更してください。

Gガイド地域番号・放送局表

● の付いている放送局（ホスト局）から番組表データが送信されています（2006年3月現在）。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
北海道	札幌（江別）	001	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			TVh	17	17	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	小樽	002	NHK教育	2	2	346
			HTB	4	4	291
			STV	7	7	261
			HBC●	9	9	257
			NHK総合	11	11	336
			TVh	24	24	273
			UHB	26	26	283
	旭川	003	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	33	33	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	名寄	004	NHK総合	4	4	336
			STV	6	6	261
			HBC●	10	10	257
			NHK教育	12	12	346
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			TVh	33	33	273
	稚内	005	HBC●	10	10	257
			STV	22	22	261
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			NHK総合	28	28	336
			NHK教育	30	30	346
			TVh	33	33	273
	室蘭	006	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	29	29	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	苫小牧	007	TVh	47	47	273
			NHK教育	49	49	346
			NHK総合	51	51	336
			UHB	53	53	283
			HBC●	55	55	257
			STV	57	57	261
			HTB	61	61	291
	函館	008	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			NHK教育	10	10	346
			STV	12	12	261
			TVh	21	21	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	帯広	009	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			STV	10	10	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	32	32	283
			HTB	34	34	291
	釧路	010	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	29	29	273
			HTB	39	39	291
			UHB	41	41	283
	網走	011	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	北見	012	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	53	53	257
			UHB	59	59	283
			HTB	61	61	291

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
青森	青森（弘前）	013	青森放送	1	1	513
			NHK総合	3	3	592
			NHK教育	5	5	602
			青森朝日	34	34	290
			青森テレビ●	38	38	294
	八戸	014	NHK教育	7	7	602
			NHK総合	9	9	592
			青森放送	11	11	513
			青森朝日	31	31	290
			青森テレビ●	33	33	294
	むつ	015	NHK総合	4	4	592
			青森放送	10	10	513
			NHK教育	12	12	602
			青森朝日	56	56	290
			青森テレビ●	58	58	294
岩手	盛岡	016	NHK総合	4	4	848
			IBC●	6	6	262
			NHK教育	8	8	858
			岩手朝日テレビ	31	31	276
			めんこい	33	33	289
			テレビ岩手	35	35	547
	釜石	017	NHK総合	2	2	848
			IBC●	10	10	262
			NHK教育	12	12	858
			テレビ岩手	58	58	547
			めんこい	60	60	289
			岩手朝日テレビ	62	62	276
	二戸	018	IBC●	2	2	262
			NHK総合	5	5	848
			NHK教育	12	12	858
			岩手朝日テレビ	27	27	276
			めんこい	29	29	289
			テレビ岩手	37	37	547
宮城	仙台	019	東北放送●	1	1	769
			NHK総合	3	3	1104
			NHK教育	5	5	1114
			仙台放送	12	12	268
			東日本放送	32	32	288
			宮城テレビ	34	34	546
	石巻	020	NHK教育	49	49	1114
			NHK総合	51	51	1104
			宮城テレビ	55	55	546
			仙台放送	57	57	268
			東北放送●	59	59	769
			東日本放送	61	61	288
	気仙沼	021	NHK総合	2	2	1104
			東北放送●	4	4	769
			仙台放送	6	6	268
			NHK教育	10	10	1114
			宮城テレビ	37	37	546
			東日本放送	43	43	288
秋田	秋田	022	NHK教育	2	2	1370
			NHK総合	9	9	1360
			秋田放送	11	11	267
			秋田朝日	31	31	287
			秋田テレビ●	37	37	293
	大館	023	NHK総合	4	4	1360
			秋田放送	6	6	267
			NHK教育	8	8	1370
			秋田テレビ●	57	57	293
			秋田朝日	59	59	287
	大曲	024	秋田朝日	41	41	287
			NHK教育	43	43	1370
			NHK総合	45	45	1360
			秋田放送	47	47	267
			秋田テレビ●	51	51	293
山形	山形	025	NHK教育	4	4	1626
			NHK総合	8	8	1616
			山形放送	10	10	266
			SAY	30	30	286
			テレビユー山形●	36	36	292
			山形テレビ	38	38	550
	鶴岡（酒田）	026	山形放送	1	1	266
			NHK総合	3	3	1616
			NHK教育	6	6	1626
			テレビユー山形●	22	22	292
			SAY	24	24	286
			山形テレビ	39	39	550

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
山形	米沢	027	NHK教育	50	50	1626
			NHK総合	52	52	1616
			山形放送	54	54	266
			テレビユー山形●	56	56	292
			山形テレビ	58	58	550
			SAY	60	60	286
福島	福島（郡山）	028	NHK教育	2	2	1882
			NHK総合	9	9	1872
			福島テレビ	11	11	523
			テレビユー福島●	31	31	543
			福島中央テレビ	33	33	545
			福島放送	35	35	803
	いわき	029	NHK総合	4	4	1872
			福島テレビ	8	8	523
			NHK教育	10	10	1882
			福島中央テレビ	58	58	545
			福島放送	60	60	803
			テレビユー福島●	62	62	543
	会津若松	030	NHK総合	1	1	1872
			NHK教育	3	3	1882
			福島テレビ	6	6	523
			福島中央テレビ	37	37	545
			福島放送	41	41	803
			テレビユー福島●	47	47	543
茨城	水戸	031	MXテレビ	14	14	270
			テレビ東京	32	32	524
			テレビ朝日	36	36	522
			フジテレビ	38	38	264
			ちばテレビ	39	39	302
			TBS●	40	40	518
			日本テレビ	42	42	260
			NHK総合	44	44	2128
			NHK教育	46	46	2138
	日立	032	MXテレビ	14	14	270
			ちばテレビ	39	39	302
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS●	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524
栃木	宇都宮	033	MXテレビ	14	14	270
			とちぎテレビ	31	31	535
			テレビ朝日	41	41	522
			テレビ東京	44	44	524
			NHK教育	49	49	2138
			NHK総合	51	51	2128
			日本テレビ	53	53	260
			TBS●	55	55	518
			フジテレビ	57	57	264
	矢板	034	MXテレビ	14	14	270
			NHK教育	30	30	2138
			とちぎテレビ	33	33	535
			日本テレビ	36	36	260
			NHK総合	40	40	2128
			TBS●	42	42	518
			フジテレビ	45	45	264
			テレビ朝日	59	59	522
			テレビ東京	61	61	524
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	035	MXテレビ	14	14	270
			テレビ埼玉	38	38	806
			群馬テレビ	48	48	304
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS●	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524
	桐生	036	MXテレビ	14	14	270
			フジテレビ	35	35	264
			テレビ埼玉	38	38	806
			群馬テレビ	41	41	304
			NHK総合	51	51	2128
			日本テレビ	53	53	260
			TBS●	55	55	518
			NHK教育	57	57	2138
			テレビ朝日	59	59	522
			テレビ東京	61	61	524

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
埼玉	さいたま	037	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			テレビ埼玉	38	38	806
	熊谷	038	テレビ埼玉	30	30	806
			NHK教育	35	35	2138
			NHK総合	51	51	2128
			日本テレビ	53	53	260
			TBS●	55	55	518
			フジテレビ	57	57	264
			テレビ朝日	59	59	522
			テレビ東京	61	61	524
	秩父	039	NHK総合	14	14	2128
			日本テレビ	16	16	260
			TBS●	18	18	518
			フジテレビ	29	29	264
			テレビ朝日	38	38	522
			テレビ東京	44	44	524
			テレビ埼玉	47	47	806
			NHK教育	49	49	2138
千葉	千葉	040	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			tvk	42	42	298
			ちばテレビ	46	46	302
	銚子	041	ちばテレビ	39	39	302
			tvk	42	42	298
			NHK教育	49	49	2138
			NHK総合	51	51	2128
			日本テレビ	53	53	260
			TBS●	55	55	518
			フジテレビ	57	57	264
			テレビ朝日	59	59	522
			テレビ東京	61	61	524
東京	23区	042	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			テレビ埼玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			ちばテレビ	46	46	302
	八王子	043	NHK教育	29	29	2138
			フジテレビ	31	31	264
			NHK総合	33	33	2128
			日本テレビ	35	35	260
			TBS●	37	37	518
			テレビ埼玉	38	38	806
			MXテレビ	40	40	270
			tvk	42	42	298
			テレビ朝日	45	45	522
			ちばテレビ	46	46	302
			テレビ東京	62	62	524
	多摩	044	テレビ埼玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			ちばテレビ	46	46	302
			NHK教育	47	47	2138
			NHK総合	49	49	2128
			日本テレビ	51	51	260
			TBS●	53	53	518
			フジテレビ	55	55	264
			テレビ朝日	57	57	522
			テレビ東京	59	59	524
			MXテレビ	61	61	270

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	横浜1	045	MXテレビ	14	14	270
			tvk	48	48	298
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS●	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524
	横浜2	046	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			tvk	42	42	298

❺「横浜1」、「横浜2」について
NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。わからない場合は「横浜2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	平塚(茅ヶ崎)	047	MXテレビ	14	14	270
			NHK教育	29	29	2138
			tvk	31	31	298
			NHK総合	33	33	2128
			日本テレビ	35	35	260
			TBS●	37	37	518
			フジテレビ	39	39	264
			テレビ朝日	41	41	522
			テレビ東京	43	43	524
	秦野	048	MXテレビ	14	14	270
			NHK総合	47	47	2128
			NHK教育	49	49	2138
			日本テレビ	51	51	260
			TBS●	53	53	518
			フジテレビ	55	55	264
			テレビ朝日	57	57	522
			テレビ東京	59	59	524
			tvk	61	61	298
	小田原	049	MXテレビ	14	14	270
			tvk	46	46	298
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS●	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524
山梨	甲府	050	NHK総合	1	1	2896
			NHK教育	3	3	2906
			山梨放送	5	5	773
			テレビ山梨●	37	37	549
長野	長野1	051	テレビ信州	40	40	542
			長野放送	42	42	1062
			NHK総合	44	44	2640
			NHK教育	46	46	2650
			信越放送●	48	48	779
			長野朝日	50	50	532
	長野2	052	NHK総合	2	2	2640
			NHK教育	9	9	2650
			信越放送●	11	11	779
			長野朝日	20	20	532
			テレビ信州	30	30	542
			長野放送	38	38	1062

❺「長野1」、「長野2」について
NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」、それ以外の方は「長野2」を選んでください。わからない場合は「長野2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	松本	053	信越放送●	40	40	779
			長野放送	42	42	1062
			NHK総合	44	44	2640
			NHK教育	46	46	2650
			テレビ信州	48	48	542
			長野朝日	50	50	532

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	飯田	054	NHK教育	3	3	2650
			NHK総合	4	4	2640
			信越放送●	6	6	779
			長野放送	40	40	1062
			テレビ信州	42	42	542
			長野朝日	44	44	532
	岡谷・諏訪	055	NHK総合	4	4	2640
			信越放送●	6	6	779
			NHK教育	8	8	2650
			長野放送	47	47	1062
			テレビ信州	59	59	542
			長野朝日	61	61	532
新潟	新潟(長岡)	056	新潟放送●	5	5	517
			NHK総合	8	8	2384
			NHK教育	12	12	2394
			テレビ21	21	21	277
			テレビ新潟	29	29	285
			新潟総合テレビ	35	35	1059
	上越	057	NHK教育	1	1	2394
			NHK総合	3	3	2384
			新潟放送●	10	10	517
			テレビ新潟	27	27	285
			新潟総合テレビ	33	33	1059
			テレビ21	37	37	277
富山	富山	058	北日本放送	1	1	1025
			NHK総合	3	3	3152
			NHK教育	10	10	3162
			チューリップ●	32	32	544
			富山テレビ	34	34	802
	高岡	059	チューリップ●	42	42	544
			富山テレビ	44	44	802
			NHK教育	46	46	3162
			NHK総合	48	48	3152
			北日本放送	50	50	1025
石川	金沢(小松)	060	NHK総合	4	4	3408
			北陸放送●	6	6	774
			NHK教育	8	8	3418
			北陸朝日	25	25	281
			テレビ金沢	33	33	801
			石川テレビ	37	37	805
	七尾	061	NHK教育	5	5	3418
			NHK総合	9	9	3408
			北陸放送●	11	11	774
			石川テレビ	55	55	805
			テレビ金沢	57	57	801
			北陸朝日	59	59	281
福井	福井	062	NHK教育	3	3	3674
			NHK総合	9	9	3664
			福井放送	11	11	1035
			福井テレビ●	39	39	295
	敦賀	063	NHK総合	6	6	3664
			福井放送	8	8	1035
			NHK教育	12	12	3674
			福井テレビ●	38	38	295
岐阜	岐阜(大垣)	064	東海テレビ	1	1	1281
			CBC●	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ〜テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
			NHK総合	39	39	4176
	高山	065	NHK教育	2	2	4186
			NHK総合	4	4	4176
			CBC●	6	6	1029
			東海テレビ	8	8	1281
			メ〜テレ	12	12	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			中京テレビ	26	26	1571
			三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	38	38	1061
	中津川	066	NHK総合	4	4	4176
			メ〜テレ	6	6	1547
			CBC●	8	8	1029
			東海テレビ	10	10	1281
			NHK教育	12	12	4186
			テレビ愛知	25	25	537
			中京テレビ	26	26	1571
			岐阜放送	28	28	1061
			三重テレビ	33	33	1313

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
静岡	静岡（清水・焼津）	067	NHK教育	2	2	3930
			NHK総合	9	9	3920
			静岡放送●	11	11	1291
			静岡第一	31	31	799
			あさひテレビ	33	33	1057
			テレビ静岡	35	35	1315
	浜松	068	NHK総合	4	4	3920
			静岡放送●	6	6	1291
			NHK教育	8	8	3930
			あさひテレビ	28	28	1057
			静岡第一	30	30	799
			テレビ静岡	34	34	1315
	富士（富士宮）	069	静岡第一	27	27	799
			あさひテレビ	29	29	1057
			テレビ静岡	39	39	1315
			静岡放送●	41	41	1291
			NHK総合	52	52	3920
			NHK教育	54	54	3930
	三島・沼津	070	NHK教育	51	51	3930
			NHK総合	53	53	3920
			静岡放送●	55	55	1291
			あさひテレビ	57	57	1057
			テレビ静岡	59	59	1315
			静岡第一	61	61	799
	島田	071	静岡第一	48	48	799
			あさひテレビ	50	50	1057
			NHK教育	54	54	3930
			NHK総合	56	56	3920
			テレビ静岡	58	58	1315
			静岡放送●	62	62	1291
	藤枝	072	静岡第一	24	24	799
			あさひテレビ	26	26	1057
			テレビ静岡	38	38	1315
			静岡放送●	40	40	1291
			NHK総合	42	42	3920
			NHK教育	44	44	3930
愛知	名古屋	073	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	3	4176
			CBC●	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
	豊橋（豊川）	074	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			NHK教育	50	50	4186
			テレビ愛知	52	52	537
			NHK総合	54	54	4176
			東海テレビ	56	56	1281
			中京テレビ	58	58	1571
			メ～テレ	60	60	1547
			CBC●	62	62	1029
	豊田	075	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			テレビ愛知	49	49	537
			NHK教育	51	51	4186
			NHK総合	53	53	4176
			CBC●	55	55	1029
			東海テレビ	57	57	1281
			中京テレビ	59	59	1571
			メ～テレ	61	61	1547
三重	津	076	東海テレビ	1	1	1281
			CBC●	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			NHK総合	31	31	4176
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
	伊勢	077	テレビ愛知	25	25	537
			中京テレビ	47	47	1571
			NHK教育	49	49	4186
			NHK総合	53	53	4176
			CBC●	55	55	1029
			東海テレビ	57	57	1281
			三重テレビ	59	59	1313
			メ～テレ	61	61	1547

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
三重	名張	078	テレビ愛知	25	25	537
			NHK教育	50	50	4186
			NHK総合	52	52	4176
			中京テレビ	54	54	1571
			メ～テレ	56	56	1547
			三重テレビ	58	58	1313
			CBC●	60	60	1029
			東海テレビ	62	62	1281
滋賀	大津	079	NHK総合	28	28	4432
			びわ湖放送	30	30	798
			京都テレビ	34	34	1058
			毎日放送●	36	36	516
			朝日放送	38	38	1030
			関西テレビ	40	40	520
			読売テレビ	42	42	778
			NHK教育	46	46	4442
	彦根	080	京都テレビ	34	34	1058
			NHK教育	50	50	4442
			NHK総合	52	52	4432
			毎日放送●	54	54	516
			びわ湖放送	56	56	798
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
京都	京都（宇治）	081	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
			サンテレビ	36	36	548
	舞鶴	082	テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
			NHK教育	49	49	4442
			NHK総合	51	51	4432
			毎日放送●	53	53	516
			朝日放送	55	55	1030
			京都テレビ	57	57	1058
			関西テレビ	59	59	520
			読売テレビ	61	61	778
	福知山	083	テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
			NHK総合	50	50	4432
			NHK教育	52	52	4442
			毎日放送●	54	54	516
			京都テレビ	56	56	1058
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
大阪	大阪	084	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
			サンテレビ	36	36	548
兵庫	神戸	085	テレビ大阪	19	19	275
			NHK総合	28	28	4432
			毎日放送●	31	31	516
			サンテレビ	36	36	548
			朝日放送	41	41	1030
			関西テレビ	43	43	520
			NHK教育	45	45	4442
			読売テレビ	47	47	778
	神戸灘	086	テレビ大阪	19	19	275
			NHK教育	50	50	4442
			NHK総合	52	52	4432
			毎日放送●	54	54	516
			朝日放送	56	56	1030
			関西テレビ	58	58	520
			読売テレビ	60	60	778
			サンテレビ	62	62	548

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
兵庫	川西	087	テレビ大阪	19	19	275
			NHK総合	29	29	4432
			NHK教育	31	31	4442
			サンテレビ	33	33	548
			毎日放送●	35	35	516
			朝日放送	37	37	1030
			関西テレビ	39	39	520
			読売テレビ	41	41	778
	三木	088	テレビ大阪	19	19	275
			毎日放送●	34	34	516
			サンテレビ	36	36	548
			朝日放送	38	38	1030
			関西テレビ	40	40	520
			読売テレビ	42	42	778
			NHK総合	44	44	4432
			NHK教育	46	46	4442
	姫路	089	テレビ大阪	19	19	275
			NHK総合	50	50	4432
			NHK教育	52	52	4442
			毎日放送●	54	54	516
			サンテレビ	56	56	548
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
	明石（加古川）	090	テレビ大阪	19	19	275
			NHK教育	49	49	4442
			NHK総合	51	51	4432
			毎日放送●	53	53	516
			サンテレビ	55	55	548
			朝日放送	57	57	1030
			関西テレビ	59	59	520
			読売テレビ	61	61	778
奈良	奈良	091	毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
			サンテレビ	36	36	548
			NHK総合	51	51	4432
			奈良テレビ	55	55	311
	五條	092	テレビ大阪	19	19	275
			毎日放送●	33	33	516
			京都テレビ	34	34	1058
			朝日放送	35	35	1030
			サンテレビ	36	36	548
			関西テレビ	37	37	520
			読売テレビ	39	39	778
			奈良テレビ	41	41	311
			NHK総合	43	43	4432
			NHK教育	45	45	4442
和歌山	和歌山	093	NHK教育	25	25	4442
			テレビ和歌山	30	30	1054
			NHK総合	32	32	4432
			毎日放送●	42	42	516
			朝日放送	44	44	1030
			関西テレビ	46	46	520
			読売テレビ	48	48	778
	海南・田辺	094	NHK総合	50	50	4432
			NHK教育	52	52	4442
			毎日放送●	54	54	516
			テレビ和歌山	56	56	1054
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ	1	1	1537
			NHK総合	3	3	4688
			NHK教育	4	4	4698
			山陰放送●	22	22	1034
			山陰中央	24	24	1314

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
島根	松江	096	NHK総合	6	6	4944
			山陰放送●	10	10	1034
			NHK教育	12	12	4954
			日本海テレビ	30	30	1537
			山陰中央	34	34	1314
	浜田	097	NHK総合	2	2	4944
			山陰放送●	5	5	1034
			NHK教育	9	9	4954
			日本海テレビ	54	54	1537
			山陰中央	58	58	1314
岡山	岡山（倉敷）	098	NHK教育	3	3	5210
			NHK総合	5	5	5200
			西日本放送	9	9	265
			山陽放送●	11	11	1803
			テレビせとうち	23	23	279
			瀬戸内海放送	25	25	1569
			岡山放送	35	35	1827
	津山	099	NHK総合	2	2	5200
			山陽放送●	7	7	1803
			NHK教育	12	12	5210
			テレビせとうち	56	56	279
			西日本放送	58	58	265
			岡山放送	60	60	1827
			瀬戸内海放送	62	62	1569
	笠岡	100	NHK総合	2	2	5200
			NHK教育	4	4	5210
			山陽放送●	6	6	1803
			西日本放送	17	17	265
			テレビせとうち	19	19	279
			瀬戸内海放送	21	21	1569
			岡山放送	60	60	1827
広島	広島	101	NHK総合	3	3	5456
			中国放送●	4	4	772
			NHK教育	7	7	5466
			広島テレビ	12	12	780
			テレビ新広島	31	31	1055
			広島ホームテレビ	35	35	2083
	福山	102	NHK教育	3	3	5466
			NHK総合	5	5	5456
			中国放送●	7	7	772
			広島テレビ	11	11	780
			テレビ新広島	54	54	1055
			広島ホームテレビ	57	57	2083
	尾道	103	NHK総合	1	1	5456
			NHK教育	7	7	5466
			中国放送●	10	10	772
			広島テレビ	12	12	780
			広島ホームテレビ	24	24	2083
			テレビ新広島	26	26	1055
	呉	104	NHK教育	1	1	5466
			広島テレビ	5	5	780
			中国放送●	9	9	772
			NHK総合	11	11	5456
			広島ホームテレビ	24	24	2083
			テレビ新広島	26	26	1055
山口	山口（徳山・防府）	105	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			山口朝日	28	28	284
			テレビ山口●	38	38	1318
	下関	106	山口放送	4	4	2059
			山口朝日	21	21	284
			テレビ山口●	33	33	1318
			NHK総合	39	39	5712
			NHK教育	41	41	5722
	宇部	107	山口朝日	24	24	284
			テレビ山口●	44	44	1318
			NHK教育	55	55	5722
			NHK総合	58	58	5712
			山口放送	61	61	2059
	岩国	108	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			山口朝日	28	28	284
			テレビ山口●	62	62	1318
徳島	徳島	109	四国放送	1	1	1793
			NHK総合	3	3	5968
			毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			NHK教育	38	38	5978

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
香川	高松	110	テレビせとうち	19	19	279
			山陽放送●	29	29	1803
			岡山放送	31	31	1827
			瀬戸内海放送	33	33	1569
			NHK総合	37	37	6224
			NHK教育	39	39	6234
			西日本放送	41	41	265
	丸亀	111	NHK教育	40	40	6234
			瀬戸内海放送	42	42	1569
			NHK総合	44	44	6224
			テレビせとうち	46	46	279
			山陽放送●	48	48	1803
			西日本放送	50	50	265
			岡山放送	52	52	1827
愛媛	松山	112	NHK教育	2	2	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	25	25	793
			あいテレビ●	29	29	541
			テレビ愛媛	37	37	1317
	新居浜	113	NHK総合	2	2	6480
			NHK教育	4	4	6490
			南海放送	6	6	1290
			愛媛朝日	14	14	793
			あいテレビ●	27	27	541
			テレビ愛媛	36	36	1317
	今治	114	愛媛朝日	17	17	793
			あいテレビ●	27	27	541
			NHK教育	30	30	6490
			NHK総合	32	32	6480
			南海放送	34	34	1290
			テレビ愛媛	36	36	1317
	宇和島	115	NHK教育	1	1	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	16	16	793
			あいテレビ●	25	25	541
			テレビ愛媛	27	27	1317
高知	高知	116	NHK総合	4	4	6736
			NHK教育	6	6	6746
			高知放送	8	8	776
			テレビ高知●	38	38	1574
			KSS	40	40	296
福岡	福岡	117	KBC	1	1	2049
			NHK総合	3	3	6992
			RKB毎日●	4	4	1028
			NHK教育	6	6	7002
			TNC	9	9	521
			TVQ	19	19	531
			FBS	37	37	1573
	久留米	118	TVQ	14	14	531
			NHK総合	46	46	6992
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			NHK教育	54	54	7002
			KBC	57	57	2049
			TNC	60	60	521
	大牟田	119	TVQ	19	19	531
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	50	50	7002
			NHK総合	53	53	6992
			TNC	55	55	521
			KBC	58	58	2049
			RKB毎日●	61	61	1028
	北九州	120	KBC	2	2	2049
			NHK総合	6	6	6992
			RKB毎日●	8	8	1028
			TNC	10	10	521
			NHK教育	12	12	7002
			TVQ	23	23	531
			FBS	35	35	1573
	行橋	121	TVQ	19	19	531
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	46	46	7002
			NHK総合	49	49	6992
			TNC	54	54	521
			KBC	57	57	2049
			RKB毎日●	60	60	1028
佐賀*	佐賀	122	熊本放送	11	11	2315
			TVQ	14	14	531
			STS	36	36	804
			NHK総合	38	38	7760
			NHK教育	40	40	7770
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			KBC	57	57	2049

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長崎	長崎	123	NHK教育	1	1	7258
			NHK総合	3	3	7248
			NBC●	5	5	1285
			長崎国際	25	25	1049
			長崎文化	27	27	539
			テレビ長崎	37	37	1829
	佐世保	124	NHK教育	2	2	7258
			NHK総合	8	8	7248
			NBC●	10	10	1285
			長崎国際	17	17	1049
			長崎文化	31	31	539
			テレビ長崎	35	35	1829
	諫早	125	長崎国際	20	20	1049
			長崎文化	24	24	539
			テレビ長崎	42	42	1829
			NHK教育	45	45	7258
			NHK総合	47	47	7248
			NBC●	49	49	1285
熊本	熊本（八代）	126	NHK教育	2	2	7514
			NHK総合	9	9	7504
			熊本放送●	11	11	2315
			熊本朝日	16	16	528
			KKT	22	22	278
			TKU	34	34	1570
大分	大分（別府）	127	NHK総合	3	3	8016
			OBS●	5	5	1541
			NHK教育	12	12	8026
			OAB	24	24	280
			TOS	36	36	1060
	中津	128	OAB	17	17	280
			TOS	37	37	1060
			NHK教育	45	45	8026
			NHK総合	48	48	8016
			OBS●	51	51	1541
宮崎	宮崎（都城）	129	NHK総合	8	8	8272
			宮崎放送●	10	10	1546
			NHK教育	12	12	8282
			テレビ宮崎	35	35	2339
	延岡	130	NHK教育	2	2	8282
			NHK総合	4	4	8272
			宮崎放送●	6	6	1546
			テレビ宮崎	39	39	2339
鹿児島	鹿児島	131	MBC●	1	1	2305
			NHK総合	3	3	8528
			NHK教育	5	5	8538
			鹿児島読売	30	30	1310
			鹿児島放送	32	32	800
			KTS	38	38	1830
	阿久根	132	NHK総合	8	8	8528
			MBC●	10	10	2305
			NHK教育	12	12	8538
			鹿児島読売	17	17	1310
			鹿児島放送	23	23	800
			KTS	35	35	1830
	鹿屋	133	NHK教育	2	2	8538
			NHK総合	4	4	8528
			MBC●	6	6	2305
			鹿児島読売	25	25	1310
			鹿児島放送	31	31	800
			KTS	33	33	1830
沖縄	沖縄	134	NHK総合	2	2	8784
			沖縄テレビ	8	8	1032
			琉球放送●	10	10	1802
			NHK教育	12	12	8794
			琉球朝日放送	28	28	540

＊ RKB毎日放送が受信できる地域は「Gガイド（地上アナログ番組表）の設定をする」の［番組表取得設定］（136ページ）で「48」（RKB毎日）を番組表取得チャンネルに設定してください。熊本放送が受信できる地域は「11」（熊本放送）を設定してください。

地上アナログ番組表データを受信するための準備をする

地上アナログ放送の番組表を表示するには、番組表データを正しく受信する必要があります。かんたん初期設定を終えた後、次の方法で設定を確認し、必要に応じて変更したら、番組表の準備を完了してください。

チャンネル設定を確認する

↓

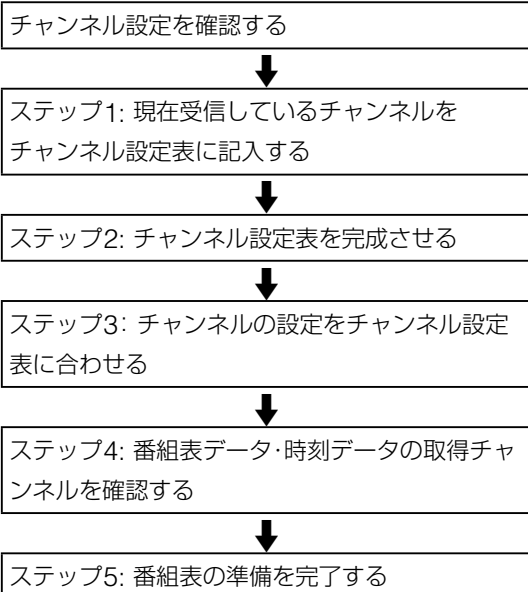
ステップ1: 現在受信しているチャンネルをチャンネル設定表に記入する

ステップ2: チャンネル設定表を完成させる

↓

ステップ3: チャンネルの設定をチャンネル設定表に合わせる

ステップ4: 番組表データ·時刻データの取得チャンネルを確認する

ステップ5: 番組表の準備を完了する

CATVやマンションの共同受信システムで地上アナログ放送を視聴しているときは、**ステップ1～ステップ5**(46～49ページ)を行い、準備を完了してください。

番組表データ受信のしくみ

正しく接続と設定を行った後、本機は「Gガイド」を利用して、番組表データを配信する放送局(ホスト局)からデータを受信します。初めて番組表を受信·表示するまでには、約1日(24時間)程度かかります。番組表データはホスト局から1日に数回、決まった時刻に配信され更新されます。

チャンネル設定を確認する

1 **チャンネルの設定状態を確認する。**

1. (ホーム)を押す。
2. ←→で を選び、↑↓で[放送受信設定]を選んで (決定)を押す。
3. ↑↓で[地上アナログチャンネル設定]を選び、 (決定)を押す。
   地上アナログチャンネル設定画面が表示されます。
4. 「Gガイド地域番号·放送局表」(41ページ)から、かんたん初期設定で選んだ地域番号をさがす。
5. 地域番号と、[表示CH](表示チャンネル)が一致した行の、[アップダウン選局]がすべて[する]になっているか確認する。

Gガイド地域番号·放送局表　例)「045横浜1」

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	横浜1	045	MXテレビ	14	14	270
			tvk	48	48	298
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS •	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524

地上アナログチャンネル設定画面

↓を繰り返し押し、選んだ地域番号のすべての放送局について確認します。(テレビで受信できない放送局は確認不要です。)

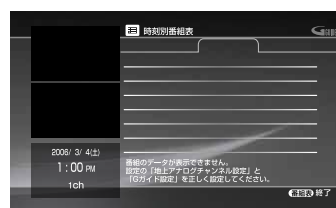
[アップダウン選局]がすべて[する]になっていますか？

はい

手順 2 へ進んでください。

いいえ　[しない]になっている行がある。

ステップ1～ステップ4(46～48ページ)の手順を行い、チャンネルの設定を変えてください。

2 **(戻る)を繰り返し押して地上アナログチャンネル設定画面を閉じ、本機の電源を切って番組表が受信できるまで1日待つ。**

電源を切り、1日待って (番組表)を押すと

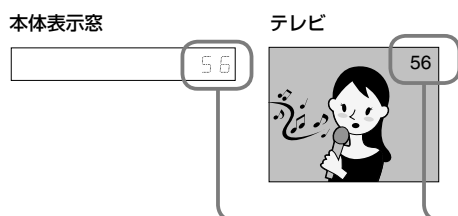
次のページにつづく⇨

ステップ1:　現在受信しているチャンネルをチャンネル設定表に記入する

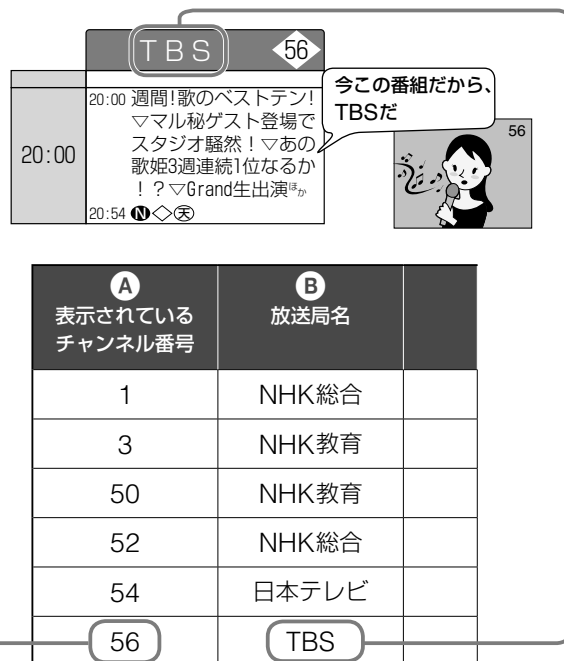
かんたん初期設定(37ページ)で自動で設定されたチャンネル設定を、このページの「チャンネル設定表」に書き出します。新聞などのテレビ欄と筆記具をご用意ください。次の例は、かんたん初期設定で選んだ地域番号が「045横浜1」の場合です。

1 (戻る)を繰り返し押して地上アナログチャンネル設定画面を閉じる。

2 ←→で (地上アナログ)を選び、↑↓で最初のチャンネルを選んで (決定)を押す。

3 チャンネル +/ −(チャンネル＋/−)を押して、本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号をすべて確認し、「チャンネル設定表」のⒶに記入する。

4 映っている番組の放送局名を、新聞などのテレビ欄で調べ、「チャンネル設定表」のⒷに記入する。

TBS　56
20:00
20:00 週間!歌のベストテン!▽マル秘ゲスト登場でスタジオ騒然！▽あの歌姫3週連続1位なるか！？▽Grand生出演ほか
20:54 Ⓝ◇㊝
今この番組だから、TBSだ
56

Ⓐ 表示されている チャンネル番号	Ⓑ 放送局名	
1	NHK総合	
3	NHK教育	
50	NHK教育	
52	NHK総合	
54	日本テレビ	
56	TBS	

【チャンネル設定表】

私が選んだ地域番号と地域名　　　　例）045 横浜1

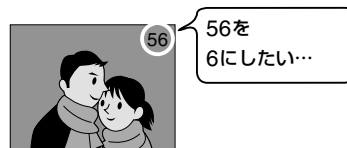
Ⓐ 表示されている チャンネル番号	Ⓑ 放送局名	Ⓒ ホスト局 (●印の放送局)	Ⓓ 表示希望 チャンネル番号	Ⓔ 受信チャンネル (受信CH)	Ⓕ 放送局名	Ⓖ アップダウン選局

ステップ2: チャンネル設定表を完成させる

「Gガイド地域番号・放送局表」（41ページ）をご覧になり、かんたん初期設定で選んだ地域番号の情報を記入してください。
次の例は、地域番号が「045横浜1」の場合です。

1 「Gガイド地域番号・放送局表」で ● が付いている放送局（ホスト局）を確認し、「チャンネル設定表」のⒸに ● を記入する。

例）「045横浜1」のホスト局

2 本体表示窓やテレビ画面に表示したいチャンネル番号（表示希望チャンネル番号）を、「チャンネル設定表」のⒹに記入する。

- 現在表示されている番号でよいときはⒶの番号をそのままⒹに記入します。
- 同じ番号を複数の行に書かないでください。

Ⓐ 表示されているチャンネル番号	Ⓑ 放送局名	Ⓒ ホスト局（●印の放送局）	Ⓓ 表示希望チャンネル番号	Ⓔ 受信チャンネル（受信CH）	Ⓕ 放送局名	Ⓖ アップダウン選局
~~1~~	~~NHK総合~~					
~~3~~	~~NHK教育~~					
50	NHK教育		3	50	NHK教育	する
52	NHK総合		1	52	NHK総合	する
54	日本テレビ		4	54	日本テレビ	する
56	TBS	●	6	56	TBS	する

3 Ⓐの番号をそのまま「チャンネル設定表」のⒺに記入する。

4 Ⓑの放送局名をそのまま「チャンネル設定表」のⒻに記入する。

5 「チャンネル設定表」のⒼの欄のすべての行に、「する」を記入する。

同じ放送局名を「チャンネル設定表」のⒷに2回記入したときは、映りが悪い放送局を2重線で消します。
また、次のような放送局も消します。
- 見ない放送局
- 番組表が表示されない放送大学やCATV独自の放送
- 放送局名がわからず空欄にしたとき

次のページにつづく⇨

ステップ3: チャンネルの設定をチャンネル設定表に合わせる

1 地上アナログチャンネル設定画面を表示する。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選び、↑↓で[放送受信設定]を選んで（決定）を押す。

3 ↑↓で[地上アナログチャンネル設定]を選び、（決定）を押す。

2 「チャンネル設定表」のⒹ ～ Ⓖと同じになるように、画面の[表示CH]（表示チャンネル）～[アップダウン選局]を設定する。

Ⓐ 表示されているチャンネル番号	Ⓑ 放送局名	Ⓒ ホスト局（●印の放送局）	Ⓓ 表示希望チャンネル番号	Ⓔ 受信チャンネル（受信CH）	Ⓕ 放送局名	Ⓖ アップダウン選局
~~1~~	~~NHK総合~~					
~~3~~	~~NHK教育~~					
50	NHK教育		3	50	NHK教育	する
52	NHK総合		1	52	NHK総合	する
54	日本テレビ		4	54	日本テレビ	する
56	TBS	●	6	56	TBS	する

1 Ⓔと同じ[表示CH]の行を選び、（決定）を押す。

例）ＮＨＫ教育テレビの[表示CH]、50を選択

50 50 NHK教育（2138） する ① 自動

2 ↑↓でⒹの表示希望チャンネル番号を選び、（決定）を押す。

例）NHK教育テレビの表示希望チャンネル「3」に変更

ご注意

すでに使われている表示チャンネル番号に変更することはできません。

3 「チャンネル設定表」にあるすべての放送局について手順 2 の1 ～ 2を繰り返す。

2重線で消したものは[アップダウン選局]を[しない]に設定します。

ステップ4: 番組表データの取得チャンネルを確認する

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選び、↑↓で[放送受信設定]を選んで（決定）を押す。

3 ↑↓で[Gガイド設定]を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で[番組表取得設定]を選び、（決定）を押す。
「チャンネル設定表」のⒸの欄に ● が付いている行を選び、その行のⒹの欄に記載されているチャンネル番号が、[取得チャンネル]の番号と一致しているか確認する。

Ⓐ 表示されているチャンネル番号	Ⓑ 放送局名	Ⓒ ホスト局（●印の放送局）	Ⓓ 表示希望チャンネル番号
~~1~~	~~NHK総合~~		
~~3~~	~~NHK教育~~		
50	NHK教育		3
52	NHK総合		1
54	日本テレビ		4
56	TBS	●	6

設定が間違っているとき

① [取得チャンネル]を選び、（決定）を押す。

② ↑↓で ● のある行のⒹの番号を選び、（決定）を押す。

ステップ5: 番組表の準備を完了する

1 (戻る)を繰り返し押して画面を閉じる。

2 本機の電源を切り、1日程度待つ。

必ず本機の電源を切ってください。

3 1日経ったら、(番組表)を押す。

番組表が表示されたら、すべて完了です。

ちょっと一言

- 1日待っても番組表データが受信できないときは、「故障かな？と思ったら」の番組表の項(157ページ)をご覧ください。
- 設定を誤って変更し、元に戻せなくなったら、[設定初期化]の[出荷時の状態に設定](152ページ)を選び、お買い上げ時の設定に戻します。その後、かんたん初期設定(37ページ)をやり直し、もう一度**ステップ1** ～**ステップ5**を行ってください。

ご注意

デジタル放送の番組表(60ページ)が取得できていても、地上アナログ放送の番組表データを受信するには、電源を切ってから1日程度待つ必要があります。

各放送局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター(お問い合わせ先)一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

2006年3月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
WOWOW*[1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00(年中無休) http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 03-5563-6777 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(WOWOW navi:791、792ch)は無料放送です。
*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(800ch)は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル 衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
SKY PerfecTV!110 (CS1・CS2)	0570-012-110 (または、045-339-0002) 受付 10:00 ～ 20:00 http://www.skyperfectv110.jp/

接続と準備

録画した番組(タイトル)をテレビやパソコンなどで再生するための設定をする(RDZ-D97A/D77Aのみ)

本機のハードディスクの映像をネットワークを使って他機器で再生できます(112ページ)。
この機能(DLNA対応ホームサーバー機能)を利用するには、あらかじめ次の接続と設定を行う必要があります。

1 ネットワークに接続する

この機能を利用するには、ネットワークに接続する必要があります。電話回線を使って本機能を利用することはできません。
ネットワークへの接続設定について詳しくは、「電話回線/ネットワークに接続する」(51ページ)をご覧ください。

2 ネットワークの設定をする

本機をネットワークに接続するための設定をします。
設定方法は、「データ放送とネットワーク接続の設定をする」(148ページ)をご覧ください。

3 DLNA対応ホームサーバー機能を利用するための設定をする

本機のハードディスクの映像を他機器で再生するための設定をします。
設定方法は、「本機をDLNA対応ホームサーバーとして利用するための設定をする(RDZ-D97A/D77Aのみ)」(150ページ)をご覧ください。

携帯電話録画予約のための設定をする

携帯電話を使って、本機から離れた場所からネットワーク経由で番組を録画予約できます(82ページ)。
この機能(携帯電話録画予約機能)を利用するには、あらかじめ次の接続と設定を行う必要があります。

1 ネットワークに接続する

この機能を利用するには、ネットワークに接続する必要があります。電話回線を使って本機能を利用することはできません。
ネットワークへの接続設定について詳しくは、「電話回線/ネットワークに接続する」(51ページ)をご覧ください。

2 ネットワークの設定をする

本機をネットワークに接続するための設定をします。
設定方法は、「データ放送とネットワーク接続の設定をする」(148ページ)をご覧ください。

3 携帯電話録画予約を行うための設定をする

携帯電話から録画予約の情報をネットワーク経由で本機に送信するための設定をします。
設定方法は、「携帯電話録画予約を行うための設定をする」(149ページ)をご覧ください。

ご注意

携帯電話録画予約をするためには、本機をネットワークに常時接続してください。

電話回線/ネットワークに接続する

本機のデータ放送の一部サービス(アンケートなどの双方向通信)やB-CASカードの通信を行うためには、電話回線への接続が必要になります。
また電話回線に加えネットワーク接続を行うと、本機の映像(タイトル)を他機器で再生したり、携帯電話で録画予約できるようになるなど、より多くの機能が利用できるようになります。

電話回線にのみ接続する

できること・・・

B-CASカードに記録された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信できるようになります。

- ペイ・パー・ビュー(PPV)契約をして、番組などを購入できるようになります。
- データ放送を見ているときに、放送局と通信を行えるようになります。(通信中は、本体表示窓の通信表示が点滅します(183ページ)。)

準備の流れ

手順1　**電話回線を接続する。**
➡「電話回線のみ接続する」(52ページ)

手順2　**電話回線の設定を行う。**
➡「電話回線の設定をする」(147ページ)

ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集合電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。
- LAN端子に電話回線をつながないでください。誤って接続すると、本機の故障の原因となります。

電話回線に加えネットワークにも接続する

できること・・・

- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツを楽しむことができます。
- 放送局との双方向によるサービスを楽しむことができます。
- 携帯電話録画予約や、ネットワークを利用して、本機の映像(タイトル)を他機器で再生することができます。

準備の流れ

手順1　**ネットワーク接続を行う。**
➡「電話回線とネットワークを接続する」
(53ページ)
ネットワーク接続した場合でも電話回線の接続は行ってください。

手順2　**データ放送への接続方法を設定する。**
➡「データ放送とネットワーク接続の設定をする」
(148ページ)

ご注意

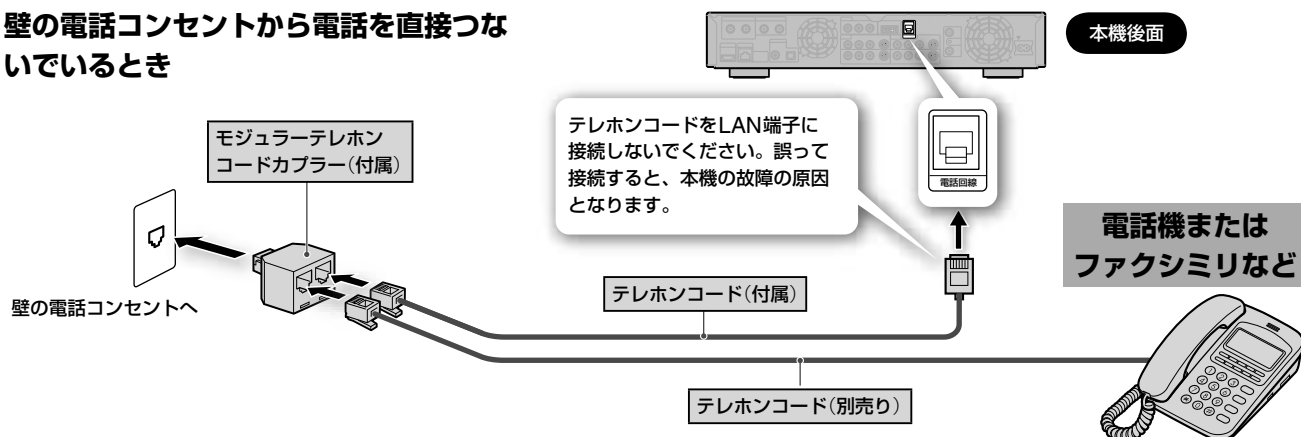
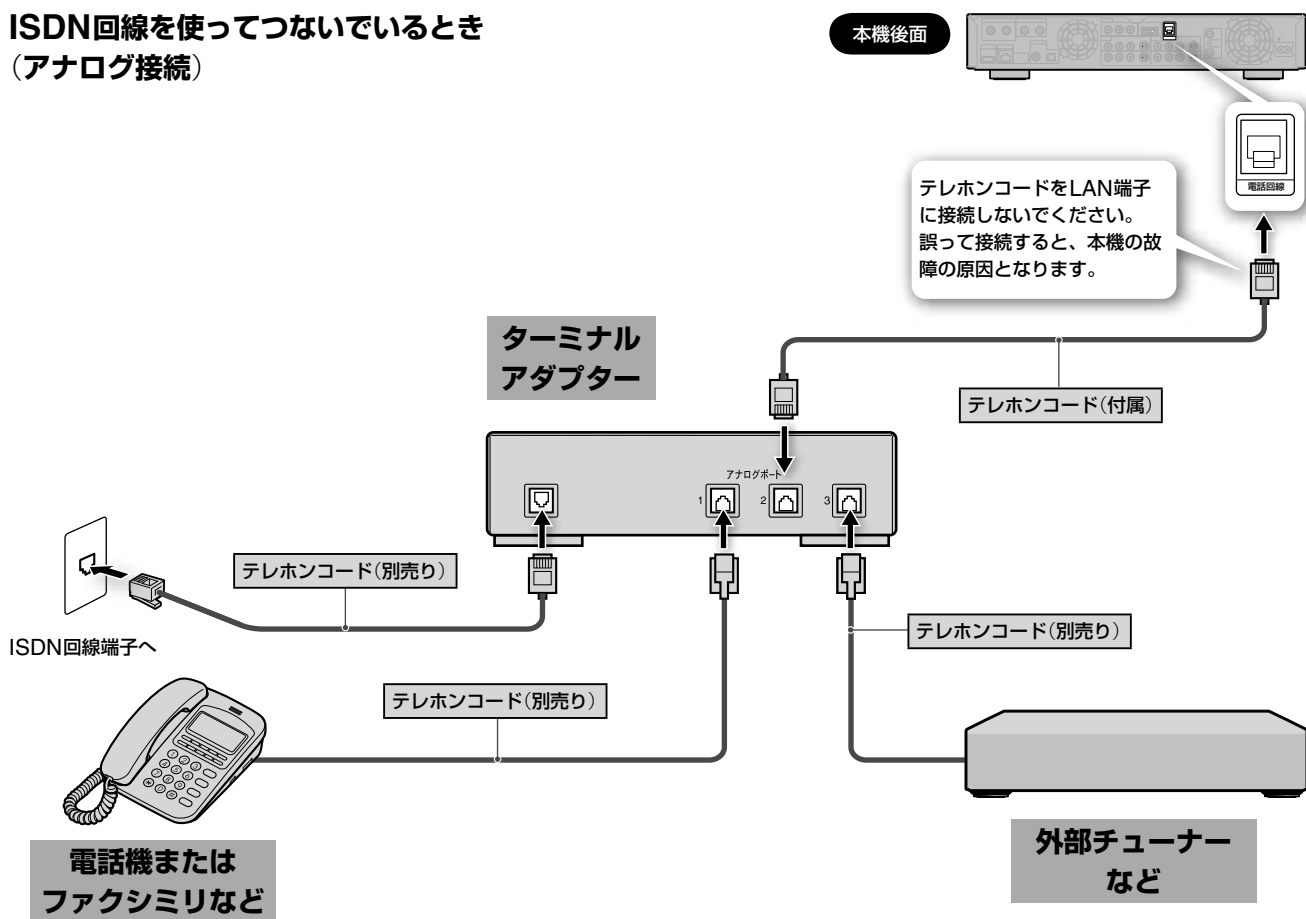
この接続を使って、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツ*[1]を楽しむためには、別途プロバイダー*[2]との契約が必要です。

*[1] 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルで運用されています。

*[2] インターネットサービスプロバイダー(ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

ちょっと一言

- 本機が放送局と購入情報などを送受信しているときは、本体表示窓の通信表示(183ページ)が点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C(スタンダードモデル)をお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P21(高速通信対応モデル)をお使いください。
- BS・110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

電話回線のみ接続する

ご注意

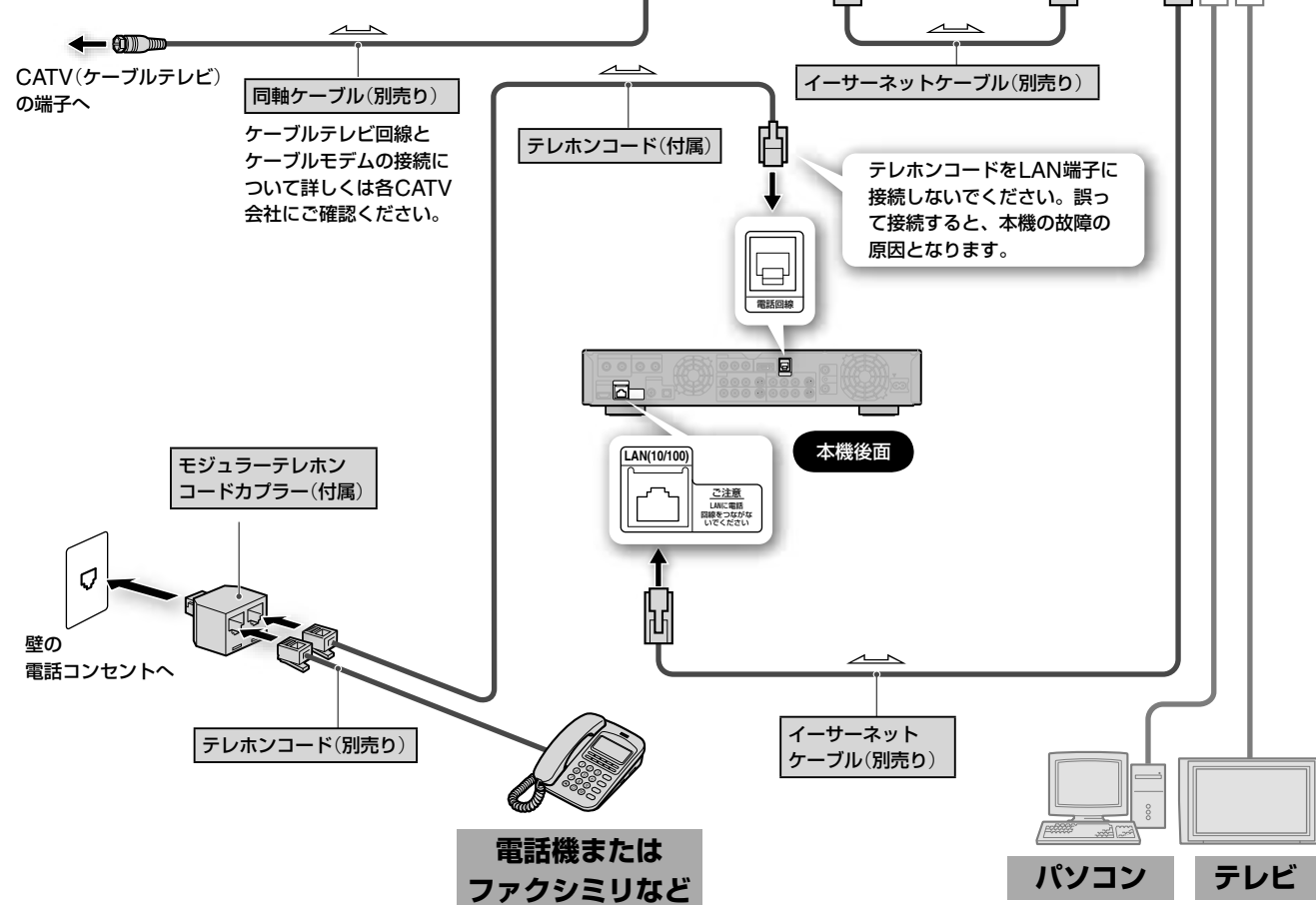
ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。

ちょっと一言

ターミナルアダプターにつないだ場合は、から[通信設定]の[電話回線設定]で[回線]を[トーン]に設定してください(147ページ)。

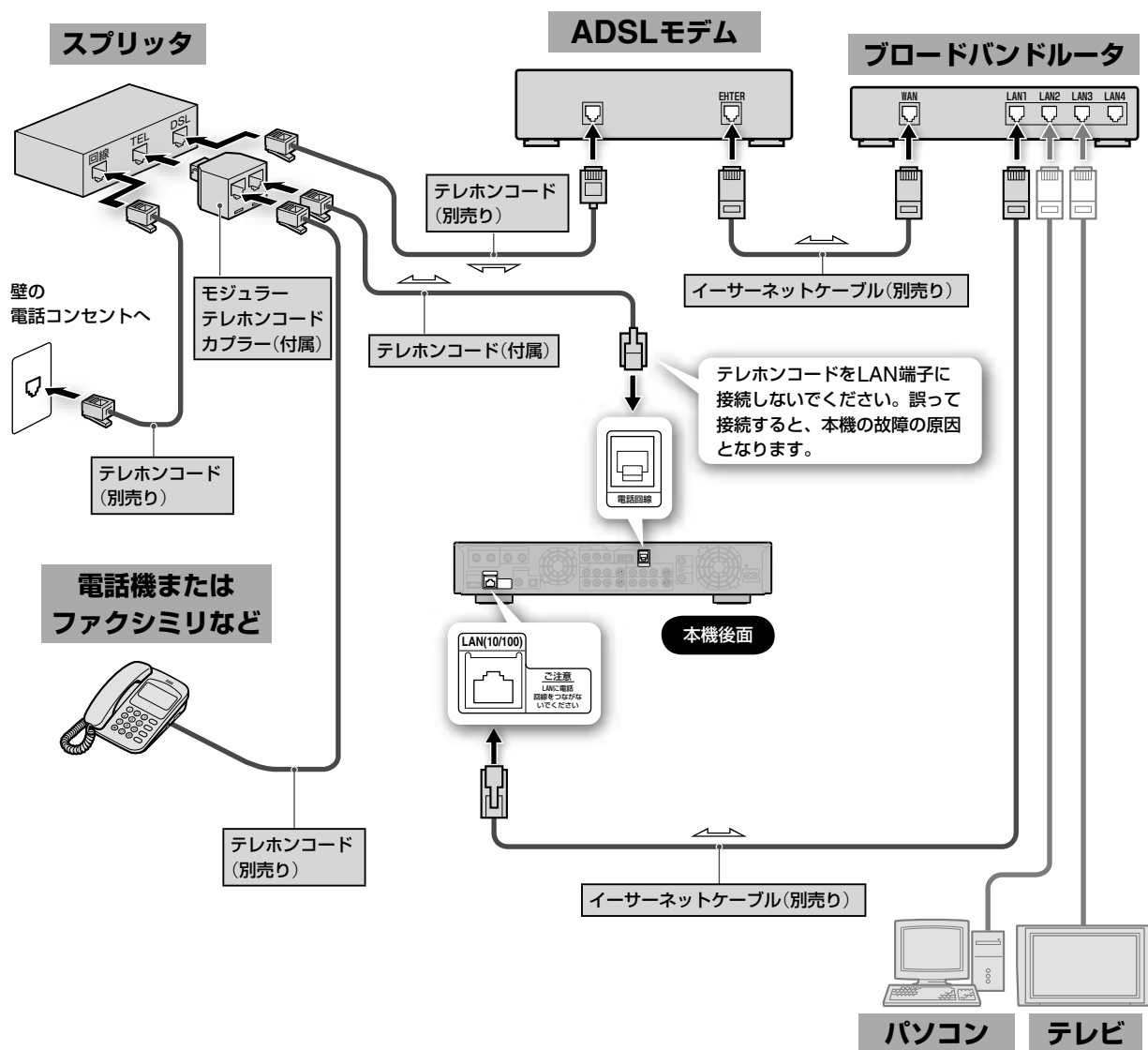
電話回線とネットワークを接続する

CATV回線をつないでいるとき

ケーブルモデムを使い、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とケーブルモデムを直接接続してください。
- CATV（ケーブルテレビ）会社によっては、ブロードバンドルータの接続を許可していない場合があります。
  あらかじめCATV（ケーブルテレビ）会社にご確認ください。

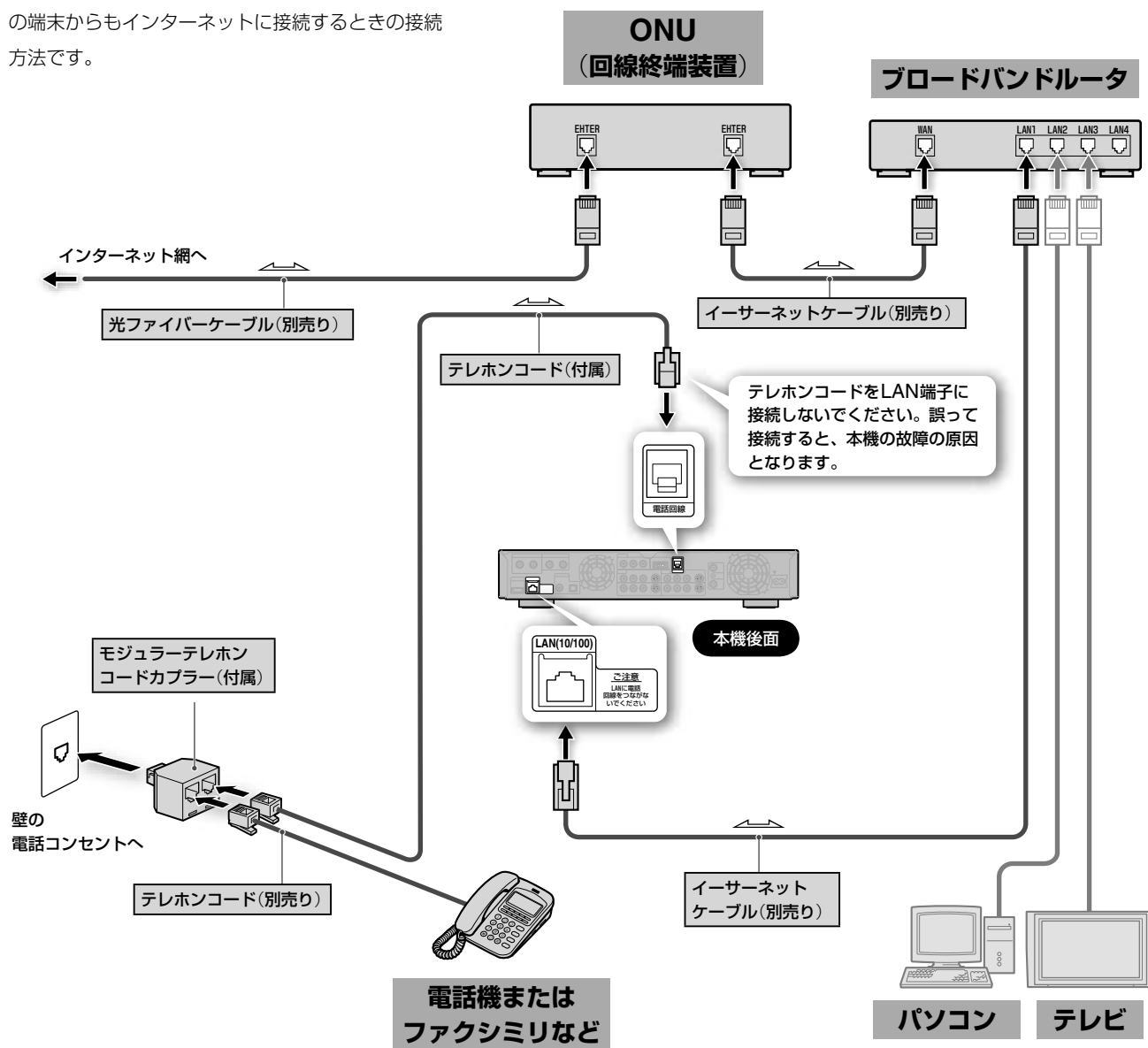
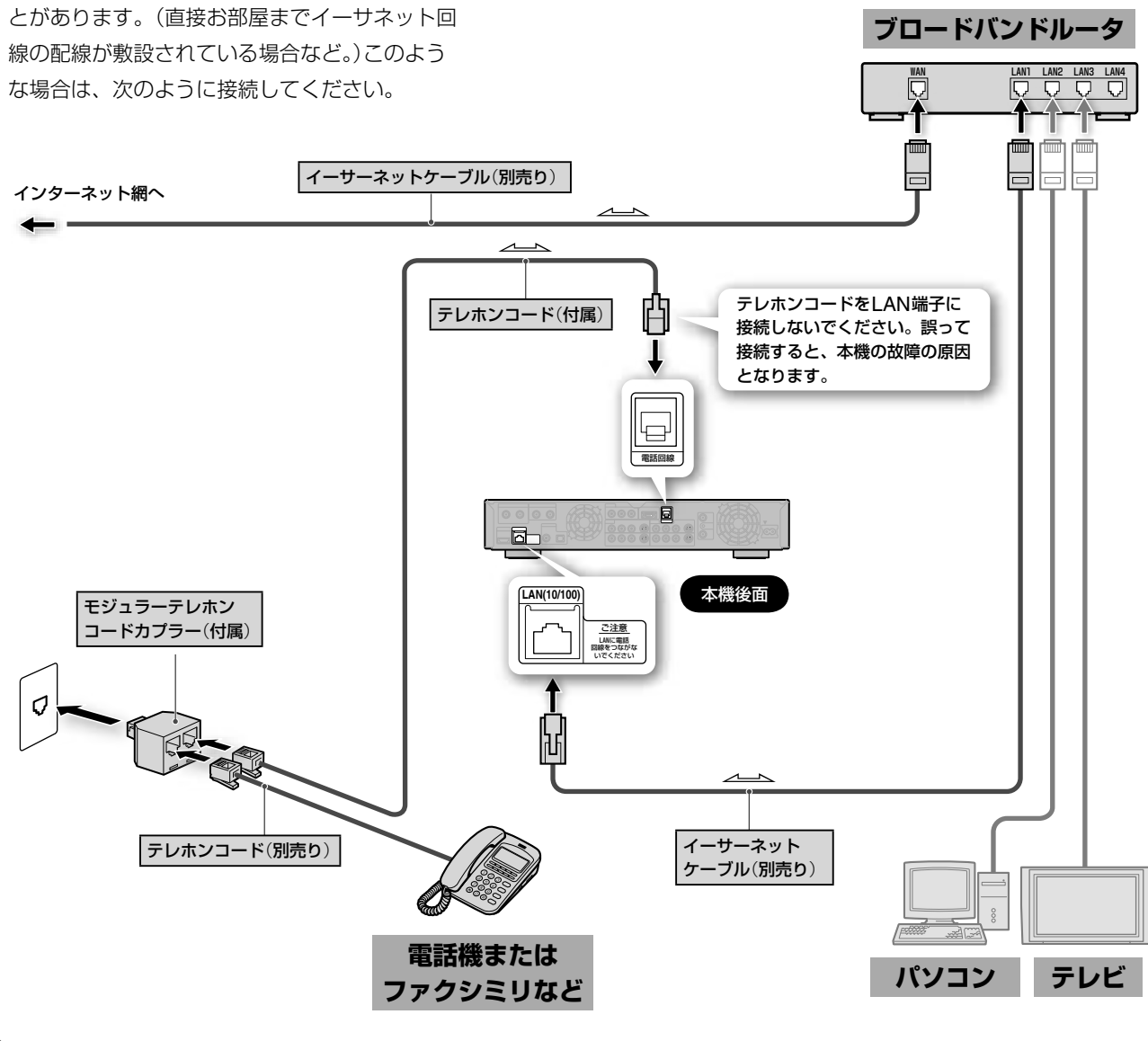
次のページにつづく⇨

ADSL回線をつないでいるとき

ADSLモデムを使い、インターネットに接続する方法です。

- ADSLモデムがルータタイプでない場合は、別途ルータが必要です。
- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、ADSLモデム（ルータタイプ）の設定を本機から行うことはできません。ルータの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- 携帯電話録画予約機能を利用するときは、常時接続となるようルータを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- ADSLモデム（ルータタイプ）に装備されているイーサーネット端子の数が接続する端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

FTTH（光回線）をつないでいるとき

ONU（回線終端装置）を使用している場合

FTTH（光回線）でインターネット接続し、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。

次のページにつづく⇨

ネットワーク(LAN)ケーブルを使うときは

- ネットワーク(LAN)ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルータなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルータの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルータの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダーによっては、PPPoE方式を採用している場合があります。この場合、PPPoE方式に対応したルータが必要になります。詳しくは、インターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

テレビ機能を使う

地上アナログや地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの4種類からお好みの番組を簡単に選局し、お楽しみいただけます。またラジオ放送(BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のみ)やデータ放送もご利用できます。

テレビカテゴリーの種類

アイコン	説明
地上アナログ	**地上アナログ** 地上アナログ放送のチャンネルが選べます(58ページ)。
地上デジタル	**地上デジタル** 地上デジタル放送やデータ放送のチャンネルが選べます(58、60ページ)。
BS	**BSデジタル** BSデジタル放送やデータ放送のチャンネルが選べます。またラジオ放送も選べます(58、60ページ)。
CS	**110度CSデジタル** 110度CSデジタル放送やデータ放送を選べます。またラジオ放送も選べます(58、60ページ)。
外部入力	**外部入力** 本機につないだ機器などの映像を表示したり録画したりできます。

テレビカテゴリーで表示されるアイコンの一覧

アイコン	説明
	番組検索 キーワードやジャンルから番組などを探せます(65ページ)。
	番組表 新聞や雑誌に掲載されているようなテレビの番組表やラジオ、データの番組表(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)を表示します(60ページ)。
	チャンネル 放送中の番組情報が表示されます。デジタル･アナログ2番組同時録画中のときは、録画中のチャンネルのみ選局できます。 デジタル･アナログどちらか一方の放送のチャンネルを録画中のときは、録画中のチャンネル、または録画していない放送から選局できます。

外部入力カテゴリーで表示されるアイコンの一覧

アイコン	説明
	入力1 ～ 3 入力1 ～ 3端子につないだ機器の映像に切り換えます。
	HDV 本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子につないだ機器の映像に切り換えます。
	DV 本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子につないだ機器の映像に切り換えます。

ちょっと一言

"XMB"(クロスメディアバー)に表示されているチャンネルや外部入力を録画しているときは、赤い●(録画中)アイコンが表示されます。

テレビ番組を見る

ご注意はP67へ

地上アナログ 地上デジタル BS CS

1 **テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。**
テレビの入力切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 **ホーム（ホーム）を押す。**

3 **←→で、見たい放送の種類を選ぶ。**
選べる放送
地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

4 **↑↓で見たいチャンネルを選び、決定（決定）を押す。**

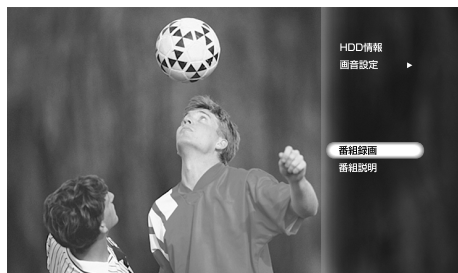
リモコンの数字ボタンを使って選局するには

1 **アナログ、デジタル、BS または CS で放送の種類を選ぶ。**
2 **10キー を押す。**
3 **①〜⑩でチャンネル入力し、⑫選局/確定 を押す。**

枝番が付いているチャンネルを10キー選局するには
お住まいの地域で枝番の放送があるときは、本機のホームメニューの（地上デジタル）の列に表示されます。

例：101_2CH
10キー → ① → ⑩0 → ① → ⑪枝番 → ② → ⑫選局/確定

枝番とは
お住まいの地域によっては、他地域の電波も受信できてしまう場合があります。このような場合、チャンネル番号が重複してしまう可能性があるため、4桁目の番号を加えて放送局を区別する処理を行います。この4桁目の番号を枝番と呼びます。リモコンなどで枝番を選局するときは、4桁の番号全てを入力してください。

視聴中に オプション（オプション）でできること
テレビ番組視聴中に オプション（オプション）を押すと、次の操作ができます。

項目		できること
HDD情報		ハードディスクの情報を表示します。（86ページ）
DVD情報		DVDの情報を表示します（87ページ）。
画音設定		画質・音質を調整します（94ページ）。
番組録画	HDD録画	見ている番組をハードディスクへ録画します。
	DVD録画	見ている番組をディスクへ録画します。
番組説明		見ている番組の詳しい情報を表示します（62、64ページ）。
降雨対応切換		降雨対応放送に切り換えます。

見ている放送や使用状況によって表示されるオプションが異なります。

映像や音声を切り換える

地上アナログ 地上デジタル BS CS

（映像切換）や（音声切換）を押す。
押すたびに映像信号や音声信号が切り換わります。
切り換えた信号が画面に表示されます。
地上アナログは「音声切換」にのみ対応しています。

例：第1音声を選んでいるとき

ちょっと一言
チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

字幕を切り換える*

地上デジタル BS CS

（字幕）を押す。
押すたびに字幕の言語が切り換わります。
切り換えた字幕表示の内容が画面に表示されます。

例：第2言語の字幕

* 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

有料番組や視聴年齢制限つき番組を見る

BS CS

番組が有料番組の場合、「有料番組」と表示されます。購入すると番組を見たり、録画することができます。
有料番組には、番組説明画面(62ページ)で ¥ がついています。
有料番組の中には、購入前にプレビュー(番組の一部を短時間表示すること)できるものがあります。プレビューはメッセージ画面の後ろに表示されます。

プレビューについて

- 有料番組によって見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入手続きは引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入しない場合は、違うチャンネルに切り換えてください。

有料番組を見る前に

- デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を本体のB-CASカード挿入口に入れてください。
- B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください(32ページ)。
- 必ず電話回線をつないでください(51ページ)。
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります(49ページ)。

1. **「テレビ番組を見る」(58ページ)の手順に従って、有料番組を選局する。**
2. **有料番組画面が表示されたら、[視聴購入手続き]または[録画購入手続き]を選び、(決定)を押す。**
   [視聴購入手続き]と[録画購入手続き]がある場合、視聴のみのときは[視聴購入手続き]を、録画をするときは[録画購入手続き]を選びます。
3. **購入確認(番組購入)画面が表示されたら、番組内容と番組の購入金額を確認のうえ、[はい]を選び、(決定)を押す。**
   「購入完了」と表示されます。

「ICカードのデータが一杯になったため購入できません　電話回線の設定を確認してからICカードを抜き差ししてください」と表示されたら

購入金額がカードの上限金額を超えています。
また、番組の購入可能件数を超えたときにもこの表示が出ます。カードのデータを電話回線を使用して放送局に送信する必要があります。電話回線をつないでください(51ページ)。

「購入時間が過ぎているため購入できません」と表示されたら

番組によっては、購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピーガード)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力(光または同軸)端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

追加信号について

番組によって、複数の映像や音声を切り換えられます(58ページ)。なお、¥ の付いた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除するには

の[暗証番号設定]で視聴年齢制限つき番組を見るための暗証番号を設定した場合(144ページ)、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、録画しようとすると、「年齢制限」と表示されます。番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1. **「テレビ番組を見る」(58ページ)の手順に従って、有料番組を選局する。**
2. **視聴年齢制限番組画面が表示されたら、[暗証入力手続き]を選び、(決定)を押す。**
3. **暗証番号入力画面が表示されたら、①〜⑩ を押して、4桁の暗証番号を入力する。**
   ①〜⑩ を使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。次の番号を入力します。
   番号を間違えたときは、⬅で入力した数字を消去できます。
4. **⬆⬇⬅➡で[確定]を選び、(決定)を押す。**
   暗証番号を確認するメッセージが表示されます。
5. **番組を視聴したり、録画や予約の準備を行う。**

ちょっと一言

- ⬆⬇⬅➡で暗証番号を入力することもできます。⬆⬇で数字を選び、➡で次の桁を選びます。
- 録画後は暗証番号を入力しなくても視聴できます。

デジタル放送のラジオ/データ放送を楽しむ

地上デジタル　BS　CS

ラジオ放送（BSデジタル・110度CSデジタルのみ）
画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。
データ放送
データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。データ放送は、次の2種類があります。

独立データ
データのみを専門に扱っている放送サービスです。

連動データ
デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。
なお、ラジオ放送/データ放送を録画することはできません。

ラジオ放送や独立データ放送を見る

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で、見たい放送の種類を選ぶ。
選べる放送
地上デジタル　BS　 CS

3 ↑↓で視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、（決定）を押す。
（決定）を押す前に、放送中の番組名を確認できます。

ちょっと一言
- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（通信表示が点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。
- 電話回線やネットワークを使用するデータ放送をご覧になる場合は、あらかじめ電話回線やネットワークの接続の設定を行ってください（51ページ）。

連動データ放送を見る

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で、見たい放送の種類を選ぶ。
選べる放送
地上デジタル　 BS　 CS

3 ↑↓で見たいチャンネルを選び、（決定）を押す。

4 番組視聴中に（連動データ）を押す。
連動データ放送が表示されます。（視聴中の番組に連動データ放送がない場合は何も表示されません。）

番組表を使う

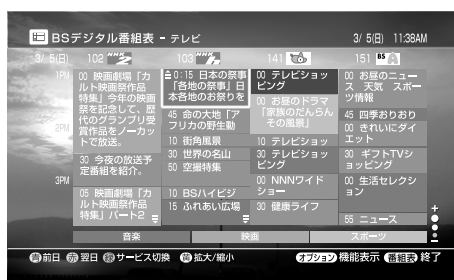
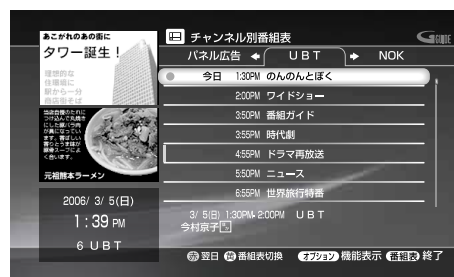
ご注意はP67へ

番組表（EPG）とは

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

番組表とは、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているような番組の一覧をテレビ画面に表示したものです。番組表から見たい番組を選ぶだけで、選局や録画予約などができます。

本機の番組表はデジタル放送用と地上アナログ用（Gガイド）の2種類の番組表があります。

デジタル放送の番組表

地上アナログの番組表（Gガイド）

デジタル放送の番組表を表示する

デジタル放送の番組表は各放送のサービスごとに次の8つの番組表が用意されています。
視聴したい放送の番組表を選んでから番組表を使ってください。

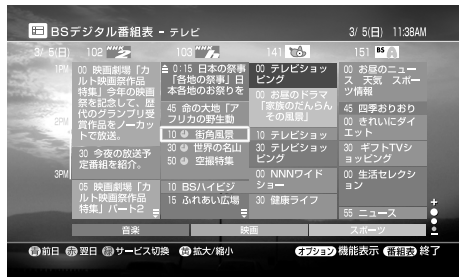
デジタル放送の番組表の種類

- 地上デジタルテレビ
- 地上デジタルデータ
- BSデジタルテレビ
- BSデジタルラジオ
- BSデジタルデータ
- CSデジタルテレビ
- CSデジタルラジオ
- CSデジタルデータ

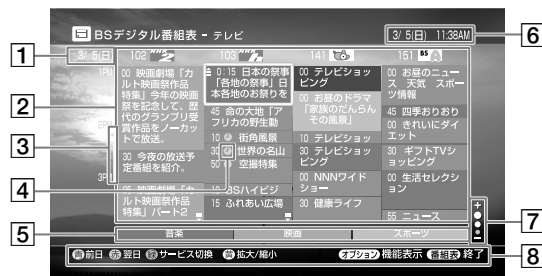
1 （ホーム）を押す。

2 ←→で、見たい放送の種類を選ぶ。
選べる放送
 地上デジタル　 BS　 CS

3 ↑↓で表示したい放送サービスの（番組表）を選び、（決定）を押す。

デジタル放送の番組表が表示されます。

ちょっと一言

- 地上デジタル放送の番組表データは、各放送局から送信されます。番組表が表示されない場合は、チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。
- 番組表を表示しているときに アナログ（アナログ）、デジタル（デジタル）、BS（BS）、CS（CS）を押すと、それぞれの放送の番組表に切り換えられます。

デジタル放送の番組表の各部名称

1 放送日

現在見ている番組表の日付を表示します。

2 放送局名、放送開始時刻、番組名

放送予定の番組を表示します。↑↓←→で選択箇所を移動することができます。

3 マーク

▌：録画予約されている時間帯が表示されます。

4 マーク

●（赤色）：録画中の番組

⏻（赤色）：録画予約されている番組

⏻（灰色）：予約の一部が録画できない番組

5 ジャンル

番組のジャンル情報を色分けで表示します。ジャンルの設定方法については、「番組表表示中にオプションでできること」（62ページ）をご覧ください。

6 現在時刻

現在の時刻を表示します。

7 番組表表示サイズ段階表示

現在表示されている番組表の大きさを表示します。番組表の大きさは次のように3段階あります。

8 操作ガイド

画面で行う操作に使うボタンを表示します。

青（青）：現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。

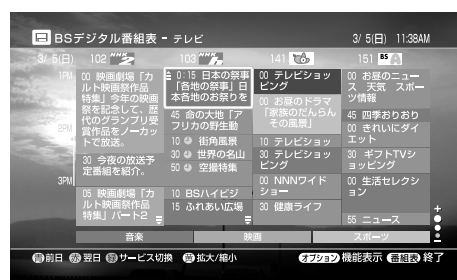
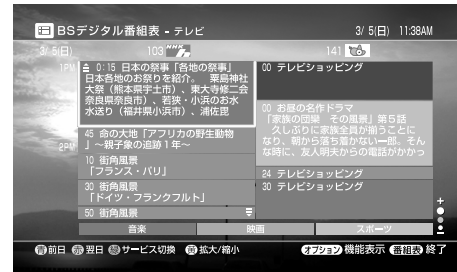
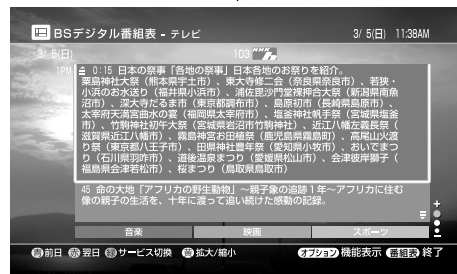
赤（赤）：現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。

緑（緑）：放送の種類を切り換えることができます。

黄（黄）：番組表の表示を拡大できます（下記）。

番組表の表示を拡大する

デジタル放送の番組表は、リモコンの 黄（黄）を押すことで、次のように表示を拡大することができます。

番組表を拡大すると、放送時間の短い番組（5分間の番組など）なども確認できるようになります。

ちょっと一言

見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル＋/－で選局しないようにできます。［放送受信設定］の該当するチャンネル設定で［アップダウン選局］を［選局しない］（132ページ）にしてください。

次のページにつづく⇨

番組表表示中に (オプション)でできること

項目		できること
ジャンル色設定		表示される番組ジャンルやジャンルの色を選択します。
全チャンネル表示/設定チャンネル表示		設定チャンネル表示中は全チャンネル表示に、全チャンネル表示中は設定チャンネル表示に切り換えます。
サービス切換	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
番組検索		設定した条件に合致する番組を表示します(65ページ)。
録画予約		番組表で選んでいる番組の録画予約をします(79ページ)。
録画延長		録画を延長します。
録画停止		録画を停止します。
番組説明		番組に関する詳細情報を表示します(62ページ)。
選局		番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
予約修正		録画予約情報を修正します(83ページ)。
予約消去		録画予約を取り消します(83ページ)。
予約重複確認		時間が重なっている録画予約を確認します。

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像/音声情報、ジャンルなど番組の詳しい情報を見ることができます。

1 **番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選ぶ。**
番組表の表示方法については、「デジタル放送の番組表を表示する」(60ページ)をご覧ください。

2 **(オプション)を押す。**

3 **↑↓で[番組説明]を選び、(決定)を押す。**

上記の番組は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

ちょっと一言

リモコンの (番組説明)を押しても番組説明を見ることができます。

1 **番組名・放送時間**

2 **放送局名**
チャンネル番号や放送局名、放送局ロゴマーク

3 **マーク**
放送サービスの種類(テレビ、ラジオ、データ)などがマークで表示されます。
：字幕放送(58ページ)
d：テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送(60ページ)
HD：デジタルハイビジョン信号
SD：標準テレビ信号
ラジオ：ラジオ放送
R：視聴年齢制限付き番組(134ページ)
一回録画可：コピー制御信号により、ハードディスクまたはCPRM対応ディスクにのみ1回だけ録画できる番組
録画不可：コピー制御信号により、録画できない番組
¥：未購入の有料番組
¥✓：購入済みの有料番組

4 **番組の情報**
出演者や、映像情報(58ページ)、音声情報(58ページ)、ジャンル(65ページ)、データ情報などが表示されます。

5 **[閉じる]**
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

6 ［録画予約/予約修正/録画延長］
予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

7 ［語句登録］
表示されている詳細の内容から、キーワードを選んで登録することができます。

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を表示する

地上アナログ放送の番組表や番組説明は、Gガイド（168ページ）を利用しています。番組表のデータは、データ配信する放送局（ホスト局）から自動的に受信して画面上に表示します。番組表には、約8日分の番組が表示されます。

1 ホーム（ホーム）を押す。

2 ←→で（地上アナログ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組表）を選び、（決定）を押す。

地上アナログ放送の番組表が表示されます。

ちょっと一言
番組表を表示しているときに アナログ（アナログ）、デジタル（デジタル）、BS（BS）、CS（CS）を押すと、それぞれの放送の番組表に切り換えられます。

アナログ放送の番組表の各部名称

例：チャンネル別番組表

1 **パネル広告**
広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、その広告に関する説明が表示されるものもあります。

2 **マーク**
▍：録画予約されている時間帯が表示されます。
●（赤色）：録画中の番組
⏻（赤色）：録画予約されている番組
⏻（灰色）：予約の一部が録画できない番組

3 **番組表の種類**

4 **放送局名**

5 **現在日時・現在受信中の放送局名**

6 **番組名**
放送予定の番組を表示します。広告が表示される場合もあります。

7 **番組説明**
カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

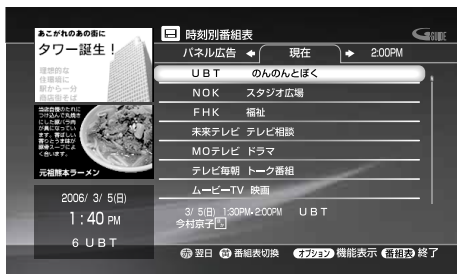
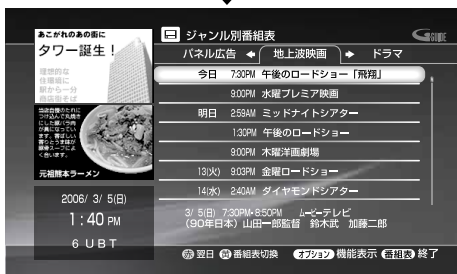
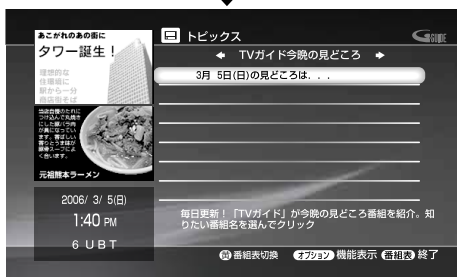
8 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

番組表表示中に **（オプション）でできること**

項目	できること
パネル広告	選択対象を番組からパネル広告に移動します。
日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
番組表切換	時刻別、チャンネル別、ジャンル別番組表やトピックスに切り換えます（64ページ）。
番組検索	設定した条件に合致する番組を表示します（65ページ）。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（79ページ）。
録画延長	録画を延長します。
録画停止	録画を停止します。
番組説明	番組に関する詳細情報を表示します（64ページ）。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
予約修正	録画予約情報を修正します（83ページ）。
予約消去	録画予約を取り消します（83ページ）。
予約重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します。

次のページにつづく⇨

番組表の種類を切り換える

地上アナログの番組表には、「時刻別番組表」・「チャンネル別番組表」・「ジャンル別番組表」の3種類の番組表と、放送局からのお知らせなど便利な情報を表示する「トピックス」があります。リモコンの 黄 (黄)を押すことで、次のように切り換えることができます。

ちょっと一言

見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル+/−で選局しないようにできます。[地上アナログチャンネル設定]の[アップダウン選局](135ページ)を[しない]にしてください。

番組説明を見る

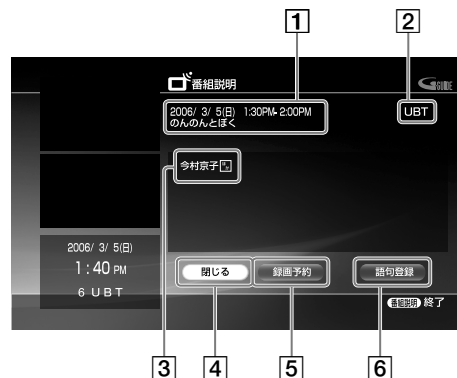
番組名やあらすじ、出演者など番組の詳しい情報を見ることができます。

1 **番組表を表示し、↑↓←→で番組を選ぶ。**

番組表の表示方法については、「地上アナログ放送の番組表(Gガイド)を表示する」(63ページ)をご覧ください。

2 **(オプション)を押す。**

3 **↑↓で[番組説明]を選び、(決定)を押す。**

地上アナログ放送の番組説明

ちょっと一言

リモコンの (番組説明)を押しても番組説明を見ることができます。

1 **番組名・放送時間**

2 **放送局名**

3 **番組の情報**

出演者やあらすじなどが表示されます。

4 **[閉じる]**

詳細画面を終了し、元の番組表画面に戻ります。

5 **[録画予約/予約修正/録画延長]**

予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

6 **[語句登録]**

表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。

番組検索を使う

地上アナログ 地上デジタル ＢＳ ＣＳ

番組検索を使うと、入力したキーワードや設定したジャンルを含む番組を抽出することができます。
キーワードは登録されている語句の中から選んだり、画面上に表示されるキーボードを使って入力することができます。

1 ホーム（ホーム）を押す。

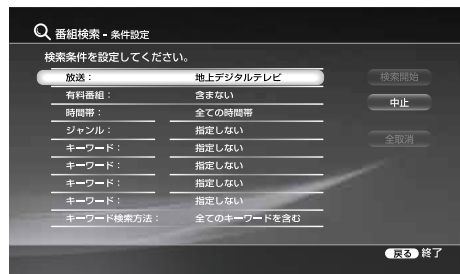
2 ←→で、検索したい放送の種類を選ぶ。

選べる放送

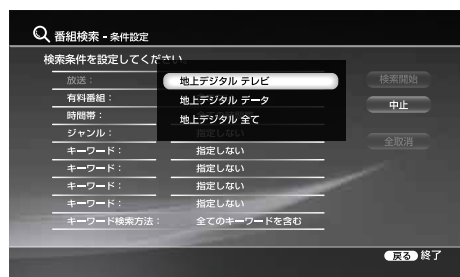
地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で（番組検索）を選び、決定（決定）を押す。

番組検索画面が表示されます。

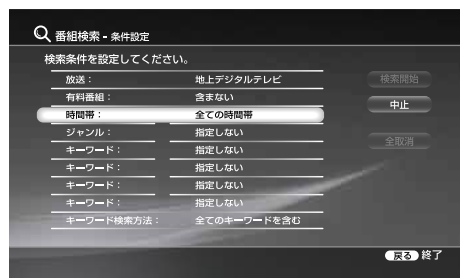
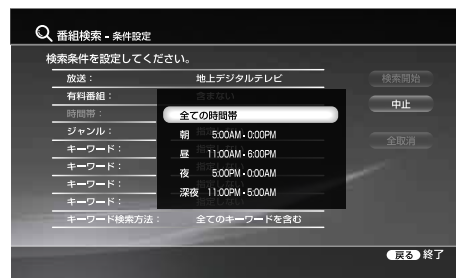
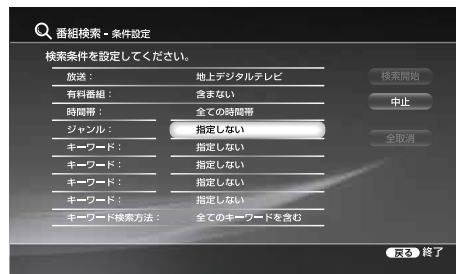
4 ↑↓で［放送］を選び、決定（決定）を押す。

放送の一覧が表示されます。

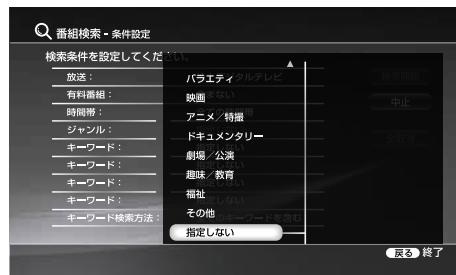
5 ↑↓で放送の一覧から検索対象の放送サービスを選び、決定（決定）を押す。

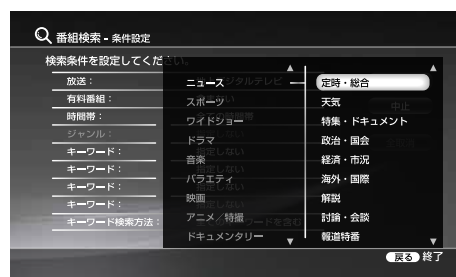
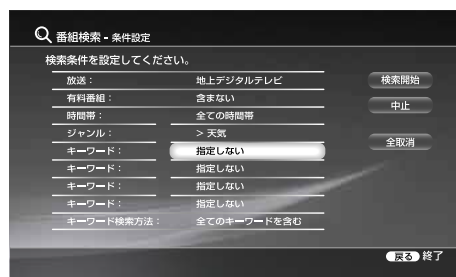
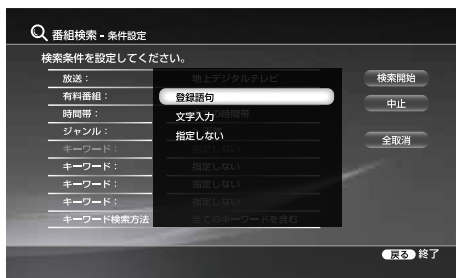
デジタル放送のみ選択できます。

6 ↑↓で［有料番組］を選び、決定（決定）を押す。

7 ↑↓で［有料番組］の項目で含む/含まないを選び、決定（決定）を押す。

デジタル放送のみ選択できます。

8 ↑↓で［時間帯］を選び、決定（決定）を押す。

9 一覧から時間帯を選び、決定（決定）を押す。

10 ↑↓で［ジャンル］の設定欄を選び、決定（決定）を押す。

大ジャンルの一覧が表示されます。

11 ↑↓でジャンルを選び、→を押す。

ジャンルを選択して→を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選択することができます。

12 ↑↓で詳細なジャンルを選び、決定（決定）を押す。

13 ↑↓で［キーワード］の設定欄を選び、決定（決定）を押す。

キーワードの一覧が表示されます。

次のページにつづく⇨

14 ↑↓でキーワードを選び、（決定）（決定）を押す。

キーワードが一覧に表示されないときは、次の方法で、キーワードを入力してください。

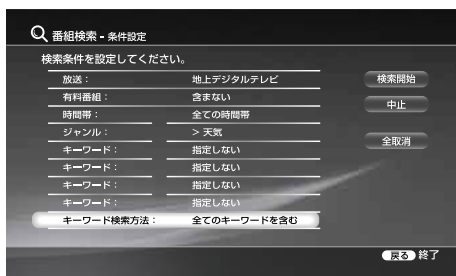
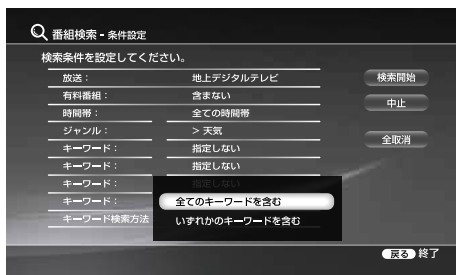
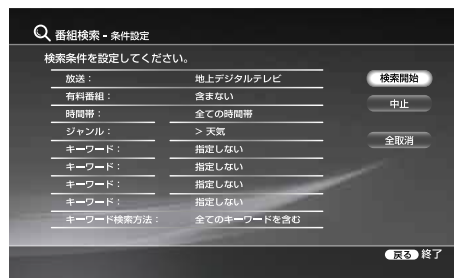
登録語句からキーワードを選ぶには

1. **キーワードの一覧の中から[登録語句]を選び、（決定）（決定）を押す。**
2. **↑↓で利用する語句を選び、（決定）（決定）を押す。**
   出荷時には、登録語句はありません。語句の登録方法は「よく利用する語句を登録する」（67ページ）をご覧ください。

画面上のキーボードでキーワードを入力するには

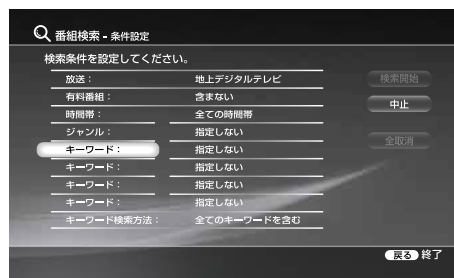
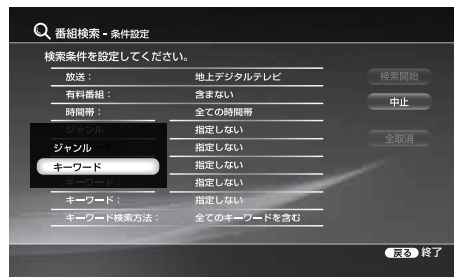
1. **手順14で[文字入力]を選び、（決定）（決定）を押す。**
   画面上にキーボードが表示されます。
2. **キーボードを使ってキーワードを入力し、（決定）（決定）を押す。**
   文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（153ページ）をご覧ください。
   キーワードの入力が終了したら、次の手順15に進んでください。

15 ↑↓で[キーワード検索方法]を選び、（決定）（決定）を押す。

検索方法の一覧が表示されます。

16 ↑↓で検索方法を選び、（決定）（決定）を押す。

17 ↑↓←→で[検索開始]を選び、（決定）（決定）を押す。

検索結果画面が表示されます。

キーワードとジャンルの組み合わせを変更するには

番組検索のジャンルとキーワードは合わせて5つまで設定できます。お買い上げ時は、ジャンル設定欄が1つ、キーワード設定欄が4つの組み合わせですが、検索したい番組の内容にあわせて、次の手順でキーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。

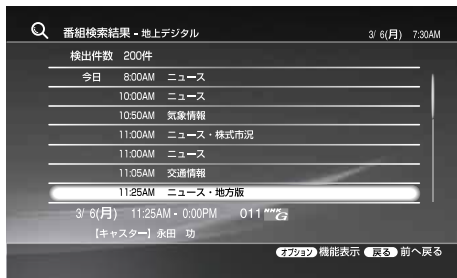
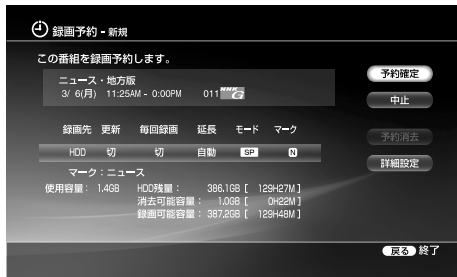
1. **↑↓←→で[キーワード]や[ジャンル]を選び、（決定）（決定）を押す。**

2. **↑↓で[キーワード]または[ジャンル]を選び、（決定）（決定）を押す。**

検索した番組を選局したいときは

1. **「番組検索を使う」（65ページ）の手順1～17を行う。**
2. **↑↓で選局したい番組を選び、（オプション）（オプション）を押す。**
3. **↑↓で[選局]を選び、（決定）（決定）を押す。**
   選択した番組の放送が表示されます。

検索した番組を録画/予約したいとき

1 「番組検索を使う」(65ページ)の手順**1**～**17**を行う。

2 **↑↓で録画したい番組を選び、(決定)を押す。**

録画予約設定画面が表示されます。

3 **↑↓←→で[予約確定]を選び、(決定)を押す。**

画面に「録画予約手続が完了しました」と表示されます。選んだ番組が放送中の番組のときは 、録画が始まります。

検索条件を変更するには

検索結果画面で (戻る)を押し、変更したい項目に応じて、「番組検索を使う」(65ページ)の手順**4**～**16**を繰り返します。
すべての項目を変更して検索したいときは、[全取消]を選び、(決定)を押してから、「番組検索を使う」の手順**4**～**16**を行います。

よく利用する語句を登録する

よく利用する語句を登録することができます。

1 **「番組検索を使う」(65ページ)の手順14で[文字入力]を選び、(決定)を押す。**

2 **画面に表示されるキーボードを使って登録したい語句を入力する。**

3 **[語句登録]を選び、(決定)を押す。**

登録した語句を利用するには

1 **キーワード一覧の[登録語句]を選び、(決定)を押す。**

2 **↑↓で利用する語句を選び、(決定)を押す。**

「テレビ機能を使う」に関するご注意・制約事項

「テレビ番組を見る」のご注意

- はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルを自動設定しておいてください(37、132ページ)。
- 本機の映像が正しい比率でテレビに表示されないときは、「テレビ画面での画像の見えかた一覧」(179ページ)をご覧になり、本機の出力映像横縦比やテレビのワイドモードの設定を確認してください。
- ワンセグ放送は本機で受信できません。

「有料番組や視聴年齢制限つき番組を見る」のご注意

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除するには

- ↑↓←→で数字を入力した後に ①～⑩ を使うと、↑↓←→を使って入力した数字は ①～⑩ で入力した数字に変わります。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、144ページをご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直してください(152ページ)。

「番組表を使う」のご注意

- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- 放送時間が短い番組や時間当たりの番組数が多い場合は、ズームの表示「小」と表示「中」では表示されないものがあります。
- 次の番組は番組表に表示されません。
  －チャンネルをとばす設定(132、133、135ページ)をした放送局の番組
  －放送大学の番組
  －CATV独自の番組*

* CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。

「番組検索を使う」のご注意

- 登録語句は、出荷時は設定されていません。よく使う語句は、先に登録することをおすすめします(67ページ)。
- 番組表のデータを受信していないときは検索はできません。
- 番組表で非表示にしている放送局の番組は検索できません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- キーワードには、カナや漢字、全角や半角の違いがあります。例えば、「野球」という名称の番組を検索するとき、「やきゅう」(ひらがな)では検索されません。
- 検索で表示できる番組数は最大200番組までです。
- 長音「ー」とダッシュ「—」は異なる文字として認識されます。例えば、「サッカー」(長音)と「サッカ—」(ダッシュ)では検索結果が異なりますのでご注意ください。

ビデオ機能を使う

ビデオ機能を使うと、デジタル放送や、アナログ放送の番組を本機のハードディスクやDVDに録画できます。
録画予約や編集ダビングなど録画以外の様々な機能も利用できます。

ビデオカテゴリーのアイコン一覧

アイコン	説明
	まるごとディスクコピー DVDディスクのコピーを行います（111ページ）。
	おでかけ転送 ハードディスクに録画した映像を"PSP"で見られるよう転送します（RDZ-D97A/D77Aのみ）（107ページ）。
	HDV/DVダビング i.LINK経由でデジタルビデオカメラからのダビングを行います（109ページ）。
	DVD→HDDダビング DVDからハードディスクへダビングを行います（103ページ）。
	HDD→DVDダビング ハードディスクからDVDへダビングを行います（103ページ）。
	日時指定予約 日時を指定して予約します（81ページ）。
	x-おまかせ･まる録 キーワードやジャンルを指定し、おまかせ条件を設定します（75ページ）。
	おまかせ予約リスト x-おまかせ･まる録で自動予約された番組が一覧で表示されます（79ページ）。

アイコン	説明
	予約リスト 予約した番組が一覧で表示されます（83ページ）。
	DVD 本機にDVDディスクを挿入すると表示されます（86ページ）。
	ビューフォルダ 録画した番組（タイトル）を番組の種類ごとに分類し、フォルダ表示します（95ページ）。
	ハードディスク ハードディスク録画された番組（タイトル）が表示されます（88ページ）。 ：移動（ムーブ）可能な録画した番組や映像（コピー制御信号により、ハードディスクまたはCPRM対応ディスクにのみ1回だけ録画できる番組。ダビングすると消去されるタイトルです。） ：ダビングできない録画した番組や映像 NEW：再生されていない録画した番組や映像 **ORG**：オリジナルタイトル（録画した番組や映像） 青：DRモードで録画した場合。 ピンク：DRモード以外で録画した場合。 ORG：上記のORGで、"PSP"で見られるよう高速転送できるタイトル（RDZ-D97A/D77Aのみ）。 **PL**：プレイリスト（オリジナルタイトルから作られた仮想映像） 青：参照しているオリジナルタイトルがDRモードで録画されている場合。 ピンク：オリジナルタイトルがDRモード以外で録画されている場合。 PL：上記のPLで、"PSP"で見られるよう高速転送できるタイトル（RDZ-D97A/D77Aのみ）。 NEW（金）：x-おまかせ･まる録で録画され、再生されていない番組の中でおすすめ度が高いもの。 NEW（青）：x-おまかせ･まる録で録画され、再生されていない番組。

アイコン	説明
	★:x-おまかせ·まる録で録画されたタイトル ★ の付いたタイトルは、ハードディスクがいっぱいになったときには自動的に消去されます。また、[プロテクト]や[A-B消去]などの編集をすると ★ が消えます。 **DR/XP/XSP/SP/LSP/ESP/LP/EP/SLP**:録画モード GG :地上アナログの番組表(Gガイド)や日時指定予約から録画した地上アナログ放送のタイトル (更新):更新録画対象 (プロテクトマーク):保護されたタイトル x-Pict Story :x-Pict Story HDファイルから作成したビデオタイトル(動画)が表示されます。 ユーザーマーク:番組のジャンルに応じて自動的に付いたマーク。または、お好みで設定したマーク。

テレビ番組を録画する

ご注意はP114へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

1 **テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。**
テレビの入力切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 ホーム **(ホーム)を押す。**

3 **←→で、録画したい放送の種類を選ぶ。**
選べる放送
地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

4 **↑↓で録画したいチャンネルを選び、決定(決定)を押す。**

5 **リモコンのふたを開け (HDD/DVD)を押して、録画先を選ぶ。**
録画先の情報が画面上と本体表示窓に表示されます。
HDD:本機のハードディスクに録画します。
DVD:本機に入れたDVDディスクに直接録画します。

6 **(録画モード)を繰り返し押して、録画モードを選び、決定(決定)を押す。**
録画モードが、画面上と本体表示窓に表示されます。

7 **(録画)を押す。**
録画が開始されると、画面上と本体表示窓に●が表示され、本体前面のRECランプが点灯します。
録画中は本体の表示窓に録画経過時間が表示されます。

ちょっと一言

手順4でチャンネル決定後、(オプション)の[番組録画]を選択しても録画できます。

次のページにつづく⇨

録画を停止したり、一時停止するには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で から録画中の番組を選び、（決定）を押す。

録画を停止したり、一時停止させたい番組を必ず画面に表示させてください。
地上アナログの番組を録画しているときに、デジタル放送の番組を表示し、停止や一時停止を押しても、地上アナログの録画を停止させたり、一時停止させることはできません。

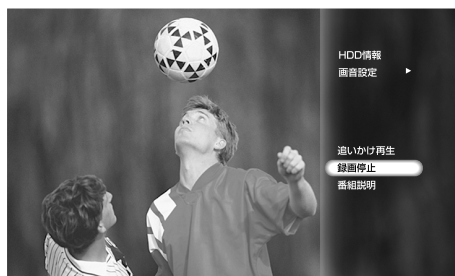
3 リモコンのふたを開け（HDD/DVD）を押して、録画しているメディアを選ぶ。

4 （録画停止）または（録画一時停止）を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

録画中の番組を選択しているときや視聴しているときに、（オプション）の［録画停止］を選択しても録画を停止できます。

録画中の番組を視聴しているときに（オプション）を押すと、次の操作ができます。

項目	できること
HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（86ページ）。
DVD情報	DVDの情報を表示します（87ページ）。
画音設定	画質･音質を調整します（94ページ）。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します（92ページ）。
録画停止	録画を停止します。
録画延長	録画予約で設定した録画の録画時間を延長します（80ページ）。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します（62、64ページ）。
降雨対応切換	降雨対応番組時に降雨対応放送に切り換えます。

使用状況によって表示されるオプションが異なります。
番組表を表示中にできることについては、62、63ページをご覧ください。

録画を始める前に…

- デジタル放送の字幕をDRモードでハードディスクに録画する場合は、字幕データも記録します。なお、DRモード以外の録画モードでハードディスクやDVDに録画する場合や、“PSP”で再生する場合は、［字幕焼きこみ］を［入］にすると映像の中に字幕を焼きこむことができます（139ページ）。
- 1タイトルの連続録画最長時間は、ハードディスク、DVDともに約8時間です。8時間を超える予約はできません。
- ハードディスクに録画できる最大番組数は300です。
DVD+RW、DVD+Rでは49、DVD-RW、DVD-Rでは99です。ただし、使いかたによっては、最大数まで録画できないことがあります。
- ハードディスクやDVDに空きがあるかを確認してください（86ページ）。空きが足りない場合、ハードディスク、DVD+RW、DVD-RWではタイトルを消去して空きをつくることができます（101ページ）。
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）では音声多重放送の両音声（主･副）を記録できません。
から［ビデオ設定］の［DVD二重音声記録］で音声の種類（［主音声］か［副音声］）を選んでください（138ページ）。
- ハードディスクとDVD-RW（VRモード）とDVD-R（VRモード）では、音声多重放送の両音声（主･副）を記録できます。
から［ビデオ設定］の［HDD二重音声記録］や［DVD二重音声記録］で音声の種類を選んでください（137、138ページ）。
- 録画の画質を調整してください（71ページ）。
- AVマウス付きテレビ/チューナーと本機の録画予約を同時に設定すると、正しく録画されないことがあります。
- 本機では電源の入/切にかかわらず録画予約した録画が始まります。また録画中に電源を入/切しても、録画に影響はありません。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。

録画モードについて

ビデオカセットレコーダーの録画モード（標準･3倍）と同様に、記録時間の短い録画モードを選ぶと、データ量の多い高画質で録画できます。記録時間の長い録画モードを選ぶと、データ量を減らして長時間録画することができます。
「録画モード一覧」（181ページ）の記録時間を参考に、「デジタル放送の画質をそのまま録りたいからDR」、「できるだけ美しく録りたいからXP」（画質優先）、「できるだけ長く録りたいからSLP」（時間優先）など、録画したい時間と画質に合わせてお選びください。

ちょっと一言

- 録画した後に、画質を落としてデータ量を減らしてダビングすることができます（「録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）」105ページ）。
- 本機はハードディスク（デジタル放送）、ハードディスク（アナログ放送/外部入力）、DVDのそれぞれで最後に録画した録画モードを保持します。

録画の画質・映像サイズを設定する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

録画するときの画質や映像サイズを設定することができます。録画前に行ってください。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で、録画したい放送の種類を選ぶ。

選べる放送

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で録画したいチャンネルを選び、（決定）を押す。

4 （オプション）を押す。

5 ［画音設定］から［録画設定］を選び、（決定）を押す。

録画設定画面が表示されます。

6 次の各設定項目を選び、（決定）を押す。

項目	設定
録画モード	録画する時間や画質に合わせて録画モードを設定します。「録画モードについて」（70ページ）をご覧ください。
HDD録画横縦比 DVD録画横縦比*1*2	録画する番組に合った映像サイズに設定します。 • 自動（ハードディスクのみ）（ハードディスクの初期設定）⇨ 録画する番組の映像サイズに合わせます。 • 16:9 ⇨ 映像サイズを16:9（ワイド画面）に設定します。 • 4:3（DVDの初期設定）⇨ 映像サイズを4:3に設定します。 “PSP”転送用動画ファイルも、この設定で選んだ映像サイズで作成されます。4:3の設定で16:9の番組を録画すると、“PSP”転送用動画ファイルの画面比率が本来の映像とは異なる比率で表示されます。
録画DNR（ノイズリダクション）*2	映像信号に含まれているノイズを低減します。ノイズの多いシーンを検出して、ノイズ低減効果を各設定の範囲において自動調整します。
録画画質調整*3	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、（決定）を押します。 • コントラスト ⇨ コントラストを調整します。 • ブライトネス ⇨ 全体の明るさを調整します。 • 色の濃さ ⇨ 色をより濃く、またはより薄く調整します。 • 色合い ⇨ 色のバランスを調整します。

［標準設定］を選び、（決定）を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。

*1 DVD録画横縦比の設定について

+RW +R ⇨ すべて4:3で録画されます。

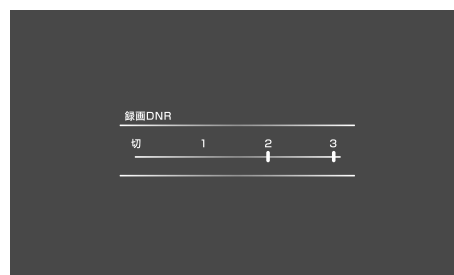
-RWVR -RVR ⇨ 設定に関係なく、実際の映像のサイズに合わせて録画します。たとえば、16:9の映像の場合、［4:3］に設定していても16:9で録画されます。

-RWVideo -RVideo ⇨ 録画モードがXPまたはXSP、SP、LSP、ESPに設定されている場合に有効です。その他の録画モードでは、4:3になります。

*2 デジタル放送には働きません。

*3 外部入力信号とDV信号にのみ働きます。

7 ↑↓←→で設定を選び、または調整し、（決定）を押す。

例：録画DNR

お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
録画DNR	（弱）切　1　<u>2</u>　3（強）
録画画質調整	
コントラスト	（弱）-3 ～ <u>0</u> ～ 3（強）
ブライトネス	（暗）-3 ～ <u>0</u> ～ 3（明）
色の濃さ	（薄）-3 ～ <u>0</u> ～ 3（濃）
色合い	（赤）-3 ～ <u>0</u> ～ 3（緑）

8 録画モードや、HDD録画横縦比、DVD録画横縦比、録画画質調整を調整するときは、手順6～7を繰り返す。

ビデオ
録画

次のページにつづく⇨

デジタル放送とアナログ放送の2つの番組を同時録画する(デジタル・アナログ2番組同時録画)

HDD　+RW　-RWVR　-RWVideo　+R　-RVR　-RVideo

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

地上･BS･110度CSデジタル放送と地上アナログ放送で、録画したい番組の放送時間が重なっても、どちらの番組も同時に録画することができます。
それぞれの番組の録画方法については、以下のページをご覧ください。

「テレビ番組を録画する」➡ 69ページ
「録画予約する」➡ 79ページ

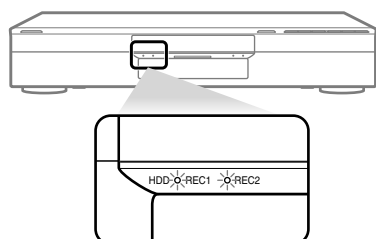
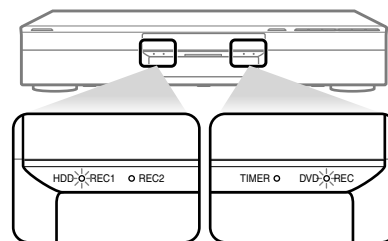
デジタル・アナログ2番組同時録画できる放送

- 地上アナログ放送と地上デジタル放送
- 地上アナログ放送とBSデジタル放送
- 地上アナログ放送と110度CSデジタル放送
- 外部入力と地上デジタル放送
- 外部入力とBSデジタル放送
- 外部入力と110度CSデジタル放送
- HDV1080iと地上アナログ放送
- HDV1080iと外部入力
- DVと地上デジタル放送
- DVとBSデジタル放送
- DVと110度CSデジタル放送

デジタル・アナログ2番組同時録画の組み合わせ

- デジタル放送をハードディスク(HDD)に録画/アナログ放送をハードディスク(HDD)に録画
- デジタル放送をハードディスク(HDD)に録画/アナログ放送をDVDに録画
- デジタル放送をDR以外のモードでDVDに録画/アナログ放送をハードディスク(HDD)に録画

デジタル・アナログ2番組同時録画の本体表示

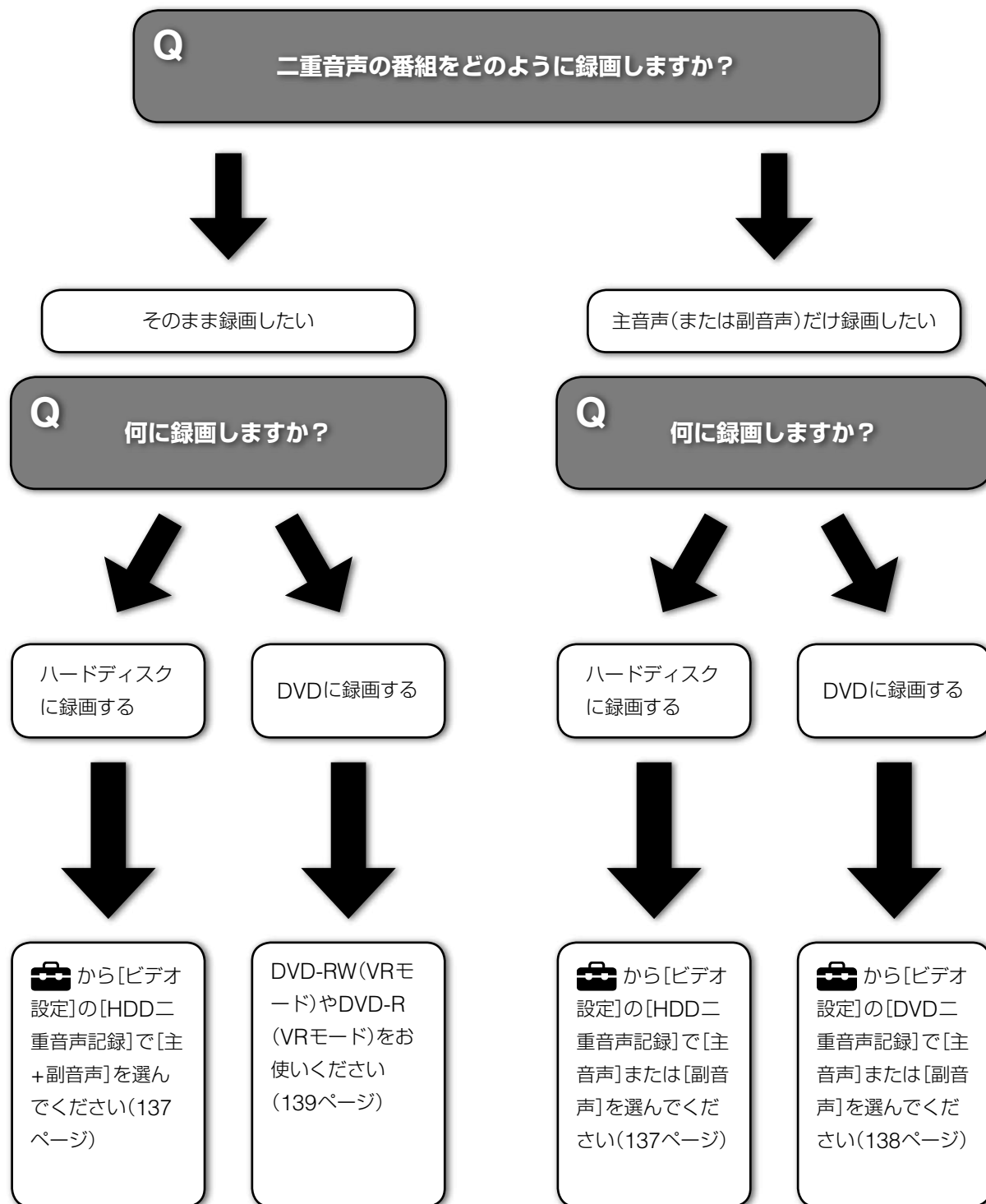
本機のハードディスクでデジタル･アナログ2番組同時録画を行っているとき、本体前面のHDD「REC1」と「REC2」が両方点灯します。

本機のハードディスクとDVDでデジタル･アナログ2番組同時録画を行っているとき、本体前面のHDD「REC1」とDVD「REC」が両方点灯します。

デジタル・アナログ2番組同時録画を停止したり、一時停止するには

1. **(ホーム)を押す。**
2. **←→で から録画中の番組を選び、(決定)を押す。**
   録画を停止したり、一時停止させたい番組を必ず画面に表示させてください。
   地上アナログの番組を録画しているときに、デジタル放送の番組を表示し、停止や一時停止を押しても、地上アナログの録画を停止させたり、一時停止させることはできません。
3. **リモコンのふたを開け (HDD/DVD)を押して、録画しているメディアを選ぶ。**
4. **(録画停止)または (録画一時停止)を押す。**
   録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
   録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。
   2番組とも停止や一時停止する場合は、デジタル、アナログともに手順2～4を行ってください。

ちょっと一言

録画中の番組を選択しているときや視聴しているときに、(オプション)の[録画停止]を選択しても録画を停止できます。

二ヶ国語放送(二重音声放送)を録画する

本機では二ヶ国語放送などの番組を録画するときに、音声を3通りの方法で記録することができます。
録画時に録音したい音声によって、録画方法が異なりますので、次の質問で操作方法を確認してください。
外部入力の音声設定については、「ビデオなど外部機器の映像を録画する」(74ページ)をご覧ください。

デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主+副音声が送られたり、第1音声(日本語)、第2音声(英語)などのように送られる場合があります。上記のように複数の音声信号がある番組をDRモード以外で録画する場合でかつ、第2音声を録画したい場合は、80ページの[詳細設定]で録画する信号を選択してください。

ビデオなど外部機器の映像を録画する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

本機につないだビデオなどから録画することができます。接続については(27ページ)をご覧ください。他機のDV出力端子(i.LINK)をお使いになるときは、本体前面のHDV1080i/DV IN入力端子をお使いください(182ページ)。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で外部機器の入力先を選び、(決定)を押す。

外部機器を接続した端子に応じて、「入力1」から「入力3」を選んでください。放送を見ている状態で (入力切換)を繰り返し押して、選ぶこともできます。

画面が外部入力の映像に切り換わります。

4 リモコンのふたを開け、(HDD/DVD)を押して、録画先を選ぶ。

5 (録画モード)を繰り返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」(70ページ)をご覧ください。

6 (オプション)を押し、[画音設定]を選び、(決定)を押す。

7 [外部入力音声設定]を選び、(決定)を押す。

外部入力音声設定画面が表示されます。

8 [ステレオ]または[二重音声]*を選び、(決定)を押す。

お買い上げ時はステレオに設定されています。

* 音声多重放送の番組をDVD+RWまたはDVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)に録画するときは、 から[ビデオ設定]の[DVD二重音声記録]で[主音声]または[副音声]を選びます(138ページ)。

ハードディスクに録画するときは、 から[ビデオ設定]の[HDD二重音声記録]で[主音声]または[副音声]、[主+副音声]を選びます(137ページ)。

9 調整したい入力の[レベル調整]を選び、(決定)を押す。

10 ←→で調整し、(決定)を押す。

[−2](小)から[2](大)の間で、記録される音量を調整できます。お買い上げ時は、[0]に設定されています。

11 (戻る)を押す。

12 (録画一時停止)を押して、本機を録画一時停止状態にする。

13 本機の入力端子につないだ機器にテープを入れて、再生一時停止状態にする。

14 本機の (録画一時停止)と、他機の一時停止または再生ボタンを同時に押す。

録画が始まります。

録画を止めるには、本機の (録画停止)を押します。

ちょっと一言

録画をする前に、録画の画質を調整することができます。「録画の画質・映像サイズを設定する」(71ページ)をご覧ください。

テレビ番組を自動で録画する（x-おまかせ・まる録）

ご注意はP115へ

HDD

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

自動録画のための条件（プリセットキーワード）を設定する

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （x-おまかせ・まる録）を選び、（決定）を押す。

x-おまかせ･まる録の録画条件が一覧で表示されます。

一覧には次の4種類の条件が表示されます。

（グリーン）

デジタルおすすめ：本機がおすすめするデジタル放送の番組を自動録画するための設定です。

アナログおすすめ：本機がおすすめするアナログ放送の番組を自動録画するための設定です。

（ホワイト）

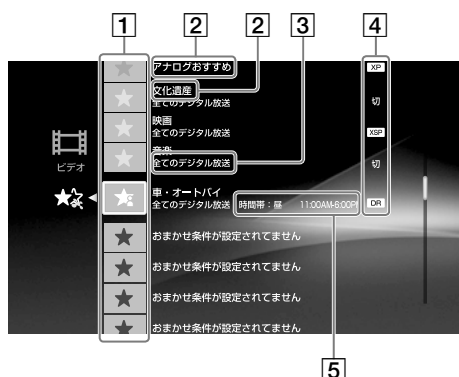
自分で設定した録画条件：自分で録画条件を登録すると、このアイコンがつきます。

（ブルー）

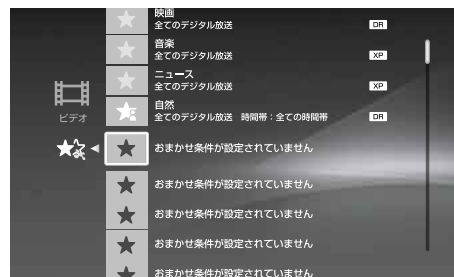
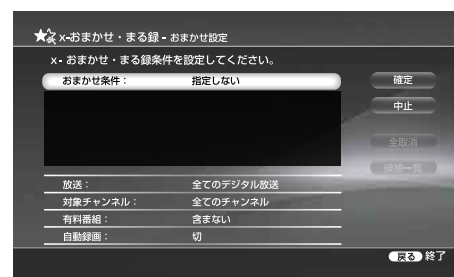
プリセットキーワードの録画条件：あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って録画条件を登録すると、このアイコンがつきます。

（グレー）

条件が設定されていないものです。

x-おまかせ･まる録設定一覧画面の各部名称

1 おまかせアイコン
2 おまかせ条件/キーワード
3 放送の種類
4 自動録画･録画モード
5 時間帯（ユーザー設定のときのみ）

4 ↑↓で （グレー）のおまかせ条件が設定されていない行を選び、（決定）を押す。

x-おまかせ･まる録設定画面が表示されます。

5 ［おまかせ条件］や［放送］、［対象チャンネル］、［有料番組］を設定して、（決定）を押す。

おまかせ条件

自動録画するための条件を設定します。

映画やドラマなどのプリセットキーワードを設定します。

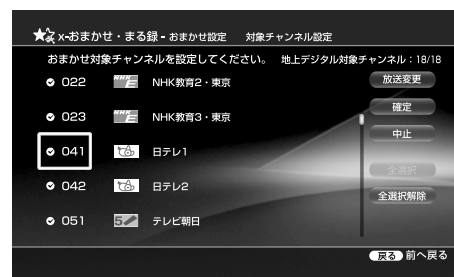
［ユーザー設定］を選択したときの設定方法について詳しくは、「自動録画用条件を新たに作成する（おまかせ条件をユーザー設定にする）」（76ページ）をご覧ください。

放送

おまかせ設定の対象となる放送を選びます。

対象チャンネル

おまかせ設定の対象となるチャンネルを選びます。

［ユーザー選択］を選ぶと次のような画面が表示され、チャンネルを指定することができます。［放送］で［全てのデジタル放送］を選択した場合、［対象チャンネル］の［ユーザー選択］で［放送変更］を選ぶと、放送の種類を変更することができます。

有料番組

有料番組を含めるかどうかを設定します。なお、有料番組を［含む］に設定しても、PPV（ペイ･パー･ビュー、177ページ）の番組は自動で録画されません。

6 ↑↓で［自動録画］を選び、（決定）を押す。

7 ↑↓で録画モードを選び、（決定）を押す。

録画モードについて詳しくは「録画モードについて」（70ページ）をご覧ください。

次のページにつづく⇨

8 **↑↓←→で[確定]を選び、決定（決定）を押す。**
おまかせ条件が設定され、x-おまかせ·まる録一覧画面に戻ります。

手順4で録画条件選択中に **（オプション）を押したときにできること**

項目	できること
おまかせ設定	x-おまかせ·まる録設定画面に切り換えます。
おすすめ設定*	本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
候補一覧	条件に合致した番組を表示します。
設定取消	設定した条件を取り消すことができます。

* [おすすめ設定]は ★ （グリーン）のときに表示されます。

使用状況によって表示されるオプションは異なります。

おまかせ条件を修正·削除する

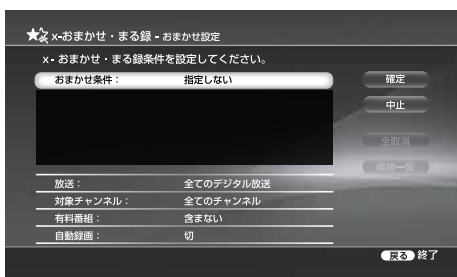
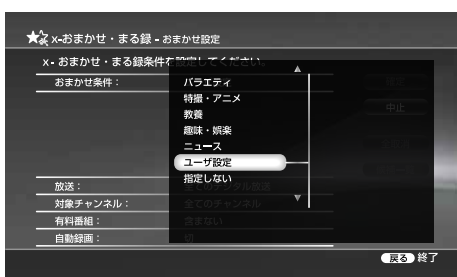
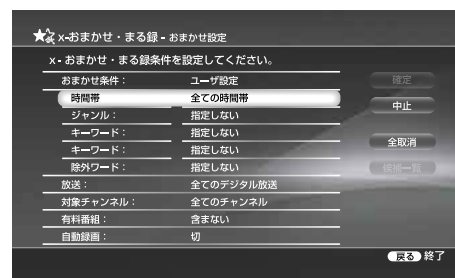
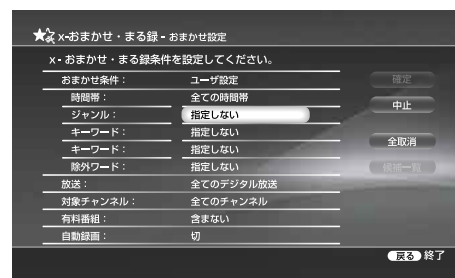
1 **手順4で修正·削除したい録画条件を選択する。**

2 **手順5 以降を行い修正したい項目を選び再度設定する。**
削除したいときは[全取消]を選び、決定（決定）を押し、さらに[確定]を選び、決定（決定）を押す。

自動録画用条件を新たに作成する（おまかせ条件をユーザー設定にする）

キーワードやジャンルなどを組み合わせ、自動録画用の新しい条件を設定できます。

1 **「自動録画のための条件（プリセットキーワード）を設定する」（75ページ）の手順1 ～ 4を行い、x-おまかせ·まる録設定画面を表示する。**

2 **[おまかせ条件]を選び、決定（決定）を押す。**

3 **[ユーザー設定]を選び、決定（決定）を押す。**

4 **[時間帯]を選び、決定（決定）を押す。**
一覧から時間帯を選び、決定（決定）を押します。

5 **↑↓←→で、[ジャンル]や[キーワード]、[除外キーワード]の設定欄を選び、決定（決定）を押す。**

6 **↑↓←→で、設定したいジャンルやキーワードを選び、決定（決定）を押す。**
キーワードが一覧に表示されないときは、次の方法でキーワードを入力してください。

登録語句からキーワードを選ぶには

1 **キーワードの一覧の中から[登録語句]を選び、決定（決定）を押す。**

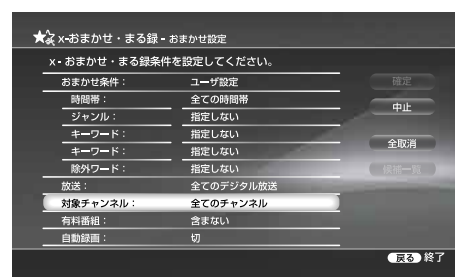
2 **↑↓で利用する語句を選び、決定（決定）を押す。**
出荷時には、登録語句はありません。語句の登録方法は「よく利用する語句を登録する」（67ページ）をご覧ください。

画面上のキーボードでキーワードを入力するには

1 **手順6で[文字入力]を選び、決定（決定）を押す。**
画面上にキーボードが表示されます。

2 **キーボードを使ってキーワードを入力する。**

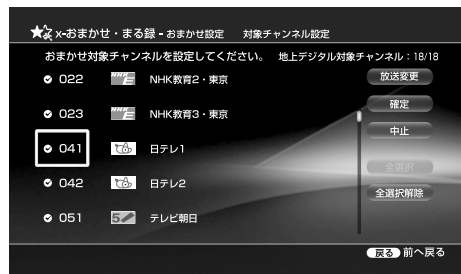
3 **すべての文字を入力したら、[入力終了]を選んで決定（決定）を押す。**
文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（153ページ）をご覧ください。
キーワードの入力が終了したら、次の手順7に進んでください。

7 **[放送]や[対象チャンネル]、[有料番組]、[自動録画]を設定して、決定（決定）を押す。**

放送

おまかせ設定の対象となる放送を選びます。

対象チャンネル

おまかせ設定の対象となるチャンネルを選びます。

[ユーザー選択]を選ぶと次のような画面が表示され、チャンネルを指定することができます。[放送]で[全てのデジタル放送]を選択した場合、[対象チャンネル]の[ユーザー選択]で[放送変更]を選ぶと、放送の種類を変更することができます。

有料番組

有料番組を含めるかどうかを設定します。なお、有料番組を[含む]に設定しても、PPV(ペイ･パー･ビュー、177ページ)の番組は自動で録画されません。

8 ↑↓←→で[自動録画]を選び、(決定)を押す。

9 ↑↓で録画モードを選び、(決定)を押す。

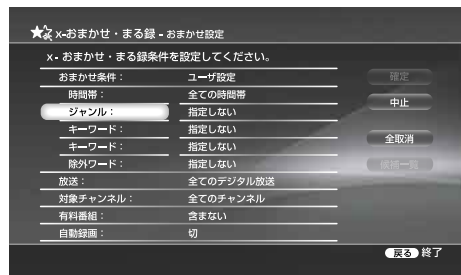
録画モードについて詳しくは「録画モードについて」(70ページ)をご覧ください。

10 ↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

おまかせ条件が設定され、x-おまかせ･まる録一覧画面に戻ります。

ジャンルやキーワード、除外キーワードの組み合わせを変更するには

おまかせ設定のジャンルとキーワード、除外キーワードは合わせて4つまで設定できます。お買い上げ時は、ジャンル設定欄が1つ、キーワード設定欄が2つ、除外キーワード設定欄が1つの組み合わせですが、設定したい内容にあわせて、次の手順でキーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。

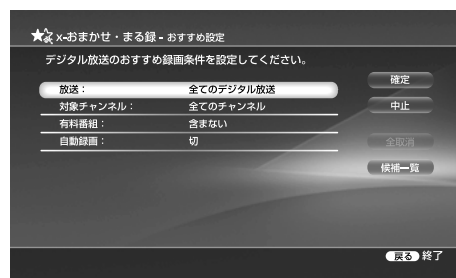
1 「自動録画用条件を新たに作成する(おまかせ条件をユーザー設定にする)」(76ページ)の手順**5**で、↑↓←→で[ジャンル]や[キーワード]、[除外キーワード]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓で、[ジャンル]、[キーワード]、[除外キーワード]を選び、(決定)を押す。

本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする

地上アナログ放送やデジタル放送の番組で、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動録画する設定を行います。

1 「自動録画のための条件(プリセットキーワード)を設定する」(75ページ)の手順**1**～**3**を行い、[デジタルおすすめ]または[アナログおすすめ]を選び、(決定)を押す。

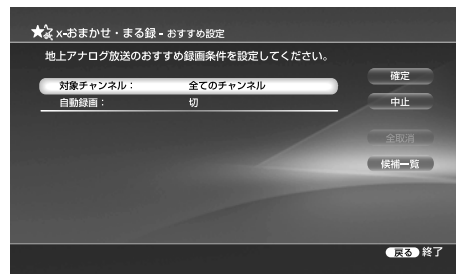
[デジタルおすすめ]の場合

❶ ↑↓で[放送]を選び、(決定)を押す。

❷ ↑↓で放送の種類を選び、(決定)を押す。

❸ ❶～❷と同じ手順で、[対象チャンネル]や[有料番組]、[自動録画]の設定も行う。

❹ ↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

[アナログおすすめ]の場合

❶ 上記の❶～❷と同じ手順で、[対象チャンネル]と[自動録画]を設定する。

❷ ↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

設定した条件で録画される番組の候補を確認する

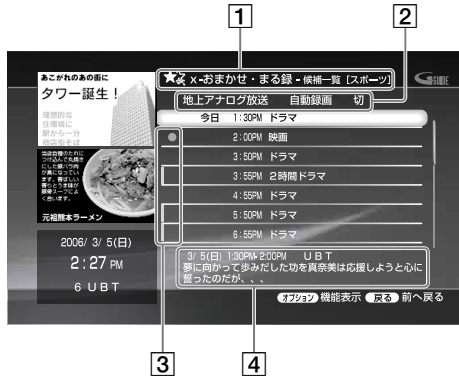
1 「自動録画のための条件(プリセットキーワード)を設定する」(75ページ)の手順**3**から確認したい録画条件を選び、(オプション)を押す。

2 ↑↓で[候補 一覧]を選び、(決定)を押す。

設定した録画条件で自動録画の候補番組が一覧表示されます。

次のページにつづく⇨

デジタル放送の場合

地上アナログ放送の場合

1 x-おまかせ・まる録候補リスト名
2 放送・自動録画・録画モードの設定
3 表示マーク
●(赤色):録画中の番組
▌:予約リストの予約と重なっているので、録画されない。
◷:録画予約されている番組(予約リストに表示)
4 詳細情報
カーソルで選択されている番組の詳細を表示します。

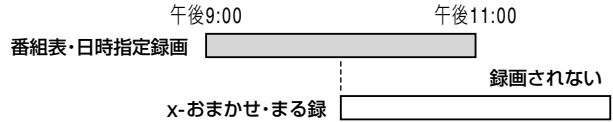
番組確認中に **(オプション)でできること**

項目	できること
録画予約	録画を予約します(79ページ)。
番組説明	番組の内容が表示されます。

x-おまかせ・まる録候補一覧の番組を予約リストに登録するには

x-おまかせ・まる録候補一覧に表示されていても録画されない番組もあります。
x-おまかせ・まる録候補一覧の番組を確実に録画したいときは、次の手順で予約リストに登録してください。
x-おまかせ・まる録候補一覧から録画したい番組を選び、(決定)を押します。その後予約設定画面が表示されるので、[予約確定]を選び、(決定)を押します(79ページ)。

x-おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

他の録画予約が優先し、おまかせ・まる録は行われません。

ちょっと一言

- ハードディスク残量が少なくなった場合にx-おまかせ・まる録で録画したタイトルが自動消去される場合がありますが、消去されないよう保護することができます(101ページ)。
- x-おまかせ・まる録設定の内容を変更/削除しても、変更前のx-おまかせ・まる録が行われることがあります。確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。
- 本機が学習した情報は、の[出荷時の状態に設定]で初期化することができます(152ページ)。

「x-おまかせ・まる録」同士が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。

x-おまかせ・まる録中に録画を停止するには

1 **(ホーム)を押す。**

2 **←→で から録画中の番組を選び、(決定)を押す。**
録画を停止させたい番組を必ず画面に表示させてください。
地上アナログの番組を録画しているときに、デジタル放送の番組を表示し停止を押しても、地上アナログの録画を停止させることはできません。

3 **リモコンのふたを開け (HDD/DVD)を押して、録画しているメディアを選ぶ。**

4 **(録画停止)を押す。**
録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

録画中の番組を視聴中に、(オプション)の[録画停止]を選択しても録画を停止できます。

自動で録画される番組を確認する

おまかせ予約リストを使うと、自動録画される予定のすべての番組を一覧で確認することができます。
自動録画の録画条件で抽出された番組だけでなく、本機が探し出したおすすめ度の高い番組も一覧に表示します。

1 **（ホーム）を押す。**

2 **←→で を選ぶ。**

3 **↑↓で （おまかせ予約リスト）を選び、 （決定）を押す。**

おまかせ予約リストが表示されます。
自動録画される予定の番組が一覧で確認できます。
おまかせ予約リストに表示されている番組を選び、 （オプション）を押すと、その番組の予約内容を変更することができます。

おまかせ予約リスト表示中に **（オプション）でできること**

項目	できること
スポーツ延長対応	スポーツ延長の設定ができます（84ページ）。
録画予約	この録画を確実に行いたいときに選んでください。[録画予約]を選び[予約確定]を押すと、この番組はおまかせ予約リストから録画予約リストに移動します。
予約消去	予約を消去します。
録画延長	録画を延長したいときに設定します（80ページ）。延長した番組は、おまかせ予約リストから録画予約リストに移動します。
録画停止	録画中の場合、録画を停止します。
予約情報	予約に関する情報を表示します。

おまかせ予約リストの内容は、x-おまかせ･まる録候補一覧が更新されたり、予約情報が更新された場合などにより随時更新されます。確実に録画したい番組は、オプションから録画予約することをおすすめします。

録画予約する

ご注意はP115へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

番組表で録画予約する

番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定することができます。
日時指定予約と合わせて40番組まで予約できます。番組表の見かたについては「番組表を使う」（60ページ）をご覧ください。

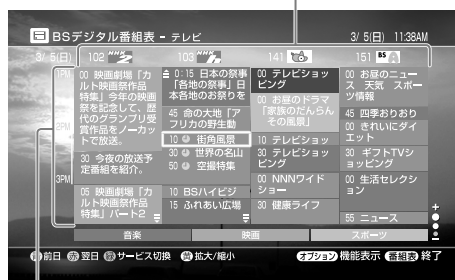
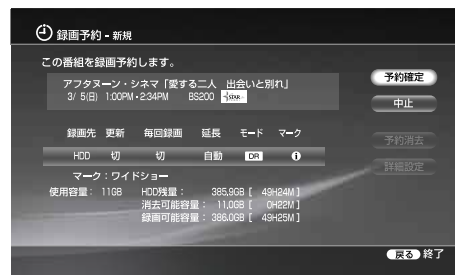
1 **テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。**
テレビの入力切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 **（ホーム）を押す。**

3 **←→で、録画したい放送の種類を選ぶ。**
選べる放送

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

4 **↑↓で （番組表）を選び、 （決定）を押す。**
番組表が表示されます。

5 **録画したい番組を選び、 （決定）を押す。**
予約内容（番組名、日付、録画開始･終了時刻、放送局名またはチャンネル番号、録画先、録画モード）が表示された録画予約設定画面が表示されます。

次の項目を変更できます。

次のページにつづく⇨

項目	設定
録画先	ハードディスクかDVDを選びます。
更新（ハードディスクのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（85ページ）。
毎回録画	毎日放送される番組などを毎回録画する（毎日、月－金など）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。
延長	録画予約の終了時間を遅らせます。10分ごとに最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応（84ページ）の延長時間と合わせると最長180分になります。デジタル放送の予約の場合は、放送の延長に合わせて本機が自動的に録画の終了時間を延長するため、[自動]に設定することをおすすめします。
モード	録画モードを変更します（181ページ）。予約時に表示されるモードは録画モードで選択されているモードが表示されます。
マーク（ハードディスクのみ）	ジャンルが設定されている番組の場合、番組のジャンルに応じたマークが自動的に付きます。また、お好みのマークを付けることもできます（103ページ）。
詳細設定	記録する信号を選択します（録画モードがDR以外でデジタル放送のみ）。

リモコンの◯（HDD/DVD）で録画先を変更したり、◯（録画モード）で録画モードを変更したりできます。

6 **[予約確定]を選び、（決定）を押す。**

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。

予約した番組は、番組表に が表示されます。

本体のタイマーランプが点灯し、本機が予約待機になります。

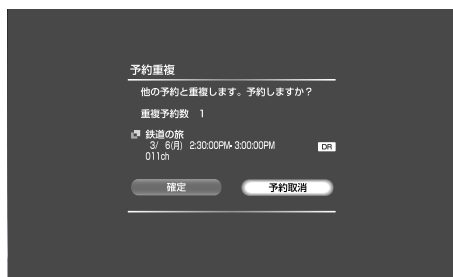
録画が始まると、自動でチャンネルが切り換わり●（赤色）が表示されます。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

予約の設定を途中で取り消すには

（戻る）を押します。番組表に戻ります。

予約が重なったときは

次のような確認画面に、 が表示されます。予約が重複している番組の一部またはすべてを録画できないことがあります。

- [確定]を選ぶと、予約をそのまま設定します。予約の優先順位にしたがって録画します（85ページ）。
- [予約取消]を選ぶと、設定を取り消すことができます。

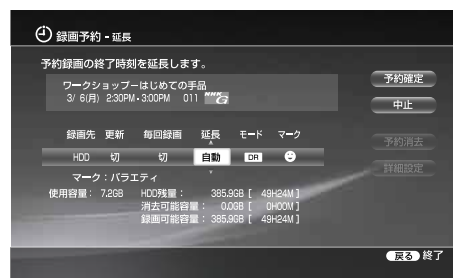
現在放送中の番組を録画するには

番組表から現在放送中の番組を選んで、手順**5**～**6**の操作を行うとすぐに録画が始まります。番組が終了すると自動的に録画が停止します。

録画予約した番組を録画しているときに録画時間を延ばすには

録画中の番組を表示中に （オプション）を押して、[録画延長]を選びます。

番組表で録画中の番組を選んで （決定）を押しても録画延長ができます。ただし、番組表から録画していない番組などはこの操作ができない場合があります。

↑↓で時間を設定します。

10分ごとに最長60分まで録画時間を延ばすことができます。

[予約確定]を選び、 （決定）を押します。

ちょっと一言

- 録画したタイトルは、タイトルリストから再生できます（88ページ）。
- 番組表に表示されない先の日時の番組は、日時指定で予約できます（81ページ）。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索、録画予約することができます（65ページ）。
- スポーツ中継などの時間延長に合わせ、録画を自動的に延長することができます（「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する（スポーツ延長対応）」84ページ）。
- [消去可能容量]は、ハードディスクの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。
- ペイ･パー･ビュー番組は毎回録画や延長設定ができません。

録画予約した番組を録画しているときに録画を停止するには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で から録画中の番組を選び、（決定）を押す。

録画を停止させたい番組を必ず画面に表示させてください。地上アナログの番組を録画しているときに、デジタル放送の番組を表示し停止を押しても、地上アナログの録画を停止させることはできません。

3 リモコンのふたを開け （HDD/DVD）を押して、録画しているメディアを選ぶ。

4 （録画停止）を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

録画中の番組を選択しているときや視聴しているときに、（オプション）の[録画停止]を選択しても録画を停止できます。

番組表から予約を変更する・取り消す

番組表で設定した予約は、番組表から予約の変更や消去ができます。

1 番組表を表示する。

2 番組表から予約した番組を選び、（決定）を押す。

録画予約ー修正画面が表示されます。設定項目を変更することができます。

項目	できること
予約消去	予約を取り消します。録画予約消去画面で[はい]を選び、（決定）を押します。
詳細設定	記録する信号を選択します（録画モードがDR以外でデジタル放送のみ）。

3 予約を変更したら、[予約確定]を選び、（決定）を押す。

日時を指定して予約する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

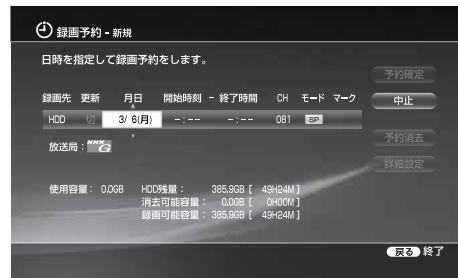
1ヵ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、40番組まで予約できます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （日時指定予約）を選び、（決定）を押す。

録画予約設定画面が表示されます。

4 ←→で次の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画先	ハードディスクかDVDを選びます。DVDを選んだときは録画用のDVDを入れてください。
更新（ハードディスクのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（85ページ）。
月日	録画の日付を選びます。 次の順で選べます。 今日 → 明日 →………（1ヵ月後）→ 毎(日) →………→ 毎(土) → 月-金 → 月-土 → 毎日 → 今日
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。 次の順で選べます。 地上アナログ → 地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → 入力1 → 入力2 → 入力3
モード	録画モードを選びます（181ページ）。
マーク（ハードディスクのみ）	録画したいタイトルに付けるユーザーマークを選びます（103ページ）。

リモコンの（HDD/DVD）で録画先を変更したり、（録画モード）で録画モードを変更できます。
（アナログ）、（デジタル）、（BS）、（CS）で放送の種類を選ぶこともできます。

5 [予約確定]を選び、（決定）を押す。

本体のタイマーランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。

BS/110度CSデジタル放送のときは、[詳細設定]で指定時間内の視聴年齢制限番組を録画するかどうかを設定できます。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

予約が重なったときは

85ページをご覧ください。

録画予約した番組を録画しているときに録画時間を延ばすには

80ページをご覧ください。

次のページにつづく⇨

録画予約した番組を録画しているときに録画を停止するには

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で から録画中の番組を選び、(決定)を押す。

録画を停止させたい番組を必ず画面に表示させてください。地上アナログの番組を録画しているときに、デジタル放送の番組を表示し停止を押しても、地上アナログの録画を停止させることはできません。

3 リモコンのふたを開け (HDD/DVD)を押して、録画しているメディアを選ぶ。

4 (録画停止)を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

録画中の番組を視聴中に、 (オプション)の[録画停止]を選択しても録画を停止できます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す(予約リスト)」(83ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は次の日付に設定されます。
- [消去可能容量]は、ハードディスクの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。

録画した番組(タイトル)の次回の予約をする(次回予約)

録画したタイトルの次回に放映される番組を検索し、録画予約をかんたんに行うことができます。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で次回予約したいタイトルを選び、 (オプション)を押す。

次回予約したいタイトルを再生しているときに (オプション)を押しても設定できます。

4 [次回予約]を選び、 (決定)を押す。

番組が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示されます(79ページ)。

5 [予約確定]を選び、 (決定)を押す。

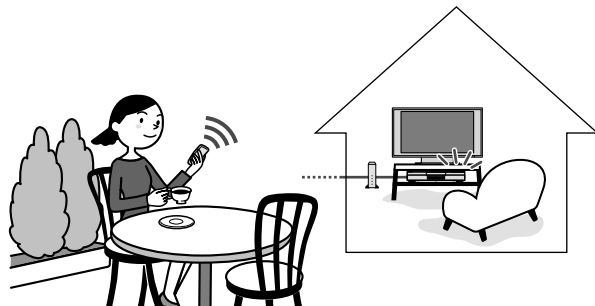
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ちょっと一言

- 次回予約の番組の検索はタイトル名をキーワードにして行います。
- 次回予約の番組の検索はタイトルの開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の間で行います。
- タイトル名を変更して次回予約の番組を検索すると、番組が見つからなかったり、番組名が似ているほかの番組が検索されることがあります。
- タイトルが放送中または録画中のときは、現在放送中の番組が検索されます。
- 次回予約の番組の検索は現在日から1週間後までの範囲で行います。

携帯電話で録画予約する(携帯電話録画予約)

HDD

携帯電話の番組表機能を使って、外出先から簡単に録画予約できます。予約し忘れた番組や、外出先で急に録画したくなった番組なども、その場で録画予約できます。

本機能を利用するために必要な準備について

携帯電話録画予約をするには、ネットワークの接続・設定と、携帯電話に関する設定が必要です。また、本機の設定だけでなく、別途「リモート録画予約」サービス事業者との契約が必要です。「携帯電話録画予約のための設定をする」(50ページ)をご覧になり、お使いの環境に応じた準備を行ってください。

「リモート録画予約」については「リモート録画予約」サービス事業者にお問い合わせください(168ページ)。

ちょっと一言

あらかじめADSLやケーブル(CATV)、FTTHのブロードバンドインターネットサービスに申し込み、常時接続できる環境を整えてください。

予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

予約リストは録画予約されている番組を一覧表示します。予約リストから、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更をすることができます。

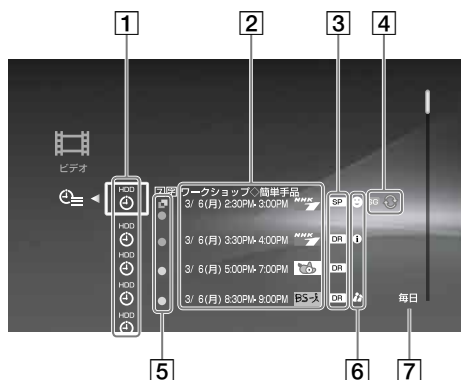
1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （予約リスト）を選び、（決定）を押す。

予約リストが表示されます。

1 2 3 4

5 6 7

1 **録画先ディスク**

携帯電話録画予約の場合、 が表示されます。

2 **予約している番組の一覧**

3 **録画モード**

4 **予約機能マーク**

（更新）：更新録画予約（85ページ）に設定されている場合に表示されます。

スポーツ（スポーツ延長）：スポーツ延長対応（84ページ）の延長対象になった場合に表示されます。

GG：地上アナログの番組表から録画予約した場合に表示されます。

5 **録画・重複マーク**

：複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組に表示されます。

●（赤色）：録画予約した番組を録画しているときに表示されます。

●（青色）：録画可
同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画できることを示します。

●（灰色）：録画不可
録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。
録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。
録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。

6 **ユーザーマーク**

予約設定時に設定した分類マークを表示します。ジャンルが設定されている番組の場合は、自動的にマークが設定されます。

7 **毎回録画表示**

毎日、毎週、月–金など、毎回録画予約した番組に表示されます。

予約を変更するには

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。録画予約–修正画面で、変更したい項目を設定し直してから、[予約確定]を選び、（決定）を押します。録画予約設定画面の設定項目について詳しくは、「番組表で録画予約する」（79ページ）の手順5をご覧ください。

予約を取り消すには

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。録画予約設定画面で、[予約消去]を選び、（決定）を押します。

ちょっと一言

録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます（80ページ）。

予約リスト表示中に **（オプション）でできること**

項目	できること
番組追跡録画	放送時間の変更に対応して録画します（84ページ）。
スポーツ延長対応	スポーツ番組などの放送時間の延長に備えて録画時間を延長します（84ページ）。
優先順表示/日付順表示	優先設定されている番組を先に表示したり、日付順に表示したりできます。
録画延長	録画を延長します。
録画停止	録画を停止します。
予約修正	予約を修正します。
予約消去	予約を取り消します。
予約情報	設定されている予約を表示します。
優先変更	優先順を変更します。

ビデオ 録画予約

次のページにつづく⇨

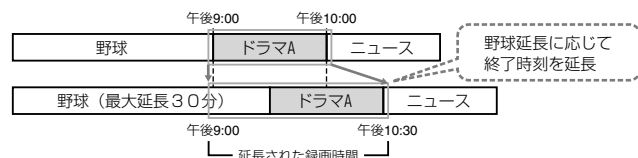
項目	できること
番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上アナログ放送の番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
予約重複確認	重複した予約があれば、重複した予約に対して表示します。

スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する（スポーツ延長対応）

スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表データから検出された延長時間分（10分単位で最長120分）、検出できない場合は［スポーツ延長対応］（137ページ）で設定した時間分延長して録画します。
次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- 予約番組の放送開始時刻より前に、ジャンルが「スポーツ」の番組の放送予定が同じチャンネルにある。
- 中継番組の番組説明に「延長」、「試合終了まで」、または「完全中継」という語句がある。
- 中継番組が、午後7：00から午後9：00の間に放送される。
- 予約番組の開始時刻が翌日午前5:00より前である。
- デジタル放送は放送局から、番組の延長情報などが送られてくるため、スポーツ延長の設定をしなくても、自動的に録画を延長します。デジタル放送で自動的に録画を延長させたいときは、延長の設定を［自動］にしてください。

スポーツ延長対応により録画が延長される予約には、予約リスト上に スポーツ がつきます。この機能はお買い上げ時は、［入］に設定されています。

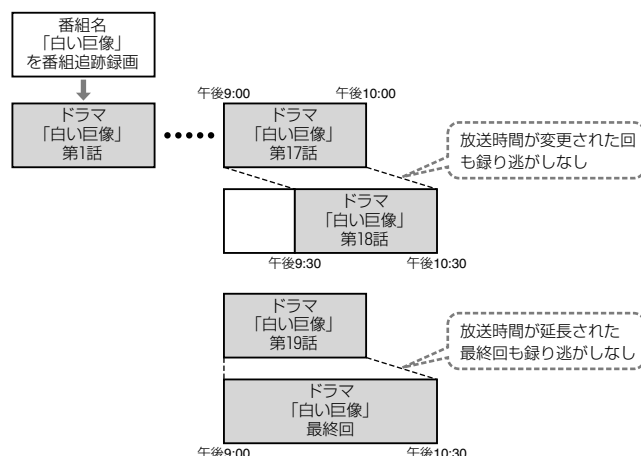
例：午後9:00から午後10:00まで放送予定のドラマAを予約しています。ドラマAの前には野球が放送され、最大30分間の放送延長の可能性があります。延長の情報があると、ドラマAの録画開始時刻はそのままで、終了時刻を30分延長します。

自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位にしたがいます（85ページ）。

この設定を取り消すには、予約リスト（83ページ）を表示して、（オプション）を押します。［スポーツ延長対応］を選び、［切］に設定します。

ちょっと一言

- 予約したスポーツ番組も延長の対象となります。
- 上記の例で「ドラマA」を他の予約より優先させたいときは、予約リストでその予約を選び、（オプション）を押して、［優先変更］を設定してください。

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する（番組追跡録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。
この機能は、毎回録画に設定したデジタル放送の番組と録画予約の設定の中で［延長］の設定を［自動］以外に設定したデジタル放送の番組、および、地上アナログ放送の番組で使えます。

この機能はお買い上げ時は、［入］に設定されています。
この機能を使わないようにするには、予約リスト（83ページ）を表示して、（オプション）を押します。［番組追跡録画］を選び、［切］に設定します。

番組名を変更して追跡するには

予約リストで番組を選んで、（オプション）を押し、［番組追跡情報］を選びます。追跡情報画面で［番組名変更］を選んで、追跡のための番組名を変更します。
番組追跡情報は番組表からの予約で次の場合のみ表示され、修正できます。

- 地上アナログ放送の番組
- デジタル放送で毎回録画に設定した番組
- デジタル放送で延長を設定した番組

前回録画した番組（タイトル）を消去して録画する（更新録画）

HDD

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画したタイトルを消去して、新しい回を録画する機能です。
[更新録画]を設定する場合は、[録画予約]で[毎回録画]が設定されているタイトルが対象になります（79ページ）。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （予約リスト）を選び、 （決定）を押す。

4 予約リストで番組を選び、 （決定）を押す。
録画予約設定画面が表示されます。

5 ←→で[更新]を選んで、↑↓で[入]に設定し、（決定）を押す。

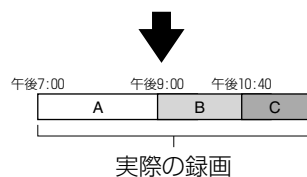
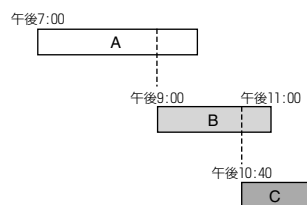
6 [予約確定]を選んで、 （決定）を押す。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

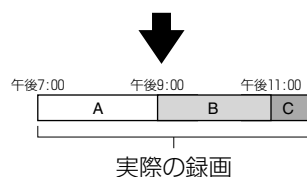
予約の優先順位を変更する

本機では、録画の[優先順位]にしたがって録画します。
[優先順位]は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

予約が重なっているときは

「日時を指定して予約する」（81ページ）の手順**5**の後に予約重複確認の画面が表示されます。新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク が付きます。
重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。

例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合（番組[C]の優先順位が一番高い）

番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。

次のページにつづく⇨

予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の予約の最後部は録画されません。

1 （ホーム）を押す。

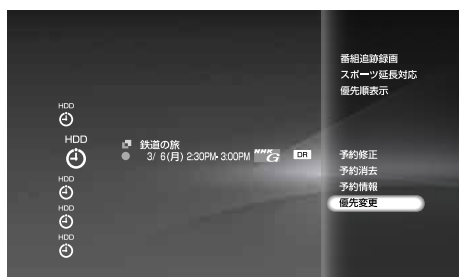
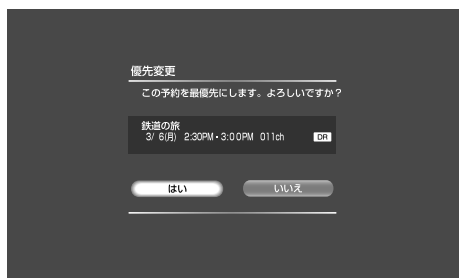
2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （予約リスト）を選び、（決定）を押す。

4 予約リストで重複している番組を選んで、（オプション）を押す。

重複している番組には がついています。

5 ［優先変更］を選び、（決定）を押す。

優先変更画面が表示されます。

6 ［はい］を選び、（決定）を押す。

選んだ予約が最優先で録画されます。

ちょっと一言

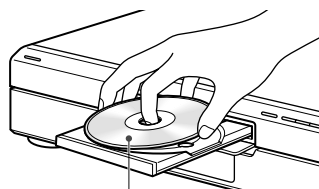
- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。
- 重複していない予約に対しても優先変更はできます。

ディスク情報画面を使う

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

ディスク情報画面では、ディスクの種類や残量を確認することができます。またDVDでは、ディスク名の入力、保護設定、内容の消去などディスクの管理をすることができます。

1 （開/閉）を押してディスクトレイを開け、録画済みのDVDを入れる。

もう一度 （開/閉）を押して、ディスクトレイを閉めます。ハードディスクの情報を見たいときは、DVDを挿入する必要はありません。

2 （ホーム）を押す。

3 ←→で放送の種類を選ぶ。

選べる放送

4 ↑↓でチャンネルを選び、（決定）を押す。

5 番組表示中に （オプション）を押す。

6 ↑↓で［HDD情報］または［DVD情報］を選び、（決定）を押す。

ディスク情報画面が表示されます。

［HDD情報］を選ぶとハードディスク、［DVD情報］を選ぶと挿入されているDVDの情報画面が表示されます。情報画面の項目は、ディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

HDD情報

1 「メディア」
ディスクの種類

2 「タイトル数」
タイトルの総数/プレイリストの総数

3 「アルバム数」
アルバムの総数

4 「**残量**」(**目安**)

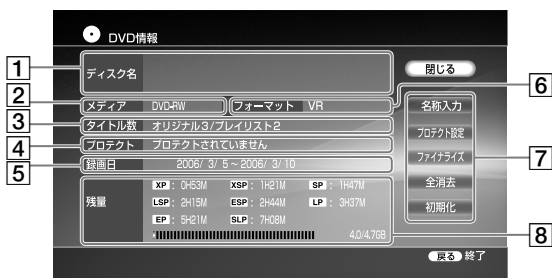
- ハードディスクの空きを表すバー表示
- ハードディスクの空き容量/総容量

残量や空き容量は目安です。なお、ハードディスクのDRモードの表示は、ハイビジョン放送(HD)を録画できる時間の目安です。

5 「**ファイル数**」

ファイルの総数

DVD情報

例:DVD-RW(VRモード)

1 「**ディスク名**」

ディスクの名前を表示します。

ディスク名はタイトルリストにも表示されます。

2 「**メディア**」

ディスクの種類

3 「**タイトル数**」

タイトルの総数

4 「**プロテクト**」

DVDが保護設定されているかどうかを表示します。(DVD-RW(VRモード)とDVD-R(VRモード)のみ)

5 「**録画日**」

最近および一番古くに録画した日

6 「**フォーマット** 」

記録フォーマットの種類(DVD-RWとDVD-Rのみ)

7 **DVDの設定**(**次の設定ができます。**)

- 名称入力
- 全消去
- プロテクト設定
- 初期化
- DVDメニュー作成
- ファイナライズ/ファイナライズ解除

ディスクの種類によって設定できる項目は異なります。

詳しくは、DVDの設定(名称入力·保護·消去·初期化)と「ディスクを他機器で再生できるようにする(ファイナライズ)」(113ページ)をご覧ください。

8 「**残量**」(**目安**)

- DVDの空きを表すバー表示
- DVDの空き容量/総容量
- DVDの連続録画可能時間

残量や空き容量は目安です。

他機器で録画したディスクは、DVD情報画面で正しく表示されない場合があります。

ディスクの名前を入力する

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

DVD情報画面を使って、ディスクに名前をつけたり、名前を変更したりすることができます。

1 「**ディスク情報画面を使う**」(86ページ)**の手順6で**[**DVD情報**]**を選び、**(決定)**を押す。**

2 **DVD情報画面で**[**名称入力**]**を選び、**(決定)**を押す。**

ディスク名入力画面が表示されます。

3 **ディスク名を入力したら、**[**入力終了**]**を選び、**(決定)**を押す。**

文字入力について詳しくは「文字入力のしかた」(153ページ)をご覧ください。

録画した番組（タイトル）やDVDを再生する

ご注意はP117へ

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD RAM CD DATA DVD DATA CD

1 **テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。**
テレビの入力切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 **（ホーム）を押す。**

3 **←→で [ビデオ] を選ぶ。**

4 **↑↓で見たい映像を選び、（決定）を押す。**
DVDの場合は、↑↓で ● を選んで、（決定）を押し、さらに↑↓で見たいディスクタイトルを選んで、（決定）を押します。
再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
再生をやめるには、（停止）を押します。

再生中に（オプション）でできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目	できること
HDD情報	ハードディスクの情報を表示します。
DVD情報	DVDの情報を表示します。
画音設定	画質・音質を調整します（94ページ）。
頭出し	タイトルを始めから再生します。
再生停止	タイトルやトラックの再生を停止します。
早見/早見解除	タイトルを早見再生したり、早見再生を解除したりします。
ダイジェスト再生/ダイジェスト解除	タイトルの見どころシーン（盛り上がっている場面）のみを再生したり、ダイジェスト再生を解除したりします（89ページ）。
ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します（90ページ）。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします（82ページ）。
消去	タイトルを消去します（101ページ）。
プロテクト/プロテクト解除	タイトルが消去、編集されないよう保護したり、解除したりします（101ページ）。
情報/設定	タイトルの詳細情報を表示します。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします（93ページ）。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします（93ページ）。

タイトルリストでタイトル選択中（オプション）でできること

項目	できること
操作/編集	次の操作や編集ができます（97ページ）。 ● タイトル選択消去 ● プレイリスト作成 ● タイトル結合
並び替え	タイトルの並び順を替えます（97ページ）。
ビュー	グループごとに分類されます（95ページ）。
再生	再生を停止したところから再生します。
頭出し再生	タイトルを始めから再生します。
ダイジェスト再生	タイトルの見どころシーン（盛り上がっている場面）のみを再生します（89ページ）。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします（82ページ）。
消去	タイトルを消去します（101ページ）。
プロテクト/プロテクト解除	タイトルにプロテクト設定をしたり解除したりします（101ページ）。
編集	次の操作や編集ができます（97ページ）。 ● チャプターマーク設定 ● チャプター選択消去 ● A-B消去 ● タイトル分割
情報/設定	タイトル詳細の表示と項目の変更を行います。

ちょっと一言
ホーム画面でタイトルを選び、（再生）を押しても再生が始まります。

マークの意味

●（赤）：録画中
►：再生中
●►：追いかけ再生中
[→]：移動（ムーブ）可能な録画した番組や映像（コピー制御信号により、ハードディスクまたはCPRM対応ディスクにのみ1回だけ録画できる番組。ダビングすると消去されるタイトルです。）
[→⊘]：ダビングできない録画した番組や映像
NEW：再生されていない録画した番組や映像

ビデオ
再生

ORG:オリジナルタイトル(録画した番組や映像)
青:DRモードで録画した場合。
ピンク:DRモード以外で録画した場合。

ORG :上記のORGで、"PSP"で見られるよう高速転送できるタイトル(RDZ-D97A/D77Aのみ)。

PL:プレイリスト(オリジナルタイトルから作られた仮想映像)
青:参照しているオリジナルタイトルがDRモードで録画されている場合。
ピンク:オリジナルタイトルがDRモード以外で録画されている場合。

PL :上記のPLで、"PSP"で見られるよう高速転送できるタイトル(RDZ-D97A/D77Aのみ)。

NEW (金):x-おまかせ·まる録で録画され、再生されていない番組の中でおすすめ度が高いもの。

NEW (青):x-おまかせ·まる録で録画され、再生されていない番組。

★:x-おまかせ·まる録で録画されたタイトル
★ の付いたタイトルは、ハードディスクがいっぱいになったときには自動的に消去されます。また、[プロテクト]や[A-B消去]などの編集をすると ★ が消えます。

DR/XP/XSP/SP/LSP/ESP/LP/EP/SLP:録画モード

GG :地上アナログの番組表(Gガイド)や日時指定予約から録画したタイトル

(更新):更新録画対象

(プロテクトマーク):保護されたタイトル

x-Pict Story :x-Pict Story HDファイルから作成したビデオタイトル(動画)が表示されます。

:本機に登録されたDLNAクライアント機器から再生できるタイトル(RDZ-D97A/D77Aのみ)

ユーザーマーク:番組のジャンルに応じて自動的に付いたマーク。または、お好みで設定したマーク。

見どころシーンを中心に自動で再生する(ダイジェスト再生)

ご注意はP117へ

HDD

本機は、録画した番組の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、録画した番組の中で見どころと思われる場面を中心に自動再生できます。

ダイジェスト再生で映像を見る

1 (ホーム)を押す。
2 ←→で を選ぶ。
3 ↑↓でダイジェスト再生させたい映像を選び、 (オプション)を押す。
4 ↑↓で[ダイジェスト再生]を選び、 (決定)を押す。
ダイジェスト再生が始まります。通常再生に戻すには、 (再生)を押します。
ダイジェスト再生中にダイジェストの再生時間を5段階で変更することもできます(90ページ)。

ダイジェスト再生の設定を変更する

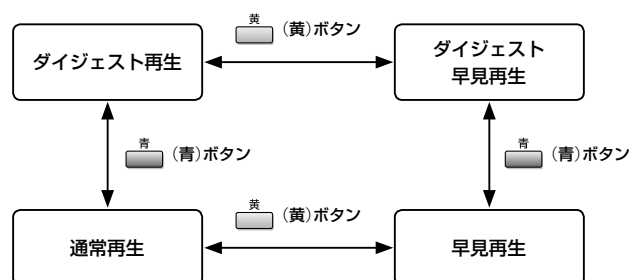
1 「ダイジェスト再生で映像を見る」(上記)の手順4で[情報/設定]を選び、 (決定)を押す。
タイトル情報/設定画面が表示されます。
2 ←→で[ダイジェスト設定]を選び、 (決定)を押す。
3 ↑↓でダイジェスト再生のジャンルを選び、→を押す。
4 ↑↓でダイジェスト再生の再生時間を選ぶ。
5 →で[確定]を選び、 (決定)を押す。

見たい場面を探すには

ダイジェスト再生中に / (前/次)を押すと、再生中の見どころシーンの先頭または、次の見どころシーンの先頭に移動します。1つ前の見どころシーンに移動するには、 を続けて2回押してください。 (フラッシュ−/+)を押すと、少し前または先に移動します。

再生モードを切り換えるには

再生中にリモコンのカラーボタンを押すと、再生モードは次のように切り換わります。

ビデオ
再生

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

ダイジェスト再生中(一時停止中も含む)やダイジェスト早見再生中に⏪/⏩(早戻し/早送り)、または⇦⇨を押すと、通常の早戻し/早送り再生になります。(▷)(再生)を押すと、通常再生に戻ります。

ダイジェスト再生中の画面表示について

ダイジェスト再生中に(画面表示)を押すと、次の画面が表示されます。ダイジェスト再生で再生する場面と再生しない場面を確認したり、ダイジェスト再生の総再生時間を確認することができます。

明るい青い棒:
ダイジェスト
再生する場面

再生中の場面

暗い青い棒:
ダイジェスト
再生しない場面

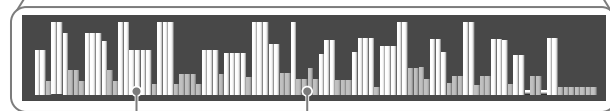
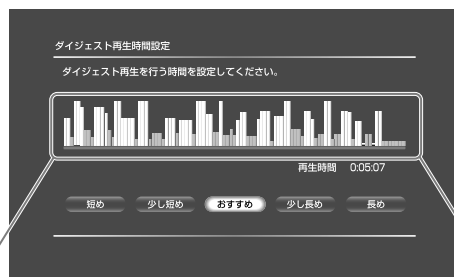
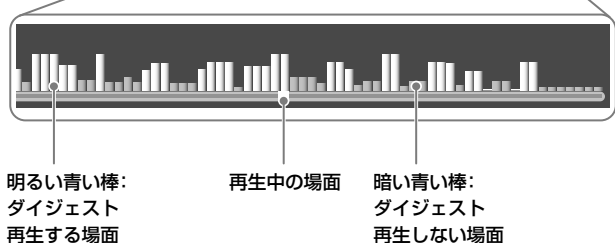
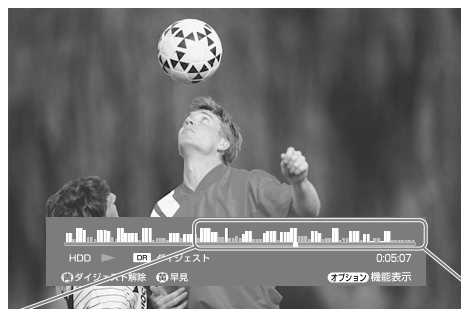
ダイジェスト再生の再生時間を変更する

1 **ダイジェスト再生中に、(オプション)を押す。**

2 **⇧⇩で[ダイジェスト時間]を選び、(決定)を押す。**

3 **⇦⇨でダイジェスト再生の再生時間を選び、(決定)を押す。**

ダイジェスト再生の再生時間を選択すると、画面の中央に表示されている青いグラフが変化します。

⇦⇨で再生時間を変更すると青いグラフも変化し、映像全体の中で再生する時間と場所を確認することができます。

明るい青い棒:
ダイジェスト
再生する場面

暗い青い棒:
ダイジェスト
再生しない場面

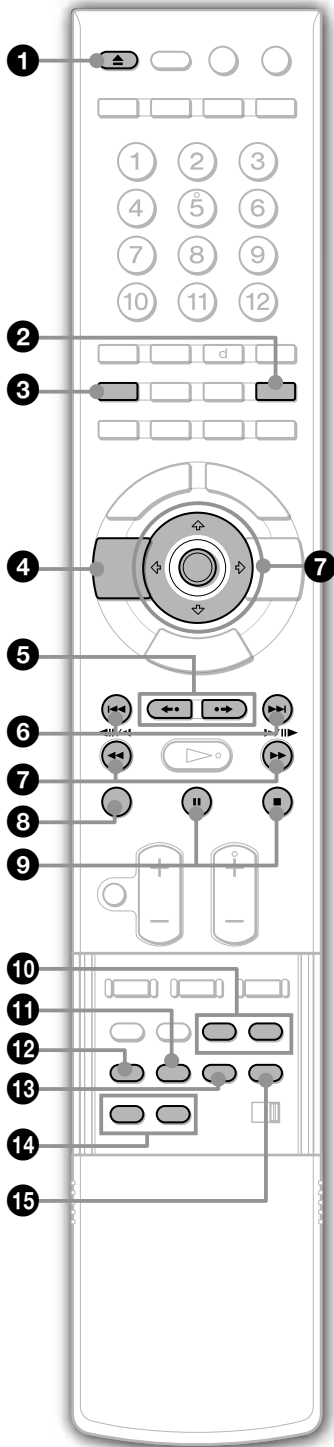
ダイジェスト再生できる映像について

本機では、ハードディスクに録画された映像(タイトル)をダイジェスト再生できます。ただし、プレイリストや、結合された映像(タイトル)はダイジェスト再生できません。

次の映像(タイトル)は再生できないことがあります。

- 再生時間が約10分未満のタイトル(編集して短くなったものを含みます)
- 8時間以上録画したタイトル
- アンテナ受信状態が悪いときに記録されたタイトル

また、番組内容によってはダイジェスト再生できない場合があります。

再生中のいろいろな操作

市販のDVDビデオなどの場合、ディスクの制限により、表のとおりに操作できないことがあります。

	押すボタン	できることと使えるディスク
❶	(開/閉)	ディスクの再生が停止し、ディスクトレイが開きます。 **すべてのディスク**
❷	黄(黄)	再生中に押すと早見再生になり、ダイジェスト再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります(89ページ)。 HDD
❸	青(青)	再生中に押すとダイジェスト再生になり、早見再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります(89ページ)。 HDD
❹	戻る(戻る)	DVD-Video再生時に使用する場合があります。 DVD
❺	(フラッシュ)	少し前に戻る、または先に進みます。 HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD RAM
❻	(前/次)	前や次のタイトル/チャプター/トラックの先頭に進みます。 1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 ハードディスクの場合は、前や次のタイトルの先頭に進めません。 **すべてのディスク**
❼	(早戻し/早送り) (スロー、コマ戻し/コマ送り)	• 再生中に押すと3段階で早送り再生(▶▶1(10倍)、▶▶2(30倍)、▶▶3(120倍))または早戻し再生(◀◀1(10倍)、◀◀2(30倍)、◀◀3(120倍))します。ボタンを押し続けると、はなすまで選んだ速さで再生します。 また⬅➡でも同様の操作ができます。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 一時停止中に軽く押すと、コマ送りまたはコマ戻し再生します。 通常の再生に戻すには(再生)または決定(決定)を押します。 **すべてのディスク**
❽	(シーンサーチ)	再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できる「シーンサーチ」に切り換えます(93ページ)。 HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD RAM
❾	(停止) (一時停止)	停止や一時停止します。再生中に決定(決定)を押しても一時停止できます。 **すべてのディスク**
❿	(トップメニュー) (メニュー)	ディスクのメニューを表示できます。 (トップメニュー)または(メニュー)を押して、タイトルを選びます。 元の画面に戻るには(トップメニュー)または(メニュー)を押します。 +RW -RWVideo +R -RVideo DVD
⓫	(字幕)	繰り返し押して字幕を切り換えます。 HDD*1 DVD
⓬	(音声切換)	繰り返し押して音声言語を選びます。 DVD 繰り返し押して音声トラックを主音声と副音声から選びます。 HDD*2 -RWVR -RVR RAM
⓭	(映像切換)	複数の映像が記録されているとき(本体表示窓に(ANGLE)表示)に、繰り返し押して映像(アングル)を切り換えます。 HDD*3 DVD
⓮	(チャプターマーク書込み) (チャプターマーク消去)	チャプターマークの書込みや、消去ができます(93ページ)。 HDD -RWVR -RVR
⓯	(時間表示)	本体の表示窓に再生経過時間/残量時間を表示します。押すたびに再生経過時間と残量時間が切り換わります。 **すべてのディスク**

*1 DRモードで録画した字幕を含むタイトル
*2 DRモードで録画した複数音声を含むタイトル
*3 DRモードで録画した複数映像を含むタイトル((ANGLE)は表示されません)

DVDのメニューを使うには

DVDビデオやファイナライズされたDVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）では、ディスクのメニューを表示することができます。
（トップメニュー）または（メニュー）を押して、↑↓←→でタイトルを選びます。

音声付きで早送りするには（音声付き早見）（ハードディスク（HDD）のときのみ）

録画された番組（タイトル）を再生中、（黄）を押すと音声付きで早送り再生ができます。

再生をやめたところから再生するには（つづき再生）

再生したことがあるタイトルでは、次の場合、前回再生を止めた位置から再生が始まります。

- ホーム画面でタイトルを選び、（決定）を押した場合
- （再生）を押して再生した場合

（オプション）を押して［頭出し再生］を選ぶと、タイトル/トラックの最初から再生できます。

次の場合、つづき再生が解除されます。

- ディスクトレイを開けたとき（ハードディスクを除く）
- 他のタイトルを再生したとき（ハードディスクを除く）
- 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき
- 新たに録画を追加したとき（ハードディスク、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）を除く）
- つづき再生を禁止しているディスク
- 電源を切ったとき（CD、データCD、データDVD）

次のとき、つづき再生の位置がかわります。

- A-B消去を行ったとき
- プレイリストを作成したとき

視聴年齢制限されたDVDを再生するには

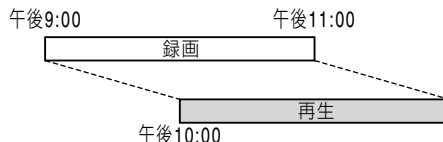
再生、またはつづき再生を行うとき、「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、［はい］を選ぶと暗証番号を入力する画面が出ます。4桁の暗証番号を入力し、［確定］を選ぶと再生が始まります。暗証番号の登録や変更については、から［DVD設定］の［視聴年齢制限］（145ページ）をご覧ください。

録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

HDD

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

1. **録画中の番組を表示させ、（オプション）を押す。**
2. **［追いかけ再生］を選び、（決定）を押す。**
   録画中の番組の再生が始まります。

   例：午後9時からの番組を録画中、10時に帰宅。録画中の番組を始めから見る。

早送り再生で録画に追いついたときは

DRモードで録画中の番組では、早送り再生で録画現在位置に追いつくと、再生一時停止に切り換わります。DRモード以外で録画中の番組では、再生を続けます。

録画しながら他のタイトルを見る（同時録画再生）

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD RAM CD DATA DVD DATA CD

番組を録画中に、他のタイトルを再生します。また、再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。また、ハードディスクに録画しながらDVDやCD、データDVDやデータCDを再生することもできます。

録画中のディスク	録画中に再生できるディスク*1
ハードディスク（HDD）	ハードディスク（HDD）*2
ハードディスク（HDD）	DVDやCD、データDVDやデータCD
DVD	ハードディスク（HDD）*2

*1 HDV/DVダビング中は、同時録画再生できません。
*2 デジタル放送をDRモード以外で録画中に、DRモードで録画したタイトルは再生できません。

例：ハードディスクで録画中に、ハードディスクの他のタイトルを再生する

1. **録画中に（ホーム）を押す。**
2. **←→でを選ぶ。**
3. **↑↓で見たいハードディスクのタイトルを選び、（決定）を押す。**

例：ハードディスクで録画中に、DVDを再生する

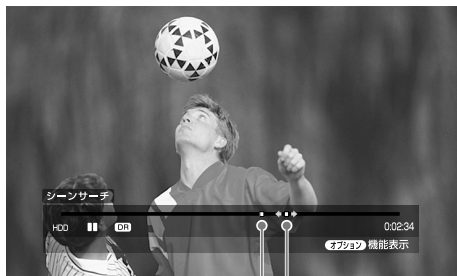
1. **再生するDVDを入れる。**
2. **録画中に（ホーム）を押す。**
3. **←→でを選ぶ。**
4. **↑↓で（DVD）を選んで、（決定）を押し、さらに↑↓で見たいDVDのタイトルを選び、（決定）を押す。**

すばやく見たい場面にとばす（シーンサーチ）

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD RAM

シーンサーチを使うと、再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できます。

1 **再生中または一時停止中に ◯（シーンサーチ）を押す。**
シーンサーチになり、画面下部にバーとシーンインジケーター（現在位置を表示する四角）が表示されます。再生中の場合、画面は一時停止します。

2 **←→で、見たい場面の位置までシーンインジケーターを動かす。**

現在位置 シーンインジケーター

バー上のシーンインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

3 **見たい場面の位置まで来たら、ボタン操作をやめる。**
シーンインジケーターを止めた位置の場面が一時停止で表示されます。
場面を選び直すには、←→を押して、インジケーターの位置を動かします。

4 **◯（シーンサーチ）、（決定）（決定）、または▷（再生）を押す。**
再生が始まります。

ちょっと一言

(早送り/早戻し)を押しても、←→と同様の操作ができます。

シーンサーチを途中でやめるには

◯（シーンサーチ）、（決定）（決定）、または ▷（再生）を押します。押した場面から再生が始まります。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

タイトル内にチャプターマーク（HDD/DVD）がある場合、それを選んで頭出しをすることができます。チャプターマークの付けかたについて詳しくは、「手動でチャプターマークを入れる/消去する」（93ページ）をご覧ください。
また、市販のDVDビデオでは、タイトル番号を選んで頭出しすることができます。

1 **再生中または一時停止中に（オプション）を押して［チャプターサーチ］または［タイトルサーチ］を選び、（決定）（決定）を押す。**

チャプター番号/タイトル番号入力画面が表示されます。

例：チャプターサーチの場合

チャプター番号入力画面

2 **①～⑩ で見たいチャプター番号またはタイトル番号を入力し、⑫を押す。**

数字を間違えた場合は、（クリア）を押してから、もう一度入力し直してください。
場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。

手動でチャプターマークを入れる/消去する

HDD -RWVR -RVR

チャプター番号で頭出しするには、あらかじめチャプターマークを付ける必要があります。

チャプターマークを入れるには

再生/再生一時停止中や録画/録画一時停止中にタイトルをチャプターとして分けたい場面で ⬭（チャプターマーク書込み）を押します。画面上に「チャプターマーク書込み」が表示され、5秒で消えます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。
録画中に手動でチャプターを入れる場合は［ビデオ設定］の［自動チャプターマーク］を［切］にしてください。

次のページにつづく⇨

チャプターマークを消去するには

再生中にチャプターマークを消して、2つのチャプターを結合することができます。

(前)または (次)でチャプター番号を探します。消去したいチャプターマークのチャプターを再生しているときに、(チャプターマーク消去)を押します。

現在再生中のチャプターと1つ前のチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

ちょっと一言

1つ目のチャプターマークは、自動的にタイトルの先頭に付きます。このチャプターマークは消去できません。

再生中のタイトルの画質や音質を調節する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD RAM

画質を調整する

1 **再生中に (オプション)を押して「画音設定」－[画質設定]を選び、 (決定)を押す。**

画質設定画面が表示されます。

2 **各設定項目を選び、 (決定)を押す。**

項目	設定
FNR	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減するための調整を行います。
BNR/MNR	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズや画像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減するための調整を行います。
シャープネス	画像の輪郭を調整するための設定を行います。
画音同期調整	画像と音声のずれを調整するための設定を行います。画像に対して音声を遅らせます(0～100ミリ秒)。
画質調整*	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、 (決定)を押します。 • コントラスト ⇨ コントラストを調整する。 • ブライトネス ⇨ 全体の明るさを調整する。 • 色の濃さ ⇨ 色をより濃く、またはより薄く調整する。 • 色合い ⇨ 色のバランスを調整する。

* 視聴中のテレビ映像と再生中のタイトルにのみ効果があります。

[標準設定]を選び、 (決定)を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。

3 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、 (決定)を押す。**

お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
FNR	(弱) 切　1　<u>2</u>　3 (強)
BNR/MNR	(弱) 切　1　<u>2</u>　3 (強)
シャープネス	(弱) -3 ～ <u>0</u> ～ 3 (強)
画音同期調整	(短) <u>0</u> ～ 100msec(長)
画質調整	
コントラスト	(弱) -3 ～ <u>0</u> ～ 3 (強)
ブライトネス	(暗) -3 ～ <u>0</u> ～ 3 (明)
色の濃さ	(薄) -3 ～ <u>0</u> ～ 3 (濃)
色合い	(赤) -3 ～ <u>0</u> ～ 3 (緑)

他の項目も調整するときは、手順2 ～ 3を繰り返します。

ちょっと一言

本機には、視聴中のテレビ映像や再生中のタイトルの映像中に含まれるノイズのレベルに応じて、FNRとBNR/MNRの強度を動的に自動調整する「Dマトリックス NR HD」「DマトリックスNR」が搭載されています。

FNR、BNR/MNRの設定を変更することにより、「DマトリックスNR HD」「DマトリックスNR」の強度も変更することができます。

DマトリックスNR HD：デジタル放送の視聴映像や、DRで録画したタイトルで効果を発揮します。

DマトリックスNR：アナログ放送の視聴映像や、DR以外の録画モードで録画したタイトルに効果を発揮します。

ビデオ 再生

音声を調整する[音声フィルター]

1 再生中に (オプション)を押して[画音設定]－[音声フィルター]を選び、 (決定)を押す。

音声フィルター画面が表示されます。

2 音声フィルターを設定し、 (決定)を押す。

項目	設定
シャープ	フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。
スロー	雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

この機能は、デジタル音声出力には効果がありません。

ちょっと一言

CDの音声も[音声フィルター]で調整できます。

録画した映像(タイトル)を整理する

ご注意はP117へ

映像(タイトル)をグループごとに分類する(オートグルーピング機能)

オートグルーピング機能を使うと、録画した番組を指定したグループで分類してフォルダ表示します。
分類方法(ビュー)を切り換えて、目的のタイトルをすばやく探すことができます。

1 ホーム (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で録画した番組を選び、 (オプション)を押す。

4 ↑↓で[ビュー]を選び、 (決定)を押す。

5 ↑↓で分類方法を選び、 (決定)を押す。

選択した分類方法によってタイトルがグループ毎に分類され、フォルダに振り分けられます。

ちょっと一言

リモコンの 黄 (黄)でもビューを切り換えることができます。
手順**3**のときに 黄 (黄)を繰り返し押してください。

分類方法(ビュー)には次の種類があります。

分類	
全タイトル	何も分類されていない、通常の表示状態。
おまかせ･まる録	タイトルの録画方法によって分類する方法。
マーク	タイトルに設定されたマークの種類で分類する方法。
放送	タイトルの放送の種類によって分類する方法。

各ビューの詳細については次をご覧ください。

次のページにつづく⇨

おまかせ･まる録ビューについて

おまかせ･まる録ビューには、次のグループがあります。

グループ名	グループの説明
予約録画	録画予約で録画したタイトル。 手動で録画されたタイトル。 入力1や入力2、入力3から録画したタイトル。 DVDから本機のハードディスクにダビングされたタイトル。
おすすめ	本機のおすすめで録画されたタイトル。
おまかせ	x-おまかせ･まる録で録画されたタイトル（現在設定されている自動録画条件で振り分けられます。）
その他のおまかせ･まる録	x-おまかせ･まる録で録画されたタイトル（過去に設定した自動録画条件のタイトルです。）
x-Pict Story	x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
HDV/DV	HDV1080i/DV IN入力端子から録画したタイトル。
プレイリスト	プレイリストタイトル。

マークビューについて

マークビューには、次の31個のグループがあります。
マークの1から17は名前を変更できます。

アイコン	名前	アイコン	名前
	マーク1		マーク16
	マーク2		マーク17
	マーク3		ニュース
	マーク4		スポーツ
	マーク5		ワイドショー
	マーク6		ドラマ
	マーク7		音楽
	マーク8		バラエティ
	マーク9		映画
	マーク10		アニメ/特撮
	マーク11		ドキュメンタリー
	マーク12		劇場/公演
	マーク13		趣味/教育
	マーク14		福祉
	マーク15		マーク無し
			プレイリスト

マークビューのマークの名前を変更する

マーク1 ～ 17については、マークの名前を変更できます。
次の手順を行う前に、「映像（タイトル）をグループごとに分類する（オートグルーピング機能）」（95ページ）をご覧になり、タイトルをマークごとに分類してください。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で変更したいビューフォルダーを選び、（オプション）を押す。

4 ［情報/設定］を選び、（決定）を押す。
グループ情報/設定［マークビュー］画面が表示されます。

5 ［名前変更］を選び、（決定）を押す。

6 キーボードが表示されるので、新しいマークの名前を入力する（153ページ）。

放送ビューについて

放送ビューには、次のグループがあります。

グループ名	グループの説明
地上アナログ放送	地上アナログのタイトル。
地上デジタル放送	地上デジタルのタイトル。
BSデジタル放送	BSデジタルのタイトル。
CSデジタル放送	110度CSデジタルのタイトル。
x-Pict Story	x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
HDV/DV	HDV1080i/DV IN入力端子から録画したタイトル。
その他	入力1や入力2、入力3端子から録画したタイトル。［DVD→HDD］ダビングしたタイトル。 その他のタイトル。
プレイリスト	プレイリストタイトル。

ビューフォルダー選択中に （オプション）でできること

項目	できること
ビュー	ビューを切り換えます。
タイトルリスト	タイトルリストを表示します。
タイトル選択消去	複数のタイトルをまとめて消去します。
DVDへダビング	ハードディスクのタイトルをDVDにダビングします（103ページ）。
おでかけ転送	ハードディスクのタイトルを"PSP"で見られるよう転送します（RDZ-D97A/D77Aのみ）（107ページ）。
情報/設定	ビューフォルダーの詳細情報を表示します。

タイトルを好きな順番に並べ替える

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM

録画した映像の一覧を並べ替えることができます。

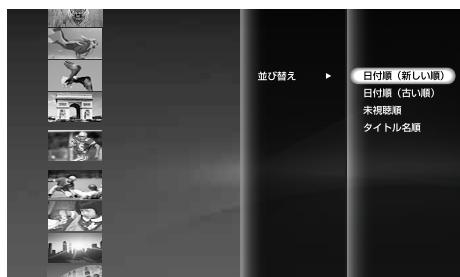
1 （ホーム）を押す。

2 ←→で［タイトル］を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。

オプションメニューが表示されます。

4 ↑↓で［並び替え］を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で並び替えの種類を選び、（決定）を押す。

お買い上げ時は、［日付順（新しい順）］に設定されています。

種類	設定
日付順（新しい順）	録画開始日時の新しい順に並べます。
日付順（古い順）	録画開始日時の古い順に並べます。
未視聴順*	見ていないタイトルから並べます。
管理番号順	DVDに録画した順に並べます。（DVDに録画したときのみ表示されます。）
タイトル名順	タイトル名順に並べます。

* ハードディスク内のタイトルのみ

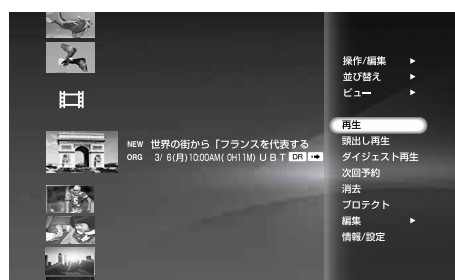
録画した番組（タイトル）を編集する

ご注意はP118へ

ここでは基本的な編集について説明します。タイトルを編集した後は、元の状態に戻すことができないのでご注意ください。元の録画を変えずに編集したいときは、プレイリストを作成してください（ハードディスク、DVD-R（VRモード）、DVD-RW（VRモード）のみ）（99ページ）。なお、録画中は編集できません。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で［タイトル］を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、（オプション）を押します。

（オプション）でできること

項目	できること
操作/編集	複数の映像（タイトル）に対して、次の操作ができます。 ● タイトル選択消去 ● プレイリスト作成 ● タイトル結合
編集	オプションを表示するときに選択した映像（タイトル）に対して、次の操作ができます。 ● チャプターマーク設定 ● チャプター選択消去 ● A-B消去 ● タイトル分割

それぞれの編集操作について詳しくは、98 ～ 102ページをご覧ください。

次のページにつづく⇨

録画した番組（タイトル）の一部を消去する［A-B消去］

HDD +RW -RWVR -RVR

タイトル内の一部分（シーン）を選んで消去することができます。オリジナルタイトルのシーン消去後は元の状態に戻すことができないので、ご注意ください。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で映像（タイトル）を選び、（オプション）を押す。
DVDの場合は、↑↓で （DVD）を選んで （決定）を押し、（オプション）を押します。

4 ↑↓で［編集］を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で［A-B消去］を選び、（決定）を押す。

6 （早送り/早戻し）などを使って消去開始場面（A点）を選び、さらに［A点設定］を選んで、（決定）を押す。

7 （早送り/早戻し）などを使って消去終了場面（B点）を選び、さらに［B点設定］を選んで、（決定）を押す。

A点とB点が表示されます。B点を先に設定することもできます。
［実行→継続］を選んで （決定）を押すと、つづけて同じタイトルの他のシーンを消去できます。手順**6**～**7**を繰り返してください。

8 ［実行→終了］を選び、（決定）を押す。

9 ［はい］を選び、（決定）を押す。
A点からB点までのシーンが消去されます。

ちょっと一言

シーンを消去した場所にはチャプターマークが入り、前後のシーンはそれぞれ別のチャプターになります。

複数の録画した番組（タイトル）を消去する［タイトル選択消去］

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

複数のタイトルを選んでまとめて消去します。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選び、（オプション）を押す。
DVDの場合は、↑↓で （DVD）を選んで （決定）を押し、（オプション）を押します。

3 ［操作/編集］を選び、（決定）を押す。

4 ［タイトル選択消去］を選び、（決定）を押す。

5 消去したいタイトルを選び、（決定）を押す。
選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。チェックマークを消すには、もう一度 （決定）を押します。
次のようなタイトルは選択できません。

- プロテクト（保護）されているタイトル
- プレイリストから参照されているオリジナルタイトル
- 録画中のタイトル

［全選択］または［全選択解除］を選ぶと、プロテクトされているタイトルや、録画中のタイトル以外のすべてのタイトルにチェックマークを付けたり、消したりできます。

> プロテクトが設定されているタイトルを選んだときは、確認画面で［プロテクト解除］を選び、プロテクトを解除してください。
> プレイリストから参照されているオリジナルタイトルだけを消去することはできません。このようなタイトルを消去したいときは、プレイリストを先に消去してください。

6 **手順5を繰り返して、消去したいタイトルをすべて選ぶ。**
選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。

7 **［確定］を選び、（決定）を押す。**

8 **［はい］を選び、（決定）を押す。**

録画した番組（タイトル）を2つに分ける［タイトル分割］

HDD -RWVR -RVR

長時間のタイトルを画質を落とさずにディスクにダビングしたいときなどは、タイトルを分割します。
ハードディスクでは、オリジナルタイトルとプレイリストタイトルを分割でき、DVD-RW（VRモード）やDVD-R（VRモード）ではプレイリストタイトルのみを分割できます。
DRモード以外で録画したオリジナルタイトルは、分割すると元に戻せないのでご注意ください。

1 **（ホーム）を押す。**

2 **←→で を選ぶ。**

3 **↑↓で映像（タイトル）を選び、（オプション）を押す。**
DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、（オプション）を押します。

4 **↑↓で［編集］を選び、（決定）を押す。**

5 **↑↓で［タイトル分割］を選び、（決定）を押す。**

6 **（早送り/早戻し）などを使って2つに分ける場面を選び、さらに［確定］を選んで、（決定）を押す。**

7 **←→で［はい］を選び、（決定）を押す。**

8 **←→で分割した後のタイトル名を変更するか選ぶ。**
［はい］を選ぶと、タイトル名を変更します。タイトル名を入力後、タイトルが分割されます。［いいえ］を選ぶと、元のタイトル名を両方のタイトルに使います。

複数の録画した番組（タイトル）を1つにする［タイトル結合］

HDD -RWVR -RVR

次の場合、タイトルの結合ができます。

- DRモードのプレイリストタイトル同士
- DRモード以外のプレイリストタイトル同士
- DRモードで録画したオリジナルタイトル同士

1 **（ホーム）を押す。**

2 **←→で を選び、（オプション）を押す。**
DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、（オプション）を押します。

3 **↑↓で［操作/編集］を選び、（決定）を押す。**

4 **↑↓で［タイトル結合］を選び、（決定）を押す。**

5 **結合するタイトルを選び、（決定）を押す。**

もう一度押すと取り消すことができます。

6 **手順5を繰り返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。**
最初に選んだタイトルに結合できないタイトルは選べない状態になります。
タイトルは、選んだ順に結合されます。

7 **［確定］を選び、（決定）を押す。**
選んだタイトルからタイトル名を選ぶ画面が表示されます。

8 **使いたいタイトル名を選び、（決定）を押す。**
［文字入力］を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。
［再選択］を選ぶと、前の画面に戻って再び結合するタイトルを選び直せます。

お好みの場面を集めたタイトルリストを作成する［プレイリスト作成］

HDD -RWVR -RVR

オリジナルのタイトルや他のプレイリストのタイトルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。1タイトルにつき最大50シーンまで設定できます。
オリジナルとプレイリストについては、「ハードディスク、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）の編集全般のご注意」（118ページ）をご覧ください。
「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が付いたタイトルを含むプレイリストは、ダビングができないのでご注意ください。

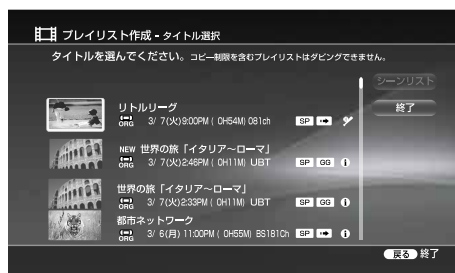
1 **（ホーム）を押す。**

2 **←→で を選び、（オプション）を押す。**
DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、（オプション）を押します。

3 **↑↓で［操作/編集］を選び、（決定）を押す。**

4 **↑↓で［プレイリスト作成］を選び、（決定）を押す。**

5 **プレイリストに含めたいタイトルを選び、（決定）を押す。**

ビデオ
編集

次のページにつづく⇨

選んだタイトルの再生が最初から、または以前に再生したつづきから始まります。

6 ⏪ ⏩（早送り/早戻し）などを使って開始点（イン点）を選び、さらに［イン点設定］を選んで、（決定）を押す。

タイトル全体を1つのシーンとして追加するには、［全切出し］を選びます。

7 ⏪ ⏩（早送り/早戻し）などを使って終了点（アウト点）を選び、さらに［アウト点設定］を選んで、（決定）を押す。

イン点とアウト点が表示されます。アウト点を先に設定することもできます。

［実行→継続］を選んで（決定）を押すと、つづけて同じタイトルから他のシーンを設定できます。

8 同じタイトルからシーンを選び終わったら、［実行→終了］を選び、（決定）を押す。

それまでに選んだシーンの一覧（シーンリスト）が表示されます。

項目名	説明
シーン追加	同じプレイリストに追加したい別のシーンを選びます。手順4 ～ 8を繰り返します。
シーン移動	シーンの順番を変えます。

シーンリスト画面でシーンを選んで（決定）を押すと、シーンの消去、またはイン点とアウト点の修正ができます。

9 ［確定］を選び、（決定）を押す。

プレイリストのタイトルができます。タイトル名を設定する画面が表示されます。

［文字入力］を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。

10 再度［確定］を選び、（決定）を押す。

ちょっと一言

プレイリストのタイトルを作成すると、設定したイン点がチャプターマークになります。

チャプターを選択して消去する［チャプター選択消去］（簡単カット編集）

HDD -RWVR -RVR

タイトルの中のチャプターを選択し、選択したチャプターの映像を消去することができます。

オリジナルタイトルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 ホーム（ホーム）を押す。

2 ←→で 🎞 を選ぶ。

3 ↑↓で映像（タイトル）を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で ●（DVD）を選んで（決定）を押し、（オプション）を押します。

4 ↑↓で［編集］を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で［チャプター選択消去］を選び、（決定）を押す。

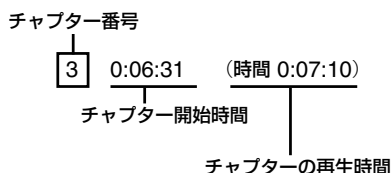
6 ↑↓で消去したいチャプターを選び、（決定）を押す。

消去したいチャプターが複数あるときは、手順6を繰り返し行なってください。選んだチャプターの横のボックスにチェックマークが付きます。チェックマークを消すにはもう一度（決定）を押します。［選択解除］を選ぶと全てのチェックマークが消えます。

7 ↑↓←→で［確定］を選び、（決定）を押す。

8 ←→で［はい］を選び、（決定）を押す。

手順6で選択したチャプターが消去されます。

チャプター選択消去画面の表示の見かた

ちょっと一言

チャプターにカーソルを合わせると、そのチャプター内の画像が背景に表示されます。

録画した番組（タイトル）を誤って消さないようにする［プロテクト］

ご注意はP119へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

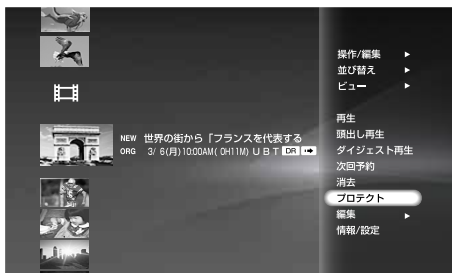
誤ってタイトルを消去しないよう、タイトルごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で 🎞 を選ぶ。

3 ↑↓で映像（タイトル）を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、さらに↑↓でディスクタイトルを選んで、（オプション）を押します。

4 ↑↓で［プロテクト］を選び、（決定）を押す。

タイトルが保護され、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

手順4で［プロテクト解除］を選び、（決定）を押します。タイトルから🔒が消えます。

録画した番組（タイトル）を消去する

ご注意はP119へ

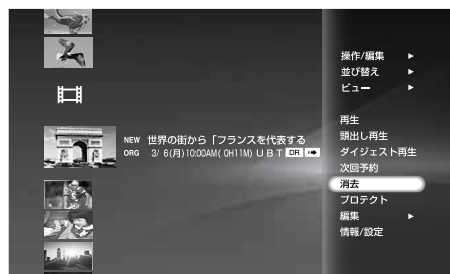
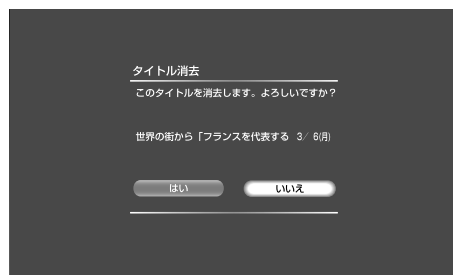
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で 🎞 を選ぶ。

3 ↑↓で消去したい映像（タイトル）を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で（DVD）を選んで（決定）を押し、さらに↑↓で消去したいディスクタイトルを選んで、（オプション）を押します。

4 ↑↓で［消去］を選び、（決定）を押す。

5 確認画面で［はい］を選び、（決定）を押す。

プロテクトが設定されているタイトルを選んだときは、確認画面で［プロテクト解除］を選び、プロテクトを解除してください。
プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去することはできません。このようなタイトルを消去したいときは、プレイリストを先に消去してください。

チャプターマークを付ける［チャプターマーク設定］

HDD -RWVR -RVR

6分間隔または15分間隔でチャプターマークを付けることができます。

ちょっと一言

再生中に手動でチャプターマークを入れたいときは、「手動でチャプターマークを入れる／消去する」(93ページ)をご覧ください。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、(オプション)を押す。

DVDの場合は、↑↓で (DVD)を選んで (決定)を押し、(オプション)を押します。

4 ［編集］を選び、(決定)を押す。

5 ［チャプターマーク設定］を選び、(決定)を押す。

6 チャプターの間隔(［6分］または［15分］)を選び、(決定)を押す。

チャプターマークが付きます。

チャプターマークが自動的に付くよう設定するには(おまかせチャプター)

ソニー独自の「シーン検出アルゴリズム」により、無音状態やステレオ音声の検出だけでなく、音楽と会話の境など“音”の切り換わりや、場面変化が大きい“映像”の切り換わりを自動で検出してチャプターを設定します。

1 (ホーム)を押す。
2 ←→で を選ぶ。
3 ↑↓で［ビデオ設定］を選び、(決定)を押す。
4 ↑↓で［自動チャプターマーク］を選び、(決定)を押す。
5 ↑↓で［入］を選び、(決定)を押す。

チャプターマークを消去するには

1 「チャプターマークを付ける」の手順**6**で、［全消去］を選び、(決定)を押す。

録画した番組(タイトル)の情報を変更する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

タイトル名、画面(サムネイル)、およびタイトルに付くマークを変更します。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、(オプション)を押す。

DVDの場合は、↑↓で (DVD)を選んで (決定)を押し、さらに↑↓でディスクタイトルを選んで、(オプション)を押します。

4 ［情報/設定］を選び、(決定)を押す。

タイトル表示情報設定画面が表示されます。

5 ←→で変更したい項目を選び、(決定)を押す。

それぞれの操作について詳しくは、以下をご覧ください。

録画した番組(タイトル)の名前を変更する［名前変更］

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

1 「録画した番組(タイトル)の情報を変更する」(上記)の手順**5**で、［名前変更］を選び、(決定)を押す。
2 キーボードが表示されるので、新しいタイトル名を入力する(153ページ)。

ご注意

DVDに記録されるタイトルのタイトル名には、次の文字を使用することができません。

「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」

「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」

上記文字を利用してDVDのタイトル名を変更したり、本機のハードディスクに録画したタイトルをDVDにダビングしても、これらの文字は消去されますのでご注意ください。

サムネイル画像を変更する［サムネイル設定］

HDD -RWVR -RVR

1 「録画した番組（タイトル）の情報を変更する」（102ページ）の手順5で、［サムネイル設定］を選び、（決定）を押す。

2 （早送り/早戻し）などを使って場面を選び、さらに［確定］を選んで、（決定）を押す。

3 ［はい］を選び、（決定）を押す。

マークを変更する［マーク設定］

HDD

タイトルにマークを設定します。30種類のマークから選べます。

1 「録画した番組（タイトル）の情報を変更する」（102ページ）の手順5で、［マーク設定］を選び、（決定）を押す。

2 ↑↓←→でマークを選び、（決定）を押す。

ハードディスクやDVDの映像（タイトル）をダビングする［タイトルダビング］

ご注意はP119へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM

ダビングをする前に…

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください（180ページ）。
- ダビング中は他の操作はできません。
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）では音声多重放送を記録できません。音声多重放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類（［主音声］または［副音声］）を選んでください［DVD二重音声記録］（138ページ）。
- ダビング中は録画予約で設定した録画を実行できません。ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。
- ハードディスクからDVD+R DLへダビングする場合、から［ビデオ設定］─［自動チャプターマーク］の設定（入/切）に合わせて、チャプターマークが書き込まれます。
- 画面横縦比（16:9と4:3）が混在しているタイトルでは、ハードディスクからDVD-RW（ビデオモード）、DVD-R（ビデオモード）にダビングする場合、「DVD録画横縦比」（71ページ）で設定した映像サイズでダビングされます。ハードディスクからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされ、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にはダビング元の映像サイズのままダビングされます。
- ハードディスクからDVD-RAMへはダビングできません。DVD-RAMからは「録画自由」のタイトルをハードディスクにダビングできます。
- DLNAクライアント機器で再生中のタイトルをダビングしようとすると、再生が停止します（RDZ-D97A/D77Aのみ）。

ちょっと一言

- ハードディスク、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のプレイリストタイトルはオリジナルタイトルとしてダビングすることができます。
- DVDからハードディスクにダビングする場合、DVDの映像サイズはそのままダビングされます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみダビングされることがあります。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ることができます。電源を切ってもダビングは続きます。
- 本機には、「ダイナミックVBRダビングPRO」が搭載されています。ハードディスクに録画するときの録画モードを、DR、XP+、XPに設定すると有効になります。
  「ダイナミックVBRダビング PRO」は録画時に映像の複雑さ情報を解析し、DVDにダビングするときに、レート配分を最適化するため、より高画質でダビングすることができます（177ページ）。

次のページにつづく⇨

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

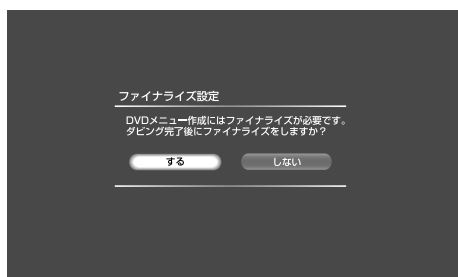
3 ↑↓で（HDD→DVDダビング）または（DVD→HDDダビング）を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、（決定）を押す。

最大30個までタイトルを選ぶことができます。ダビングモードは元の録画モードと同じ設定になります（高速ダビング可能なタイトルは「高速ダビング」に設定されます）。なお、ダビングモードは変更できます（「タイトルごとにダビングモードを変更するには」、106ページ）。

5 ↑↓←→で［DVDメニュー設定］を選び、（決定）を押す。

DVD-RW(VR)とDVD-R(VR)を使ってダビングするときは、［DVDメニュー設定］ができません。ファイナライズをする場合には［ファイナライズ設定］を選び、（決定）を押してください。

6 ←→で［する］を選び、（決定）を押す。

7 ↑↓で背景画面を選び、（決定）を押す。

DVDメニューの背景画面を設定できます。背景画面は24種類から選べます。

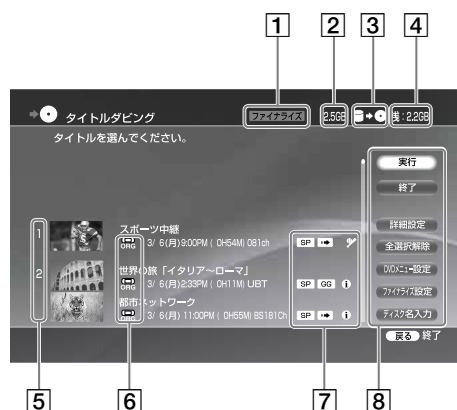
（決定）を押さずに、（黄）を押すと、背景画面を拡大表示し、背景画面のデザインを確認することができます。

8 ↑↓←→で［実行］を選び、（決定）を押す。

ダビング実行中画面が表示され、タイトルのダビングが始まります。ダビング中はダビングの進捗状況が画面や、本体の表示窓に表示されます。

ちょっと一言

- 本機の電源を切ってもダビングは継続します。
- ハードディスクにDRモードで録画されたタイトルは、自動的にXPモードや他のモードに設定されます。

タイトルダビング画面の見かた

1 **ファイナライズマーク**
ダビング完了後にファイナライズする設定になっている場合、表示されます。

2 **ダビングする全タイトル容量**

3 **ダビングの方向**

4 **ダビング先の残量（目安）**

5 **ダビングする順番**

6 **タイトルの種類**
NEW：再生したことがないタイトルに表示されます。
ORG/PL: オリジナルタイトルかプレイリストタイトルかを表します。
ORG/PL：上記のORG、PLで、“PSP”で見られるよう高速転送できるタイトル（RDZ-D97A/D77Aのみ）。

7 **マーク**
DR/XP/XSP/SP/LSP/ESP/LP/EP/SLP: 録画モード
GG：Gガイド
（ムーブ）：CPRM対応ディスクにのみダビングできるタイトル。ダビングすると元のメディアからはなくなります。
（ムーブ不可）：他のメディアにダビングできないタイトル

2PASS（2パス）：録画時に取得した情報を使って、高画質にダビングするモードです。ダビングを行うと、「ダイナミックVBRダビングPRO」が機能します。

（更新）：更新録画したタイトル

（プロテクト）：保護されているタイトル

8 ボタン

実行：タイトルダビングを実行します。

終了：タイトルダビング画面を終了します。

詳細設定：タイトルダビングー詳細設定画面で、タイトルごとにダビングの設定ができます（106ページ）。

全選択解除：ダビング対象に選んだタイトルをすべて取り消します。

DVDメニュー設定：DVDメニューの背景画面を設定します。背景画面はあらかじめ本機に記録されている24種類から選ぶことができます。DVDメニュー設定はDVD+RW、DVD+R、DVD-RW（ビデオモード）、DVD-R（ビデオモード）のみです。

ファイナライズ設定*：ダビング完了後ディスクのファイナライズを行うか設定します。

* DVDへのダビング時のみ（DVD+RW（VRモード）を除く）

ディスク名入力：キーボードが表示され、ディスク名を入力できます（153ページ）。

ダビングモードについて

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。録画モードを変えずにすばやくダビングする高速ダビングと、ダビング元とは異なる録画モードに変換してデータ量を減らす録画モード変換ダビングがあります。以下を読んで所要時間やディスク容量、画質に合わせてお選びください。

すばやくダビングする（高速ダビング）

HDD ➡ +RW / -RW VR / -RW Video / +R / -R VR / -R Video

ハードディスクに録りためたタイトル内容を高速記録対応のDVDに、録画モードを変えずに高速でダビングすることができます。

DRモードやXP+モードで録画したタイトルは高速ダビングできません。

タイトルダビングやタイトルダビング時の［ダビングモード］で、［高速］を選んで実行します（106ページ）。

最短の所要時間は次の表のようになります（目安）。

DRモードで録画されたタイトルをDVDにダビングする場合は、DRモードは選べません。別の録画モードを選んでください。「ダイナミックVBRダビングPRO」は録画時に映像の複雑さ情報を解析し、DVDにダビングするときに、レート配分を最適化するため、より高画質でダビングすることができます。

ちょっと一言

編集後のタイトルを高速ダビングすると、消去した画像が残ることがあります。

ハードディスクからDVDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）*1

速度*2	6倍速*3	6倍速	8倍速*3	8倍速*3	2.4倍速
モード	DVD+RW	DVD-RW	DVD+R	DVD-R	DVD+R DL
XP	約10分	約10分	約8分	約8分	約25分
XSP	約6分40秒	約6分40秒	約5分	約5分	約16分40秒
SP	約5分	約5分	約3分45秒	約3分45秒	約12分30秒
LSP	約4分	約4分	約3分	約3分	約10分
ESP	約3分20秒	約3分20秒	約2分30秒	約2分30秒	約8分20秒
LP	約2分30秒	約2分30秒	約2分	約2分	約6分15秒
EP	–*4	約1分40秒	–*4	約1分15秒	–*4
SLP	–*4	約1分15秒	–*4	約1分	–*4

*1 表中の時間は目安です。実際の所要時間には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

*2 本機の記録速度の最大値です。ディスクの状態によっては、この値と異なる場合があります。また、最大記録速度がこの速度以下のディスクの場合には、ディスクの最大記録速度で記録します。

*3 本機の記録速度を超えるディスクを使用しても、最大記録速度は本機の記録速度になります。

*4 録画モードがEP、SLPのタイトルは、DVD+RWおよびDVD+Rに高速ダビングできません。

録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）

HDD ⟷ +RW / -RW VR / -RW Video / +R / -R VR / -R Video

ハードディスクからDVD、またはDVDからハードディスクの双方向へ、ダビング元とは異なる録画モードを設定してダビングします。たとえば、高画質でデータ量の多いXPで録画したタイトルを、データ量の少ないSPに設定して変換ダビングすると、少ないディスク容量でたくさん保存することができます。

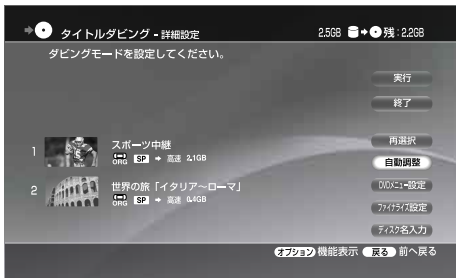
XPまたはXP+でハードディスクに録画したタイトルをXSP～LPの録画モードで変換ダビングした場合、タイトル全体として自動的に最適なビットレートを配分します。これにより画質の劣化を最小限に抑えます。

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動調整する

HDD ⟷ +RW / -RW VR / -RW Video / +R / -R VR / -R Video

1 ↑↓←→で、タイトルダビング画面から［詳細設定］を選び、（決定）を押す。

2 ↑↓←→で［自動調整］を選び、（決定）を押す。

次のページにつづく⇨

ディスクの残量に応じて本機がダビングモードを自動的に調整します。

ちょっと一言

- ダビング先の残量や管理情報が不足しているときは、ダビング実行時に「残量が足りないためダビングできません。」と画面に表示されます。
- ダビングモードを調整することによりダビングが可能になる場合は、「ダビングモードを自動調整して実行しますか？」と表示されます。この画面で[はい]を選ぶと、ダビング先の残量に合わせてダビングモードの設定を自動で変更してダビングします。タイトルダビング―詳細設定画面で[自動調整]を選んで (決定)を押しても、ダビングモードの自動調整ができます。
- 編集して作られたタイトルで録画モード変換ダビングをすると、シーンの継ぎ目がなめらかになります。

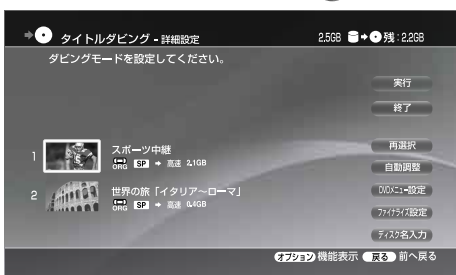
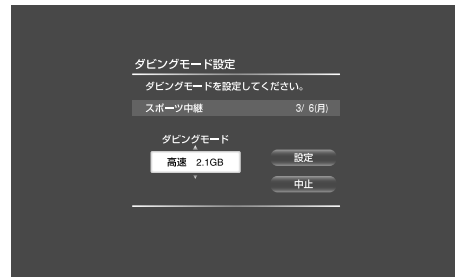
タイトルダビングの詳細設定画面で設定できること

次の設定ができます。項目を選んで、(決定)を押してください。

項目	できること
再選択	手順4に戻って、タイトルを選び直します。
自動調整	ディスクの残量に合わせてダビングモードを設定します。
DVDメニュー設定	DVDメニューの背景画面を設定します。
ファイナライズ設定	ダビング完了後にファイナライズを行う設定を有効にします。
ディスク名入力	キーボードが表示され、ディスク名を入力できます。

タイトルごとにダビングモードを変更するには

1 ↑↓←→で、タイトルダビング画面から[詳細設定]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓←→でタイトルを選び、(決定)を押す。

3 ↑↓でダビングモードを選び、(決定)を押す。

4 ←→で[設定]を選び、(決定)を押す。

高速*/XP/XSP/SP/LSP/ESP/LP/EP/SLPから好みのダビングモードを選びます。

* ハードディスクからDVDへのダビング時のみ表示されます。また、高速ダビングができるタイトルの場合のみ表示されます。

5 ←→で[実行]を選び、(決定)を押す。

6 ←→で[はい]を選び、(決定)を押す。

ちょっと一言

タイトルダビングの詳細設定画面で(オプション)を押して[ダビングモード設定]を選んでも、ダビングモードを設定できます。

ダビングする信号を設定するには

複数の映像または音声が記録されているタイトルのみ設定できます。

1 タイトルダビング－詳細画面でタイトルを選び、(オプション)を押す。

2 ↑↓で[信号選択]を選び、(決定)を押す。

信号選択画面に切り換わります。

3 ←→で[映像]または[音声]を、↑↓でダビングする信号を選ぶ。

4 ←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

5 ←→で[実行]を選び、(決定)を押す。

6 ←→で[はい]を選び、(決定)を押す。

ダビングを途中でやめるときは

タイトルダビング画面で(決定)を押します。確認画面で、[はい]を選び、(決定)を押します。ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。

ダビングの状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

タイトルダビングの詳細設定画面で(オプション)を押したときに設定できること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目	できること
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(106ページ)。
信号選択	ダビングする信号を設定します。
選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから消去します。

“PSP”に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」（おでかけ転送）（RDZ-D97A/D77Aのみ）

ご注意はP120へ

HDD

本機で録画した番組（タイトル）を“PSP®「プレイステーション・ポータブル」”内の“メモリースティック PRO デュオ”に転送して視聴できます。

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号の付いた映像（タイトル）の場合、転送が終了すると、映像（タイトル）と“PSP”転送用動画ファイルはハードディスクから消去されます。一度転送した映像を戻すことはできませんのでご注意ください。転送を途中で停止した場合は、ハードディスクに残ります。

ちょっと一言

- “メモリースティック”USBリーダー/ライター MSAC-US40（別売品）を使用して、“メモリースティックPROデュオ”に本機で録画した番組（タイトル）を転送することもできます。
- 本機は、“PSP”のシステムソフトウェアバージョン2.60以降で利用できます。
  “PSP®”のシステムソフトウェアの情報やバージョンアップ方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ(http://www.jp.playstation.com/psp/index.html)をご確認ください。

1 **“PSP”に“メモリースティック PRO デュオ”を挿入する。**

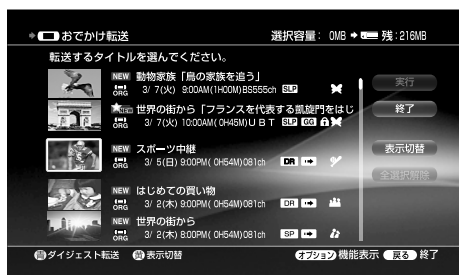
2 **“PSP”をUSBケーブルで本機に接続する。**
本機と“PSP”の接続方法については、「DV端子やUSB端子（RDZ-D97A/D77Aのみ）を使って他機器を接続する」（31ページ）をご覧ください。

3 **“PSP”の電源を入れ、“PSP”の［設定］から［USB接続］を選び、USBモードに切り換える。**
“PSP”の操作方法について詳しくは、“PSP”の取扱説明書をご覧ください。

4 **本機のリモコンの（ホーム）を押す。**

5 **本機のホームメニューから、←→で を選ぶ。**

6 **↑↓で（おでかけ転送）を選び、（決定）を押す。**
おでかけ転送画面が表示されます。

7 **↑↓で“PSP”に転送したい映像を選び、（決定）を押す。**

複数の映像を転送したいときは、手順7を繰り返してください。［全選択解除］を選ぶと、選んだ映像をすべて取り消せます。

ちょっと一言

リモコンの（黄）を押すと、表示されている情報を切り換えることができます。

8 **↑↓←→で［実行］を選び、（決定）を押す。**
選んだ映像が“PSP”に転送されます。

ちょっと一言

- “PSP”転送用動画ファイルが作成済みの、高速転送できる映像（タイトル）には ORG または PL が表示されます。
- “PSP”転送用動画ファイルが作成されていない映像（タイトル）を選ぶと、“PSP”転送用動画ファイルを作成（変換）してから転送を行います。
- “PSP”を接続せずに「おでかけ転送」の操作を行うと、“PSP”転送用動画ファイルを作成することができます。
- “PSP”転送用動画ファイルの転送中や作成（変換）中に本機の電源を「切」にしても、転送や作成（変換）はつづきます。

転送を途中でやめるには

［停止］を選び、（決定）を押します。

転送先の空きが足りないときは

確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと、途中まで転送できます。転送先の“メモリースティック PRO デュオ”の空きを増やすには、“PSP”を操作して不要なファイルを消去してください。

途中まで転送した映像を前回のつづきから転送する

1 「“PSP”に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」（おでかけ転送）（RDZ-D97A/D77Aのみ）」の手順1～7までを行う。

2 **↑↓で、前回のつづきから転送したい映像（タイトル）を選び、（決定）を押す。**

3 **↑↓←→で［続きから］を選び、（決定）を押す。**
「1回だけ録画可能」の番組では、前回のつづきから転送することができません。

途中まで視聴した映像をつづきから転送する

1 「“PSP”に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」（おでかけ転送）（RDZ-D97A/D77Aのみ）」の手順1～7までを行う。

2 **↑↓で、つづきから転送したい映像（タイトル）を選び、（決定）を押す。**

3 **↑↓←→で［続きから］を選び、（決定）を押す。**
「1回だけ録画可能」の番組では、途中まで視聴した映像のつづきから転送することができません。

次のページにつづく⇨

転送する映像の録画モードを変更するには

1 「"PSP"に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」(おでかけ転送)(RDZ-D97A/D77Aのみ)」の手順7で映像(タイトル)を選び、オプション(オプション)を押す。

2 ↑↓で[モード]を選び、決定(決定)を押す。

3 ↑↓で録画モードを選び、決定(決定)を押す。
"PSP"に転送できる録画モードは2種類あります。

録画モード	できること
QVGA768k	高画質な映像で転送します。
QVGA384k	データサイズを小さくして、より高速に映像を転送します。

それぞれの録画モードで"メモリースティック PRO デュオ"1枚に記録できる時間については次をご覧ください。

録画モードと記録可能時間

録画モード	記録可能時間(目安)			
	256MB	512MB	1GB	2GB
QVGA768k	約30分	約1時間10分	約2時間20分	約4時間50分
QVGA384k	約55分	約2時間	約4時間10分	約8時間30分*

* 2006年3月現在、6時間37分を超える映像が記録されている動画ファイルは再生できません。ファイル(タイトル)は6時間37分以下になるよう分割してください。

画像の内容によって記録時間は変化します。

二ヶ国語放送(二重音声)の映像を転送するには

二ヶ国語放送などの映像を転送するときの音声を選べます。

1 「"PSP"に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」(おでかけ転送)(RDZ-D97A/D77Aのみ)」の手順7で映像(タイトル)を選び、オプション(オプション)を押す。

2 ↑↓で[二重音声記録]を選び、決定(決定)を押す。

3 ↑↓で音声記録を選び、決定(決定)を押す。
音声記録について詳しくは、「二ヶ国語放送(二重音声放送)を録画する」(73ページ)をご覧ください。

転送する信号を変更するには

複数の映像または音声が記録されている映像を転送するときに設定できます。

1 「"PSP"に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」(おでかけ転送)(RDZ-D97A/D77Aのみ)」の手順7で映像(タイトル)を選び、オプション(オプション)を押す。

2 ↑↓で[信号選択]を選び、決定(決定)を押す。
信号選択画面に切り換わります。

3 ←→で[映像]または[音声]を、↑↓で転送する信号を選ぶ。

4 ←→で[確定]を選び、決定(決定)を押す。

見どころシーンを中心に選んで転送する(ダイジェスト転送)

1 「"PSP"に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」(おでかけ転送)(RDZ-D97A/D77Aのみ)」の手順7でオプション(オプション)を押す。

2 ↑↓で[転送方法]を選び、決定(決定)を押す。

3 ↑↓で[ダイジェスト]を選び、決定(決定)を押す。
おでかけ転送画面にD(ダイジェストマーク)が表示されます。

ちょっと一言

- リモコンの青(青)を押しても、「ダイジェスト転送」に設定できます。
- ダイジェスト転送は、選んだ映像(タイトル)のダイジェスト再生時間と同程度、またはそれ以上かかります。
- ダイジェスト転送は"PSP"を接続しているときのみ可能です。

持ち出す映像の長さを変更するには

1 「見どころシーンを中心に選んで転送する(ダイジェスト転送)」の手順2で[ダイジェスト設定]を選び、決定(決定)を押す。

2 ↑↓で映像の長さを選び、決定(決定)を押す。

"PSP"転送用動画ファイルについて

本機のハードディスクに保存されている映像(タイトル)を、"PSP"で再生できる動画ファイル(AVC*)に変換して"PSP"へ転送します。

ハードディスクの映像 ──▶ AVCファイル ──▶ "PSP"
(変換) (転送)

* AVC(Advanced Video Coding)は、国際標準化団体であるMPEG、ITU-Tとの共同標準化組織JVT(Joint Video Team)で策定され標準化された、MPEG4動画の高圧縮デジタル符号化技術です。

"PSP"に転送できる映像の種類について

本機では録画したすべての番組(タイトル)や、x-Pict Story HDのビデオタイトルを"PSP"に転送できます。
ただし、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号の付いた映像(タイトル)は、次の制限があります。

- 途中まで転送した映像を前回のつづきから転送したり、途中まで視聴した映像をつづきから転送したりすることはできません(107ページ)。
- プロテクト(保護)されているタイトル、プレイリスト、プレイリストから参照されているオリジナルタイトルは転送できません。
- プレイリストは分割転送できません。オリジナルタイトルを分割してから転送してください。

高速転送とハードディスクの録画可能時間について

お買い上げ時の設定により、本機はハードディスクへの録画と同時に“PSP” 転送用動画ファイルを作成します。“PSP” 転送用動画ファイルを準備することで、転送時間が短くなります（高速転送）。高速転送可能な映像（タイトル）には、ORG または PL が表示されます。

60分番組を高速転送したときの時間は次の表のとおりです。

録画モードと転送時間（無記録ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”*（ハイスピード）使用の場合）

録画モード	転送時間	倍速
QVGA768k	約6分	約10倍
QVGA384k	約3分	約20倍

* 上記の転送時間はおおよその目安です。転送時間は“PSP”に挿入した“メモリースティック PRO デュオ”や、転送する映像（タイトル）により異なります。

録画時に“PSP” 転送用動画ファイルを作成すると、その分ハードディスクの空き容量が必要となり、録画可能時間は短くなります（181ページ）。

“PSP” 転送用動画ファイルを自動的に作成しないようにするには、［ビデオ設定］の［おでかけ転送 高速転送録画］を［切］にしてください（138ページ）。

［おでかけ転送 高速転送録画］を［切］にすると、**転送時に**選んだ映像（タイトル）の“PSP” 転送用動画ファイルを作成（変換）します。ハードディスクに録画できる時間は長くなります。ただし、高速転送できなくなるため、転送時間は再生時間と同程度かかるようになります。

転送の頻度や、ハードディスクの空き容量に合わせて設定をお選びください。

ちょっと一言

ハードディスクの録画可能時間は、［おでかけ転送 録画モード］の設定（138ページ）により異なります。

デジタル放送の字幕も録画した状態で転送したいときは

［ビデオ設定］の［字幕焼きこみ］（139ページ）を［入］にし、DR以外の録画モードで番組を録画してください。

DRモードで録画すると、［字幕焼きこみ］を［入］に設定しても字幕は録画されません。このような映像（タイトル）を“PSP”に転送しても、字幕が記録されていませんのでご注意ください。

なお、字幕が記録された映像（タイトル）から字幕を削除することはできません。

テープをディスクにまるごとダビングする（おまかせHDV/DVダビング）

ご注意はP120へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

本機のHDV1080i/DV IN入力端子にデジタルビデオカメラをつなぐと、HDV/DV方式のテープからかんたんにダビングすることができます。HDV規格（1080i方式）に対応したデジタルビデオカメラとつなげば、撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で、ハードディスクにダビングすることができます。

ダビングを実行すると、自動的にテープを始めまで巻き戻し、HDV/DV方式のテープの内容をまるごとダビングします。

本機にデジタルビデオカメラを接続する前に、デジタルビデオカメラの取扱説明書もご覧ください。

HDV1080i/DV IN入力端子から録画するには

本機のHDV1080i/DV IN入力端子はi.LINK標準に準拠していますので、他のi.LINK（DV）端子のある機器とつなぐ（31ページ）とデジタル信号を記録することができます。

i.LINKについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について」（169ページ）をご覧ください。

本機は次の方式の信号に対応しています。

- DV規格
- HDV規格（1080i方式）

ちょっと一言

ダビング時にHDV1080i/DV IN入力端子を使ってハードディスクまたはDVD-RW（VRモード）に録画すると、後で編集することができます。

1 **ダビングするHDV/DV方式のテープをデジタルビデオカメラに入れる。**

本機で録画や編集をするとき、デジタルビデオカメラは必ずビデオ再生モードにします。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

2 **ホーム（ホーム）を押す。**

3 **←→で［ビデオ］を選ぶ。**

4 **↑↓で［HDV/DVダビング］（HDV/DVダビング）を選び、決定（決定）を押す。**

HDV/DVダビング画面が、表示されます。

ビデオ
ダビング

次のページにつづく⇨

5 ←→で次の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画信号	DV機器を接続した場合、自動的に[DV]に固定されます。 HDV機器を接続した場合は、ダビングしたい信号に合わせて[HDV]または[DV]を手動で選んでください。 • HDV ⇨ ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをハードディスクにダビングする場合。 • DV ⇨ 従来方式のDV信号のみをハードディスクまたはDVDにダビングする場合。
録画先	[HDD]または[DVD]を選びます。 ただし、HDV信号の場合は[HDD]に固定されます。
録画モード	録画モードを選びます。ただし、録画信号に「HDV」を選択したときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のままハードディスクに録画することができます。録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」(70ページ)をご覧ください。
音声設定(DVのみ)	音声入力用の設定を選び、(決定)を押します。お買い上げ時は[ステレオ1]に設定されています。 • ステレオ1 ⇨ 最初からの記録音声のみをダビングします。DVテープをダビングするときは通常この設定を選びます。 • ミックス ⇨ ステレオ1、ステレオ2音声の両方をダビングします。 • ステレオ2 ⇨ あとから追加された音声のみをダビングします。[ミックス]や[ステレオ2]はデジタルビデオカメラで記録したあとから第2音声を加えたときにだけ、選んでください。

6 [実行]を選び、(決定)を押す。

ダビング実行中画面が表示され、ダビングが始まります。

ダビングが完了すると、終了します。

チャプターの作られかた(自動チャプター機能)

HDVまたはDVから、ハードディスクまたはDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にダビングする場合、テープ上の1回の撮影が自動的に1つのチャプターになります。それ以外のディスクへのダビングでは、の[ビデオ設定]ー[自動チャプターマーク]の設定にしたがって、タイトルにチャプターマークが書き込まれます。

HDVまたはDVから、ハードディスクまたはDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にダビングする場合、リモコンのチャプター書込みボタンで書き込むこともできます。

ダビング中に手動でチャプターを入れる場合は、の[ビデオ設定]ー[自動チャプターマーク]を[切]にしてください。

ダビングを止めるには

リモコンのふたを開け、赤い ■ (録画停止)を押します。録画が止まるまでに数十秒かかることがあります。録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。黒い ■ (停止)を押しても録画は止まりません。

または、(オプション)を押し、[ダビング停止]を選び、(決定)を押します。確認画面で、[はい]を選び、(決定)を押します。

ちょっと一言

- ダビングの前に、録画の画質を調整することができます。「録画の画質·映像サイズを設定する」(71ページ)をご覧ください。
- HDV/DV機器側の停止ボタンを押すとダビングは停止します。

ディスクをコピーする（まるごとディスクコピー）

ご注意はP121へ

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cm DVDを高速で、簡単に12cm DVDにコピーすることができます。また、DVDビデオカメラで記録した写真や5.1ch音声もそのままコピーすることができます。

1 **(開/閉)を押してディスクトレイを開け、コピーしたい録画済みのDVD(ファイナライズ済みのディスク)を入れる。**
もう一度 (開/閉)を押して、ディスクトレイを閉めます。

2 **(ホーム)を押す。**

3 **←→で を選ぶ。**

4 **↑↓で (まるごとディスクコピー)を選び、(決定)を押す。**
まるごとディスクコピー読込画面が表示されます。

5 **←→で[実行]を選び、(決定)を押す。**
まるごとディスクコピー読込実行中画面が表示され、ディスクの読み込みが始まります。

6 **コピー元のディスクを取り出して新しいディスクを入れる。**
新しいディスクが認識されるとディスク認識のメッセージが表示されます。

7 **←→で[実行]を選び、(決定)を押す。**
まるごとディスクコピー書出実行中画面が表示され、ディスクへのコピーが始まります。
コピーが完了すると、終了確認画面が表示されます。

複数のディスクにコピーするときは

まるごとディスクコピーの終了確認画面で［継続］を選び、(決定)を押します。新しいディスクに入れ換えて、「ディスクをコピーする（まるごとディスクコピー）」の手順**7**を行ってください。

本機でコピーできるディスクについて

ディスクコピーは読み込み元のディスクの種類により、書き込み先のディスクが異なります。
次の表をご覧になり、最適なディスクを選んでください。
書き込み先のディスクにDVD-RまたはDVD+Rを使う場合、必ず新品（未フォーマット）のディスクを使用してください。

コピー可能なディスクの種類

読み込み元	書き込み先
DVD-R	DVD-R
DVD-RW	DVD-R または DVD-RW
DVD+R	DVD+R
DVD+R DL	DVD+R DL
DVD+RW	DVD+R または DVD+RW

また、ディスクのサイズによって書き込み先のディスクが異なります。
次の表をご覧になり、最適なディスク*を選んでください。

読み込み元のディスクサイズ	書き込み先のディスクサイズ
12cm シングルレイヤー	12cm シングルレイヤー
12cm デュアルレイヤー	12cm デュアルレイヤー
8cm シングルレイヤー	12cm シングルレイヤー

* 読み込み元と書き込み先ディスクのメーカーが異なるとコピーできない場合があります。

「まるごとディスクコピー」は、本機で記録したDVD及び、ソニー製DVDデジタルビデオカメラレコーダーで記録したDVDでのみ行えます。
その他の機器で記録したDVDで本機能が動作しない場合は、タイトルダビングを行ってください。

録画した番組（タイトル）をテレビやパソコンなどで再生する（DLNA対応ホームサーバー機能）（RDZ-D97A/D77Aのみ）

ご注意はP121へ

HDD

本機とDLNAに対応したテレビやパソコンなどをネットワークで接続すると、本機のハードディスクに保存した映像をテレビやパソコンで再生できます。

ネットワーク経由で本機の映像を再生するには次の準備が必要です。

本機能を利用するために必要な準備について

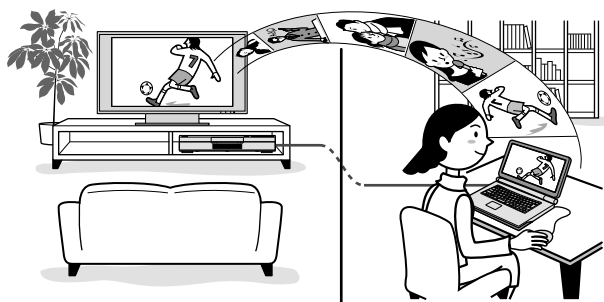
本機の準備

ネットワークの接続･設定、他機器で本機の映像を再生するための設定が必要です。
「録画した番組（タイトル）をテレビやパソコンなどで再生するための設定をする（RDZ-D97A/D77Aのみ）」（50ページ）をご覧になり、接続と設定を行ってください。

他機器の準備

本機の映像を再生したい他機器も、ネットワークの接続･設定と本機の映像を他機器で再生するための設定が必要です。接続と設定については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
また、他機器でファイアーウォールの設定がされている場合、ネットワーク機能が使えない場合があります。他機器の取扱説明書をご覧になり、設定を変更してください。

「DLNA対応」とは

ホームネットワーク上でデジタルAV機器やパソコンなどを接続し、動画などを相互にやりとりすることができます。本機とDLNAに対応している他機器を接続すると、本機の映像を他機器で再生できるようになります。
本機の映像を別の部屋に設置されているテレビで再生できるようになるなど、大変便利な機能です。
本機はDLNA対応ホームサーバー機能のみ対応しています。

2006年3月現在推奨機種

- **ソニー製　液晶デジタルテレビ**　DLNA対応 BRAVIA（KDL-46X1000/KDL-40X1000）*1
- **ソニー製　パーソナルコンピューター**　「VAIO Media」Ver5.0以降がインストールされたVAIO*2
- **ソニー製　ネットワークメディアレシーバー**　「ルームリンク」VGP-MR200

*1　録画した「1回だけ録画可能」なデジタル放送の番組をBRAVIAで閲覧･視聴するためには、「DTCP-IP」規格に対応したソフトウェアへのアップデートが必要です。詳しくは、ソニードライブのホームページ（http://www.sony.jp/products/Consumer/bravia/support/index.html）上でご確認ください。

*2　録画した「1回だけ録画可能」なデジタル放送の番組をVAIOで閲覧･視聴するためには、「VAIO Media」Ver.5.0以降と「VAIO Media デジタル放送プラグイン」をインストールする必要があります。詳しくは、VAIOカスタマーリンク（http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/info/2005/041.html）上でご確認ください。

本機の映像を他機器で再生する

他機器を操作して本機の映像を再生したり停止したりします。
本機や本機のリモコンで操作することはできません。
詳しい操作方法については、お使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で対応している映像の種類について

他機器で再生できる本機のハードディスクの映像（タイトル）は、次のように、録画やダビング時のモードによって異なります。

放送/映像の種類	録画モード	
	DRモード	DRモード以外
地上デジタル放送	○	×
BS･110度CSデジタル放送	○	×
地上アナログ放送	—	○
外部入力	—	○*
DV入力	—	○
HDV入力	×	—

＊「録画自由」の映像のみ

次の映像は他機器で再生できません。

- デジタル放送をDRモード以外で録画した映像
- アナログ放送をXP+モードで録画した映像（HDVから録画した映像を含む）
- HDVから録画した映像
- プレイリスト

他機器で再生できる映像（タイトル）は、タイトル情報/設定画面で [アイコン] が表示されます。

本機で出力するタイトルのサムネイルについて

サムネイルを受信できる他機器は、本機から送られたタイトルのサムネイルを表示します。本機は次の条件をすべて満たしたときに、サムネイルを出力します。

- 地上アナログ放送、外部入力、DV入力いずれかのタイトル
- 「録画自由」のタイトル
- 本機のタイトルリストでサムネイルが表示されているタイトル

上記の条件すべてを満たさないタイトルは、アイコンが表示されます。

ディスクを他機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ご注意はP121へ

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

ファイナライズとは、本機で録画したDVDを他のDVD機器で再生可能なデータ配列にすることです。DVD+RWやDVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）をファイナライズすると、自動的にDVDメニューが作られるので、他のDVD機器で再生するときに表示することができます。
ファイナライズする前に、次の表でDVDの種類による違いをご確認ください。

ディスクの種類	ファイナライズ
+RW	**不要**。本機から取り出す際に、自動的にメニューが書き込まれます。同時にDVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後も本機で追加記録や編集ができます。
-RWVR	**必要**。ただし、DVD-RW（VRモード）対応DVD機器での再生なら、ファイナライズ不要です*。 ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-RVR	**必要**。ファイナライズして、DVD-R（VRモード）対応DVD機器で再生できます（180ページ）。 ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。
-RWVideo	**必要**。手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後は、ファイナライズを解除すれば、本機で追加記録や編集ができます。その後、再ファイナライズが必要です。
+R -RVideo	**必要**。手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。

* 録画時間が短いときなどは互換性を高めるため必要になることがあります。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

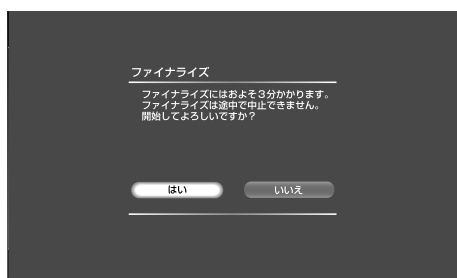
3 ↑↓で（DVD）を選び、（オプション）を押す。

4 ↑↓で［DVD情報］を選び、（決定）を押す。
情報画面が表示されます。

5 ↑↓で［ファイナライズ］または［DVDメニュー作成］を選び、（決定）を押す。
DVDメニューが作成できないディスクを挿入しているときは、手順7に進みます。

6 作成するDVDメニューを選び、（決定）を押す。
DVDメニューの背景画面を設定できます。背景画面は24種類から選べます。

ちょっと一言
黄（黄）を押すと、画面を拡大できます。

7 ファイナライズにかかる時間を確認し、［はい］を選んで、（決定）を押す。

DVDのファイナライズが始まります。

ちょっと一言
ファイナライズされているかどうかは、ディスク情報画面で確認できます。［ファイナライズ］が選べる状態であれば、DVDはまだファイナライズされていません。

ファイナライズを解除する

-RWVR -RWVideo

DVD-RW（ビデオモード）の場合

本機でファイナライズして追加録画や編集ができなくなったDVD-RW（ビデオモード）を、再び録画や編集ができるようにします。

1 本機にファイナライズされたDVD-RW（ビデオモード）を入れ、ディスク情報画面を表示する。

2 ［ファイナライズ解除］を選び、（決定）を押す。
ファイナライズ解除が始まります。ファイナライズ解除には数分かかることがあります。
他機器でファイナライズしたDVD-RW（ビデオモード）は解除できません。

DVD-RW（VRモード）の場合

他のDVD機器でファイナライズしたDVD-RW（VRモード）の録画や編集ができないとき、「ディスクがファイナライズされています。ファイナライズ解除してください。」と表示されることがあります。その場合、DVD情報画面で［ファイナライズ解除］を選びます。ファイナライズを行った機器によっては、本機でファイナライズ解除できない場合もあります。

次のページにつづく⇨

ディスク内のすべてのタイトルを消去する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

ディスク内の保護されているタイトル以外のすべてのタイトルを消去します。

1　ディスク情報画面を表示して、[全消去]を選び、（決定）を押す。

2　確認画面で[はい]を選び、（決定）を押す。

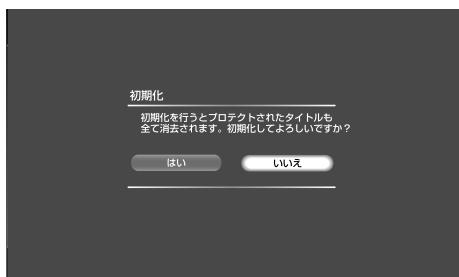
タイトルの消去が始まります。

ディスクを初期化する

+RW -RWVR -RWVideo -RVideo

DVDの内容をすべて消去して、空きディスクにします。
DVD-RWでは、用途に合わせて記録フォーマット（「VR」または「ビデオ」）を選んでください（180ページ）。
また、ビデオモードで初期化されたDVD-Rは、未記録状態であればVRモードで初期化できます。

1　ディスク情報画面を表示して、[初期化]を選び、（決定）を押す。

2　確認画面で[はい]を選び、（決定）を押す。

ディスクの初期化が始まります。

ちょっと一言

- DVDを初期化すると、DVD-RWの記録フォーマットを変更したり、ファイナライズしたDVD-RW（ビデオモード）が再び録画できるようになります。
- ハードディスクの初期化は、 の[本体設定]の[HDD初期化]でできます（144ページ）。
- CPRMに対応していないDVD-Rの初期化は、未記録状態でディスクを本機に入れたときに、ビデオモードで自動で行なわれます。
- CPRM対応のDVD-Rの初期化は、未記録状態でディスクを本機に入れたときに自動で行なわれます。記録フォーマット（「VR」または「ビデオ」）は、 の[ビデオ設定]の[DVD-R（CPRM）初期化設定]で設定したモードになります（139ページ）。

「ビデオ機能を使う」に関するご注意・制約事項

録画全般のご注意

- 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがあります。
- 録画ボタンを押してもすぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送により異なります。
- 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
  －受信状態の悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
  －編集されたDVDに追加して録画する場合
  －静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 番組連動データは録画されません。
- 録画中に録画モードを変えることはできません。
- ハイビジョン放送をDR以外のモードで録画した場合は、ハイビジョンの画質にはなりません。
- 次の場合、タイマーランプが点滅します。
  －残量が足りない場合
  －DVDへの録画予約が登録されている状態で、録画可能ディスクが挿入されていないとき
- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。
- 「録画禁止」のコピー防止信号が含まれている映像は、録画できません。本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS·110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- 新しいDVDではじめて記録する場合、記録が開始されるまで数十秒かかることがあります。

録画の制限

「録画禁止」のコピー防止信号が含まれている映像は録画できません（DVDビデオ、CS放送のペイ·パー·ビューなど）。
「録画禁止」のコピー防止信号が入っていると、録画されません。繰り返し録画のできないDVD+RやDVD-Rの場合など、特にご注意ください。

ビデオ

コピー防止信号	録画できるディスク
録画自由 地上アナログ放送など （コピー防止信号なし）	HDD　+RW　-RW VR　-RW Video　+R　-R VR　-R Video
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD　-RW VR[*1]　-R VR[*1]
録画禁止 DVDビデオ、CSのPPV[*2]など	✕

[*1] CPRM対応ディスクのみ。
CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

[*2] PPV（ペイパービュー）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。

「録画の画質・映像サイズを設定する」のご注意

- 映像サイズが混在する番組では、設定したどちらかの横縦比で録画されます。ただし、16:9で録画できない場合は、4:3で録画されます。
- ここでの調整は録画映像のみに反映され、画面上の映像には反映されません。
- ［録画DNR］は、デジタル放送には効果がありません。
- ［録画画質調整］は、外部入力信号とDV信号にのみ効果があります。

「デジタル放送とアナログ放送の2つの番組を同時録画する（デジタル・アナログ2番組同時録画）」のご注意

- DVDにデジタル・アナログ2番組同時録画はできません。
- デジタル放送同士やアナログ放送同士の2番組同時録画はできません。

「テレビ番組を自動で録画する（x-おまかせ・まる録）」のご注意

- おまかせ設定で検索された番組は候補一覧に表示されます。おすすめ設定の候補一覧はある程度利用しないと表示されません。
- 録画する番組を番組表データから探すため、データが正しく受信されていないと、この機能は働きません。
- x-おまかせ・まる録候補一覧に表示される番組は必ず録画されるわけではありません。確実に録画するために、x-おまかせ・まる録候補一覧で録画予約を設定することをおすすめします。
- x-おまかせ・まる録候補一覧で予約マークが表示されている番組は、予約リストに登録されています。予約の修正は、予約リストから行ってください。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組は、おまかせ予約リストに表示され、予約リストには表示されません。
- 有料番組や視聴年齢制限番組が、x-おまかせ・まる録候補一覧に登録されることがありますが、これらの番組は、制限を解除しないと録画されません（59ページ）。
- 録画したタイトルは、ハードディスクの残量が足りなくなると古いものから自動的に消去されます。
- 次の場合、x-おまかせ・まる録による録画は実行されません。
  －タイトルダビング中
  －チャンネルスキャン中
  －x-Pict Story HD使用中
  －まるごとディスクコピー中
  －HDV/DVダビング中
  －静止画（JPEG）コピーや削除中
  －タイトル編集中など
  －おでかけ転送中
  また、［番組表取得設定］の［取得時刻］で［取得する］に設定している時刻には、x-おまかせ・まる録による録画が実行されません。x-おまかせ・まる録を優先するには、［自動］に設定してください（136ページ）。お買い上げ時の状態では、［取得する］に設定されている時間帯があります。
- 番組表でキーワード検索した番組と、x-おまかせ・まる録で同じキーワードを設定したときに候補一覧に表示される番組は、すべて一致するわけではありません。
- テレビ番組を見ているときに、x-おまかせ・まる録が開始したときは、録画するチャンネルに切り換わります。

「録画予約する」のご注意

- 予約があっても、優先順位の高い番組（85ページ）を録画中は録画予約で設定した番組の録画は実行されません。
- 毎日などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。予約リスト（83ページ）のタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする ⧉ が付きますので、優先順位を確認してください。
- 1番組で8時間を超える予約はできません。
- デジタル放送の予約の場合、番組の延長に自動的に対応して録画されます。また、放送時間内に終わらなかったときに他のチャンネルで放送を継続する番組（イベントリレー）でも、本機が自動的に対応して録画します。ただし、毎回録画に設定して番組追跡しなかった場合や、録画予約の設定の中で［延長］の設定を［自動］以外に設定した場合は、自動で延長されません。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合に時間変更に対応して録画しますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されない場合があります。
- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります（番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合）。

次のページにつづく⇨

- 次の場合、録画予約で設定した番組の録画は実行されません。
  - 2番組同時録画中
  - タイトルダビング中
  - チャンネルスキャン中
  - おでかけ転送中
  - x-Pict Story HD使用中
  - まるごとディスクコピー中
  - HDV/DVダビング中
  - 静止画(JPEG)コピーや削除中
  - タイトル編集中など
- テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画が開始したときは、録画するチャンネルに切り換わることがあります。

「日時を指定して予約する」のご注意

予約に有料番組が含まれている場合、その間の時間は録画されません。

「録画した番組(タイトル)の次回の予約をする(次回予約)」のご注意

タイトル名が似ている別の番組や、次々回以降の番組が予約リストに表示され、次回の番組が表示されないときは、番組表から次回の録画予約を行ってください。

「携帯電話で録画予約する(携帯電話録画予約)」のご注意

- 携帯電話録画予約を行っても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかる場合があります。録画したい番組に間に合うようにご注意ください。
- [本体設定]の[スタンバイモード](143ページ)が[標準]に設定されていると、携帯電話録画予約ができません。必ず[高速起動]に設定してください。
- 本機に登録できる携帯電話は5台までです。
- 次の場合は携帯電話録画予約を行っても実行されません。
  - ディスクの容量が不足している場合
  - 本機や、他の携帯電話で行った録画予約が、後から入った場合
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合
  - B-CASカードが挿入されてない場合(地上波デジタルの場合)
- 携帯電話で録画予約を行うと、次の費用が発生します。これらの費用はすべてお客様負担となります。
  - 本機がリモート録画予約サービス側のサーバーにアクセスするときのネットワーク使用料
  - 携帯電話からリモート録画予約サービス側のサーバーにアクセスするときの通信料
- 「リモート録画予約」については「リモート録画予約」サービス事業者にお問い合わせください(168ページ)。

「予約を確認する・変更する・取り消す(予約リスト)」のご注意

予約があっても、優先順位の高い番組を録画中は録画予約で設定した番組の録画は実行されません。

- 毎日などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。予約リストのタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする 🗗 が付きますので、優先順位を確認してください(83ページ)。

「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)」のご注意

- この機能は、番組表で「スポーツ」のジャンルに分類された番組のみに対応しています。
- この機能は同じチャンネルの予約に対してのみ働き、他のチャンネルの予約には働きません。
- 延長時間の情報がないときは、🧰 から[ビデオ設定]の[スポーツ延長対応]で設定した時間分(30分、60分、または120分)、録画が延長されます(137ページ)。

「放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)」のご注意

次の場合は、番組の追跡ができなかったり、他の番組を追跡してしまったりするため、録画されないことがあります。
- 番組名が変わった場合
- 番組名が短い場合
- 放送時間が大幅に短くなった場合

「前回録画した番組(タイトル)を消去して録画する(更新録画)」のご注意

- 見ていないタイトルでも、次回の予約の前に消去されます(編集されている場合を除く)。
- 次のときは、タイトルは消去されません。
  - タイトルがプロテクト設定されたとき
  - タイトルが編集されたとき
  - プレイリストに加えられたとき
  - 前のタイトルを再生中だったとき

「予約の優先順位を変更する」のご注意

- 予約が重なっている場合は、優先度の低いほうの予約の冒頭または最後部は録画されない場合があります。
- 一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じ場合、後の予約の優先順位が高くても、後の予約の冒頭が録画されない場合があります(先の予約の録画先がDVDの場合など)。
- 予約リストの録画はx-おまかせ・まる録より優先します。

「ディスク情報画面を使う」のご注意

本機では、10億バイトを1GB(ギガバイト)として表示しています。

「ディスクの名前を入力する」のご注意

ディスク名として入力できる文字数は、最大で全角32文字、半角64文字までです。他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。

本機で録画したDVDを他のDVDプレーヤーで再生するにはどうすればいいの？

本機で録画したDVDを他のDVDプレーヤーやDVD対応パソコンで再生したいときは、ファイナライズします。
ファイナライズとは、DVDに録画した情報を再生可能なデータ配列にすることです。
ファイナライズの詳しい操作については「ディスクを他機器で再生できるようにする（ファイナライズ）」（113ページ）をご覧ください。

再生全般のご注意

- 録画予約で設定した番組を録画しているときは、タイトルのサムネイルが表示されないことがあります。
- HDV1080i/DV IN入力端子に接続した他機の映像を本機で録画しているときは、タイトルの再生ができません。

「見どころシーンを中心に自動で再生する（ダイジェスト再生）」のご注意

- 10分以下の再生時間の短い映像（タイトル）は、ダイジェスト再生できません。
- 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）のダイジェストを"PSP"に転送して持ち出すと、ハードディスク内のもとの映像は消去されます。
- 追いかけ再生中の映像（タイトル）はダイジェスト再生できません。

追いかけ再生・同時録画再生のご注意

- DVDに録画中の番組を追いかけ再生したり、同時録画再生したりすることはできません。
- HDV/DVダビング中は、同時録画再生できません。
- 録画モードにより録画開始直後の1分間ほどは追いかけ再生することはできません。
- デジタル放送をDR以外のモードで録画中は、DRモードのタイトルは再生できません。
- DRモードで録画中の番組を追いかけ再生するときのご注意
  －アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。
  －録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。

「すばやく見たい場面にとばす（シーンサーチ）」のご注意

- シーンサーチは100秒以上100時間未満のタイトルでのみ有効です。

「チャプター番号やタイトル番号で頭出しする」のご注意

市販のDVDビデオによっては頭出しできないことがあります。

「手動でチャプターマークを入れる/消去する」のご注意

- 1タイトル中に入れられるチャプターマークは、VRモードのDVD-RWとDVD-Rで最大999個、ハードディスクでは最大99個（DRモード時は最大98個）です。
- チャプターマークを入れる間隔が短すぎると、チャプターマークが入れられないことがあります。
- チャプターマークを追加できないときはメッセージが表示されます。この場合、ハードディスクやDVDの録画や編集ができなくなることがあります。
- 録画/録画一時停止中は［自動チャプターマーク］が［切］に設定されていないと手動でチャプターマークを追加することはできません。
- 追いかけ再生中はチャプターマークを追加/削除することはできません。

「再生中のタイトルの画質や音質を調整する」のご注意

画質を調整する

再生している場面によっては、FNRやBNR、MNRの効果がわかりにくいことがあります。

音声を調整する［音声フィルター］

ディスクの種類や視聴条件によっては、音声フィルターの効果がわかりにくいことがあります。

DTS音声再生時のご注意

DVDを再生する場合

DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力します。の［音声設定］で［DTS］を［入］にしてください（142ページ）。

タイトルリストに関するご注意

- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- サムネイルの表示に時間がかかることがあります。
- DVDに記録できない文字は消去されます。ただし、N と 天 はそれぞれ「N」と「天」に置き換えられます。
- DVD-RW（VRモード）やDVD-R（VRモード）で画面横縦比（16:9と4:3）が混在しているタイトルは、サムネイルの縦横比が正しく表示できないことがあります。

「録画した番組（タイトル）をグループごとに分類する（オートグルーピング機能）」のご注意

各ビューで含まれるタイトルがないものは表示されません。

ビデオ

次のページにつづく⇨

編集全般のご注意

- 編集する前にディスクの種類を本体表示窓(183ページ)で確認して、編集機能をお選びください。
- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは編集できないことがあります。

ハードディスク、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)の編集全般のご注意

ハードディスク、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)では編集方法が2つあります。「**オリジナル**」と呼ばれる実際に録画したそのままの映像を編集する方法と、「**プレイリスト**」と呼ばれる仮想映像(オリジナルの映像を元に作る)を編集する方法です。それぞれ性質も長所も異なりますので、以下を読んで、より用途に適した方を選んでください。

「オリジナル」を編集する

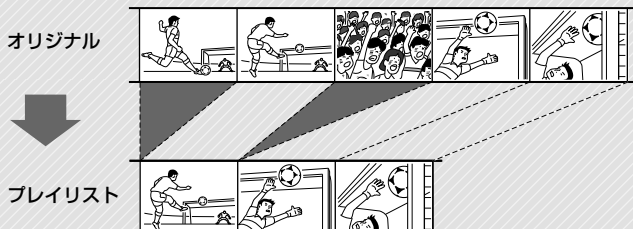
一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。元の録画内容を全く変えずに保存しておきたいときは、プレイリストを作って編集してください。オリジナルのタイトルでは次の編集ができます。

－誤消去しないように、タイトルを保護する(101ページ)。
－タイトルの名前を変更する(102ページ)。
－1つのタイトルを消去する(101ページ)。
－タイトル内の一部を消去する(A-B消去)(98ページ)。
－複数のタイトルを消去する(98ページ)。
－1つのタイトルを2つのタイトルに分割する(ハードディスクのみ、99ページ)。
－複数のタイトルを1つのタイトルに結合する(ハードディスクにDRモードで録画したタイトルのみ、99ページ)。
－1つのタイトルのチャプターを選択して消去する(100ページ)。

「プレイリスト」を作成・編集する

プレイリストとは、オリジナルのタイトルから編集用に作られた、仮想映像のことです。プレイリストのタイトルを作ると、再生順など、再生に必要な管理情報だけをディスクに保存します。オリジナルのタイトルは元の状態なので、何度でも編集をやり直すことができます。

例:サッカーの決勝トーナメントの数試合をDVD-RW(VRモード)に録画した。ゴール場面などの見どころシーンでダイジェストを作りたいが、元の録画も残しておきたい。
このような場合、見どころシーンを集めることができます(「お好みの場面を集めたタイトルリストを作成する[プレイリスト作成]」、99ページ)。

オリジナル

プレイリスト

このようにして作られたプレイリストのタイトルにはさまざまな編集ができます。

－誤消去しないように、タイトルを保護する(ハードディスクのみ)(101ページ)。
－タイトルの名前を変更する(102ページ)。
－1つのタイトルを消去する(101ページ)。
－タイトル内の一部を消去する(A-B消去)(98ページ)。
－複数のタイトルを消去する(98ページ)。
－1つのタイトルを2つのタイトルに分割する(99ページ)。
－複数のタイトルを1つのタイトルに結合する(99ページ)。
－1つのタイトルのチャプターを選択して消去する(100ページ)。

ご注意

- データ元のオリジナルのタイトルは消去や編集ができなくなります。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、いらないタイトルを消去してください。

「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が記録されているタイトルを含むプレイリストタイトルをダビング/移動することはできません。ダビング/移動できないタイトルには、(コピー禁止マーク)が付きます。

DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)の編集全般のご注意

かんたんな編集をすることができます。一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。次の編集ができます。

－誤消去しないように、タイトルを保護する(101ページ)。
－タイトルの名前を変更する(102ページ)。
－1つのタイトルを消去する(101ページ)。
－タイトル内の一部を消去する(A-B消去)(DVD+RWのみ)(98ページ)。
－複数のタイトルを消去する(98ページ)。

ご注意

- DVDをファイナライズすると、編集や録画はできなくなります(DVD+RWは除く)。
- プレイリストを作ることはできません。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、いらないタイトルを消去してください。
- DVD+RWでA-B消去すると、消去される場面が設定と若干ずれることがあります。
- A-B消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- 5秒未満のシーンは、A-B消去できないことがあります。

「録画した番組(タイトル)を編集する」のご注意

- DVD-RW(ビデオモード)とDVD+R、DVD-Rでは、編集を終えてからファイナライズしてください。ファイナライズ後は編集できません。
- DVD-RW(ビデオモード)とDVD-R(ビデオモード)、DVD+Rでは、A-B消去できません。

- A-B消去やチャプター選択消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- 5秒未満のシーンは、A-B消去できないことがあります。
- チャプターの時間が短いときは、チャプター選択消去ができないことがあります。
- プレイリストを作成すると、編集したシーンを再生するとき、画像が一時停止することがあります。
- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- DLNA対応ホームサーバー機能を利用して、本機の映像(タイトル)を他機器が再生しているときに、本機でA-B消去やチャプター選択消去、タイトル分割、タイトル結合をしようとすると、他機器の再生が停止します。また、本機でこれらの編集を行っている映像(タイトル)は、ネットワーク上の他機器から再生できません(RDZ-D97A/D77Aのみ)。
- 「録画自由」のタイトルを「1回だけ録画可能」のタイトルと結合すると、「1回だけ録画可能」となり、このタイトルをダビングすると元のメディアからは消去されます。

「複数の録画した番組(タイトル)を消去する[タイトル選択消去]」のご注意

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去することはできません。
- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。
- DVD-R/+Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

[タイトルを誤って消さないようにする[プロテクト]」のご注意

DVD-RW(VRモード)やDVD-R(VRモード)のプレイリストタイトルを保護することはできません。

「録画した番組(タイトル)を消去する」のご注意

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去することはできません。
- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。プレイリストタイトルでもタイトル情報に容量が表示されますが、プレイリストタイトルは消去しても残量は増えません。
- DVD-R/+Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

ディスクダビング全般のご注意

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください(180ページ)。
- DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)では音声多重放送を記録できません。音声多重放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類([主音声]または[副音声])を選んでください(138ページ)。
- ダビング中は録画予約で設定した番組の録画は行われません。ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。
- ハードディスクからDVDへ、またはDVDからハードディスクへダビングする場合、(アイコン)から[ビデオ設定]—[自動チャプターマーク]の設定にかかわらずチャプターを引き継ぎます。ただしハードディスクからDVD+R DLへダビングする場合は[自動チャプターマーク]の設定にしたがいます(137ページ)。
- 画面横縦比(16:9と4:3)が混在しているタイトルでは、ハードディスクからDVD-RW(ビデオモード)、DVD-R(ビデオモード)にダビングする場合、「DVD録画横縦比」(71ページ)で設定した映像サイズでダビングされます。ハードディスクからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされ、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にはダビング元の映像サイズのままダビングされます。
- ハードディスクやDVDの状態などにより、手順どおりに動作しない場合があります。画面のメッセージにしたがって操作してください。
- 「管理情報がいっぱいです」と画面に表示されたら、タイトルを消去してください(101ページ)。
- 市販のDVDから本機のハードディスクにダビングすることはできません。
- 本機で録画したタイトルであっても、ダビングできないことがあります。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送を、本機のハードディスクへDRモードで録画すると5.1chの音声で記録されますが、DVDへダビングすると5.1ch音声では記録できません。

「ダビングモードについて」のご注意

すばやくダビングする(高速ダビング)

- 次のタイトルは高速ダビングができません。録画モード変換ダビングを行ってください。
  - DRモードで録画したタイトル
  - 音声多重放送を主音声、副音声とも録音したタイトル(DVD-RW(VRモード)およびDVD-R(VRモード)以外)
  - 画面横縦比(4:3や16:9など)が混在するタイトル(DVD-RW(VRモード)およびDVD-R(VRモード)以外)
  - 録画モードがXP+のタイトル
  - EP、SLPの録画モードで録画したタイトル(DVD+RWとDVD+Rのみ)
- 編集後の映像(タイトル)をDVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)に高速ダビングすると、消去した画像が一部残ることがあります。

録画モードを変えてダビングする(録画モード変換ダビング)

録画モード変換ダビングで、ダビング元の録画モードより高画質の録画モードに変換しても画質は良くなりません。

ダビングの制限についてのご注意

本機では次のダビングと移動ができます。
映画などの市販ソフトはハードディスクにダビングできません。また、DVDからハードディスクへのダビングで、コピー防止信号を含むシーンがある場合、録画一時停止になり録画されません。

ビデオ

次のページにつづく⇨

コピー防止信号	ダビング
録画自由 地上波放送など（コピー防止信号なし）	HDD ⇄ +RW / -RW VR / -RW Video / +R / -R VR / -R Video
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD 移動→ -RW VR（CPRM対応）/ -R VR（CPRM対応）

移動（ムーブ）について

HDD → -RW VR/-R VR

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）は、ハードディスクからDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）*へのみ移動させることができます（移動が終了すると、ハードディスク内の元の映像は消去されます）。「移動」はダビングと同じ手順で行います（103ページ）。「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が含まれているタイトルには マークがついています。

- ハードディスク内の次のタイトルは移動できません。
  - －保護されているタイトル
  - －プレイリストタイトル
  - －プレイリストから参照されているオリジナルタイトル
- DVDに移動したタイトルをハードディスクに戻すことはできません。
- 移動（ムーブ）を途中で停止した場合、タイトルはハードディスクに残り、DVDには残りません。ただし、DVD-R（VRモード）のときは、DVDの残量が減りますのでご注意ください。

* CPRM対応DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のみ。
CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

「"PSP"に転送して持ち出す「おでかけ・スゴ録」（おでかけ転送）（RDZ-D97A/D77Aのみ）」のご注意

- 本機で録画した番組（タイトル）を"PSP"に挿入した"メモリースティック PRO デュオ"に転送し、"PSP"で再生してください。
- 本機は、"PSP"のシステムソフトウェアバージョン2.60以降で利用できます。転送した映像が"PSP"で見られないときは、"PSP"のシステムソフトウェアバージョンを確認してください。
- "PSP®"のシステムソフトウェアの情報やバージョンアップ方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ（http://www.playstation.jp/psp/index.html）をご確認ください。
- 本機のハードディスクにある"PSP"転送用動画ファイルを本機で再生したり、消去することはできません。
- ハードディスクに録画されている映像（タイトル）を消去すると、"PSP"転送用動画ファイルも消去されます。
- "PSP"に転送されている映像を、本機の操作で消去することはできません。"PSP"を操作して転送先の"メモリースティック PRO デュオ"の映像を消去してください。
- "PSP"から本機のハードディスクに映像を転送することはできません。
- 転送中に停電になった場合は、本機と転送先の両方から映像が消去される可能性があります。
- 転送中や、"PSP"転送用動画ファイル作成（変換）中は録画できません。また、録画予約で設定した録画も行われません。予約リストでまもなく始まる予約がないかを確認してください。
- DLNA対応ホームサーバー機能を利用して、本機の映像（タイトル）を他機器が再生しているときに「おでかけ転送」を行うと、他機器の再生が停止します。
- ［おでかけ転送 高速録画転送］を［全てのデジタル放送］や［地上アナログ放送］にしていても、録画した映像（タイトル）を編集すると高速転送できなくなります。また、録画時の状態により、高速転送できない場合があります。
- 録画モード、二重音声記録、映像や音声の信号設定を変更した場合は、高速転送になりません（108ページ）。
- 本機に接続したビデオデッキなどの外部機器から、通常再生以外（早送り再生など）の再生方法で録画した映像（タイトル）を"PSP"に転送すると、映像が乱れることがあります。
- 「1回だけ録画可能」な映像（タイトル）を転送すると、その映像はハードディスクから消去されます。
- "メモリースティック PRO デュオ"の空き容量が足りないと「1回だけ録画可能」の映像（タイトル）は転送できません。"PSP"を操作して転送先の不要なファイルを消去するか、空き容量に収まるよう、本機でタイトルを分割してください。
- プレイリストの映像（タイトル）は高速転送できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号の付いた映像（タイトル）のプレイリストは転送できません。
- タイトルリストのタイトル数が298以上の時はダイジェスト転送できません。
- "メモリースティック PRO デュオ"にパソコンなどを使って手動で作成したファイルなどがあるときは、"PSP"転送用動画ファイルを"メモリースティック PRO デュオ"に転送しても再生できない場合があります。
- 転送先の"メモリースティック PRO デュオ"の空き容量が足りないときは、「録画自由」の映像（タイトル）の場合、途中まで転送できます。

「テープをディスクにまるごとダビングする（おまかせHDV/DVダビング）」のご注意

- 本機のHDV1080i/DV IN入力端子は入力専用です。信号は出力されません。
- HDV/DVダビング中に本機の電源を切ることはできません。
- 次の場合、HDV1080i/DV IN入力端子は使えません。
  - －デジタルビデオカメラと本機のHDV1080i/DV IN入力端子に互換性がない場合。本機の入力端子につなぎ、「ビデオなど外部機器の映像を録画する」（74ページ）の手順にしたがってください。
  - －テープの記録画像がコピー防止信号を含んでいる場合。
- 本機のiLINK端子はMICRO MV方式のデジタルビデオカメラに対応していません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。
- ディスクを他のDVD機器で再生したい場合は、ファイナライズをしてください（113ページ）。

- 本機に複数のデジタルビデオ機器をつなぐことはできません。
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作することはできません。
- テープの記録日時やカセットメモリーの内容は、ディスクに記録できません。
- 複数のサンプリング周波数（48kHz、44.1kHz、または32kHz）で記録された音声トラックのあるDV方式のテープからダビングした場合、ディスク上のサンプリング周波数が切り換わる箇所を再生するときに音が途切れたり不自然な音が出たりします。
- テープに5分以上の無記録部分があると、ダビングは自動的に終了します。
- EPモードでDVD+RWに長時間ダビングを行うと、本機のVBR機能が働き6時間5分以上ダビングできる場合があります。この場合、DVDに記録される管理情報が一杯になった時点で、本体前面の表示窓に「INFO FULL」が表示され、ダビングが停止されます。管理情報が一杯になると、ディスク残量が残っていてもこれ以上ダビングできません。
- EPモードでDVD+RWに長時間ダビングしたディスクを再生すると、再生中の映像の録画モードが「SLP」と表示されることがあります。
- ダビング終了前に、本機は5分間、テープの無記録部分の録画を続けます。HDV機器からのダビングの場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器からのダビングの場合は録画されます。止めるには、■（録画停止）を押してください。
- ダビング元の画像サイズが途中で変わったり無記録部分があったりすると、ダビングされた画像に影響が出る場合があります。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、ハードディスクまたはDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）へのダビングで自動チャプター機能（110ページ）が正しく働きません。
- HDV信号とDV信号が混在したテープをHDV機器からDVダビングする場合、HDVとDVの信号の変わり目で画像と音声が一瞬途切れることがあります。

「ディスクをコピーする（まるごとディスクコピー）」のご注意

- ディスクの読み込み中に本機の電源を切ることはできません。
- ディスクの読み込み中、書き込み中にディスクトレイの開閉はできません。
- 次の場合、ディスクをコピーすることはできません。
  - ハードディスクの空き容量がコピーしたいディスクの容量より少ない場合
  - コピーするディスクのメーカーが異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります
  - 録画実行中の場合
  - 映画などの市販ソフト
  - 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）を録画したことがあるディスク
  - ファイナライズされていないディスク
- ディスクをコピーするためにはハードディスクに十分な空き容量が必要です。
- コピー先のディスクがDVD+R/-Rの場合、書き出しを途中で中止するとそのディスクは使えなくなります。
- DVDビデオカメラで記録した5.1chの音声が含まれている映像をハードディスクに記録すると、ステレオ音声で記録されます。

「録画した番組（タイトル）をテレビやパソコンなどで再生する（DLNA対応ホームサーバー機能）（RDZ-D97A/D77Aのみ）」のご注意

- 本機でダビング中のときやx-Pict Story作成中のときは、他機器から再生できません。
- DRモードで録画した「1回だけ録画可能」な映像（タイトル）は、「DTCP-IP」規格に対応した他機器（DLNAプレーヤー）でのみ再生できます。
- 編集した映像（タイトル）は、他機器によって再生できなかったり、映像が乱れることがあります。
- 他機器によっては、映像（タイトル）の名前が正しく表示されない場合があります。
- DRモード以外で録画されたコピー制御信号を含む映像は、他機器で再生できません。
- DLNA対応のテレビや、パソコンとのホームネットワーク（LAN）ケーブル（別売り）による接続が必要です。
- DRモードで録画した映像（タイトル）を再生する場合は、ホームネットワーク（LAN）ケーブル（別売り）での有線接続が必要です。
- DRモード以外の録画モードで録画した「1回だけ録画可能」な映像（タイトル）、XP+モードで録画した映像（タイトル）、HDV映像、静止画、音楽には対応していません。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や、音声が途切れる場合があります。
- EP/SLPの映像（タイトル）を他機器で再生すると、再生する他機器によっては画面が小さく表示されることがあります。
- 本機から出力された映像が乱れているような場合、出力を中止することがあります。
- 本機から出力される映像を他機器で再生するときと、その映像を本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 一部の他機器では、本機で編集した映像を再生できないことがあります。
- DRモードで録画された映像は、一部の他機器で再生できないことがあります。
- 他機器で再生している映像を長時間一時停止していると、本機との通信が切断されることがあります。

「ディスクを他機器で再生できるようにする（ファイナライズ）」のご注意

- DVD機器によっては、正しくファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすることはできません。

ファイナライズを解除する

- ファイナライズ解除できないDVD-RW（VRモード）もあります。
- 他機器でファイナライズしたDVD-RW（ビデオモード）は、解除できません。

ミュージック機能を使う

音楽CD（CD-R/-RW含む）をお楽しみいただけます。

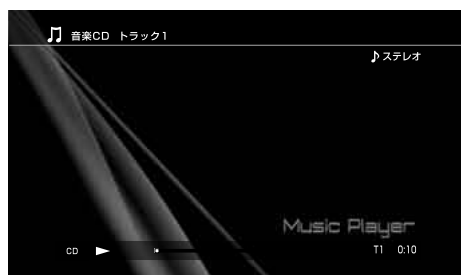
ミュージックカテゴリーのアイコン一覧

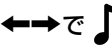
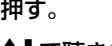
アイコン	説明
	CD 本機に音楽CD（CD-R/-RW含む）を挿入すると表示されます（123ページ）。

音楽を再生する

ご注意はP123へ

CD　CD-R　CD-RW

本機にCDを挿入すると、自動的にMusic Player画面が表示されます。

（再生）を押す。

（オプション）でできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目	できること
頭出し	トラックを始めから再生します。
再生停止	トラックの再生を停止します。

再生中の操作

押すボタン	できること
（開/閉）	ディスクトレイの開/閉
（早戻し/早送り）	音楽CD（CD-R/-RW含む）の早送り/早戻し
（停止）	再生の停止
（一時停止）	再生の一時停止
（音声切換）	ステレオとモノラルの切り換え
前 次（前/次）	前を押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。（1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。） 次を押すと、次のトラックの先頭に進みます。

トラックを選ぶときは

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で ♫ を選ぶ。

3 ●（音楽CD（CD-R/-RW含む））を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で聴きたい曲（トラック）を選んで、（決定）を押す。

「ミュージック機能を使う」に関するご注意・制約事項

「音楽を再生する」のご注意

本機のハードディスクにHDV/DVダビングを行っているときは、CDを挿入しても自動的にMusic Player画面は表示されません。

DTS音声再生時のご注意

CDを再生する場合

- DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズがでます。また、再生条件により、デジタル接続の場合でもノイズが出ることがあります。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときに、CDのDTS音声を再生すると、接続した機器の音声出力から異音が出ることがあります。
- CDのDTS音声を再生するときは、（音声切換）を繰り返し押して、音声を「ステレオ」に設定してください（58ページ）。
- マルチセッションで作成されたCD-Rは再生できません。

フォト機能を使う

データDVDやデータCD、デジタルスチルカメラ、"PSP"「プレイステーション・ポータブル」などに保存されている画像をご覧いただけます。また、x-Pict Story HDを使えば音楽と組み合わせたオリジナルフォト作品を作ることができます。

フォトカテゴリーのアイコン一覧

アイコン	説明
	HDD→DVDコピー ハードディスクからDVDへダビングを行います（127ページ）。
	x-Pict Story HD 作成 x-Pict Story HDを作成します（127ページ）。
	データDVD 本機に画像を含んだデータDVDを挿入すると表示されます（125ページ）。
	データCD 本機に画像を含んだデータCDを挿入すると表示されます（125ページ）。
	デジタルスチルカメラ（RDZ-D97A/D77Aのみ） ソニー製デジタルスチルカメラをUSBで接続すると表示されます（125ページ）。
	PSP（RDZ-D97A/D77Aのみ） "PSP"をUSBで接続すると表示されます（125ページ）。
	USB接続機器（RDZ-D97A/D77Aのみ） ソニー製デジタルスチルカメラ、"PSP"以外のUSB機器をUSBで接続すると表示されます（125ページ）。
	サンプルx-Pict Story HD お買い上げ時に登録されているx-Pict Story HD作品が表示されます（127ページ）。
	x-Pict Story HD x-Pict Story HDで作成した作品を表示します（127ページ）。
	サンプルアルバム お買い上げ時に登録されているアルバムが表示されます（125ページ）。
	アルバム ハードディスク録画されたアルバムが表示されます（125ページ）。

ちょっと一言

"メモリースティック"に保存されている写真を取り込みたいときは、"メモリースティック"USBリーダー/ライター MSAC-US40（別売品）も使用できます。

写真を再生する

ご注意はP129へ

HDD DATA DVD DATA CD

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （データDVD）や （データCD）、
（デジタルスチルカメラ）*、（PSP）*、（USB接続機器）*、 （サンプルアルバム）、
（アルバム）を選び、 （決定）を押す。

* RDZ-D97A/D77Aのみ。RDZ-D87にUSB端子はついていません。

4 写真を選び、（決定）を押す

“メモリースティック”USBリーダー/ライター MSAC-US40（別売品）を使って“メモリースティック”のデータを再生したいときは

手順1の前に、本機に“メモリースティック”USBリーダー/ライター MSAC-US40（別売品）を接続し、“メモリースティック”を“メモリースティック”USBリーダー/ライター MSAC-US40に挿入してください。

手順3で や 、、 を選んだときは

データDVD やデータCD、デジタルスチルカメラ、“PSP”、USB接続機器に保存されているフォルダが表示されますので、見たい写真が入っているフォルダを選び （決定）を押してください。（決定）を押すと、選んだフォルダ（アルバム）に保存されている写真の一覧が表示されますので、見たい写真を選び、再び （決定）を押してください。デジタルスチルカメラや“PSP”はそれぞれ表示できる階層が異なります。
本機ではフォルダのことをアルバムとして表示されます。

表示中に （前）を押すと前の写真を、（次）を押すと次の写真を表示します。

（オプション）でできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目		できること
静止画管理	選択コピー	選択した写真をコピーします。
	選択消去	ハードディスク内の選択した写真を削除します。
スライドショーの速さ		スライドショーの表示の速さを設定します。
表示		写真を表示します。
スライドショー		スライドショーで表示します（125ページ）。
再生		x-Pict Story HDを再生します。
コピー		写真をハードディスクやDVDにコピーします。
消去		ハードディスク内のアルバムや写真、x-Pict Story HDのファイルを削除します。
Pict Story作成		x-Pict Story HDを作成します（127ページ）。
ビデオ作成		x-Pict Story HDをビデオの映像として保存します。
名前変更		アルバムやx-Pict Story HDの名前を変更します。
ファイルサーチ		写真ファイルを検索します。
回転（左）		写真ファイルを左周りに90度回転させます。
回転（右）		写真ファイルを右周りに90度回転させます。
情報表示		アルバムや写真、x-Pict Story HDの情報を表示します。
DVD情報		DVDディスクの情報を表示します。

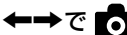
順番に表示する（スライドショー）

本機のアルバムやデータDVD、データCD（CD-R/CD-RW含む）、USB接続したデジタルスチルカメラや“PSP”、USB接続機器に保存されている写真を順番に表示します。
アルバム内のすべての写真の表示が終わるとアルバムの先頭から繰り返し再生されます。写真の数（ファイル数）が多いときやファイルサイズが大きいと動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

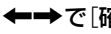
1 アルバムを選んで、（オプション）を押す。

2 オプション画面から［スライドショー］を選び、（決定）を押す。

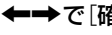
スライドショー中に （前）を押すと前の写真を、（次）を押すと次の写真を表示します。
スライドショーをやめるには、（停止）を押します。
スライドショー中に一時停止するには、（一時停止）を押します。（一時停止）か （再生）を押すとスライドショーが再開されます。

フォト

写真を本機に取り込む

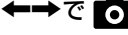
ご注意はP129へ

（データDVD）や（データCD）、（デジタルスチルカメラ）*、（PSP）*、（USB接続機器）*に保存されている写真を本機に取り込むことができます。
写真の取り込みには時間がかかることがあります。

* RDZ-D97A/D77Aのみ。RDZ-D87にUSB端子はついていません。

フォルダごと取り込む

1 （ホーム）を押す。
2 ←→で を選ぶ。
3 ↑↓で（データDVD）や（データCD）、（デジタルスチルカメラ）、（PSP）、（USB接続機器）を選び、（決定）を押す。
4 ↑↓で取り込みたいアルバムを選び、（オプション）を押す。
5 ［コピー］を選び、（決定）を押す。

6 ←→で［確定］を選び、（決定）を押す。
指定したアルバム内の写真が取り込まれます。
［名前変更］を選び（決定）を押すと、キーボードが表示されるので、取り込むアルバムのフォルダ名を変更することができます（153ページ）。
次の文字を使ってアルバムのフォルダ名を変更し、これらのフォルダをDVDにコピーした場合、フォルダ名が正しく表示できなくなることがあります。
半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「・」「.」「 」（スペース）などの文字。

写真を選択して取り込む

1 （ホーム）を押す。
2 ←→で を選ぶ。
3 ↑↓で（データDVD）や（データCD）、（デジタルスチルカメラ）、（PSP）、（USB接続機器）を選び、（決定）を押す。
4 ↑↓でアルバムを選び、（決定）を押す。
5 取り込む写真を選び、（オプション）を押す。
6 ［コピー］を選び、（決定）を押す。

7 ←→で［確定］を選び、（決定）を押す。
8 ↑↓でコピー先のフォルダを選び、（決定）を押す。
新規フォルダを作成する場合は↑↓←→で［新規作成］を選び、新しいフォルダを作成してください。新しいフォルダの名前入力は「文字入力のしかた」（153ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

手順4の後で（オプション）を押し、［静止画管理］から［選択コピー］を選ぶと、複数枚の写真を選択して取り込むことができます。

本機に保存されている写真をハードディスクにコピーする

1 （ホーム）を押す。
2 ←→で を選ぶ。
3 ↑↓でコピーしたいアルバム内の写真を選び、（オプション）を押す。
4 ［コピー］を選び、（決定）を押す。
5 ［確定］を選び、（決定）を押す。
6 コピー先のフォルダを選び、決定を押す。
ハードディスクに写真がコピーされます。
新規フォルダを作成する場合は［新規作成］を選び（決定）を押すと、キーボードが表示されるのでフォルダ名を入力します。

ちょっと一言

手順4で［静止画管理］から［選択コピー］を選ぶと複数枚の写真を選択してコピーできます。

本機に保存されている写真をDVDにコピーする

1. （ホーム）を押す。
2. ←→で を選ぶ。
3. （HDD→DVDコピー）を選び、（決定）を押す。
4. 本機にディスクを入れる。
   本機では、DVD-RやDVD+RのVRモード、ビデオモードでフォーマットされているディスクに写真をコピーすることができません。（HDD→DVDコピー）起動前にディスクを挿入すると、VRモードやビデオモードでフォーマットされてしまうため、DVD-RやDVD+Rに写真をコピーするときは、（HDD→DVDコピー）を起動してから未フォーマットのディスクを挿入してください。
5. DVDにコピーするアルバムを選び（決定）を押す。

6. ［確定］を選び、（決定）を押す。
   ディスクへのコピーがはじまります。

ちょっと一言

本機に取り込んだアルバムを使って作成したx-Pict Story HDをビデオ映像にすると、DVDにダビングできるようになります（127ページ）。

アルバムの写真を使ってフォト作品を作成する（x-Pict Story HD）

ご注意はP130へ

本機のハードディスクのアルバムに保存されている写真を、30種類のオリジナルサウンドの中から好みの音楽を選ぶだけの簡単操作で、音楽とエフェクト（映像処理）のついたハイビジョン画質で楽しめるフォト作品を自動作成します。
できあがった作品はビデオ映像にして標準テレビ信号（SD）でDVDにダビングすることもできます。

1. （ホーム）を押す。
2. ←→で を選ぶ。
3. ↑↓で （x-Pict Story HD 作成）を選び、（決定）を押す。
4. ↑↓でx-Pict Story HDを作成したいアルバムを選び、（決定）を押す。

5. ↑↓で曲を選ぶ。
   曲を選ぶとその曲が再生されます。

6. （決定）を押す。
   作品が再生されるので、内容を確認してください。
   手順5で選んだ曲によりエフェクトが変わります。セピアやモノクロになるエフェクトがありますが、故障ではありません。
7. （決定）または （停止）を押す。
   アルバム名がファイル名として自動的に入力されます。ファイル名を変更したいときは、手順8で名前を入力してください。

フォト

次のページにつづく⇨

8 **↑↓でx -Pict Story HDのビデオを［作成する］または［作成しない］を選び、（決定）を押す。**

ちょっと一言

ビデオを［作成する］にするとビデオ映像として保存され、DVDにダビングできるようになります。

（ビデオ）の映像として保存したいときは、［作成する］を選んでください。
本機が自動的にビデオの映像を作成します。ビデオ作成作業中はx-Pict Story HDの作品が再生されます。ビデオ作成作業が終了するまでお待ちください。ビデオ作成作業が終了すると、x-Pict Story編集の終了画面が表示されます。完成した作品はビデオカテゴリー上に表示されます。

この作品をビデオの映像として保存しないときは、［作成しない］を選んでください。
作成した作品は（フォト）の（x-Pict Story HD）内に保存されます。
ファイル名を変更したい場合は［名前変更］を選んで（決定）を押してください。文字入力について詳しくは「文字入力のしかた」（153ページ）をご覧ください。

9 **↑↓←→で［実行］を選び、（決定）を押す。**

ちょっと一言

x-Pict Story HDを作成したいアルバムを選び（オプション）を押し、［Pict Story作成］を選んでもx-Pict Story HDを作成できます。

ビデオ作成作業を途中でやめるには

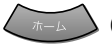
リモコンのふたを開け、（録画停止）を押します。

x-Pict Story HD作品を再生する

1. **（ホーム）を押す。**
2. **←→でを選ぶ。**
3. **↑↓で（x-Pict Story HD）を選び（決定）を押し、さらに↑↓で再生したいx-Pict Story HD作品を選び、（決定）を押す。**

x-Pict Story HD作品をビデオの映像にする

x-Pict Story HD作成を終了した後からでも、ビデオの映像にすることができます。

1. **（ホーム）を押す。**
2. **←→でを選ぶ。**
3. **↑↓で（x-Pict Story HD）を選び、（決定）を押す。**
4. **↑↓でビデオの映像にしたいx-Pict Story HDを選び、（オプション）を押す。**
5. **［ビデオ作成］を選び、（決定）を押す。**
   ビデオ作成開始画面が表示されます。

6. **［確定］を選び、（決定）を押す。**
   ビデオ作成が開始されます。ビデオ作成作業中はx-Pict Story HDの作品が再生されます。ビデオ作成中はリモコンの（録画停止）以外働きません。ビデオ作成作業が終了するまでお待ちください。ビデオ作成作業が終了すると、x-Pict Story HD編集の終了画面が表示されます。完成した作品はビデオカテゴリー上に表示されます。

ビデオ作成作業を途中でやめるには

リモコンのふたを開け、（録画停止）を押します。
ビデオ作成を途中で中止すると、中止した時点までのビデオが作成されます。

アルバムや写真、x-Pict Story HD作品を消去する

1. **（ホーム）を押す。**
2. **←→でを選ぶ。**
3. **↑↓で消去したいアルバムや写真、x-Pict Story HD作品を選び、（オプション）を押す。**
4. **↑↓で［消去］を選び、（決定）を押す。**
5. **確認画面で［はい］を選び、（決定）を押す。**

ちょっと一言

手順4で［静止画管理］から［選択消去］を選ぶと複数枚の写真を選択して消去できます。

「フォト機能を使う」に関するご注意・制約事項

「写真を再生する」のご注意

- パソコンで編集した写真は本機で再生できないことがあります。
- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに、デジタルスチルカメラや“PSP”を接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください(RDZ-D97A/D77Aのみ)。
- 本機は、ボイスメモには対応していません。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。写真の数(ファイル数)が多いときには、次の動作で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。また、これらの動作中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。
  －サムネイルの表示*
  －スライドショーの再生
  * 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。
- 16:9(HDTVサイズ)で撮影した写真を本機で再生すると、上下、または上下左右に黒帯が表示されることがあります。[出力映像横縦比]の設定(139ページ)をご覧になり、本機の出力映像設定を16:9に変更してください。また、ワイドテレビ側のワイド切換で16:9に設定してください。切り換え方法について詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

再生するディスクや写真についてのご注意

- 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG形式で、ファイル名形式がDCF形式*のものです。
- DCF形式以外のJPEG形式の写真(パソコンで加工した静止画像など)では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- ファイルサイズが大きい写真は、サムネイルが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 次の画像は画面上の画像一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。また、これらのファイルを本機のハードディスクに取り込むこともできません。
  －縦4097ドットまたは、横6145ドット以上のJPEG画像
  －縦または横のいずれかが、15ドット以下の画像
  －プログレッシブJPEGの画像
- ファイルサイズが10MB以上の画像は、画像一覧に表示されません。また、再生もできません。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録したディスクは、再生できます。
- パケットライトには対応しています。
- マルチボーダーには対応しています。

* (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rules for Camera Files systems”のことです。

本機とのUSB接続で、保存されている写真の再生や、写真の取り込みが可能な機種について(RDZ-D97A/D77Aのみ)

2006年3月末日までに日本国内で発売されたソニー製デジタルスチルカメラ/デジタルビデオカメラレコーダー/メモリースティックUSBリーダーライター及び“PSP”(発売元:ソニーコンピューター·エンタテインメント株式会社製)で動作確認しています。
動作確認機器についての最新の情報は、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdrecorder/support/compati/

書き出すディスクについてのご注意

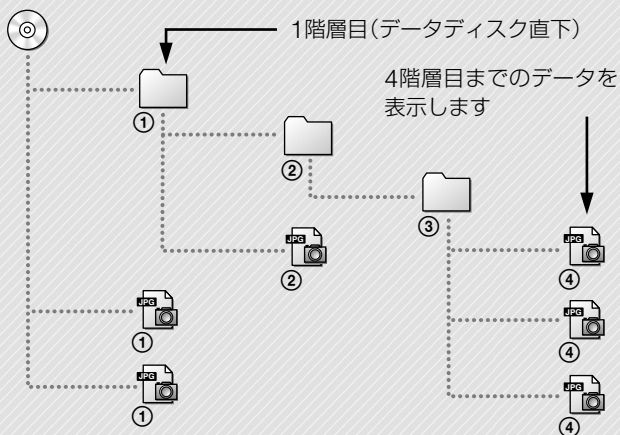
- マルチセッションでの書き出しはしません。
- マルチボーダーでの書き出しはしません。

「写真を本機に取り込む」のご注意

- フォルダごと取り込むときは、取り込もうとしているフォルダの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているフォルダの中に入っているフォルダや、そのフォルダの中に入っている写真を取り込むことはできません。
- 写真以外のファイルが本機に複数入っている場合、写真(JPEG)を表示することができない場合があります。
- 本機では500個のファイルまでを一度に取り込むことができます。
- 本機で写真を一度に200枚以上まとめて取り込むと、200枚ごとにフォルダが作られ、写真がフォルダごとに分かれて取り込まれます。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)･･･などの数字が付きます。写真につけられる名前の文字数は16文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。

次のページにつづく⇨

フォルダやファイルの作成・保存場所について

- 各ディスク直下(ルート)を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存したファイルを認識することができます。

CDやDVDからフォルダやファイルを取り込むときのご注意

- 1つのフォルダに501以上のファイル*やフォルダを入れると、一部のファイルやフォルダが表示できないことがあります。
- 1枚のディスクに約4000以上のファイル*やフォルダを入れると、一部のファイルが表示できないことがあります。
- 4階層目のフォルダは表示されません。

* JPEG以外のファイルも含む。

フォルダやファイル名を付けるときのご注意

- ハードディスク上のアルバムや写真の名前は16文字(全角、半角ともに)までしか設定できません。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「·」「.」「 」(スペース)などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。

「本機に保存されている写真をDVDにコピーする」のご注意

- 本機では、DVD-RやDVD+RのVRモード、ビデオモードでフォーマットされているディスクに写真をコピーすることができません。➡●(HDD→DVDコピー)起動前にディスクを挿入すると、VRモードやビデオモードでフォーマットされてしまうため、DVD-RやDVD+Rに写真をコピーするときは、➡●(HDD→DVDコピー)を起動してから未フォーマットのディスクを挿入してください。
- DVD-RWやDVD+RWは、DATAフォーマットで初期化して写真(JPEG)のコピーを行なうため、記録済みデータは全て消去されます。
- 写真(JPEG)のコピー後、ディスクのファイナライズを行うため、写真(JPEG)の追記はできなくなります。

「アルバムの写真を使ってフォト作品を作成する(x-Pict Story HD)」のご注意

- x-Pict Story HD作品をビデオに変換するとHD(デジタルハイビジョン画質)→SD(標準テレビ放送の画質)になります。
- x-Pict Story HD作品を作成したあとに、作品で使用したアルバムから写真を1枚でも削除するとx-Pict Story HD作品は削除されます。

x-Pict Story HD作品を再生する

- 再生中に次のものを本機から抜き差しすると、作品が正しく再生されないことがあります。
  - B-CASカード
  - USB接続機器(RDZ-D97A/D77Aのみ)
  - アンテナケーブル
  - HDV/DV接続機器
  - HDMI接続機器
- 出力解像度、x-Pict Storyで使う写真の絵柄、x-Pict Storyのエフェクトによっては、作品の一部分が震えて見える場合があります。

x-Pict Story HD作品をビデオの映像にする

- ビデオ作成作業中は、リモコンの ■ (録画停止)以外働きません。
- 次の場合、x-Pict Story HD作品を保存、再生できません。
  - 録画実行中の場合
  - 録画予約の開始時間が重なる場合
- x-Pict Story HDは、曲調に合わせてフォト作品を作成するため、選択したアルバム内の写真の数が多い場合などは、すべての写真が表示されないことがあります。
- x-おまかせ・まる録とx-Pict Story HDが重なるときは、x-おまかせ・まる録は実行されません。

本機の設定を変更する

設定画面の出しかた

設定画面でチャンネルや画質・音質など、さまざまな設定ができます。

 （ホーム）を押す。

2 を選ぶ。

3 ⬇⬆で設定したい項目を選び、（決定）を押す。

各設定項目の詳細については、次の設定カテゴリー一覧に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー 一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ（152ページ） 商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ（151ページ） 本機や放送局からのお知らせメールや有料番組の購入概算額などをご確認いただけます。
	放送受信設定（132ページ） 受信設定やチャンネル設定などを行います。
	ビデオ設定（137ページ） 録画の詳細設定を行います。
	映像設定（139ページ） 接続した端子にあわせた映像設定などを行います。
	音声設定（141ページ） 接続した端子にあわせた音声設定などを行います。
	フォト設定（142ページ） スライドショーの効果を設定します。
	本体設定（143ページ） 本体全般の設定を行います。
	DVD設定（145ページ） DVDを視聴するときの詳細設定を行います。
	時刻設定（146ページ） 時刻の自動設定を行います。
	通信設定（147ページ） 電話回線やネットワークなど通信の詳細設定を行います。
	かんたん初期設定（37ページ） 基本的な設定を順に行います。
	設定初期化（152ページ） 出荷時の状態に戻します。

受信する放送の設定を行う（放送受信設定）

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

<table>
<tr><td>

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

地上デジタルチャンネル設定

受信している地上デジタル放送の選局方法などが設定できます。

</td><td>

［アップダウン選局］
リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。

▶項目一覧

必ず選局
［ワンタッチ選局］が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋/－で選局できます。

選局する
チャンネル＋/－で選局できるようになります。

選局しない
チャンネル＋/－で選局できません。［選局しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。
「臨時チャンネル」と表示されているときは、［選局する］や［選局しない］に変更することができません。

全てのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の［全選局］や［全選局解除］を選んでください。

［ワンタッチ選局］
リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。

1. **↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、（決定）を押す。**
2. **←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。**
3. **↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、（決定）を押す。**

ワンタッチ選局を登録すると、［アップダウン選局］の設定が［必ず選局］になります。

</td></tr>
<tr><td>

地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定する

地上デジタルチャンネルスキャン

かんたん初期設定（37ページ）を行うと地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。ただし、県域が変わった場合や、他にも受信できるチャンネルがある場合には、チャンネルスキャンをやり直してください。

</td><td>

1. **県域に変更があるときは、↑↓で［県域］にお住まいの地域を選び、→を押す。**
2. **［初期スキャン］または［再スキャン］を選び、（決定）を押す。**
   チャンネルスキャンが始まります。［初期スキャン］の場合は全チャンネルが再設定され、［再スキャン］の場合は新しく受信できたチャンネルが追加されます。
   終了すると、スキャン結果画面が表示されます。
   県域を変更した場合は、［再スキャン］は選べません。［初期スキャン］になります。

ちょっと一言
地上デジタル放送のチャンネルが増えたり減ったりした場合、チャンネルの再スキャンが必要となります。電源を入れたときに表示される指示にしたがってください。スキャンを行った後は、録画予約が正しく行われないことがありますので、予約を設定し直してください。

</td></tr>
<tr><td>

地上デジタルを受信する方法を切り換える

地上デジタル受信放送

地上デジタル放送をUHFアンテナまたはケーブルテレビのどちらの放送経由で受信するかを設定します。

</td><td>

▶項目一覧

●UHF
地上デジタル放送対応のUHFアンテナをつないでいるときに選びます。

CATV
ケーブルテレビ経由で地上デジタル放送を受信するときに選びます。

</td></tr>
<tr><td>

地上デジタル放送の受信状態を確認する

地上デジタルアンテナレベル

地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

</td><td>

［微調整］

1. **（決定）を押す。**
2. **↑↓で受信状態を見たいチャンネルを選ぶ。**
3. **受信状態を確認しながら、アンテナの向きを調整する。**

</td></tr>
</table>

設定

BSデジタル放送のチャンネルを設定する BSデジタルチャンネル設定 受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	[**アップダウン選局**] リモコンのチャンネル+/−ボタンで選局できるようにします。 ▶**項目一覧** **必ず選局** [ワンタッチ選局]が選ばれているときに設定されます。チャンネル+/−で選局できます。 **選局する** チャンネル+/−で選局できるようになります。 **選局しない** チャンネル+/−で選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 「臨時チャンネル」と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更することができません。 全てのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [**ワンタッチ選局**] リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 1 **↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、(決定)(決定)を押す。** 2 **←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** 3 **↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、(決定)(決定)を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、[アップダウン選局]の設定が[必ず選局]になります。
110度CSデジタル放送のチャンネルを設定する CSデジタルチャンネル設定 受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	[**アップダウン選局**] リモコンのチャンネル+/−ボタンで選局できるようにします。 ▶**項目一覧** **必ず選局** [ワンタッチ選局]が選ばれているときに設定されます。チャンネル+/−で選局できます。 **選局する** チャンネル+/−で選局できるようになります。 **選局しない** チャンネル+/−で選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 「臨時チャンネル」と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更することができません。 全てのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [**ワンタッチ選局**] リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 1 **↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、(決定)(決定)を押す。** 2 **←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** 3 **↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、(決定)(決定)を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、[アップダウン選局]の設定が[必ず選局]になります。
BS/CSデジタル放送の受信状態を確認する BS/CSデジタルアンテナレベル 受信中のBS・110度CSデジタル放送の受信状態を確認できます。アンテナレベルができる限り最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。	**BS・110度CSデジタル放送の画像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS・110度CSアンテナを動かして固定する。** **ちょっと一言** • 「BS/CSデジタルアンテナレベル」は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値を表します。 • リモコンの BS 、 CS を使って、BS/CSのアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

設定

次のページにつづく⇨

BS/CSデジタル放送のアンテナ電源を設定する

BS/CSデジタルアンテナ電源

BS·110度CSアンテナへの電源供給を設定します。

▶項目一覧

●自動

本機の電源を入れたときに、本機が衛星アンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。

切

電源を供給しません。

ちょっと一言

[自動]に設定しているときに、接続したアンテナのショートを検出すると電源供給を停止します。再度[自動]に設定するには、本機の電源を入れ直してください。

BS/CSデジタル放送の視聴年齢制限を設定する

BS·CSデジタル視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](144ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。

1 **[暗証番号設定]で設定した4桁の暗証番号を入力し、(決定)を押す。**
2 **制限年齢を選び、(決定)を押す。**

暗証番号を忘れたときは[DVD設定]の[視聴年齢制限](145ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

暗証番号はDVDの視聴制限用の番号と同じですが、BS·110度CSデジタル放送とDVDそれぞれに制限レベルを設定することができます。DVDの視聴制限を設定するには、145ページをご覧ください。

デジタル放送を受信する地域を設定する

デジタル放送地域設定

地域特有の放送を受信できるように、郵便番号と県域を設定します。

1 **[郵便番号]を選び、(決定)を押す。**
2 **↑↓←→または①〜⑩で7桁の郵便番号を入力し、(決定)を押す。**
3 **[県域]を選び、(決定)を押す。**
4 **↑↓でお住まいの地域を選び、(決定)を押す。**

ご注意

お住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信してしまいます。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

地上アナログチャンネル設定

地上アナログのチャンネル設定では右の5項目が設定できます。

[表示CH](表示チャンネル)

受信している放送のチャンネル番号表示を、お使いのテレビや新聞のテレビ欄などの表示に合わせることができます。

1 **↑↓で変更したい放送の行を選び、(決定)を押す。**
2 **←→で[表示CH]を選ぶ。**
3 **↑↓で番号を選び、(決定)を押す。**

選んだ番号が放送のチャンネル番号表示になります。

ご注意

録画予約が設定されているときに、表示チャンネルを変更しないでください。変更すると、録画予約が正しく行われないことがあります。

[受信CH](受信チャンネル)

本機で受信する放送を変更することができます。

1 **↑↓で変更したい放送の行を選び、(決定)を押す。**
2 **←→で[受信CH]を選ぶ。**
3 **↑↓で受信したいチャンネル番号を選び、(決定)を押す。**

地上アナログ放送のチャンネルを設定する 地上アナログチャンネル設定 （つづき）	［放送局］ 受信している放送の放送局名を設定することができます。放送局名を正しく設定しない場合、アナログ番組表が正しく表示されなくなります。「Gガイド地域番号・放送局表」（41ページ）をご覧になり、正しい放送局名を設定してください。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、（決定）を押す。** **2 ←→で［放送局］を選ぶ。** **3 ↑↓で放送局名を選び、（決定）を押す。** 放送局名は「Gガイド地域番号・放送局表」（41ページ）をご覧になり、お住まいの地域にあった放送局名を必ず選んでください。 ［番号入力］を選ぶと、ガイドチャンネルの番号を直接入力することができます。 ［アップダウン選局］ リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。Gガイドのホスト局（「Gガイド地域番号・放送局表」（41ページ）の●の付いている放送局）を［しない］にすると、番組表データが正しく表示できなくなります。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、（決定）を押す。** **2 ←→で［アップダウン選局］を選ぶ。** **3 ↑↓で項目を選び、（決定）を押す。** **▶項目一覧** **●する** リモコンのチャンネル＋/－で選局できるようになります。 **しない** チャンネル＋/－で選局できません。［しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 ［ワンタッチ選局］ リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、（決定）を押す。** **2 ←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、（決定）を押す。** ［微調整］ 受信している画像を見ながら、受信状態を微調整することができます。 **1 ↑↓で微調整したい放送の行を選び、（決定）を押す。** **2 ←→で［微調整］を選ぶ。** **3 ↑↓で項目を選び、（決定）を押す。** **▶項目一覧** **●自動** 画像を自動的に調整します。 **手動** 受信状態の微調整を手動で行います。地上アナログ微調整画面が表示されますので、←→で画面を見ながら調整し、（決定）を押します。
地上アナログ放送のチャンネルを自動で設定する 地上アナログチャンネルスキャン	［実行］を選び（決定）を押すと、［地域番号設定］（136ページ）で設定した地域のチャンネルを自動で設定します。
地上アナログ放送の音声をステレオで受信する 地上アナログ自動ステレオ受信 ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。	**▶項目一覧** **●入** ステレオ放送をステレオで出力します。通常はこの設定にします。 **切** ステレオ放送でもモノラルで出力します。雑音が多いときにこの設定にします。

設定

次のページにつづく⇨

Gガイド(地上アナログ番組表)の設定をする

Gガイド設定

地域番号設定

番組表取得設定

Gガイド設定では、[地域番号設定]と[番組表取得設定]の設定ができます。

[地域番号設定]

本機の地上アナログ番組表を利用するには、お住まいの地域の地域番号を設定して、その地域の番組表を表示させる必要があります。

どの地域番号を選べばよいかわからなくなったときは、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号(「Gガイド地域番号·放送局表」、41ページ)を選んでください。お住まいの地域の放送局は新聞のテレビ欄などで確認できます。

1 ↑↓で[地域番号設定]を選び、(決定)(決定)を押す。

2 ↑↓でお住まいの地域に近い地域を選び、(決定)(決定)を押す。

[番組表取得設定]

お住まいの地域により、地上波番組表データの取得チャンネルと取得時刻が異なります。かんたん初期設定を行うと、自動的に地域ごとの取得チャンネルと取得時刻が設定されます。

誤った放送局(ホスト局)を指定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、変更しないでください。

1 ↑↓で[番号表取得設定]を選び、(決定)(決定)を押す。

2 ↑↓で[取得チャンネル]または[取得時刻1]、[取得時刻2]、[取得時刻3]、[取得時刻4]、[取得時刻5]を選び、(決定)(決定)を押す。

3 ↑↓でチャンネル番号または項目を選び、(決定)(決定)を押す。

▶項目一覧

自動

取得時刻にx-おまかせ·まる録があるときは、x-おまかせ·まる録を優先し、番組表データを取得しません。

取得する

取得時刻にx-おまかせ·まる録があっても、番組表データを取得します。x-おまかせ·まる録は実行されません。

ご注意

- 電源を「切」にしておかないと番組表が取得できません。
- [取得チャンネル]は、ホスト局の都合でデータを送信する放送局(ホスト局)が変更になったとき以外は、手動で変更しないでください。誤って変更すると、番組表を取得できなくなります。
- 本機ではじめて地上アナログ番組表データを受信するまでは、電源を切った状態で1日(24時間)程度かかります。電源コードは抜かないでください。いったん地上アナログ番組表を受信した後は、1日数回ホスト局から送られてくる地上アナログ番組表データを受信するたびに、地上アナログ番組表を更新します。1回の地上アナログ番組表データの受信には、数10分ほどかかります。
- 電波状況によっては、地上アナログ番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上アナログ番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上アナログ番組表は空欄になります。地上アナログ番組表について詳しくは、63ページをご覧ください。
- 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上アナログ番組表データを受信/更新できません。時刻の設定について詳しくは146ページをご覧下さい。
- 放送局側の都合により、地上アナログ番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上アナログ番組表データの受信のためにかんたん初期設定をやり直すことをおすすめします(37ページ)。

録画・再生の設定をする（ビデオ設定）

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

設定項目	内容
録画時にチャプターマークを自動で区切る設定をする（おまかせチャプター） 自動チャプターマーク 録画やダビング中の、チャプターマークを自動的に設定するかどうかを設定をします。	▶項目一覧 **切** チャプターを区切りません。 **●入** 画像/音声の変化に応じてチャプターを区切ります。 ハードディスク、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）の場合は、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。その他の録画可能なディスクの場合は、約6分間隔でチャプターを区切ります。 **ご注意** ● 録画する動画の情報量によっては、実際に区切られるチャプターの間隔が異なることがあります。 ● ハードディスクやDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）へのHDV/DVダビングでは、チャプターが録画の開始点に自動的に入ります（110ページ）。
XP録画モード時の画質を設定する XP画質設定 ハードディスクへの録画時の、XPモードの画質を選びます。	▶項目一覧 **●XP** 標準のXPモードで録画します。 **XP＋** より高画質（約15Mbps）で録画します。
スポーツ延長録画の延長時間を設定する スポーツ延長対応 スポーツ延長対応（84ページ）の[スポーツ延長対応]が[入]の場合で、延長時間の情報が番組表にないときの録画延長時間を設定します。	▶項目一覧 **●30分** 30分延長します。 **60分** 60分延長します。 **120分** 120分延長します。
ハードディスクへ録画する音声を設定する HDD二重音声記録 音声多重放送の番組をハードディスクへ録画するときの音声を設定します。	▶項目一覧 **●主音声** 主音声で録音します。 **副音声** 副音声で録音します。 **主＋副音声** 主/副音声で録音します。 **ちょっと一言** ● 外部入力音声を録画するときは、「ビデオなど外部機器の映像を録画する」（74ページ）をご覧ください。 ● おでかけ転送した[主+副音声]の映像（タイトル）は、L/Rに振り分けられます。 **ご注意** ● DVDからハードディスクへの録画モード変換ダビング時は、この設定にかかわらずダビング元の音声のまま録画されます。 ● ハードディスクのDRモード以外では、設定された音声（[主音声]、[副音声]または[主+副音声]）でのみ記録されます。詳しくは73ページをご覧ください。

次のページにつづく⇨

DVD-RW/R（VRモード）以外のDVDへ録画する音声を設定する DVD二重音声記録 音声多重放送の番組をDVDに録画するときの音声を設定します。DVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）に録画するときは、設定にかかわらず主音声と副音声の両方を記録することができます。	▶項目一覧 **●主音声** 主音声で録音します。 **副音声** 副音声で録音します。 **ちょっと一言** 外部入力音声を録画するときは、「ビデオなど外部機器の映像を録画する」（74ページ）をご覧ください。
ダイジェスト再生の再生時間を設定する ダイジェスト設定 ダイジェスト再生の再生時間を映像（タイトル）のジャンルごとに設定できます。 録画した番組のダイジェスト再生の設定を変更したいときは、「タイトル情報/設定」画面から行ってください（89ページ）。	**1** **↑↓で再生時間を変更したいジャンルを選び、（決定）を押す。** **2** **↑↓で再生時間を選び、（決定）を押す。** ▶項目一覧 **長め** ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。 **少し長め** 通常よりも少し長めのダイジェストが再生されます。 **●おすすめ** 適度な長さのダイジェストが再生されます。 **少し短め** 通常よりも少し短めのダイジェストが再生されます。 **短め** 短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。
“PSP”転送用動画ファイルを自動的に作成する（RDZ-D97A/D77Aのみ） おでかけ転送 高速転送録画 “PSP”転送用動画ファイルを、録画時に自動的に作成することができます。	▶項目一覧 **●全てのデジタル放送** すべてのデジタル放送とHDV入力の録画で、“PSP”転送用動画ファイルを自動的に作成します。 **地上アナログ放送** 地上アナログ放送、外部入力（ライン入力）、DV入力の録画で、“PSP”転送用動画ファイルを自動的に作成します。 **切** “PSP”転送用動画ファイルを自動的に作成しません。 **ちょっと一言** ［全てのデジタル放送］、［地上アナログ放送］に設定すると、ハードディスクの録画可能時間が短くなります。録画可能時間については、「録画モード一覧」（181ページ）をご覧ください。
“PSP”転送用動画ファイルの画質を設定する（RDZ-D97A/D77Aのみ） おでかけ転送 録画モード	▶項目一覧 **●自動** 録画時の録画モードにあった画質を自動で調整します。 ESP以上のモードで録画したときはQVGA768k、LP以下のモードで録画したときはQVGA384kで”PSP”転送用動画ファイルが作成されます。 **QVGA768k** 高画質の映像を作成します。 **QVGA384k** データサイズを抑えた画質で”PSP”転送用動画ファイルを作成します。

設定項目	項目一覧
字幕焼きこみを設定する 字幕焼きこみ デジタル放送の字幕放送をDR以外の録画モードで録画やダビング、また"PSP"で再生するときに、字幕(字幕1)を映像の中に焼きこむかどうかを設定します。字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除することはできません。	▶項目一覧 **入** 字幕(字幕1)を焼きこみます。 **●切** 字幕を焼きこみません。
DVD-RWを初期化するときのモードを設定する DVD-RW初期化設定 新しいDVD-RWを入れると、初期化が自動的に始まります。そのときの記録フォーマットを選びます。	▶項目一覧 **●VR** 自動的にVRモードで初期化します。 **ビデオ** 自動的にビデオモードで初期化します。
DVD-R(CPRM)を初期化するときのモードを設定する DVD-R(CPRM)初期化設定 新しいCPRM対応のDVD-Rを入れると、初期化が自動的に始まります。そのときの記録フォーマットを選びます。	▶項目一覧 **●VR** 自動的にVRモードで初期化します。 **ビデオ** 自動的にビデオモードで初期化します。 **ご注意** • CPRM対応でない新しいDVD-Rはこの設定に関係なく、入れたときにビデオモードで初期化されます。 • ビデオモードで初期化すると、「1回だけ録画可能」な番組を録画できなくなります。

映像の設定をする(映像設定)

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

設定項目	項目一覧
テレビの横縦比を設定する 出力映像横縦比 お使いのテレビの横縦比に合わせて、本機から出力する映像サイズを変更することができます。	▶項目一覧 **16:9** ワイドテレビとつなぐときに選びます。 **●オリジナル** ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐときに選びます。 ワイドテレビでも4:3映像を16:9で表示したいときは、この設定を選びます。 **4:3** ワイドモード機能が搭載されていない4:3のテレビとつなぐときに選びます。 それぞれのモードを選んだときに表示される画像の見えかたについて詳しくは、「テレビ画面での画像の見えかた一覧」(179ページ)をご覧ください。 **ちょっと一言** 4:3画面のテレビでワイドモードがあるかないかは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
S映像入力端子を使う 映像入力1 入力1端子からの入力映像信号の種類を選びます。	▶項目一覧 **●映像** 映像端子でつないだときに選びます。 **S映像** S映像端子でつないだときに選びます。

次のページにつづく⇨

S映像入力端子を使う 映像入力3 入力3端子からの入力映像信号の種類を選びます。	**▶項目一覧** **●映像** 映像端子でつないだときに選びます。 **S映像** S映像端子でつないだときに選びます。
映像に合った再生方法を選ぶ シネマ変換モード HDMI端子、D端子、またはコンポーネント端子で接続していて、525p(480p)や750p(720p)、1125i(1080i)の信号を出力しているときに(22ページ)、映像の変換方法を設定します。映像にはビデオ素材(テレビドラマやアニメーション)とフィルム素材(映画フィルム)があり、ご覧になる映像に合わせて設定します。	**▶項目一覧** **●自動** 通常はこの設定にします。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。 **ビデオ** 記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。
HDMI端子を使う 出力映像解像度設定 HDMI端子をつないだときに設定します。HDMI端子とD端子を同時に使う場合は、[出力映像解像度設定]を設定します。	**▶項目一覧** **HDMI解像度優先** HDMI端子とD端子を同時に使うときに、HDMI解像度設定にしたがって映像信号を出力します。 **●D1/2/3/4設定優先** HDMI端子とD端子を同時に使うときに、D1/2/3/4設定にしたがって、映像信号を出力します。この設定を選んだ場合、[HDMI解像度]は[自動](お買い上げ時の設定)に設定されます(下記)。
HDMI端子を使う HDMI解像度 [HDMI解像度]では、HDMI出力端子からの映像信号の種類を選びます。	**▶項目一覧** **●自動** 通常はこの設定にします。また、[出力映像解像度設定](上記)で[D1/2/3/4設定優先]を選んだ場合はこの設定になります。 テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を 1125i(1080i)→750p(720p)→525p(480p)→525i(480i)の優先順位で出力します。 画像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ/プロジェクターなどに合わせて他のオプションを試してください。詳しくは、テレビ/プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。 HDMIケーブルで接続されたテレビの電源が入っているときに設定できる解像度だけが表示されます。 **525i(480i)** 525i(480i)の映像信号を出力します。 **525p(480p)** 525p(480p)の映像信号を出力します。 **1125i(1080i)** 1125i(1080i)の映像信号を出力します。 **750p(720p)** 750p(720p)の映像信号を出力します。
DVDの一時停止時のモードを設定する 一時停止モード 一時停止にしたときの画像のモードを設定します。	**▶項目一覧** **●自動** 通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の画像がぶれずに表示されます。 **フレーム** 動きの少ない被写体の画像が高い解像度で表示されます。

音声の設定をする（音声設定）

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

HDMI端子を使う HDMI音声出力 HDMIの音声信号の出力を設定します。	▶項目一覧 ●自動 通常はこの設定にします。[音声デジタル出力]の設定を基に、テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。 PCM 音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし、HDMI端子から出力します。 ご注意 ドルビーデジタルやDTS、AACに対応しないテレビに本機をつないで[自動]を選ぶと、音が出なかったり、異音が出たりします。その場合は[PCM]を選んでください。
音の歪みを低減する 音声出力ATT 音声出力レベルを低くして、音の歪みを防ぎます。	▶項目一覧 入 音が歪まないように音声の出力レベルを低くします。 ●切 通常はこの設定にします。 ご注意 デジタル音声出力には効果がありません。
デジタル音声を設定する 音声デジタル出力 デジタル音声出力端子やHDMI出力端子からの音声信号の出力を設定します。	▶項目一覧 ●入 通常はこの設定にします。デジタル出力端子から音声信号が出力されます。この設定を選んだら、音声デジタルの各項目を設定します。 切 デジタル音声出力から音声信号を出力しません。 ご注意 設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なくなったり、異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
ドルビーデジタルを設定する ドルビーデジタル	▶項目一覧 ●PCM ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。 ドルビーデジタル ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
AACを設定する AAC	▶項目一覧 ●PCM AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。 AAC AACデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。

次のページにつづく⇨

DTSを設定する DTS	▶項目一覧 入 DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。 ●切 DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選びます。
48kHz/96kHz PCMを設定する 48kHz/96kHz PCM	▶項目一覧 ●48kHz/16bit 96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。 96kHz/24bit 96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。 ご注意 • 96kHzに対応していないアンプなどをつないでいるときに[96kHz/24bit]を選ぶと、音が出なかったり、突然大音量が出たりすることがあります。 • 音声信号が音声出力(左/右)端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は96kHzなら96kHzのままアナログ信号に変換されて出力されます。 • 本機のHDMI端子に96kHz信号に対応していない機器をつないでいるときは、[96kHz/24bit]に設定していても48kHz信号が出力されます。また、96kHz対応機器につないでいるときは、[48kHz/16bit]に設定していても、96kHz信号が出力されます。

フォトの設定をする(フォト設定)

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

スライドショー再生時の効果を設定する スライドショー効果設定 フォトスライドショーの効果を設定します。	▶項目一覧 入 効果をつけて次の写真に切り換わります。 ●切 効果をつけずに、スライドショーを再生します。

本体の設定をする(本体設定)

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

表示窓とランプの明るさを設定する

表示窓の明るさ

▶項目一覧

●明

表示窓、ランプ共に電源「切」時は暗く点灯し、電源「入」時は明るく点灯します。

暗

表示窓は電源「切」時に消灯し、電源「入」時は暗く点灯します。
ランプは常に暗く点灯します。

消灯

表示窓は電源「切」時に消灯し、電源「入」時は暗く点灯します。ただし、ビデオ再生時には表示窓は消灯します。
ランプは常に暗く点灯します。
HIGH DEFINITION VIDEO OUTPUTランプは常に消灯します。

ご注意

[消灯]に設定しても、本体のランプは消えません。

スタンバイモードを設定する

スタンバイモード

電源「切」(待機状態)時からの起動時間を短縮する[高速起動]モードの設定をします。
DLNA対応ホームサーバー機能を利用して他機器で本機の映像(タイトル)を再生したり(150ページ)、携帯電話録画予約を利用するときは(149ページ)、[高速起動]に設定してください。

▶項目一覧

高速起動

電源「切」(待機状態)からの起動後、素早くチャンネル切換えや入力切換えなどの操作が行えます。
DLNA対応ホームサーバー機能や、携帯電話録画予約機能を利用するように設定すると、自動的に[高速起動]に設定されます。

●標準

お買い上げ時に設定されているモードです。

ご注意

- [高速起動]モードに設定した場合、内部の制御部が電源「切」(待機状態)のときでも通電状態になるため、[標準]モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
- [スタンバイモード]を[標準]に設定すると、DLNA対応ホームサーバー機能や携帯電話録画予約機能の一部が正しく動作しません。

自動画面表示を設定する

自動画面表示

番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示することができます。

▶項目一覧

●入

画面表示を自動で表示します。

切

画面表示を自動で表示しません。

文字スーパーの言語を変える

文字スーパー表示

地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。

▶項目一覧

切

文字スーパーを表示しません。

●第一言語

文字スーパー放送が行われているときに、第一言語の文字スーパーを表示します。

第二言語

文字スーパー放送が行われているときに、第二言語の文字スーパーを表示します。

ご注意

放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。

設定

次のページにつづく⇨

設定	内容
リモコンモードを切り換えて操作する リモコンモード 「複数のソニー製のDVD機器を使う」(36ページ)をご覧ください。	▶**項目一覧** DVD1 DVD2 ●DVD3
ソフトウェアのバージョンを自動更新する ソフトウェアアップデート 地上デジタル放送やBS·110度CSデジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを自動的に受信し、本機のソフトウェアを更新します。	▶**項目一覧** **●自動** アップデートデータを自動で更新します。通常はこの設定にしてください。 **切** アップデートデータを自動で更新しません。
暗証番号を設定する 暗証番号設定 暗証番号を設定すると、次の場合に視聴や再生を制限できます。 －視聴制限があるBS·110度CSデジタルの番組を見るとき －視聴制限があるBS·110度CSデジタルの番組を録画するとき －視聴制限があるDVDを再生するとき 暗証番号はBS·110度CSデジタルおよびDVDの視聴制限用の番号と同じですが、BS·110度CSデジタル(134ページ)とDVD(145ページ)それぞれに違う制限レベルを設定することができます。	**1** **暗証番号を入力する。** **2** **[確定]を選び、(決定)(決定)を押す。** **暗証番号を変更するには** [暗証番号設定]を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。 **ご注意** 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直すか(152ページ)、サービス対応になります。
カード情報を表示する カード情報	カードID番号などを表示します。カードを本体から取り出さなくても、カードID番号を確かめることができます。
本機の情報を表示する 機器情報	本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。
ハードディスクを初期化する HDD初期化	ハードディスクを初期化します。初期化すると録画したタイトルや静止画、x-Pict Story HD作品がすべて削除され、元に戻すことはできません。

DVDの設定をする(DVD設定)

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

ご注意

DVDやタイトルによっては、再生の設定があらかじめ決められていることがあります。その場合、設定した機能は働きません。

DVDメニュー言語を設定する

DVDメニュー言語

DVDメニューに表示する言語を設定します。

[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(178ページ)を参照して、言語コードを入力します。

音声言語を設定する

音声言語

DVD再生時の音声の言語を設定します。

[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(178ページ)を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語を設定する

字幕言語

DVDに記録されている字幕の言語を設定します。

[音声連動]を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。
[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(178ページ)を参照して、言語コードを入力します。

視聴年齢制限を設定する(DVDビデオのみ)

視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。

1. **暗証番号を入力して[確定]を選び、(決定)を押す。**
2. **制限するレベルを選び、(決定)を押す。**
   レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

ご注意

- 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ホームを押して から[設定初期化]を選び、[出荷時の状態に設定]の[本体設定]を選びます(152ページ)。[実行]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます。「暗証番号を設定する」(144ページ)で設定し直してください。
- 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。

ちょっと一言

暗証番号を変更するときは、「暗証番号を設定する」(144ページ)をご覧ください。暗証番号設定画面で新しい番号を入力し、[確定]を選びます。

ワイド画像を表示する

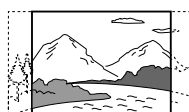
ワイド画像表示

16:9サイズの映像を録画したタイトルや16:9サイズの市販のDVDビデオを4:3画面のテレビで再生するときの画面サイズを設定します。
[映像設定]の[出力映像横縦比]が、[4:3]に設定されているときに有効な設定です。
横縦比が16:9のワイド画像を見るときに調整してください。

▶項目一覧

●4:3レターボックス

ワイド画像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。

4:3パンスキャン

ワイド画像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

ご注意

DVDによっては[4:3レターボックス]または[4:3パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

設定

次のページにつづく⇨

DVDの音声を設定する（DVDのみ）

オーディオDRC

［オーディオDRC］（Dynamic（ダイナミック） Range（レンジ） Control（コントロール））では、オーディオDRC対応のDVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。

▶項目一覧

●スタンダード

通常はこの設定にします。

テレビ

小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。

ワイドレンジ

迫力のある音になります。高品質のスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないDVDを再生しているときは効果がありません。
- ［音声出力］の［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（141ページ）、デジタル音声出力同軸/光端子およびHDMI端子から出力される音声には［オーディオDRC］と［ダウンミックス］の効果はありません。

DVDの音声を設定する（DVDのみ）

ダウンミックス

［ダウンミックス］では、左右リア信号やモノラルリア信号などのリアスピーカーの音声信号成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されているDVDを再生するとき、ダウンミックスの方式を切り換えます。

▶項目一覧

●ドルビーサラウンド

ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。

ノーマル

ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。

ご注意

［音声出力］の［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（141ページ）、デジタル音声出力同軸/光端子およびHDMI端子から出力される音声には［オーディオDRC］と［ダウンミックス］の効果はありません。

時刻の設定をする（時刻設定）

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

時刻を設定する

手動時刻設定

地上デジタル放送やBS·110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻が自動的に設定されます。この場合、［手動時刻設定］は選べません。
時刻を自動で設定できなかった場合は、手動で行います。

ご注意

手動で設定しても、地上デジタル放送やBS·110度CSデジタル放送を受信できた時点で、時刻が自動的に再設定されます（オートクロック）。

時計を自動補正する

ジャストクロック

NHK教育テレビの正午の時報を読み取り、本機の時計を自動的に補正します。
地上デジタル放送や、BS·110度CSデジタル放送を正しく受信し、正しい時刻が自動設定されているときは、［ジャストクロック］、［設定チャンネル］は表示されません。

▶項目一覧

●入

NHK教育テレビの時報で本機の時刻を自動調整します。

切

時刻の自動調整を行いません。

時計を自動補正する 設定チャンネル	NHK教育テレビの表示チャンネルを選び、（決定）を押す。 **ご注意** ● 自動調整が働かないときは、設定し直してください。 ● 正午に時報を読み取るとき、次の場合は自動調整できません。 －本機の電源が入っているとき －録画中、ダビング中 －時計が2分以上ずれているとき －NHK教育テレビのチャンネルをとばしているとき（135ページ） －番組表データ受信中のとき ● 時刻の自動補正は、正午に本機の電源が切れている場合に実行されます。 ● スポーツの中継などで、正午の時報が送信されないときは、自動調整できません。

通信の設定をする（通信設定）

お買い上げ時の設定は、●の項目です。

データ放送受信の設定をする データ放送通信設定 セキュリティサイト自動接続	**▶項目一覧** **入** セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **●切** セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
データ放送受信の設定をする データ放送通信設定 証明書のダウンロード確認	**▶項目一覧** **入** 放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **●切** ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
データ放送受信の設定をする データ放送通信設定 証明書の自動ダウンロード	**▶項目一覧** [証明書の自動ダウンロード]項目は、[証明書のダウンロード確認]（上記）が[切]の場合に選択できます。 **●入** 放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切** 放送局から新しい証明書が発行されても、自動的にはダウンロードしません。 **ちょっと一言** [入]を選び直すと、それまで受信されていなかった証明書が自動的にダウンロードされます。
電話回線の設定をする 電話回線設定 回線 電話回線の種類を設定します。	**▶項目一覧** **●自動** 回線の種類を自動的に選びます。ADSL回線（54ページ）を使っているときはこの設定にします。 **トーン** NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選びます。 **20pps** NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときに選びます。 **10pps** NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときで、[20pps]で正常に接続できない場合に選びます。

設定

次のページにつづく⇨

電話回線の設定をする 電話回線設定 発信 発信方法を設定します。	**▶項目一覧** **●通常** 外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときに選びます。 **0発信** 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付けるときに選びます。 **9発信** 外線に電話するときに、電話番号の頭に「9」を付けるときに選びます。
電話回線の設定をする 電話回線設定 発信詳細設定 [電話番号通知]、[電話会社の指定]、または[マイラインプラス契約]を選んで、設定します。	**▶[電話番号通知]項目一覧** **通知しない** 電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせません。 **通知する** 電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせます。 **●指定しない** 電話番号の先頭になにも付けません。 **▶[電話会社の指定]** 必要に応じて、電話会社の事業者識別番号を設定します。 **▶[マイラインプラス契約]項目一覧** **している** マイラインプラスの契約をしているときに選びます。 **●していない** マイラインプラスの契約をしていないときに選びます。
電話回線の設定をする 電話回線設定 回線接続テスト	電話回線と物理的に接続されているかをテストします。テストがうまくいっても正常につながらないときは、[回線]の設定が正しいか確認してください。 **ご注意** • BS·110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。 • データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。
データ放送とネットワーク接続の設定をする ネットワーク設定 ネットワークケーブルを接続し、インターネット経由で、放送局から提供される双方向サービスを楽しむときに設定します。設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。	**1 [IPアドレス取得方法]を選び、(決定)を押す。** **2 項目を選び、(決定)を押す。** **▶項目一覧** **●DHCPを利用** ルータやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **固定IPアドレスを指定** ルータの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。 • IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNSサーバ自動取得* • DNSサーバ(プライマリ)/(セカンダリ)** * 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。 ** [DNSサーバ自動取得]を[切]に設定すると、DNSサーバ(プライマリ)とDNSサーバ(セカンダリ)のアドレスを手動で設定することができます。この場合、必ずDNSサーバ(プライマリ)は入力してください。入力しない場合にネットワークが正しく設定されません。

データ放送とネットワーク接続の設定をする ネットワーク設定 （つづき）	**3　必要な項目を入力する。** インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、［プロキシ設定］を選んで設定をしてください。 **4　［接続診断］を選び、（決定）を押す。** **5　［実行］を選び、（決定）を押す。** ネットワークに正常に接続できるか確認をします。正しく接続できなかった場合は、画面のメッセージにしたがってください。
携帯電話録画予約を行うための設定をする 携帯電話録画予約設定 携帯電話録画予約機能を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは51ページをご覧ください。	［携帯電話登録］ 携帯電話録画予約機能で利用する携帯電話を本機に登録します。 **1　↑↓で［携帯電話登録］を選び、（決定）を押す。** 登録パスワード入力画面が表示されます。登録パスワードの入力方法には、手動による入力と携帯電話の赤外線を利用した入力の2種類があります。 登録パスワードは携帯電話に表示されます。 ● 詳しくは「リモート録画予約」サービス事業者にご確認ください（168ページ）。 **手動で入力する場合** **1　←→で入力欄を選び、（決定）を押す。** **2　↑↓で数値を選択し、（決定）を押す。** **3　すべての数値を入力したら、↑↓←→で［確定］を選び、（決定）を押す。** **携帯電話の赤外線を利用して入力する場合** **1　携帯電話で登録パスワード入力画面を表示させる。** **2　携帯電話の赤外線発光部を本機の赤外線受光部に向け、登録パスワードを本機に発信する。** **ご注意** 本製品内のメモリーには携帯電話録画予約機能の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」や「機種名」が記録されます。 ［登録済み携帯電話一覧］ 本機に登録されている携帯電話を一覧で確認できます。登録した携帯電話の削除なども行えます。 **1　↑↓で［登録済み携帯電話一覧］を選び、（決定）を押す。** ［設定クリア］を選ぶと、［登録済み携帯電話一覧］に表示されている登録機器をすべて削除できます。 **2　↑↓で詳細を確認したい携帯電話を選び、（決定）を押す。** 選んだ携帯電話の詳細が表示されます。 ここで［登録削除］を選び（決定）を押すと、選んだ携帯電話が登録機器一覧から削除されます。

次のページにつづく⇨

本機をDLNA対応ホームサーバーとして利用するための設定をする（RDZ-D97A/D77Aのみ）

ホームサーバー設定

本機をDLNA（Digital Living Network Alliance）のサーバーとして登録すると、DLNA対応機器から本機の映像を再生することができるようになります。登録には、右記の設定が必要です。
DLNA対応機器からの再生方法は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。
DLNA対応ホームサーバー機能を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは51ページをご覧ください。

［サーバー機能］
本機のDLNA対応ホームサーバー機能を入/切します。

1 ↑↓で［サーバー機能］を選び、（決定）を押す。

2 ↑↓で設定項目を選び、（決定）を押す。

▶項目一覧

入

本機のDLNA対応ホームサーバー機能を有効にします。
［入］に設定すると［スタンバイモード］の設定（143ページ）が自動的に［高速起動］に設定されます。
［クライアント機器登録方法］で［自動］を選択する場合は、［サーバー機能］の設定を［入］にする前に、［クライアント機器登録方法］の設定を［自動］に設定してください。

●切

本機のDLNA対応ホームサーバー機能を無効にします。

［サーバー名］
本機の機器名称を設定します。DLNA対応機器から本機にアクセスしたときに、DLNA対応機器側でこの名前が表示されます。

1 ↑↓で［サーバー名］を選び、（決定）を押す。

2 画面上のキーボードで本機のサーバー名を入力する。

［クライアント機器登録方法］
本機の映像を再生することができるDLNA対応機器のことをクライアント機器と呼びます。本機にクライアント機器が登録されていないと、クライアント機器側から本機の映像を再生することができません。
ここではクライアント機器の登録方法を設定することができます。

1 ↑↓で［クライアント機器登録方法］を選び、（決定）を押す。

2 ↑↓で項目を選び、（決定）を押す。

▶項目一覧

自動

本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。
［未登録機器一覧］に表示されているDLNA対応器機があるときは、［自動］を選ぶ前に、［未登録機器一覧］で［設定クリア］を選んでください（下記）。

●手動

本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。

［登録機器一覧］
本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。

1 ↑↓で［登録機器一覧］を選び、（決定）を押す。
［設定クリア］を選ぶと、表示されている登録機器を一覧から削除できます。
確認したい機器が登録機器一覧に表示されないときは、［未登録機器一覧］をご覧ください。

2 ↑↓で詳細を確認したい機器を選び、（決定）を押す。
選んだ機器の詳細が表示されます。
ここで［機器削除］を選び（決定）を押すと、選んだ機器が機器登録一覧から削除されます。

［未登録機器一覧］
本機に登録されていないホームネットワーク上のDLNA対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録することができます。

1 ↑↓で［未登録機器一覧］を選び、（決定）を押す。
［設定クリア］を選ぶと、表示されている未登録機器を一覧から削除できます。

2 ↑↓で詳細を確認したい機器を選び、（決定）を押す。
選んだ機器の詳細が表示されます。
ここで［機器登録］を選び（決定）を押すと、選んだ機器が本機のクライアント機器として登録され、本機の映像を再生できるようになります。

お知らせを見る（お知らせ）

放送局からのメールを見る メール 放送メール	放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。 **ご注意** 受信してから14日以上経ったメールは、未開封でも自動的に削除されます。 **メールマークの意味** （既読）：すでに読んだメール （未読）：まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません。
本機からのメールを見る メール 自己メール	予約や録画、ダビングの結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボードを見る ボード	110度CSデジタル放送の利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
有料番組（PPV）の購入概算額を見る 購入合計	先月分と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。
ルートCA証明書を見る有料番組（PPV）の購入概算額を見る ルートCA証明書	**見たいルートCA証明書を選び、（決定）を押す。** 詳細が表示されます。 選んだルートCA証明書を削除するには、［削除］を選び、決定を押します。

設定

お買い上げ時の設定に戻す（設定初期化）

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す

出荷時の状態に設定

各設定ごとに、出荷時の状態（お買い上げ時の設定）に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

1 お買い上げ時の設定に戻したい設定を選び、（決定）を押す。

2 確認画面で[実行]を選び、（決定）を押す。

個人情報を消去する

個人情報の初期化

本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。

本機を廃棄したり譲渡したりするときに、次の個人的な情報を本機から削除します。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号
- ペイ·パー·ビューの購入履歴
- メール
- すべてのルートCA証明書

暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が出ます。

ご注意

- [通信設定]で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定]で入力した県域、郵便番号などの情報は、消去されません。[出荷時の状態に設定]でそれぞれの設定を選んで消去してください。
- 個人情報は項目ごとに消去することはできません。1度消去すると、すべての個人情報が消去されます。
- 携帯電話録画予約機能の初回登録時に、MACアドレスがサービス事業者が委託しているサーバーに送信されます。
- 本機を廃棄したり、譲渡するときは[携帯電話録画予約設定]（149ページ）の設定内容を消去しておくことをおすすめします。

お問い合わせ

お客様ご相談センターを表示する

お問い合わせ

商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

文字入力のしかた

ディスクにディスク名をつけたり、録画したタイトルの名前を変更したり、フォトアルバムの名前を変更したりするときは、文字入力画面で文字を入力します。文字入力画面は、文字を入力する項目を選択すると表示されます。

文字入力画面について

例:かな/カナモードの文字入力画面

1 **入力文字表示エリア**
入力できる最大文字数は次のとおりです。
DRモードで録画したタイトルのタイトル名:
全角40文字(半角80文字)
DRモード以外で録画したタイトルのタイトル名:
全角32文字(半角64文字)
ディスク名:全角32文字(半角64文字)
キーワード入力:全角10文字(半角20文字)
マークの名前:全角20文字(半角40文字)

2 **入力文字種類切換ボタン**
入力する文字の種類を切り換えます。

3 **画面内操作ボタン**

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアに表示されている語句を登録します。
語句一覧	登録してある語句の一覧を表示します。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。
入力終了	文字入力を終了します。

4 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

5 **文字選択/変換/確定操作欄**
文字を選択し、変換、確定します。文字選択欄の左の数字(1～12)は、リモコンの数字ボタン(①～⑫)に対応していて、携帯電話のように数字ボタンで選択できます。

項目	できること
変換	漢字やカタカナに変換します([かな/カナ]のみ)。
全/半角	入力した文字を全角または半角に変換します(「英字」、「記号」のみ)。
確定	入力した文字、または変換した文字を確定します(「かな/カナ」、「英字」、「記号」のみ)。
← 削除	1つ前の文字を消します。
全クリア	入力した文字をすべて消します。
スペース	スペース(1文字分の空き)を入力します。

ちょっと一言
カタカナは、ひらがなを変換していくと候補として表示されます。

入力モードの種類

本機には、かな/カナ、英字、数字、記号の4種類の入力モードがあります。入力モードによって、文字入力画面が切り換わります。

ご注意
記号の中には半角表示できないものもあります。

文字を入力する

文字を入力するには、↑↓←→で画面上の文字を選びます。
また、携帯電話のように ①～⑫ で文字を入力する方法もあります。①～⑫ で入力する方法については、154ページをご覧ください。
例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 **[お]を選び、(決定)(決定)を押す。**
入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

同様にして「と」、「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

次のページにつづく⇨

2 ［変換］を選び、（決定）を押す。

変換候補が表示されます。

3 変換候補から入力したい文字を選んで、（決定）を押す。

漢字変換された文節が決定されます。

4 ［英字］を選び、（決定）を押す。

英字入力モードに切り換わります。

数字モードに切り換えるには

［数字］を選びます。

記号モードに切り換えるには

［記号］を選びます。

かな/カナモードに戻すには

［かな/カナ］を選びます。

5 画面左側の大文字枠の［D］を選び、（決定）を押す。

「D」が表示されます。

同様に画面右側の小文字枠から、［i］、［s］、［c］を選んで、入力します。

6 ［全/半角］を選び、（決定）を押す。

半角で表示されます。

⬆⬇で全角に戻すこともできます。

7 （決定）を押す。

文節が決定されます。

8 ［入力終了］を選び、（決定）を押す。

文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

予測変換機能を使うには

文字入力中、変換された語句が画面右の予測変換エリアに表示されます。その中から正しい語句を選んで、入力することができます。

➡で予測変換エリアを選んで（決定）を押し、⬆⬇で語句を選んで（決定）を押します。

予測変換エリアから抜けるときは、（戻る）を押します。

数字ボタンで入力する

①～⑫とカラーボタンで文字を入力することができます。

カラーボタンは次のように使います。

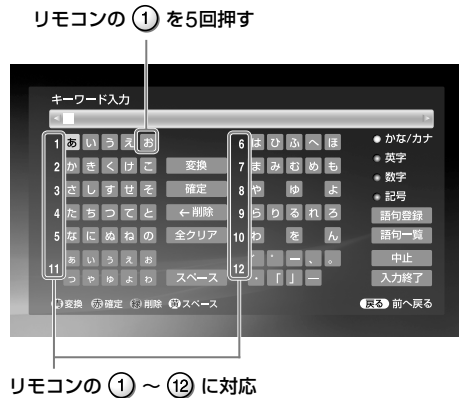
青: 漢字やカタカナに変換します（「かな/カナ」のみ）。入力した文字を全角または半角に変換します（「英字」、「記号」のみ）。

赤: 入力した文字、または変換した文字を確定します（「かな/カナ」、「英字」、「記号」のみ）。

緑: 1つ前の文字を消します。

黄: スペースを入力します。

入力切換 :入力モードを切り換えます。

例:［お］を入力する場合

ご注意

- 文字を入力している途中で文字種のモードを変えると、入力文字表示エリア内の文字は、表示されている状態で確定します。
- DRモードで録画したタイトルは、全角40文字(半角80文字)まで入力できますが、DVDへダビングしたときは全角32文字(半角64文字)までしか入りません。

ちょっと一言

↑↓←→で文字を選んで入力する方法と、①～⑫ で文字を入力する方法を同時に使うことができます。

よく利用する語句を登録する

あらかじめよく利用する語句を登録することができます。

1 「文字を入力する」(153ページ)の手順**1**～**7**にしたがって登録したい語句を入力する。

2 ［語句登録］を選び、(決定)を押す。

登録した語句を利用するには

1 文字入力画面の［語句一覧］を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓で利用する語句を選び、(決定)を押す。

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは、次のように操作します。

1 連文節の文章を入力する。
文字の入力のしかたについては「文字を入力する」(153ページ)の手順**1**をご覧ください。

2 ［変換］を選び、(決定)を押す(または 青 (青)を押す)。

3 ←→で、文節の長さを調節する。

4 変換候補から入力したい文字を選び、(決定)を押して選んだ文節の変換を確定する。
次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

↑↓←→で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、←→で挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。↑↓←→またはダイレクトキーを使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

1文字ずつ消去するには

［←削除］を選んで (決定)を押すか、緑 (緑)を押します。1文字ずつ消去されます。

確定済みの文字を消去するには

↑↓←→で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、←→で消したい文字の右側にカーソルを動かします。緑 (緑)を押して、すでに確定している文字を削除することができます。

入力済みの文字をすべて消去するには

［全クリア］を選んで (決定)を押すか、クリア (クリア)を押します。

数字ボタンを使って、続けて同じ行の文字を入力するには

最初の文字を入力したあと、10キー (10キー)を押します。続けて次の文字を入力します。
例:「ちち」と入力するには、④ を2回押してから、10キー (10キー)を押し、もう一度 ④ を2回押す。

文字入力を中止するには

［中止］を選んで (決定)を押すか、(戻る)を押します。入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

ご注意

本機の電源が入っているときに、RESET(リセット)ボタンを押すと、変換に関する学習データが消去されます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください（▶裏表紙）。

電源

電源が入らない。

→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

画像

映像が出ない、乱れる。

→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。
→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
→ 接続コードが断線している。
→ テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。
→ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/P_B/P_R）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
→ プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードでつないでいるときに、本機をプログレッシブ方式に設定している。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換える。
→ プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードでつないでいても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがある。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換える。
→ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー防止信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。
本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する。
→ ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがある。故障ではない。
→ 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがある。
→ DVD再生時などでプログレッシブ画像に切り換わるときに一瞬画像が乱れることがあります。

D端子で接続したとき、画像が出ない。

→ の［映像設定］から［出力映像解像度設定］を［D1/2/3/4設定優先］に設定する（140ページ）。

HDMI接続したとき、画像が出ない。

→ HDCP非対応機器に接続している（24ページ）。
→ DVIアダプターを使っている場合、接続機器がDVIアダプターに対応していない。
→ の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定を変えると解消される場合がある（140ページ）。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子で接続し、テレビの入力を本機につないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させる。の［映像設定］から［出力映像解像度設定］を［HDMI解像度優先］に設定する。次に の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定を変え、テレビ側の入力をHDMIに戻す。それでも画像が出ない場合は、この手順を繰り返して他の解像度を試す。
→ の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定項目が［自動］しか選べない場合は、正しく接続されていない場合があるので、その場合はケーブルを差し直すか本体の電源を入れ直す。

テレビのチャンネルを変えられない。

→ テレビの入力切換を押して見たいチャンネルに切り換える。
→ 本機の入力切換ボタンを押して映像が映るように入力をBS放送か地上波放送に合わせる。
→ チャンネルをとばすよう設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンでは選局できない（132、133、135ページ）。
→ 録画予約で設定した録画やx-おまかせ･まる録が始まってチャンネルが自動的に切り換わった。録画していない放送へ切り換えるか、テレビの入力を切り換えて、テレビ側でチャンネルを切り換える。

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。

→ 入力切換ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させる。
例）入力1のときは「LINE1」
→ S映像端子を使って本機の入力1や入力3端子につないだ場合は、から［映像設定］を選び、つないでいる端子にあわせて［映像入力1］または［映像入力3］を［S映像］に設定する（139、140ページ）。

［DVD設定］の［ワイド画像表示］で設定した画像の形で再生できない。

→ 画像の形が固定されているタイトルを再生している。

画面の横縦比がおかしい。

→ テレビの横縦比に画像を合わせる（139ページ）。
→ 録画時に設定が間違っていた。信号の横縦比に合わせて設定する（71ページ）。

サムネイルが表示されない。

→ 動作モード、または録画内容によってはサムネイルを作成できない場合がある。

HDV1080i/DV IN入力端子にデジタルビデオカメラを接続しても画像が表示されない。

→ デジタルビデオカメラとの接続に使用しているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
→ 接続したデジタルビデオカメラの電源を切り、もう一度入れ直してください。
→ 本機の電源を切り、もう一度入れ直してください。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- ➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいる。アンテナケーブルをアンテナ入力端子につなぐ。
- ➔ の[放送受信設定]から[地上アナログチャンネル設定]を選び、手動でチャンネルを合わせる(134ページ)。
- ➔ テレビの入力切換ボタンで正しい外部入力を選ぶ。または、本機のチャンネル+/－ボタンで他のテレビ局を選ぶ。
- ➔ 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られない。変更後のチャンネルに手動で合わせる(134ページ)。
- ➔ 地上デジタルが受信できなくなった場合は、再スキャンして受信設定する(132ページ)。

本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。

- ➔ アンテナの向きを調節する。
- ➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいる。アンテナケーブルをアンテナ入力端子につなぐ。
- ➔ 画像を手動微調整する(132、135ページ)。
- ➔ 本機とテレビを離して設置する。
- ➔ 本機から離してアンテナ線をたばねる。
- ➔ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。

本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。

- ➔ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りの外部チューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- ➔ BSアンテナを本機に正しくつなぐ(17ページ)。
- ➔ BSアンテナの向きを調整する(133ページ)。
- ➔ BSアンテナからゴミや雪を取り除く。

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- ➔ 本機のB-CASカード挿入口にデジタル放送用ICカード(B-CASカード)が挿入されていない。デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を挿入する(32ページ)。

WOWOWが映らない。

- ➔ 受信契約をする(49ページ)。

スター・チャンネルが映らない。

- ➔ 受信契約をする(49ページ)。

110度CSデジタルの有料放送が映らない。

- ➔ 受信契約をする(49ページ)。

番組表

番組表が表示されない。

- ➔ ❶接続と[かんたん初期設定]が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されない。❷受信が終わるまで電源を切ってしばらく待つ。❸受信までに、1日程度かかることもある(45、136ページ)。
- ➔ 日付や時刻が正しく設定されていない(146ページ)。
- ➔ 番組表データを送信している放送局(41ページ)の受信状態が悪いため、番組表を表示できない。
- ➔ 間違った地域番号が設定されている。 から[かんたん初期設定]を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直す(37ページ)。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する(136ページ)。
- ➔ 番組表の取得時刻をすべて[自動]に設定している(136ページ)。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が誤った設定になっている。 の[設定初期化]から[出荷時の状態に設定]を選び(152ページ)、初期状態に戻してから[かんたん初期設定]を選び直す(37ページ)。
- ➔ 番組表の取得時刻に本機の電源が入っていたため、番組表データが取得されていない。
- ➔ ケーブルテレビの送信チャンネルが元のチャンネルと異なっているため。手動でチャンネル設定をする(132、134ページ)。
- ➔ お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合がある。

番組表に表示されない放送局がある。

- ➔ [アップダウン選局]が[しない]に設定されている(地上アナログ(135ページ))。
- ➔ [アップダウン選局]が[選局しない]に設定されている(デジタル放送(132、133ページ))。
- ➔ 間違った地域番号が設定されている。 から[かんたん初期設定]を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直す(37ページ)。
- ➔ 番組表データに含まれない放送局は表示されない。

番組表が更新されない。

- ➔ 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表データを受信できなかった。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する(136ページ)。
- ➔ 番組表の取得時刻に本機の電源が入っていたため、番組表データが受信・更新されていない。

番組表に表示されない番組がある。

- ➔ 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できなかった。
- ➔ 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されない。チャンネル別番組表を使う(64ページ)。

次のページにつづく⇨

間違った放送局名が表示される。

➔ 間違った地域番号が設定されている。 から［かんたん初期設定］を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直す（37ページ）。
➔ 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがある。 の［設定初期化］から［出荷時の状態に設定］（152ページ）を行うと、消すことができる。

録画・予約・ダビング

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

➔ テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換える。

（録画）を押しても、すぐに録画が始まらない。

➔ 録画されていないDVD-RWを入れて、VRモードに初期化しているため。本体表示窓の「FORMAT」が消えるまで待つ。

録画中に （録画停止）を押してもすぐに録画が止まらない。

➔ 録画が止まる前にハードディスクやDVDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかる。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。
➔ 録画先のメディアと現在選択されているメディアが違う。

録画中に黒い （停止）を押しても、録画が止まらない。

➔ 録画中のテレビで番組を表示しリモコンのふたを開け、（HDD/DVD）を押して、録画を止めたいメディア（ハードディスクまたはDVD）を選び、赤い （録画停止）を押す。

予約したのに録画されていない。

➔ 自己メールを確認する（151ページ）。
➔ 録画中に停電があった。
➔ 1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（146ページ）。
➔ コピー防止信号が含まれている映像を録画しようとした、または録画予約した。
➔ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた（85ページ）。
➔ デジタル放送で、番組が中止になった。
➔ ダビング中だった。
➔ DVDが入っていなかった。
➔ ハードディスクやDVDの残量が足りなかった。
➔ タイトル数が上限（300タイトル）に達しているため録画できなかった。
➔ HDV/DVダビング中だった。
➔ まるごとディスクコピー中だった。
➔ “PSP”へ転送中だった。
➔ x-Pict Story HD実行中だった。
➔ 静止画コピー中だった。
➔ 視聴年齢制限を超えた番組を予約していた。
➔ 録画できないディスクだった。
➔ 有料番組があった。
➔ B-CASカードが入っていなかった。

予約した内容が途中で切れている。

➔ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた（85ページ）。
➔ デジタル放送で、番組の中断があった。
➔ コピー防止信号が含まれている映像が途中から始まった。
➔ ハードディスクやDVDの残量が足りなかった。
➔ 録画中に停電があった。
➔ 録画終了時刻から開始する別の録画予約があった。

以前録画した内容がなくなっている。

➔ DVDにパソコンで録画したデータは、DVDを本機に入れたときに消去されることがある。
➔ 更新録画が行われた（85ページ）。
➔ ハードディスクの容量がなくなり、x-おまかせ･まる録で録画されたタイトルが自動的に消去された。

ディスクをコピーできない。

➔ 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）を録画したことがある。

携帯電話録画予約ができない。

➔ 携帯電話録画予約の設定を行う（149ページ）。
➔ 本機の電源が「切」のときに携帯電話録画予約するには、［本体設定］の［スタンバイモード］を［高速起動］にする（143ページ）。
➔ x-Pict Story作成中やx-Pict Storyのビデオ作成中は携帯電話録画予約できない。
➔ ネットワークに接続されているか確認する（50ページ）。

再生

再生が始まらない。

➔ DVDやCDが入っていない。
➔ 録画されていないDVDが入っている。
➔ DVDやCDが裏返しに入っている。再生面を下にする。
➔ DVDやCDが斜めにずれて入っている。
➔ CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（180ページ）。
➔ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。
➔ 結露している（10ページ）。
➔ 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生することができない。

再生がハードディスクやDVDの最初から始まらない。

➔ つづき再生になっている（92ページ）。タイトル選択時に、オプションから［頭出し再生］を選ぶ。
➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出るDVDを入れている。

再生が自動的に始まる。

→ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
→ DVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなDVDを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。

→ 操作を禁止しているDVDを再生している。DVDに付属の説明書もあわせて見る。

USB機器を認識しない（RDZ-D97A/D77Aのみ）

→ ソニー製デジタルスチルカメラにつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっていない。詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書を見る。
→ デジタルスチルカメラや"PSP"の電源が入っていない。
→ USBケーブルが正しく接続されていない。
→ 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdrecorder/support/compati/

おでかけ転送ができない（RDZ-D97A/D77Aのみ）。

→ "メモリースティック PRO デュオ"を"PSP"に正しく挿入する。
→ "PSP"のシステムソフトウェアをバージョン2.60以降にする。
→ USBケーブルを正しく接続する。
→ USBケーブルが断線している。
→ "PSP"をUSBモードにする

音声言語を変更できない。

→ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
→ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
→ DVDメニューから操作してみる。

字幕を変更できない。

→ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
→ 字幕の変更や消去を禁止しているDVDを再生している。
→ DVDメニューから操作してみる。
→ 本機で録画したタイトルでは変更できない。

アングルを変更して見ることができない。

→ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
→ 本体表示窓に （ANGLE）と表示されていない場面で、アングルを切り換えている（91ページ）。
→ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。
→ DVDメニューから操作してみる。
→ 本機で録画したタイトルでは変更できない。

タイトルのサムネイルが表示されない。

→ 一度再生して停止する。

音声

音が出ない。

→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
→ 接続コードが断線している。
→ アンプの入力端子を確認する。
→ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
→ 一時停止、スロー再生になっている。
→ 早送りまたは早戻しになっている。
→ デジタル音声出力端子から音声が出ないときは から［音声設定］の［音声デジタル出力］を確認する（141ページ）。

HDMI接続したとき、音声が出ない。

→ DVI機器の場合、音声は出力されない。
→ HDMI出力端子につないだ機器が、音声信号のフォーマットに対応していない。 の［音声設定］から［HDMI音声出力］で［PCM］を選ぶ（141ページ）。

音がひずむ。

→ の［音声設定］から［音声出力ATT］を［入］に設定する（141ページ）。

音が小さい。

→ DVDによっては、再生時の音量が小さい場合がある。 の［DVD設定］から［オーディオDRC］を［テレビ］に設定すると、改善されることがある（146ページ）。
→ の［音声設定］から［音声出力ATT］を［切］に設定する（141ページ）。

音声多重放送の音声が切り換えられない。

→ 音声多重放送（主音声および副音声）の音声をDVD+RWやDVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）に記録することはできない。録画する前に、 の［ビデオ設定］から［DVD二重音声記録］を［主音声］または［副音声］に設定する（138ページ）。
→ 主音声と副音声の両方を記録するには、ハードディスクまたはDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）に録画する。ハードディスクに記録するときは、 の［ビデオ設定］から［HDD二重音声記録］を［主＋副音声］に設定する（137ページ）。
→ 外部入力をしているときは、オプションの［画音設定］の［外部入力音声設定］から［二重音声］を選ぶ（74ページ）。
→ 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。
→ デジタル音声出力端子にアンプをつないでいる場合、ハードディスクまたはDVD-RW/R（VRモード）、DVD-RAMで音声を切り換えるには、 の［音声設定］から［ドルビーデジタル］を［PCM］に設定する（141ページ）。

次のページにつづく⇨

表示

本体の録画予約ランプが点滅している。

→ ハードディスクやDVDに空きがない。

→ 本機に録画可能なDVDが入っていない。

→ DVDが保護（プロテクト）されている（87ページ）。

録画モードが正しく表示されない。

→ 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがある。設定した録画モードで録画やダビングがされるが、表示が変わることがある。

本機の表示窓に時計が表示されない。

→ 🧰 の[本体設定]から[表示窓の明るさ]を[暗]または[消灯]に設定している（143ページ）。

リモコン

リモコンが働かない。

→ 乾電池が消耗している。

→ 乾電池を交換すると、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻る場合がある。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（34ページ）。

→ 操作する機器の操作機器切換用ボタンを押す。

→ リモコンを本体に向けて操作する（34ページ）。

→ 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（36ページ）。

→ リモコンを本体から遠いところで操作している。

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のDVD プレーヤーが同時に動いてしまった。

→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（36ページ）。お買い上げ時は[DVD3]になっている。

リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。（ソニー製、アイワ製の対応機種を除く）

→ チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。

その他

電源が「切」のときに本機のファンの音がする。

→ 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機のファンが動作することがある（9ページ）。

→ [スタンバイモード]が[高速起動]モードに設定されている場合、電源が「切」の時でもファンが動作し続ける（143ページ）。

→ 本機のDLNA対応ホームサーバー機能や携帯電話録画予約機能を利用しているときは、電源が「切」でもファンが動作し続ける（149、150ページ）。

→ 本機に挿入した他機のB-CASカードが契約切れで本機が確認の通信動作を行っているため、ファンが止まらない。

→ ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。

DLNA対応の他機器から本機の映像を再生できない。（RDZ-D97A/D77Aのみ）

→ DLNA対応の他機器が本機の未登録機器一覧に入っている。機器登録を行う（150ページ）。

→ DLNA対応の他機器側で正しく再生されていない。機器の取扱説明書を参照する。

→ 本機の電源が「切」のときに他機器から本機の映像を再生するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にする（143ページ）。

→ 本機の映像を編集中、設定画面を表示中、x-Pict Story実行中のときは再生できない。

→ 本機がホームネットワークに接続されているか確認する（50ページ）。

DLNA対応の他機器から本機が見つからない。（RDZ-D97A/D77Aのみ）

→ DLNA対応の他機器が本機の未登録機器一覧に入っている。機器登録を行う（150ページ）。

→ 本機の電源が「切」のときに他機器から本機の映像を再生するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にする（143ページ）。

→ 本機がホームネットワークに接続されているか確認する（50ページ）。

正常に動作しない。

→ 本体の前面の扉の内側にあるRESET（リセット）ボタンを押し、本機を再起動させる。

→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜く。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れる。

自動的に再起動する。

→ 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがある。

チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。

→ 番組表データの受信後、画像が出るまでに時間がかかることがある。

アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。

➔ 自己診断機能が働いている。

⏏（開/閉）を押してもディスクトレイが開かない。

➔ DVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがある。これは、本機がDVDにディスク情報を追加しているため。

➔ 電源を切って電源コードを抜く。本体の開/閉ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら開/閉ボタンをはなす。ディスクを取り出した後、本体前面の扉の内側にあるRESET（リセット）ボタンを押して、本機を再起動させる。

➔ 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがある。

電話回線に接続できない。

➔ 電話回線用無線通信ユニットを使用している。無線通信ユニットは使わない(51ページ)。

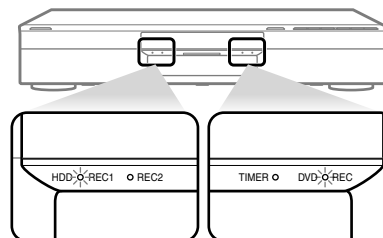
自己診断機能について

本体表示窓について–アルファベットで始まる表示が出たら

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例:C 15 50)が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号の最初の3桁	原因と対策
C 13	DVDが汚れている。 ➡ 柔らかい布でDVDを拭く（10ページ）。
C 31	DVD/CDが正しく入っていない。 ➡ DVD/CDを正しく入れ直す。
EXX （XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ お客様ご相談センターへお問い合わせください(➧裏表紙)。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例:E 61 10

本体前面のランプについて

本体前面のランプで、本機のメッセージを確認できます。

すべてのランプが点滅しているとき

➔ 本機のバージョンアップを行っているときに点滅します。

TIMERランプが点滅しているとき

➔ 録画予約が登録されているが、ハードディスクやDVDの容量が不足しているため、録画できません。

その他

ハイビジョン「スゴ録」点検シート

「故障かな?と思ったら」(156ページ)をご覧になり、もう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、この点検シートにご記入の上、お客様ご相談センターへお問い合わせください(➡裏表紙)。

点検シート ご記入のお願い

1 不具合内容について、該当する項目に✓をご記入ください。

いつ症状が起きますか?
☐ 今回が初めて　☐ いつも　☐ 時々
☐ 特定の操作を行なったとき
(具体的に:　)

症状が発生した後、どのような状況になりましたか?
☐ リモコン、本機のボタンを操作しても反応しない
☐ リモコン、本機のボタンによる操作はできた
☐ その他(　)

反応しない場合、本体のリセットボタンを押してしばらく待ち、時計表示が出てから電源ボタンを押すと、通常に操作できるようになりますか?
☐ はい　☐ いいえ

2 症状について、「A」から「F」の中から該当する項目に✓をご記入ください。

☐ A 電源が入らない
「故障かな?と思ったら」の「電源」(156ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか?
☐ 電源プラグをコンセントにさしてから
☐ 電源ボタンを押して画面がでるまでの間
☐ その他(　)

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか?
(　)

☐ B 画面が映らない
「故障かな?と思ったら」の「画像」(156ページ)、「テレビの受信」(157ページ)をもう一度点検してください。

どの映像が映りませんか?
☐ 地上デジタル　☐ BSデジタル　☐ CSデジタル
☐ 地上アナログ　☐ HDV1080i/DV IN入力端子
☐ 映像/音声入力端子(☐ S端子　☐ 映像コード)

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?
☐ 使用している　CATV会社名(　)
☐ 使用していない

どのようなコードでテレビに接続されていますか?
☐ 映像コード　☐ S映像コード　☐ D映像コード
☐ コンポーネント映像コード　☐ HDMI

本機につないであるアンテナケーブルを直接テレビにつないだとき、画面は正常に映りますか?
☐ はい　☐ いいえ

☐ C 番組表が表示されない
「故障かな?と思ったら」の「番組表」(157ページ)をもう一度点検してください。

どの「番組表」が表示されませんか?
☐ 地上アナログ放送　☐ 地上デジタル放送
☐ BSデジタル放送　☐ CSデジタル放送

過去に受信したことはありますか?
☐ 以前は正常に表示されていた　☐ 全く表示した事がない

放送は受信できていますか?
☐ 地上アナログ放送　☐ 地上デジタル放送
☐ BSデジタル放送　☐ CSデジタル放送

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?
☐ 使用している　☐ 使用していない
ケーブルテレビ局名(　)

[設定]ー[放送受信設定]ー[Gガイド設定]ー[番組表取得設定]で[取得チャンネル]を変えたことがありますか?
☐ はい　☐ いいえ　☐ わからない

□ D 録画ができない（お知らせメールをご覧ください）

「故障かな？と思ったら」の「録画・予約・ダビング」（158ページ）をもう一度点検してください。

どの場合に症状が起きますか？
- □ ハードディスクへ録画　□ DVDへ録画
- □ ハードディスクからDVDへダビング
- □ DVDからハードディスクへダビング
- □ HDV1080i/DV IN入力端子からのダビング（□ DVDへ　□ ハードディスクへ）
- □ DVDからDVDへコピー（まるごとディスクコピー）

DVDへ録画/ダビングの場合、どのようなディスクをお使いですか？
- □ 新品　□ 本機で録画したディスク
- □ 他の機器で録画したディスク　□ パソコンで録画したディスク

機種名を教えてください。（　　　　　　　　　　　　）

どのような症状ですか？
- □ まったく録画出来ない　□ 録画できるが途中で止まる
- □ 録画できたが再生できない
- □ その他（　　　　　　　　　　　　）

どの録画ができませんか？
- □ 地上アナログ放送　□ 地上デジタル放送
- □ BSデジタル放送　□ CSデジタル放送
- □ 本機の入力端子につないだ他機からの録画
  （□ 入力1　□ 入力2　□ 入力3　□ HDV1080i/DV IN
- □ その他（　　　　　　　　　　　　）

DVDへ録画/ダビングの場合、どのディスクで起きますか？
- □ DVD-R　□ DVD+R　□ DVD-RW　□ DVD+R DL
- □ DVD+RW　□ その他　□ CPRM対応

ディスクメーカー名（　　　　　　　　）　倍速（　　　）

どの録画モードで症状が起きますか？（複数チェック可）
- □ DR　□ XP　□ XSP　□ SP　□ LSP
- □ ESP　□ LP　□ EP　□ SLP

録画はどのようにして行いましたか？
- □ 録画予約（□ 番組表　□ 日時指定）
- □ 手動録画（□ 本体ボタン　□ リモコンボタン）
- □ x-おまかせ・まる録
- □ ダビング（□ ハードディスク⇒DVD □ DVD⇒DVD
  □ HDV/DV⇒ハードディスク □ DV⇒DVD）

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか？

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□ E 再生ができない

「故障かな？と思ったら」の「再生」（158ページ）をもう一度点検してください。

どのような症状が起きますか？（複数チェック可）
- □ 画像が出ない　□ 音声が出ない
- □ 途中で止まる　□ メッセージは出る

症状が起きるタイトル数は？
- □ 1タイトル　□ 数タイトル　□ 全タイトル

どちらで症状が起きますか？（複数チェック可）
- □ ハードディスク　□ DVD　□ HDV/DV
- □ USB

DVDの場合、どのディスクで起きますか？
- □ DVD-R　□ DVD+R　□ DVD-RW　□ DVD+R DL
- □ DVD+RW　□ 音楽CD　□ DVDソフト　□ DVD-RAM
- □ CD-R　□ 8cmDVD　□ その他（　　　　　）

DVDの場合、どの機器で録画したディスクですか？
- □ 本機で録画したディスク
- □ 他の機器で録画したディスク
- □ パソコンで録画したディスク
  （ソフト名:　　　　　　　　バージョン名:　　　　）

ディスクのタイトル名を教えてください。〈具体的に〉

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

書き込みされたディスクのメーカー名を教えてください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□ F リモコンが働かない

「故障かな？と思ったら」の「リモコン」（160ページ）をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか？
- □ 本機の電源が「切」のとき
- □ 本機の電源が「入」のとき

リモコンのリモコンモードはいくつですか？
- □ DVD1　□ DVD2　□ DVD3

本体のリモコンモードはいくつですか？
- □ DVD1　□ DVD2　□ DVD3

本体のボタンで操作はできますか？
- □ はい　□ いいえ

電池を交換した後、症状は改善されましたか？
- □ はい　□ いいえ

3 その他お気付きの点がございましたら、症状をご記入ください。

ハードディスク修理に関するお願いについて

修理の際に、ハードディスクを初期化して、録画した内容をすべて消去しなければならない場合があります。
該当する項目に✓と、お客様のご署名をご記入ください。

- **ユーザー情報について**
  修正箇所によっては、ユーザー情報、携帯電話録画予約に使用する携帯電話の「ニックネーム」および「機種名」、各種設定の他、すべてのデータが消去され、ご購入時の初期状態に戻りますのでご了承ください。
- **ハードディスクの記載内容について**
  お客様から記載いただいた署名は、ハードディスクの初期化の同意確認のために使用するものであり、この目的以外の使用は一切行いません。
  また、いただいた署名は当社(実際に保管するところ)が厳重な管理のもと保管し、必要がないと判断したときには、再生不能な形で破棄させていただきます。
  ハードディスクの初期化または交換となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますので、大切な映像などは、DVDなどに保存しておかれることをお勧めします。

ハードディスクの初期化に同意されますか？
□ 同意する　□ 同意しない(修理できない場合があります)

お客様ご署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　本機ご使用地域 ＿＿＿＿＿＿都･道･府･県

型名: □ RDZ-D97A　□ RDZ-D77A　□ RDZ-D87　＿＿＿＿＿＿市･区･町
製造番号:(　　　　　　　　　)

症状について ご記入ください	どのような症状ですか？（どのような場面でどうなりますか？発生している現象を具体的にご記入ください）

お客様の個人情報のお取扱について

ソニー(株)(以下、「ソニー」)は、本機修理サービスに関して、お客様への下記活動を行う目的でお客様の氏名･住所などの個人情報(以下「個人情報」)をご提供いただき、記録させていただいております。趣旨をご理解の上、ご記入をお願いいたします。
また、同じく下記の活動を行う目的で、ソニーは商品のご購入歴やサービスのご利用歴などのお客様に関する情報(以下「個人履歴」)を記録する場合がありますことを、ご了解願います。

1. 情報の使用について
お客様の個人情報及び個人履歴は、下記の目的に使用させていただきます。
下記以外の目的で個人情報及び個人履歴を使用する際には、改めて目的をお知らせし、お客様のご同意を頂きます。
(1) 本機修理サービスの提供および代金決済
(2) 製品保証、修理などに関するユーザーサポートの提供

2. 情報の保管について
第三者がお客様の個人情報及び個人履歴に不当に触れることがないよう、合理的な範囲内で厳重な管理体制のもとで保管します。

3. 情報の開示について
下記の場合を除き、お客様のご同意なく、個人情報及び個人履歴を第三者に開示することはありません。
(1) お客様にお知らせした使用目的のために、事業協力会社に対する開示が必要な場合(この場合、当該事業協力会社に対して、当該個人情報及び個人履歴の厳重な管理を求め、目的以外の使用を行わせないようにいたします)
(2) 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合

4. お問合せ及びその他のご連絡
ご提供いただいたお客様の個人情報についてのお問合せは、お客様ご相談センターへお問い合わせください(➡裏表紙)。
できる限りすみやかに対応いたします。
ソニーは、必要に応じて、本規定を変更･修正･追加･削除できるものとします。

発行日:2006年3月1日

ハードディスク上のデータについて

1. 修理サービス提供において、不具合症状の発生･改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のファイルを開いたり、記録内容を起動することがあります。
   ただ、それらのファイル、記録内容をソニー側で複製･保存することはありません。
2. ソニーにて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、ソニーの責任の下で事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れる事が無いように、合理的な範囲内で厳重な管理体制の下で作業を行ないます。

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます

条件1：BSデジタルのアンテナレベルの受信レベル（133ページ）が「20以上」になっている。または地上デジタルを安定して受信できている（132ページ）。
条件2：［ソフトウェアアップデート］が［自動］（お買い上げ時の設定）になっている（144ページ）。

データのダウンロードの実行

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデート（ソフトウェア更新）の実行

ソフトウェア更新用のデータが正常に取得された状態で、本機の電源を切ったときにソフトウェアの更新が自動的に開始されます。
アップデート中は、表示窓に「VERSION UP」が点灯し、すべてのランプが点滅します。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます。

ソフトウェアアップデートについてのQ＆A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア更新用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとアップデートできないの？」
電源コードが抜かれていた場合は、アップデートは行われません。

「アップデート中に電源コードを抜くとどうなるの？」
アップデート中は、電源コードを抜かないでください。アップデートの中断により、ソフトウェアの更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「アップデートによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

アップデート中のご注意
ソフトウェア更新用データをダウンロードするときは、本機が待機状態に入るため、本機の電源が「切」でもファンが回り続けることがあります。
待機中に録画予約などが重なると、録画予約が優先されるため、次のダウンロード時刻までファンが回り続けます。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはお客様ご相談センターへ
「ハイビジョン「スゴ録」点検シート」（162 ～ 164ページ）にご記入の上、お客様ご相談センターへお問い合わせください（➡裏表紙）。

携帯電話録画予約について
「リモート録画予約」については「リモート録画予約」サービス事業者にお問い合わせください（168ページ）。なお、お客様からのお問い合わせに対応するために、事業者側のサーバーにアクセスし、お客様の情報（サービス登録番号や携帯電話ニックネーム、DVDレコーダー情報*）を確認することがあります。
*・DVDレコーダーにふられるサーバー側システム上の管理ID
・機種名
・MACアドレスの下4桁
・ネットワーク接続状況
・契約しているサービス情報

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組について

ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

次のページにつづく⇨

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式 DVDレコーダー

受信チャンネル 地上デジタルチューナー：UHF、CATV
地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：
VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch
CATV：13 ～ 63ch
BS・110度CSデジタルチューナー：
1022 ～ 2072MHz

映像受信方式 周波数シンセサイザー方式

音声受信方式 スプリットキャリア方式

アンテナ入出力 地上アナログVHF/UHF1軸
75ΩF型コネクター
地上デジタル75ΩF型コネクター
BS/110度CS-IF：75ΩF型コネクター
（コンバーター用電源出力DC15V/11V
最大4W、芯線側＋、メニューにて自動/切を切り換え）

タイマー 時計方式：クォーツクロック、
12時間デジタル表示
停電補償時間：約1時間

映像圧縮方式 MPEG

音声圧縮方式/ビットレート
Dolby Digital（256kbps/128kbps（SLPモード時））
MPEG-2 AAC（DRモード時）
MPEG-1 Layer2
（DRモードでHDV/DVダビング時）

その他

入・出力端子

映像入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力	出力1、出力2の2系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、4ピンミニDIN 輝度信号:1.0 Vp-p/75 Ω 色信号:0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	出力1、出力2の2系統、4ピンミニDIN 輝度信号:1.0 Vp-p/75 Ω 色信号:0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、ピンジャック 入力レベル:2 Vrms(入力インピーダンス:22 kΩ以上)
音声出力	出力2系統、ピンジャック 出力レベル:2 Vrms(負荷インピーダンス:10 kΩ)
デジタル音声出力	光:角型光ジャック1系統/-18 dBm(発光波長660 nm) 同軸:ピンジャック1系統/0.5 Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像出力	ピンジャック Y:1.0 Vp-p/75 Ω、 PB/CB:0.7 Vp-p/75 Ω、 PR/CR:0.7 Vp-p/75 Ω
D1/D2/D3/D4映像出力	D端子 Y:1.0 Vp-p/75 Ω、 PB/CB:0.7 Vp-p/75 Ω、 PR/CR:0.7 Vp-p/75 Ω
HDV/DV入力	i.LINK 4ピン S100 HDV1080i/DV IN 1系統
HDMI出力	タイプA (19ピン) Ver.1.1準拠
USB端子(RDZ-D97A/D77Aのみ)	Hi－Speed USB(USB 2.0準拠) 1系統 (デジタルスチルカメラ/メモリースティックUSBリーダーライター及び"PSP"(発売元:ソニーコンピューター・エンタテインメント株式会社製)接続用)
電話回線端子	モジュラージャック
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TXコネクター (ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

電源、その他

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	RDZ-D97A/D77A:70 W RDZ-D87:60 W
許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度	25 %～ 80 %
最大外形寸法	RDZ-D97A/D77A:430 × 84.2 × 346 mm(幅×高さ×奥行き)最大突起含む RDZ-D87:430 × 79.2 × 346 mm(幅×高さ×奥行き)最大突起含む
ハードディスク容量	RDZ-D97A/D87:400ギガバイト RDZ-D77A:250ギガバイト
本体質量	RDZ-D97A/D77A:約5.7kg RDZ-D87:約5.6kg
付属品	電源コード(1) アンテナケーブル(1) 映像・音声コード(1) リモコン(1) 単3形(R6)乾電池(2) テレホンコード(1) モジュラーテレホンコードカプラー(1) B-CASカード使用許諾契約約款(1) • B-CASカード(1) • B-CAS用ユーザー登録はがき台紙(1) 取扱説明書(本書)(1) かんたん操作ガイド(1) 番組表準備ガイド(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

次のページにつづく⇨

商標について

- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
  また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMI、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Interface, LLCの商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニーの商標です。
- “XMB”アイコン、“xross media bar”および“XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PSP」および「プレイステーション」は同社の登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- “ ”はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

Gガイドについて

本機の電子番組表は、米Gemstar-TV Guide International, Inc.が開発した「Gガイド」を採用しています。Gガイドを利用した番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上アナログテレビ放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回自動的に受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん初期設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。

* 当社では、Gガイドを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

ご注意

お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。

Gガイドとは

Gガイドは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2005年7月現在）。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

携帯電話録画予約機能について

- 携帯電話録画予約機能をご利用いただくには、別途「リモート録画予約」サービス事業者との契約が必要です。
  問合せ先（2006年5月現在）
  Gガイド番組表リモコン事務局
  E-mail：help@ggmobile.jp
  ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。
- 「リモート録画予約」サービス事業者によるサービス内容は、予告なく変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず発生した「リモート録画予約」サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず、以下を原因とする「リモート録画予約」サービスの全部または一部の機能不能に対して、一切の責任を負わないものとします。
  – 「リモート録画予約」サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等
  – ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情
- 本機の修理・交換等により「リモート録画予約」サービスの再登録が必要となる場合がありますので、予めご了承ください。

i.LINK(アイリンク)について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用HDV1080i/DV IN入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ソニー製HDV/DVビデオカメラレコーダーと接続できます(DCR-VX1000/DCR-VX700/DHR-1000は対象外)。
- ソニー製以外のHDV/DVビデオカメラレコーダーは接続できません。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子(HDV1080i/DV IN入力端子)は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子(MPEG-TS信号)とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については109ページ、接続のご注意については120ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ← → 4ピン(HDV/DVダビング時)

本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

その他

次のページにつづく⇨

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品（以下「本製品」）をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL（「Original SSLeay」ライブラリを含む）」および「NetBSD」およびJPEGが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。当該ソフトウェアの使用許諾条件については「OpenSSLおよびNetBSDおよびJPEGソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「使用者」とします）と弊社（以下「ソニー」とします）との間での許諾ソフトウェアの使用権の許諾に関して合意するものです。

第1条（総則）
ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）
1．本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
　使用者は、かかる許諾ソフトウェアの使用に必要な範囲において、本製品の取扱説明書の許諾ソフトウェアに関連する部分を使用できるものとします。
2．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3．許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。
4．使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。

第3条（許諾条件）
1．使用者は、前条に規定する使用権を第三者に譲渡することはできないものとします。
2．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
3．使用者は、許諾ソフトウェアに関し逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ソニーおよび原権利者の免責）
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとし、その旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第10条（許諾ソフトウェアの更新）
1．使用者が、ネットワークからのダウンロードあるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2．前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、お客様ご相談センターへお問い合わせください（➡裏表紙）。

第11条（その他）
1．本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2．本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
src-pump-0.8.15.tar.gz
lrzsz-0.12.20.tar.gz
sfdisk-hardsect-0.0.1.tar.gz
base-passwd
busybox
e2fsprogs
gcc
glibc
libelf
modutils
ncurses
netbase
nfs-utils
procps
rpm
sysvinit
textutils
tinylogin
util–linux
mkcramfs

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee you freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to

surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it wiht the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in objetct code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source of binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the condititon of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this

次のページにつづく⇨

License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free parograms whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of perserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<sighature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporationg your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains

code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single

次のページにつづく⇨

library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING

NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:
This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner.
This product includes software developed under OpenBSD by Per Fogelstrom Opsycon AB for RTMX Inc, North Carolina, USA.

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 openssl-dev-0.9.7i-20060109s.ppc-440.mvl
ライセンス条文 target/usr/share/doc/openessl-0.9.7i/LICENSE
<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

= OpenSSL License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 libjpeg-dev-6b-4.0.0.0300532.ppc_440.mvl
ライセンス条文 target/usr/share/doc/libjpeg-dev-6b/LICENSE

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided “AS IS”, and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that “this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group”.
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author’s name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as “the Independent JPEG Group’s software”.

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

用語解説

五十音順

インターレース(飛び越し走査)(22)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

オリジナルタイトル(118)
ハードディスクやDVD-RW(VRモード)に実際に録画したそのままのタイトル。オリジナルのタイトルを消去するとハードディスクやDVDの空きが増える。

ガイドチャンネル(41)
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

緊急警報放送
地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号のマルチ放送を利用した放送。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがある。

降雨対応放送(58、70)
激しい雨による映像･音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るもの。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されている。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下する。

コピー防止信号(114)
複製防止機能のこと。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトや放送番組を録画することができない。

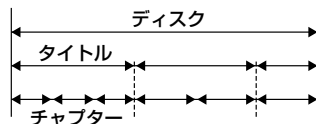
視聴年齢制限(145)
国･地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限するDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり､まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

字幕放送(58、70)
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできる。

受信チャンネル(134)
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タイトル(88)
ハードディスクやDVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたる。
本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいる。

地上デジタル(13)
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送。UHFの周波数帯域を利用して送信される。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめる。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送などがある。

チャプター(93)
ハードディスクやDVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないタイトルもある。

デジタルハイビジョン信号(HD)(22)
デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線(テレビ画面を水平に走る線)が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめる。

トラック(123)
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)。

トランスモジュレーション方式(20)
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式。

ドルビーデジタル(30)
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル･サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。

パススルー方式(19)
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信する方式。
パススルー方式には周波数を変換するものとそのままのものがある。

ハードディスク(8)
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤(ディスク)を回転させ､それに磁気ヘッドを近づけてデータを記憶する。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

表示チャンネル(134)
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

標準テレビ信号(SD)(22)
デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質。

プレイリストタイトル(118)
ハードディスクやDVD-RW(VRモード)に録画したタイトルをもとに作る仮想映像。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報のみを持つ。プレイリストを消去してもオリジナルに影響はなく、ハードディスクやDVDの残量が少ないときでも新しくタイトルを作って、編集を楽しむことができる。

プログレッシブ(順次走査)(22)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム(60フィールド)で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できる。

分配器(15、18)
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルが小さくなる。

分波器(18)
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

臨時放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号のマルチチャンネル放送を利用した放送。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行う。

録画モード(70)
ビデオカセットレコーダーの録画モード(標準録画や3倍録画)などと同じように、本機には複数の録画モードがある。
高画質になればなるほど、録画に使用するデータ量が多くなるため、記録時間が短くなる。EPやSLPなどのモードを選ぶと、録画に使用するデータ量が少ないため長時間録画できる。

アルファベット順/数字順

AAC(30)
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現する。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(32)
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信される。

BSデジタル(8)
2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめる。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがある。

D映像信号(24)
D端子付きテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。
- D1端子:525i(480i)の信号
- D2端子:525i(480i)と525p(480p)の信号
- D3端子:525i(480i)と525p(480p)と1125i(1080i)の信号
- D4端子:525i(480i)と525p(480p)と1125i(1080i)と750p(720p)の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DLNA(112)
「デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス(Digital Living Network Alliance)」の略で、パソコン業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、パソコンを相互に接続することを目的として結成した団体のこと。DLNAガイドラインは、静止画や音楽、動画のファイルフォーマットなどを規定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための技術ガイドラインのこと。

DTCP-IP (Digital Transmission Content Protection - Internet Protocol)(121)
デジタル伝送時に使用する著作権保護技術のこと。これに対応した機器同士でないと著作権者などによって複製を制限されているタイトルをネットワーク上に流すことができない。

DTS(30)
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。

EPG(60)
「エレクトロニック・プログラム・ガイド(Electronic Program Guide)」の略で、放送局から送信される番組表(タイトルや番組説明、放映時間など)のこと。

GB(116)
ギガバイトと読む。ハードディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量となる。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)(24)
パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI(Digital Visual Interface)規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できる。
デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応している。

HDV(HDV規格)(109)
DVカセットにハイビジョン映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式のこと。本機では、有効走査線数1080本のインターレース方式(1080i方式)の信号に対応している。
HDV規格の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラとi.LINKで接続すれば、撮影したハイビジョン映像を、そのままの画質で、ハードディスクにダビングすることができる。

IPアドレス(アイピーアドレス)(148)
TCP/IP(伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁の数字4組を点で区切って表示する。
例)「192.168.139.105」など

MACアドレス(マックアドレス)(144)
LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号。ケーブルテレビ会社によっては、本機のMACアドレスの届出が必要な場合がある。本機のMACアドレスは、[本体設定]の[機器情報]で確認できる。

PPV(ペイ・パー・ビュー)(32、115)
「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のこと。

VBR(Variable Bit Rate)(103)
録画時に本機が解析した映像の複雑さ情報をもとに、レート配分を最適化して録画すること。これにより、映像データを効率よく録画することができる。

VRモード(180)
DVDフォーラムが動画像のリアルタイム記録用として策定したもの。DVD-RW, DVD-R, DVD-RAMで用いられており、記録したデータを任意の位置で分割できるという特長がある。これにより、記録したコンテンツの多彩な編集が可能になる。そのほかにもテレビ録画のための様々な機能がある。

110度CSデジタル放送(8)
2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめる。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがある。

5.1ch(チャンネル)(30)
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式。
本機のデジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめる。

言語コード一覧

詳しくは、145ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

テレビ画面での画像の見えかた一覧

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされ方が異なります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧になり、ワイドモードの設定もご覧ください。

デジタル放送の画質（HDとSD）については、「デジタル放送の画質について」（22ページ）をご覧ください。

テレビ画面での画像の見えかた一覧

オリジナルの映像	［出力映像横縦比］の設定によるテレビ画面での画像の見えかた			
	16:9のテレビ画面		4:3のテレビ画面	
	［16:9］を選んだとき	［オリジナル］を選んだとき テレビのワイドモード設定で「オートワイド」が「入」のとき	［オリジナル］を選んだとき テレビのワイドモード設定で「オートワイド」が「入」のとき	［4:3］を選んだとき
デジタルハイビジョン信号 HD の16:9映像				
標準テレビ信号 SD の16:9映像				
標準テレビ信号 SD のレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）	または	または		
デジタルハイビジョン信号 HD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		または	または	または
標準テレビ信号 SD の4:3映像				
標準テレビ信号 SD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		または	または	または

ちょっと一言

放送される信号の種類により、見え方が2通りある場合があります。

本機で利用できるディスク一覧

本機では次のディスクが利用できます。

本機で録画・再生できるディスク

本機で録画したDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）は、DVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。

	HDD（本機内蔵）	12cmにのみ対応						
		DVD-RW (VR)	DVD-RW (Video)	DVD-R (VR)	DVD-R (Video)	DVD+RW	DVD+R	DVD+R DL
本機で利用できるバージョン	–	Ver.1.1, Ver.1.1 CPRM, Ver.1.2, Ver.1.2 CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0, Ver.2.0 CPRM, Ver.2.1, Ver.2.1CPRMに対応した16倍速メディアまで		–	–	–
最大録画時間	668時間 (RDZ-D97A/RDZ-D87) 404時間 (RDZ-D77A)	約8時間	約8時間	約8時間	約8時間	約8時間	約8時間	約14時間28分
番組の録画	○	○	○	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能の番組の録画	○	○（要CPRM対応）	×	○（要CPRM対応）	×	×	×	×
書き換え	○	○	○	×	×	○	×	×
チャプター設定	自動･手動	自動･手動	自動	自動･手動	自動	自動	自動	自動
静止画の保存（取り込み）	○	○	○	○	○	○	○	○
音声多重放送の両音声を録画	○	○	×	○	×	×	×	×
文字放送の字幕を録画*[1]	○	○	○	○	○	○	○	○
16：9番組･映像を録画	○	○	○*[2]	○	○*[2]	×	×	×
16：9/4：3の番組･映像を混在して録画	○	○	○*[3]	○	○*[3]	4：3ですべてを録画	4：3ですべてを録画	4：3ですべてを録画
タイトル名入力	○	○	○	○	○	○	○	○
タイトル消去	○	○	○	○*[4]	○*[4]	○	○*[4]	○*[4]
A-B消去	○	○	×	○*[4]	×	○*[4]	×	×
プレイリスト作成	○	○	×	○	×	×	×	×
ディスクの初期化*[5]	不要	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化*[6]	+VRで自動的に初期化	+VRで自動的に初期化	+VRで自動的に初期化
録画番組･映像の再生	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画（JPEG）の再生	○	○	○	○	○	○	○	○
動画･静止画混在しているとき	再生のみ	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ*[7]
静止画のハードディスク→DVDへのコピー	–	○*[8]	○*[8]	新品のディスクのみ	新品のディスクのみ	○*[8]	新品のディスクのみ	×
互換性（再生互換）	–	VRモード対応の他機で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-R VRモード対応の他機で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*[1] 録画モードDRモード以外で字幕を録画するときは、［字幕焼きこみ］（139ページ）の設定が必要です。

*[2] 録画モードがXPまたはXSP、SP、LSP、ESPで［DVD録画横縦比］（71ページ）が［16：9］に設定のときのみ。

*[3] １つのタイトルに16:9/4:3の番組･映像を混在して録画することはできません。

*[4] タイトルを消去してもディスクに空き容量は発生しません。

*[5] 新品（未フォーマット）のディスクは自動的に初期化されるので、［ビデオ設定］（139ページ）で必要に応じて設定を変更してください。

*[6] CPRMに対応していないディスクは自動的にビデオモードで初期化されます。

*[7] ファイナライズ済のディスク。

*[8] 静止画をコピーすると、今までに入っていたデータが消去されます。

市販品および他機器録画ディスクの再生

	市販のDVD	他機器による録画 12cm/8cmに対応 DVD-RW	DVD-R/DVD-R DL	DVD+RW	DVD+R	DVD-RAM*1	市販のCD*2	他機器による録画 CD-R/CD-RW	SACD
本機への動画保存（取り込み）	×	○	○	○	○	○	×	×	×
本機への静止画保存（取り込み）	×	○	○	○	○	○	○	○	×
動画の再生	○	○*3	○*3/*4	○*3	○*3	○	×	×	×
音楽の再生（CD-DAのみ）	×	×	×	×	×	×	○	○	CDレイヤーのみ
静止画の再生	○	○*3	○*3	○*3	○*3	○	○	○	×

*1 DVD-RAM再生はビデオレコーディング規格準拠の12cmディスク（Ver.2.0/2.1）のみ。
カートリッジ方式（Type1除く）のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出して使用してください。

*2 音楽用のCDのロゴ COMPACT disc DIGITAL AUDIO が付いているもののみ対応。
*3 ファイナライズ済のディスク。
*4 DVD-R DLの動画再生はVideoモードで記録されている映像のみ。

録画モード一覧

録画モード		HDDへの録画可能時間*1（目安） RDZ-D97A ［おでかけ転送　高速転送録画］の設定*2 ［切］	RDZ-D97A ［全てのデジタル放送］または［地上アナログ放送］	RDZ-D77A ［切］	RDZ-D77A ［全てのデジタル放送］または［地上アナログ放送］	RDZ-D87	DVDへの録画可能時間（目安） RDZ-D97A/D77A/D87 DVDの種類 DVD+R DL以外	DVD+R DL
DR（デジタルハイビジョン画質*3）								
	地上デジタル（HD）放送録画時	約48時間	約44時間	約29時間	約26時間	約48時間	—	—
	BS・110度CS（HD）放送録画時	約34時間	約31時間	約20時間	約18時間	約34時間	—	—
	標準テレビ信号（SD）放送録画時	約75時間	約66時間	約45時間	約39時間	約75時間	—	—
	HDV INの映像録画時	約30時間	約28時間	約18時間	約16時間	約30時間	—	—
XP+	（高画質）	約54時間	約49時間	約32時間	約29時間	約54時間	—	—
XP	↑	約83時間	約73時間	約50時間	約43時間	約83時間	約1時間	約1時間48分
XSP	↑	約127時間	約107時間	約76時間	約63時間	約127時間	約1時間30分	約2時間42分
SP	（標準）	約168時間	約137時間	約101時間	約80時間	約168時間	約2時間	約3時間37分
LSP	↓	約210時間	約165時間	約127時間	約97時間	約210時間	約2時間30分	約4時間31分
ESP	↓	約256時間	約193時間	約154時間	約114時間	約256時間	約3時間	約5時間25分
LP	↓	約339時間	約271時間	約205時間	約159時間	約339時間	約4時間	約7時間14分
EP	↓	約501時間	約370時間	約303時間	約218時間	約501時間	約6時間	約10時間51分
SLP	（長時間）	約668時間	約457時間	約404時間	約269時間	約668時間	約8時間	約14時間28分

*1 次のようなときに録画時間が異なることがあります（XSP ～ SLPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
- 編集されたDVDに追加して録画する場合
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

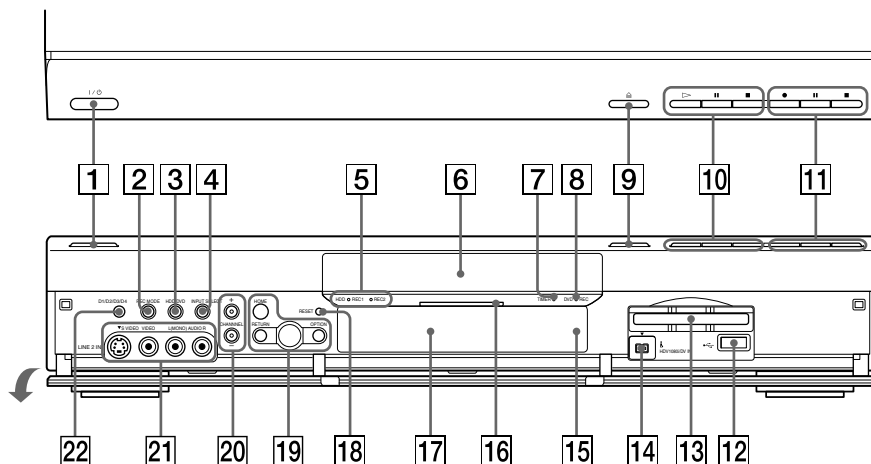
*2 ［おでかけ転送 録画モード］が［自動］に設定されている時の録画可能時間です。
*3 デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。

XP+について

より高画質でハードディスクに録画します。
［ビデオ設定］で［XP画質設定］を［XP＋］に設定する（137ページ）と約54時間（RDZ-D97A/D87）約32時間（RDZ-D77A）録画できます。ただし、表示はXPと表示されます。

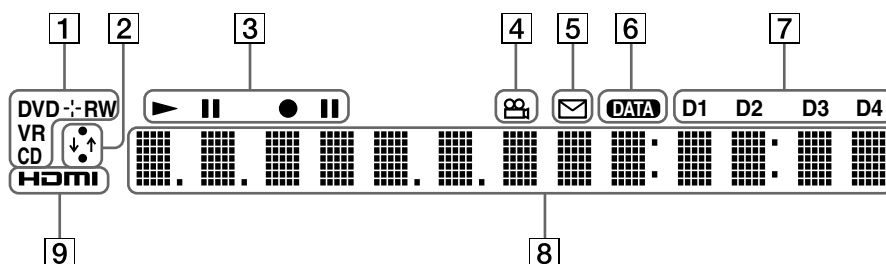
各部の名前

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体前(上)面

1. I/⏻(電源)ボタン(37)
2. REC MODE(録画モード)ボタン(70)
3. HDD/DVDボタン(69)
4. INPUT SELECT(入力切換)ボタン (20)
5. HDD RECランプ(69)
6. ディスクトレイ(86)
7. TIMER(タイマー)ランプ(80)
8. DVD RECランプ(69)
9. ⏏(開/閉)ボタン(86)
10. ▷(再生)ボタン*(88)
    ❚❚(一時停止)ボタン(91)
    ■(停止)ボタン(88)
11. REC●(録画)ボタン(69)
    REC PAUSE❚❚(録画一時停止)ボタン(70)
    REC STOP■(録画停止)ボタン(70)
12. USB端子(RDZ-D97A/D77Aのみ)(31)
13. B-CASカード挿入口(32)
14. HDV1080i/DV IN入力端子(31)
15. R (リモコン受光部)(34)
16. HIGH DEFINITION VIDEO OUTPUTランプ(23)
17. 表示窓(183)
18. RESET(リセット)ボタン(160)
19. HOME(ホーム)ボタン(37)
    ↑↓←→(37)
    ENTER(決定)ボタン(37)
    OPTION(オプション)ボタン(58)
    RETURN(戻る)ボタン(37)
20. CHANNEL(チャンネル)＋/－ボタン*(58)
21. LINE 2 IN(入力2) 端子(31)
22. D1/D2/D3/D4切換ボタン(23)

本体後面

1. BS/110度CS-IF入力/出力端子(17)
2. 地上デジタル 入力/出力端子(15)
3. 入力1 音声/映像/S映像端子(27)
4. コンポーネント映像出力 Y、PB/CB、PR/CR 端子(25)
5. D1/D2/D3/D4映像出力端子(24)
6. 電話回線端子(52)
7. VHF/UHF 入力/出力端子(15、18)
8. 電源入力端子(33)
9. 出力1 音声/映像/S1映像端子(27)
10. 出力2 音声/映像/S1映像端子(27)
11. 入力3 音声/映像/S映像端子(27)
12. デジタル音声出力 光端子(29)
13. デジタル音声出力 同軸端子(29)
14. LAN(10/100)端子(53)
15. HDMI出力端子(24)

本体表示窓

1 DVD/CD表示（種類、記録フォーマット）

2 通信表示
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

3 HDD/DVD再生/記録表示
それぞれのディスクの再生/記録動作を表示します。

4 ANGLE（アングル）表示

5 お知らせ（メール）表示（151）

6 番組表受信表示

7 D映像出力表示（24）

8 主に次の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示（93）
再生経過時間/残量時間表示（91）
録画経過時間表示（69）
録画モード（70）
ダビング進捗状況表示（103）
現在時刻表示
BS/CS/チャンネル/外部入力表示
HDD/DVD表示
各種メッセージ表示

9 HDMI表示（24）

ちょっと一言

- 表示窓の明るさを設定することができます。の[本体設定]で[表示窓の明るさ]を選んでください（143ページ）。
- 本機は電源が切れると、表示窓の時計表示が自動的に暗くなります。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

ビデオカテゴリーを選択したとき

HOME VIDEO

再生停止中のとき

RESUME

ディスクフォーマット中のとき

FORMAT

ファイナライズ中のとき

FINALIZE

ディスク読み込み中のとき

LOAD

ディスクが入っていないとき

NO DISC

ディスクがエラーで読み込めないとき

DISC ERROR

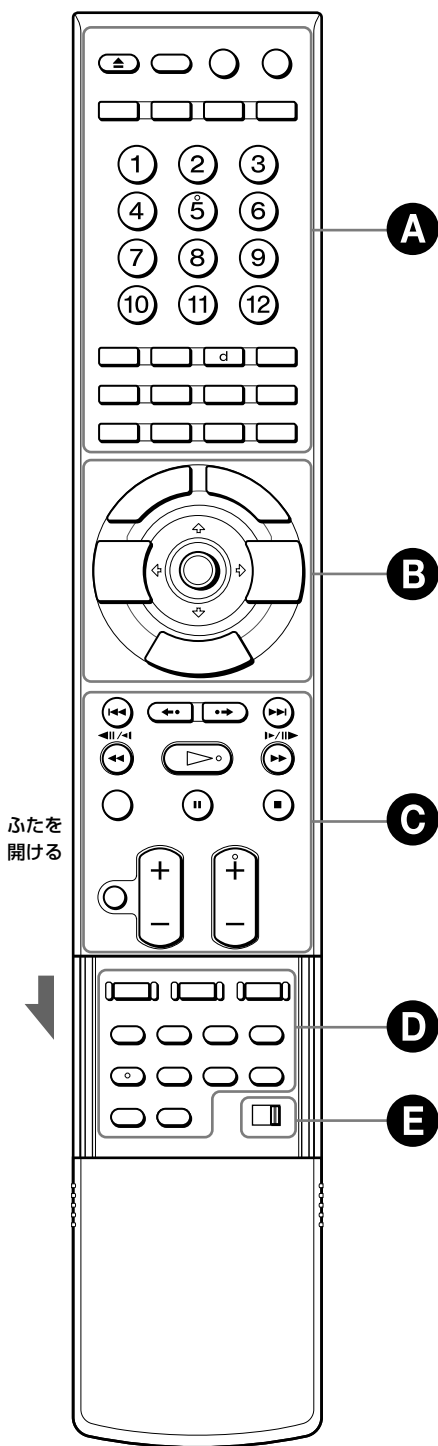
ディスクのデータが一杯のとき

DISC FULL

その他

次のページにつづく⇨

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

A 表示切り換え・テレビ操作部

ボタン	名称
開/閉	開/閉（86）
入力切換	入力切換（20）
TV電源	TV電源（36）
電源	電源（37）
DVD VTR AMP TV	操作機器切換用ボタン（34）
①～⑫	数字ボタン*（34、37、58、59、155）
10キー	10キー（58、155）
クリア	クリア（155）
連動データ d	連動データ（60）
番組説明	番組説明（62、64）
青 赤 緑 黄	カラーボタン（61、64、91、154）
アナログ デジタル BS CS	放送切換（地上アナログ/地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル）（58）

B 画面操作部

ボタン	名称
番組表	番組表（45、60）
画面表示	画面表示（34、90）
戻る	戻る（37）
↑↓←→/決定	↑↓←→/決定（37）
オプション	オプション（58）
ホーム	ホーム(37)

C 再生操作部

ボタン	名称
フラッシュ	フラッシュー/＋（91）
前 次	前/次（91）
◀II/◀I I▶/II▶	早戻し/早送り、コマ戻し/コマ送り、スロー（91）
▷	再生*（88）
シーンサーチ	シーンサーチ（93）
II	一時停止（91）
■	停止（88）
チャンネル ＋/－	チャンネル＋/－*（58）
音量 ＋/－	音量＋/－(34)
消音	消音

D 録画・DVD・テレビ操作部

ボタン	名称
録画	録画（69）
録画一時停止	録画一時停止（70）
録画停止	録画停止（70）
録画モード	録画モード（70）
HDD/DVD	HDD/DVD（69）
トップメニュー	トップメニュー（91）
メニュー	メニュー（91）
音声切換	音声切換*（58）
字幕	字幕（58）
映像切換	映像切換（58）
時間表示	時間表示（91）
書込み	チャプターマーク書込み（93）
消去	チャプターマーク消去（93）

E リモコンモード

ボタン	名称
リモコンモード DVD123	リモコンモードスイッチ(36) お買い上げ時は「DVD3」に設定されています。

*のボタンには凸(突起)がついています(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンの「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

索引

あ行

明るさ
　　ブライトネス 71, 94
頭出し 93
[アップダウン選局]
　　BSデジタル放送 ... 133
　　CSデジタル放送 ... 133
　　地上アナログ放送.. 135
　　地上デジタル放送.. 132
暗証番号...................... 59
[暗証番号設定]........... 144
アンテナ電源......... 38, 134
アンテナレベル............. 38
　　BS/CS
　　　デジタル放送..... 133
　　地上デジタル放送.. 132
[一時停止モード]......... 140
移動(ムーブ).............. 120
色合い.................. 71, 94
色の濃さ............... 71, 94
インターレース...... 22, 176
英字モード................. 154
映像･音声コード........... 22
映像切換................ 58, 91
映像コード................... 26
映像サイズ................... 71
[映像設定]................. 139
[映像入力1]............... 139
[映像入力3]............... 140
追いかけ再生................ 92
[オーディオDRC] 146
オートグルーピング機能
　............................... 95
オートクロック........... 146
[お知らせ]................. 151
[おすすめ設定]............. 76
おでかけ･スゴ録.......... 107
おでかけ転送
　　高速転送............. 109
　　ダイジェスト転送.. 108
　　録画モード........... 108
[おでかけ転送 高速転送
　録画]...................... 138
[おでかけ転送 録画モード]
　............................. 138
[お問い合わせ].... 131, 152
オプションボタン.......... 58
おまかせHDV/DVダビング
　............................. 109
[おまかせ設定]............. 76
おまかせチャプター 102
オリジナル................. 118
オリジナルタイトル 176
音声切換................ 58, 91
[音声言語]................. 145
[音声出力ATT]........... 141
[音声設定]................. 141
音声付き早見................ 92
[音声デジタル出力]...... 141
音声フィルター............. 95

か行

[カード情報].............. 144
[回線]....................... 147
[回線接続テスト]......... 148
ガイドチャンネル 176
外部チューナー............. 28
画音同期調整................ 94
画質調整
　　再生...................... 94
　　録画...................... 71
カテゴリー
　　設定.................... 131
　　テレビ 57
　　ビデオ 68
　　フォト 124
　　ミュージック 122
かな/カナモード 154
カラーボタン
　........... 61, 64, 89, 154
簡単カット編集........... 100
[かんたん初期設定]........ 37
管理番号順................... 97
キーワード................... 65
[機器情報]................. 144
記号モード................. 154
緊急警報放送.............. 176
[クライアント機器登録方法]
　............................. 150
[携帯電話登録]........... 149
携帯電話録画予約 .. 82, 149
[携帯電話録画予約設定]
　............................. 149
[県域]............... 132, 134
県域............................ 39
降雨対応放送.............. 176
更新録画...................... 85
[高速起動]モード......... 143
高速ダビング.............. 105
高速転送.................... 109
[購入合計]................. 151
[候補一覧]................... 76
語句登録.................... 155
[個人情報の初期化]...... 152
コピー防止信号........... 176
コマ送り...................... 91
コマ戻し...................... 91
コントラスト.......... 71, 94
コンポーネント映像コード
　............................... 25

さ行

[サーバー機能]........... 150
[サーバー名].............. 150
サービス切換................ 62
再生............................ 88
再生一時停止..... 74, 91, 92
サムネイル設定........... 103
シーンサーチ................ 93
次回予約...................... 82
時間帯......................... 65
[時刻設定]................. 146
時刻別番組表................ 64
自己診断機能.............. 161
[自己メール].............. 151
[視聴年齢制限]........... 145
視聴年齢制限
　.......... 59, 92, 134, 176
[自動画面表示]........... 143
自動チャプター機能 110
[自動チャプターマーク]
　............................. 137
自動録画...................... 75
[シネマ変換モード]...... 140
字幕...................... 58, 91
[字幕言語]................. 145
字幕放送.................... 176
[字幕焼きこみ]........... 139
シャープ...................... 95
シャープネス................ 94
[ジャストクロック]...... 146
ジャンル色設定............. 62
ジャンル別番組表 64
[受信CH].................. 134
受信チャンネル........... 176
[出荷時の状態に設定] .. 152
[出力映像解像度設定] .. 140
[出力映像横縦比]......... 139
[手動時刻設定]........... 146
[証明書のダウンロード]
　............................. 147
初期化....................... 114
数字モード................. 154
スター･チャンネル......... 49
[スタンバイモード]...... 143
[スポーツ延長対応]...... 137
スポーツ延長対応 84
スライドショー........... 125
[スライドショー効果設定]
　............................. 142
スロー.................. 91, 95
[セキュリティサイト自動
　接続]...................... 147
[設定初期化].............. 152
[設定チャンネル]......... 147
設定チャンネル表示 62
[設定取消]................... 76
全チャンネル表示 62
[操作/編集].................. 88
走査線......................... 22
ソフトウェア
　　アップデート........ 165
[ソフトウェアアップデート]
　............................. 144

た行

[ダイジェスト]........... 108
[ダイジェスト解除]........ 88
[ダイジェスト再生]........ 88
ダイジェスト再生 89
[ダイジェスト時間]........ 88
[ダイジェスト設定]...... 138
ダイジェスト転送 108
タイトル.................... 176
　　A-B消去 98
　　サムネイル画像..... 103
　　消去.................... 101
　　タイトル結合 99
　　タイトルダビング.. 103
　　タイトル分割 99
　　名前変更 102
　　並び替え 97
　　表示情報 102
　　プロテクト 101
　　編集...................... 97
　　マーク 103
タイトル選択消去 98
タイトルダビング 103
タイトル名................. 102
タイトル名順................ 97
タイトルリスト........ 88, 99
ダイナミックVBRダビング
　PRO...................... 103
[ダウンミックス]......... 146
ダビングモード............ 105
地域番号...................... 39
[地域番号設定]........... 136
[地上アナログ自動ステレオ
　受信]...................... 135
[地上アナログチャンネル
　設定]...................... 134
地上アナログ番組表 45

その他

次のページにつづく⇨

地上アナログ放送 8, 132
[地上デジタルチャンネル設定] 132
地上デジタル放送 8, 176
チャプター 176
チャプターサーチ 93
チャプター番号............. 93
チャプターマーク
入れる 93
消去する 94
チャプターマーク書込み
.... 91, 93
チャプターマーク消去
.... 91, 94
チャンネルスキャン
地上アナログ放送.. 135
地上デジタル放送.. 132
チャンネル別番組表 64
追加信号 59
[通信設定] 147
使えるディスク 180
次ボタン 91, 123
つづき再生 92
ディスク
初期化 114
他機で再生する 113
使えるディスク 180
名前....................... 87
ディスク残量................. 87
データ放送.................... 60
デジタル·アナログ2番組同時録画.................... 72
デジタル音声............... 141
デジタルハイビジョン信号
.... 176
デジタルハイビジョン放送
.... 22
デジタルビデオカメラ .. 109
デジタル放送用ICカード（B-CASカード）
.... 32, 177
テレビ番組を見る 58
電源コード.................... 33
点検シート.................. 162
[転送方法] 108
電話回線 51
[電話回線設定] 147, 148
同時録画再生................. 92
[登録機器一覧] 150
登録語句 66, 76
[登録済み携帯電話一覧]
.... 149
独立データ 60
トップメニュー............. 91
トピックス 64
トラック 176
[ドルビーデジタル]...... 141
ドルビーデジタル .. 30, 176

な行

ネットワーク 51
[ネットワーク設定]...... 148

は行

ハードディスク........ 8, 176
ハードディスクを初期化 144
[発信] 148
[発信詳細設定] 148
早送り 91
[早見] 88
[早見解除] 88
早戻し 91
[番組検索] 62
番組説明................ 62, 64
番組追跡録画................. 84
番組表 60, 79
Gガイド................ 63
時刻別 64
ジャンル別 64
種類...................... 64
地上アナログ放送
.... 45, 63
チャンネル別 64
デジタル放送 60
トピックス 64
番組表(EPG) 60
[番組表取得設定] 136
[微調整] 132
地上アナログ放送.. 135
地上デジタル放送.. 132
日付指定 62, 63
日付順(新しい順) 97
日付順(古い順) 97
ビデオ 27
ビデオカメラ................ 31
[ビデオ設定] 137
ビデオモード
DVD-R................ 180
DVD-RW............. 180
ビュー 96
[表示CH] 134
表示チャンネル............ 176
表示窓 183
[表示窓の明るさ] 143
標準テレビ信号............ 176
標準テレビ放送............. 22
ファイナライズ
解除.................... 113
[フォト設定] 142
ブライトネス........... 71, 94
フラッシュ 91
プレイリスト 118
プレイリスト作成 99
プレイリストタイトル .. 176
プログレッシブ...... 22, 176
プロテクト 101
[編集] 88
[放送局] 135
放送局表 41
[放送受信設定] 132
[放送メール] 151
[ボード] 151
[ホームサーバー設定] .. 150
ホームボタン................ 37
[本体設定] 143

ま行

マーク
再生....................... 88
マーク設定 103
前ボタン 91, 123
まるごとディスクコピー
.... 111
未視聴順 97
[未登録機器一覧]......... 150
メール 151
[自己メール] 151
[放送メール] 151
メニュー 91
[文字スーパー表示]...... 143
文字入力 153
キーワード 66
ディスク名 87
戻るボタン 37

や行

優先順
録画予約 85
[郵便番号] 134
郵便番号 39
有料番組 32
予測変換機能............... 154
予約リスト 83

ら行

ラジオ 60
リセット(RESET)ボタン
.... 182
リモコン 34, 184
[リモコンモード]......... 144
リモコンモード...... 36, 184
臨時放送 177
[ルートCA証明書] 151
連動データ 60
録画
他機から 74
テレビ番組 69
止める.. 70, 78, 81, 82
録画DNR 71
録画信号 110
録画防止機能................ 59
録画モード 181
録画モード変換ダビング
.... 105
録画予約
x-おまかせ·まる録 .. 75
確認する 83
取り消す 83
日時指定 81
番組表 79
変更する 83

わ行

[ワイド画像表示]......... 145
[ワンタッチ選局]
BSデジタル放送 ... 133
CSデジタル放送 ... 133
地上アナログ放送.. 135
地上デジタル放送.. 132

アルファベット/数字順

"PSP" 107
A-B消去 98
[AAC] 141
AAC 30, 177
AVアンプ 29
B-CASカード 32, 177
BNR/MNR 94
BSデジタル 177
[BSデジタルチャンネル設定] 133
BSデジタル放送............. 8
CD 181
CD-R 181
CD-RW..................... 181
[CSデジタルチャンネル設定] 133
DLNA........ 112, 150, 177
DR........................... 181
[DTS] 142
DTS.................... 30, 177
DualDisc 11
DVD+R 180
DVD+RW 180
DVD+R DL............... 180
DVD-R...................... 180

DVD-RAM 181
DVD-RW 180
[DVD-RW初期化設定] . 139
DVD-R DL 181
DVD→HDDダビング .. 104
[DVD-R(CPRM)初期化
設定] 139
DVD情報 87
[DVD設定] 145
[DVD二重音声記録] 138
DVDビデオ 181
DVDメニュー 92
[DVDメニュー言語] 145
DVDメニュー作成 113
DVD録画横縦比 71
D映像コード 24
D映像信号 177
DマトリックスNR 94
DマトリックスNR HD ... 94
EP 181
EPG 177
ESP 181
FNR 94
GB 177
Gガイド 136, 168
[Gガイド設定] 136
Gガイド地域番号・放送局
.... 41
HD 22
HDD→DVDダビング .. 104
HDD情報 86
[HDD初期化] 144
[HDD二重音声記録] 137
HDD録画横縦比 71
HDMI(High-Definition
Multimedia Interface)
.... 177
[HDMI音声出力] 141
[HDMI解像度] 140
HDMIケーブル 24
i.LINK 169
LP 181
LSP 181
PPV番組 32
PPV(ペイ・パー・ビュー)
.... 177
[QVGA384k] 108, 138
[QVGA768k] 108, 138
SACD 181
SD 22
SKYPerfecTV!110 49
SLP 181
SP(標準モード) 181
S映像コード 26
USB 31
VRモード
DVD-R 180
DVD-RW 180
WOWOW 49
x-Pict Story HD 127
x-おまかせ・まる録 75
"XMB"(クロスメディア
バー) 57
XP 181
XP+ 181
[XP画質設定] 137
XSP 181
1回だけ録画可能 120
110度CSデジタル放送
.... 8, 49, 177
16:9 145
4:3パンスキャン 145
4:3レターボックス 145
8cmディスク 181
[48kHz/96kHz PCM]
.... 142

その他

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

「接続ガイド」ホームページ

本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.co.jp/DVDConnect/

2-681-998-**02** (1)